元総社蒼海遺跡群(23)

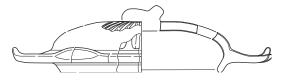
前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書

2009.3

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

元総社蒼海遺跡群(23)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書



青磁 酒会壺蓋(13 世紀 ~ 14 世紀) 24 地点W-5 号溝出土

2009.3

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

はじめに

前橋市は、関東平野の北西部に位置し、名山赤城山を背に利根川や広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情に溢れる県都です。市域は豊かな自然環境に恵まれ、2万年前から人々が生活を始めました。そのため市内のいたる所から、人々の息吹を感ぜられる遺跡や史跡、多くの歴史遺産が存在します。

古代において前橋台地には、広大に分布する穀倉地帯を控え、前橋天神山古墳などの初期古墳をはじめ、王山古墳・天川二子山古墳といった首長墓が連綿と築かれ、上毛野の国の中心地として栄えました。また、続く律令時代になってからは総社・元総社地区に山王廃寺、国分僧寺、国分尼寺、国府など上野国の中枢をなす施設が次々に造られました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎬をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東三名 城の一つに数えられる厩橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の一大生産地であり、横浜港から前橋シルクの名前で遠く海外に輸出され日本の発展の一翼を担いました。

今回、報告書を上梓する元総社蒼海遺跡群(23)は古代上野国の中枢地域の調査であります。上野国府推定地域に隣接することから、調査成果に多くの注目を集めております。今回の調査では、国府そのものに関連する遺構の検出はかないませんでしたが、古墳時代から平安時代にいたる多くの竪穴式住居跡を検出しました。

今は一本の糸に過ぎない調査成果も織り上げて行けば、国府や国府のまちの姿を再現できるものと考えております。

残念ながら、現状のままでの保存が無理なため、記録保存という形になりましたが、今後、地域の歴史・前橋の歴史を解明する上で、貴重な資料を得ることができました。

最後になりましたが、この調査事業を円滑に進められたのは、関係機関や各方面のご配慮の結果といえます。また、寒風の中、直接調査に携わってくださった担当者・作業員のみなさんに厚くお礼申しあげます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

平成 21 年 3 月

例 言

- 1. 本報告書は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う元総社蒼海遺跡群(23)発掘調査報告書である。
- 2. 調査主体は、前橋市埋蔵文化財発掘調査団である。
- 3. 発掘調査の要項は次のとおりである。

調 査 場 所 群馬県前橋市元総社町 1833 番 1 号ほか 2 筆 群馬県前橋市元総社町 1922 番ほか 2 筆

遺跡 コード 20 A 130-23

発掘調査期間 平成20年11月4日~平成21年1月4日

整理・報告書作成期間 平成21年1月13日~平成21年3月12日

発 掘 ・ 整 理 担 当 者 日沖剛史・水谷貴之・向出博之(有限会社毛野考古学研究所)

- 4. 本遺跡に関わる遺構測量に関しては、髙木義明・黒岩拓也(有限会社毛野考古学研究所)が担当した。
- 5. 本書の編集は日沖・和久拓照(有限会社毛野考古学研究所)が行った。原稿執筆は I を山下歳信(前橋市教育委員会)、他を日沖が担当した。
- 6. 発掘調査・整理作業に関わった方々は次のとおりである。

【発掘調査】石倉稔夫・一場友香里・神山早苗・金子稚加・川嶋祥子・小松川早苗・佐藤 修・佐藤安男 椎原京子・高野 繁・田辺 昇・角田宇三郎・庭山皓正・橋元裕児・船戸 登・牧野完一 森山恵子・山崎一男・綿貫瑛一

【整理作業】 一場友香里・樺沢美枝・武士久美子・伴場りく

- 7. 発掘調査で出土した遺物及び、図面等の資料は、前橋市教育委員会文化財保護課で保管されている。
- 8. 以下の諸氏・機関に有益な御指導・御協力を賜った。記して感謝の意を表したい。(順不同、敬称略) 秋本太郎・飯森康弘・石守 晃・上野尚美・大西雅広・小川卓也・小野正敏・折舘伸二・黒澤照弘 坂口 一・佐々木清貴・清水 豊・早田 勉・都木真澄・高橋 敦・髙林真人・中島直樹・中村岳彦 藤原良祐・松元美由紀・三浦京子・山口逸弘・元総社町自治会・株式会社測研・株式会社歴史の杜 山下工業株式会社・カネコハウス有限会社・株式会社スカイサーヴェイ

凡例

- 1. 遺構図の縮尺は、平面図及び土層断面図を 1/60 縮尺、カマド等を 1/30 縮尺で表現することを基本として掲載し、挿図中にはスケールを付してある。また、図中の北方位は座標北であり、座標値は日本測地系に基づいている。
- 2. 遺物実測図の縮尺は、 $1/1 \sim 1/6$ 縮尺の範囲で掲載し、図中にスケールを付してある。遺物写真は遺物 実測図とほぼ同縮尺である。
- 3. 遺物実測図に使用しているトーンは次の意味を表す。

灰釉 煤

4. 遺構及び遺構施設の略称は、次のとおりである。

H:古墳・奈良・平安時代の竪穴住居跡 W:溝跡 D:土坑 P:ピット SX:性格不明遺構

- 5. 遺構及び土器の色調観察は『新版 標準土色帖』(農林水産技術会議事務局 財団法人日本色彩研究所監修 2006) に従っている。
- 6. 舶来陶磁器の分類については『元総社蒼海遺跡群(21)』2009 前橋市埋蔵文化財発掘調査団を参照されたし。

目 次

口絵写	真				
序					
例言・	凡例				
目次•	挿図目次・表目次・写真図版目次				
	査に至る経緯 1		6	遺構外出土遺物	21
	遺跡の位置と環境	3.71		点	
		VI			
1				24地点概要	
2	歴史的環境			性格不明遺構	
Ⅲ 誹	看査方針と経過9		3	土坑	53
1	調査方針9		4	溝	56
2	調査経過9		5	ピット	58
IV 標	[準堆積土層······· 10			遺構外出土遺物····································	
	3地点	VII		26地点	
		VШ			
1				25・26地点概要	
2			2	トレンチ) 6
3	土坑19	写真	図版		
4	. 溝	抄録			
5	ピット	奥付			
	5.71 나라		<u></u>		
	図版	. 日 🖞	人		
Fig. 1	調査区域図		g. 38	23地点出土遺物⑦	
Fig. 2	元総社蒼海遺跡群位置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		g. 39	23地点出土遺物⑧	
Fig. 3	遺跡分布図 3		g. 40	24地点全体図	
Fig. 4	蒼海城縄張り図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		g. 41	S X - 1 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
Fig. 5 Fig. 6	蒼海城周辺の中世城館分布図 8 標準堆積土層 10		g. 42 g. 43	D-7号土坑·······	
Fig. 7	23地点全体図		g. 44	D-8号土坑····································	
Fig. 8	H-1号住居跡······22		g. 45	D-16・17・20・24号土坑····································	
Fig. 9	H-2号住居跡·······23		g. 46	D-16・17・20号土坑····································	
Fig. 10	H-3号住居跡······24		g. 47	D-26号土坑······	
Fig. 11	H−4・7号住居跡······24	Fi	g. 48	W-1号溝·····	
Fig. 12	H-5・6号住居跡25	Fi	g. 49	W-1号溝(土層説明) ······	66
Fig. 13	H – 6 号住居跡カマド26	Fi	g. 50	W-2号溝·····	67
Fig. 14	H-8号住居跡·····26	Fi	g. 51	W-4号溝·····	68
Fig. 15	H-8号住居跡貯蔵穴······27	Fi	g. 52	W-5号溝①·····	69
-	H — 9 号住居跡······27			W−5号溝②·····	
	H-10号住居跡·····28		_	W-5号溝③······	
-	H-11号住居跡······29		-	W-5号溝④····································	
	H-12・14号住居跡······29			W-6号溝······	
	H-12号住居跡カマド・・・・・・30			W-6号溝(土層説明) ······	
-	H-13号住居跡······30 H-15号住居跡·····30			W-7号溝······ 24地点ピット配置図①·····	
	H-16号住居跡······31		g. 59	24地点ピット配置図②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	H-17号住居跡·······32		g. 60 g. 61	24地点ピット配置図③	
-	H-18号住居跡·······32		g. 62	24地点出土遺物①	
Fig. 26	H-19号住居跡·······32		g. 63	24地点出土遺物②	
	W-1号溝····································		g. 64	24地点出土遺物③	
	W-1号溝(土層説明)······34		g. 65	24地点出土遺物④	
	W-2号溝····································		g. 66	24地点出土遺物⑤	
Fig. 30	W-3号溝······36		g. 67	24地点出土遺物⑥	
Fig. 31	W-4号溝·····36	Fi	g. 68	24地点出土遺物⑦	
Fig. 32	23地点出土遺物①37	Fi	g. 69	24地点出土遺物⑧	
Fig. 33	23地点出土遺物②38	Fi	g. 70	24地点出土遺物⑨	
Fig. 34	23地点出土遺物③39	Fi	g. 71	現地形図と縄張り図における調査地点	
Fig. 35	23地点出土遺物④40	Fi	g. 72	25・26地点全体図、1号トレンチ断面図	
Fig. 36	23地点出土遺物⑤41		g. 73	2号トレンチ断面図	
Fig. 37	23地点出土遺物⑥42	Fi	g. 74	25・26地点出土遺物	98

表目次

Tab. 1 周辺遺跡一覧表			24地点ピット一覧表②	
Tab. 2 23地点土坑一覧表	19	Гаb. 14	24地点ピット一覧表③	60
Tab. 3 23地点ピット一覧表			24地点出土遺物観察表①	
Tab. 4 23地点出土遺物観察表①	45	Гаb. 16	24地点出土遺物観察表②	88
Tab. 5 23地点出土遺物観察表②			24地点出土遺物観察表③	
Tab. 6 23地点出土遺物観察表③		Tab. 18		
Tab. 7 23地点出土遺物観察表④		Tab. 19		
Tab. 8 23地点出土遺物観察表⑤		Гаb. 20	24地点出土遺物観察表⑥	
Tab. 9 23地点出土遺物観察表⑥			24地点出土遺物観察表⑦	
Tab. 10 24地点土坑一覧表①		Tab. 22		94
Tab. 11 24地点土坑一覧表②		Tab. 23		
Tab. 12 24地点ピット一覧表①・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			25 • 26地点出土遺物観察表	
	写真図版	Ыγ	<i>∕</i> 1,∼	
D (00 llk ll.)		ΗЪ		
P L . 1 (23 地点)	23 地点出土遺物③		W-6号溝工具痕確認状態	
遺跡遠景	P L . 9 (23 地点)		W-6号溝土層断面	
遺跡全景	23 地点出土遺物④		W-6号溝土層断面	
PL.2 (23 地点)	PL.10 (23 地点)		D-7号土坑全景	
H-1号住居跡全景	23 地点出土遺物⑤		D-8号土坑全景	
H-1号住居跡新・旧カマド全景	PL.11 (23 地点)		D-8号土坑全景	
H-2号住居跡全景	23 地点出土遺物⑥		D-8号土坑下位土層断面	
H-2号住居跡カマド全景	P L . 12 (24 地点)		PL.18 (24 地点)	
H-3号住居跡全景	遺跡遠景		24 地点出土遺物①	
H-5・6号住居跡全景	遺跡全景		P L . 19 (24 地点)	
H-5号住居跡カマド全景	PL.13 (24 地点)		24 地点出土遺物②	
H-6号住居跡カマド全景	遺跡全景		P L . 20 (24 地点)	
PL.3 (23 地点)	S X - 1 号性格不明遺構全		24 地点出土遺物③	
H-7号住居跡全景	SX-1号性格不明遺構緑		P L . 21 (24 地点)	
H-7号住居跡遺物出土状態近景	出土状!	 上景	24 地点出土遺物④	
H-8号住居跡全景	W-4・6 号溝全景		P L . 22 (24 地点)	
H-8号住居跡遺物出土状態近景	W-4号溝遺物出土状態		24 地点出土遺物⑤	
H-9号住居跡全景	P L . 14 (24 地点)		P L . 23 (24 地点)	
H-13 号住居跡全景	W-1・2号溝土層断面		24 地点出土遺物⑥	
H-10 号住居跡全景	W-1号溝・D-2号土坑	上層断面		
H-10 号住居跡カマド全景	W-1号溝土層断面		24 地点出土遺物⑦	
PL.4 (23 地点)	W-1号溝土層断面		P L . 25 (24 地点)	
H-12 号住居跡全景	W-5号溝全景		24 地点出土遺物⑧	
H - 12 号住居跡カマド全景	PL.15 (24 地点)		PL. 26(25・26 地点)	
H-14 号住居跡全景	W-5号溝全景		遺跡遠景	
H-17 号住居跡全景	W-5号溝検出状態		1 号トレンチ (W-1 号溝) 全景	_
H-15 号住居跡全景	W-5号溝遺物出土状態		1 号トレンチ (W-1号溝) 土層断面	1
H - 15 号住居跡カマド全景	W-5号溝遺物出土状態		1号トレンチ遺物(木器)出土状態	- 8
H-16号住居跡全景	W-5号溝遺物出土状態		1号トレンチ遺物(木器)出土状態近	京
H-16 号住居跡カマド全景	W-5号溝遺物出土状態		PL.27 (25·26 地点)	
PL. 5 (23 地点)	W-5号溝遺物出土状態		1号トレンチ遺物(木材)出土状態	- 見
H-18号住居跡全景	W-5号溝土壁片(焼土化)		1号トレンチ遺物(木材)出土状態近	.京
H-19号住居跡全景	出土状態近	元	1号トレンチ (W-1号溝) 全景	
H-20号住居跡全景	P L . 16 (24 地点)	다하다	2 号トレンチ (W-1 号溝) 全景	=
W-1号溝土層断面	W-5号溝古瀬戸茶壺出土			-
W-1号溝遺物出土状態	W-5号溝白磁出土状態近	• •	2 号トレンチ(W-1 号溝)土層断面	1
W-2号溝土層断面 W-2号港全星	W-5号溝青磁出土状態近		調査風景	71
W-2号溝全景 W-2号港給出状能	W-5号溝白磁出土状態近 W-5号溝揺鉢出土状能近		1 号トレンチ(W-1 号溝)出土遺物	,

W-5号溝・D-7号土坑土層断面

W-5号溝・D-8号土坑土層断面 W-5号溝・D-26号土坑土層断面

P L . 17 (24 地点)

W−6号溝全景

PL.6 (23 地点)

23 地点出土遺物①

P L . 7 (23 地点) 23 地点出土遺物②

PL.8 (23 地点)

調査に至る経緯 I

本発掘調査は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴い実施され、9年目にあたる。本調査地は、 周辺で埋蔵文化財調査が長年に亘って行われていることから、遺跡地であることが確認されている。

平成20年9月5日付けで、前橋市長高木政夫(区画整理第二課)より前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画 整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の依頼が前橋市教育委員会に提出された。教育委員会ではこれを受け、内部 組織である前橋市埋蔵文化財発掘調査団へ調査実施の協議を行った。調査団では直営による本発掘調査の実施が 困難であるとして、民間調査機関に調査業務を委託したいと回答した。民間調査機関の導入については、依頼者 である前橋市の合意も得られ、平成20年10月27日付けで前橋市埋蔵文化財発掘調査団と前橋市との間で、埋 蔵文化財発掘調査委託契約を締結した、調査団は民間調査機関である、有限会社毛野考古学研究所取締役 長井 正欣と11月4日付けで業務委託契約を締結し、11月4日より発掘調査を開始した。

なお、遺跡名称は元総社蒼海遺跡群 (23) とした。遺跡コードは 20 A 130 - 23 とし、20…年度、A 130…元 総社蒼海遺跡群、23は個別遺跡番号とした。

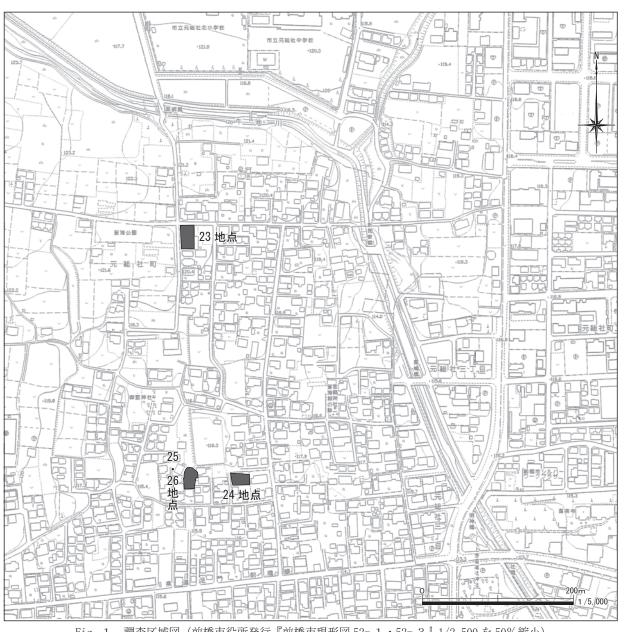


Fig. 1 調査区域図(前橋市役所発行『前橋市現形図 52-1・52-3』1/2,500 を 50%縮小)

Ⅱ 遺跡の位置と環境

1 地理的環境 (Fig. 2)

元総社蒼海遺跡群が立地する前橋市は、群馬県の中央からやや南東寄りに位置し、北の渋川市・富士見村、東の桐生市・伊勢崎市、西の高崎市・吉岡町・榛東村、南の玉村町と境を接し、周囲を見わたすと北東に赤城山、北に子持山・小野子山、北西に榛名山、西に妙義山・浅間山を望むことができる。市域の西側には、榛名山麓を源とする幾つもの小河川を集める利根川が南流しており、同河川を中心として数々の文化が栄えている。利根川の現流路は15世紀後半頃に定まったものとされており、それ以前は、前橋市大手町の北側で現流路から逸れて、南東流していたことが確認されている。なお、旧利根川の流路は、現在の広瀬川に一致するものとされている。

元総社蒼海遺跡群は、前橋市の西端に位置し、遺跡の西 2.4 kmには群馬県庁、南南東 1.9 kmには関越自動車道 前橋インターが立地している。また、地形的な要因を加味すると本遺跡周辺は、榛名山麓より広がる相馬ヶ原扇 状地の末端部にあたる。なお、相馬ヶ原扇状地は、榛名山の陣場岩屑なだれに起因するものとされており、その範囲は榛名山南東麓の大部分にわたる。陣場岩屑なだれは、As-YP(浅間板鼻黄色軽石:13,000~14,000年前降下:ybp)とAs-Sr(浅間白糸軽石:18,000年前降下)の間に起きていることが発掘調査等で解明されていることから、相馬ヶ原扇状地の形成も両軽石降下間と言えよう。扇状地の形成は河川の流路にも影響を及ぼし、扇状地形が開ける方向へ河川も流下する状況が窺える。本遺跡周辺にも榛名山麓より南東流する染谷川・牛池川・八幡川等の河川が見られ、遺跡の占地に影響を与えている。元総社蒼海遺跡群は、染谷川と牛池川に挟まれた台地上に立地しており、同じ台地上には代表的な遺跡として上野国府・国分僧寺・国分尼寺・蒼海城等の痕跡が捉えられている。

現在、元総社蒼海遺跡の周辺は上野国府や蒼海城の地割りが残っており、特に蒼海城に関しては、土塁や埋没した堀の痕跡を部分的に見ることができる。

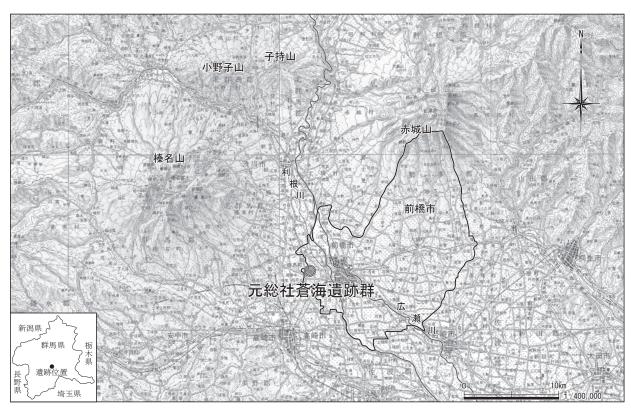


Fig. 2 元総社蒼海遺跡群位置図(国土地理院発行『宇都宮』・『長野』1/200,000を50%縮小)

2 歴史的環境 (Fig. 3・4・5、Tab. 1)

本遺跡が立地する元総社周辺は、古くから上野国府・国分僧寺・国分尼寺・山王廃寺等が建立され、群馬県内において中枢をなす地域として広く知られている。また、中世になると上野国府の地割りを利用して造られたとされる蒼海城の存在も周知であろう。このような状況から、本遺跡周辺は奈良・平安時代及び中世の遺跡等が目立つ地域となっているが、周辺遺跡を見わたすと、人々が残した痕跡が縄文時代より連綿と続いている状況を窺うことができる。ここでは、各時代ごとの遺跡の分布状況について概観してみたいと思う。

縄文時代の遺跡は、牛池川と染谷川に挟まれた微高地上に集中する傾向にあり、前期後半及び中期後半の集落が近年の開発と共に確認されつつある。同台地上では元総社小見遺跡【35】で諸磯b式期・加曽利E3式期の住居跡が検出されているのを始め、元総社蒼海遺跡群(13)【28】で諸磯c式期の住居跡が確認されており、床面から板状土偶の出土も認められている。このように元総社周辺の遺跡からは、前期後半・中期後半における集落・遺物の確認が多いように思われるが、近年調査が行われた元総社北川遺跡【25】で、As-C痕土層下の河道から晩期の注口土器が出土し、元総社蒼海遺跡群(9)【38】では該期の竪穴住居跡も検出されている。なお、元総社周辺において草創期~前期前半の集落等は確認されていない。これは、浅間総社軽石(As-Sj:11,000年前)降下以後に本地域の地形を改変させた度重なる洪水(総社砂層)によるものと推測されよう。

弥生時代の遺跡数は極めて少ない状況にあり、確認された遺構のほとんどは後期の樽式期にあたるものである。該期の住居跡は、桜ヶ丘遺跡【2】・下東西遺跡【4】・上野国分僧寺・尼寺中間地域【27】・日高遺跡【60】で確認されている。このうち、日高遺跡では浅間C軽石(As-C:3世紀後半~4世紀初頭)下の水田跡が検出されており、弥生時代後期から古墳時代前期にかけて継続して営まれた水田として捉えられている。弥生時代後期以外確認は先述したとおり希少で、遺構に伴わないものの元総社北川遺跡【25】で竜見町式の壺が出土している。

古墳時代になると遺跡数は増大の傾向をたどる。利根川右岸には遠見山古墳【11】を始めとして、王山古墳【32】・稲荷山古墳【23】・総社二子山古墳【6】・愛宕山古墳【10】・宝塔山古墳【13】・蛇穴山古墳【12】が築造され、このうち稲荷山古墳を除く古墳は総社古墳群に属するものである。なお、宝塔山古墳の石棺と蛇穴山古墳の石室に見られる石造技術は、約900m南西に建立された山王廃寺【18】の石造物と同系統の技術であることから、これらの古墳は仏教色の強いものとされている。集落は縄文時代と同様で、牛池川と染谷川に挟まれた台地上に多く分布しているが、前期~中期の住居跡は散見されるほどで、後期からの集落増加が目立つ地域と言えよう。集落に伴う畠・水田等の生産域は八幡川・牛池川・染谷川に沿って形成された後背湿地に集中し、総社甲稲荷塚大道西IV遺跡【30】・総社関泉明神北遺跡【38】・元総社西川遺跡【33】で畠跡、元総社北川遺跡【25】・総社関泉明神北遺跡・総社関泉明神北遺跡【38】・元総社明神遺跡 【 つば 【50 】・元総社寺田遺跡 【 つば 【51 】で水田跡が確認されている。

奈良・平安時代の元総社は、上野国府・国分僧寺【61】・国分尼寺【62】が置かれ、古代上野国の中枢を担う地域へと変化を遂げていく。現在、上野国府の範囲・建物については不明瞭な部分が多いものの、元総社蒼海遺跡群 (7) (9) (10) [38]・閑泉樋遺跡【39] で東西方向、元総社明神遺跡【50】で南北方向の大溝が確認されており、国府域における北及び東外郭線が推定されることとなった。国府域推定域内には、元総社宅地遺跡【41】・元総社寺田遺跡【51】・元総社小学校校庭遺跡【53】など国府関連の様相を示す遺跡が確認されており、元総社宅地遺跡・元総社小学校校庭遺跡では掘立柱建物跡、元総社寺田遺跡では「國厨」・「曹司」・「国」・「邑厨」などが書かれた墨書土器や人形の出土が確認されている。なお、本遺跡である元総社蒼海遺跡群(23)【1】も国府域推定範囲内に位置し、南北方向へ直線的に延びる平安時代の溝が確認されており、国府との関連性が指摘されている。国分僧寺・国分尼寺は必然的に上野国府周辺に置かれており、国分僧寺については昭和55年より本格的な調査が行われ、主要伽藍の礎石・築垣・塀などが捉えられている。国分尼寺に関しては、昭和44・45年にトレンチ調査が行われたことにより伽藍配置の推測が可能となり、この結果を基に前橋市埋蔵文化財発掘調査団

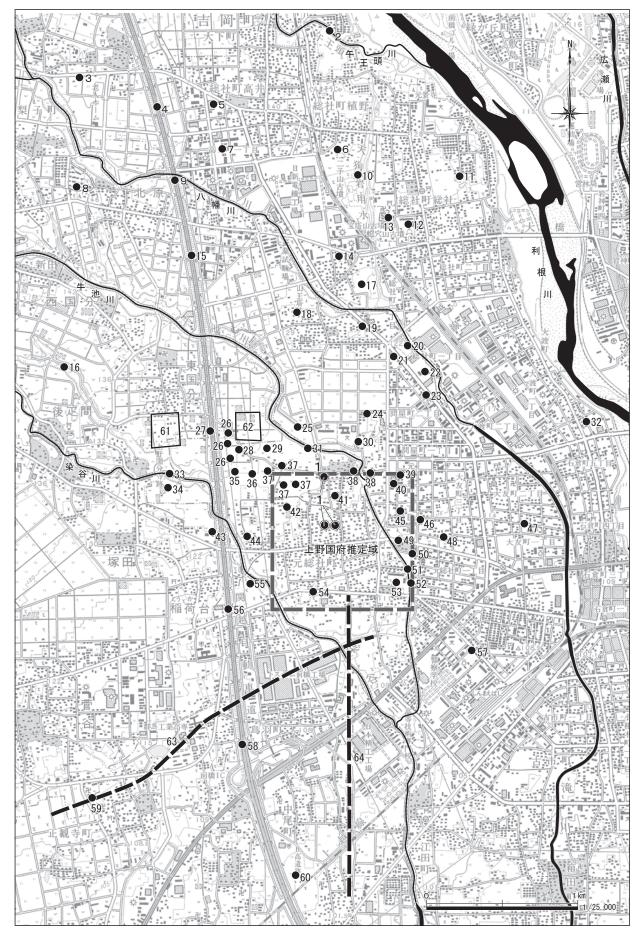


Fig. 3 遺跡分布図(国土地理院発行『前橋』1/25,000)

Tab. 1 周辺遺跡一覧表

番号	遺跡名				時代				
ш /	18977F	縄文	弥生		奈良・平安	中世	近世		
1	元総社蒼海遺跡群 (23)	11-02-0	33.11		•		~		
2	桜ケ丘遺跡		•						
	総社桜ケ丘遺跡・Ⅱ遺跡				•				
3	清里南部遺跡群・Ⅲ	•			•				
4	下東西遺跡	•	•	•	•	•			
5	中島遺跡				•				
6	総社二子山古墳			•					
7	柿木遺跡・Ⅱ遺跡				•				
8	熊野谷遺跡	•			•				
	熊野谷Ⅱ・Ⅲ遺跡				•				
9	北原遺跡	•		•	•				
10	愛宕山古墳			•					
11	遠見山古墳 蛇穴山古墳						\vdash		
13	宝塔山古墳			•			\vdash		
14	村東遺跡			•	•	•	\vdash		
15	国分境遺跡								
10	国分境Ⅱ遺跡			•	•				
	国分境Ⅲ遺跡			•	•	•			
16	後疋間遺跡 I ~Ⅲ			•	•	•			
17	大屋敷遺跡 I ~VI	•		•	•	•			
18	山王廃寺跡			•					
19	昌楽寺廻向遺跡・Ⅱ遺跡				•				
20	産業道路東遺跡	•							
21	産業道路西遺跡	•							
22	稲荷塚道東遺跡			•	•				
23	稲荷山古墳			•					
24	総社甲稲荷塚大道西遺跡				•	•			
	総社甲稲荷塚大道西Ⅱ遺 跡			•	•		•		
25	総社閑泉明神北IV遺跡・	•		•	•				
	元総社牛池川遺跡・	-	-	-					
	元総社北川遺跡・								
6.2	元総社小見内V遺跡						\vdash		
26	元総社小見Ⅱ遺跡	•		•	•	•	\vdash		
	元総社小見W・V遺跡	•		•	•	•	\vdash		
	元総社小見VI・VII遺跡 元総社蒼海遺跡群(4)	•			•		\vdash		
27	上野国分僧寺・尼寺中間	_			•		\vdash		
21	地域								
28	元総社蒼海遺跡群(13)	•		•	•	•			
29	元総社小見内VII遺跡	•			•	•			
	元総社蒼海遺跡群(1)(5)				•	•			
30	総社甲稲荷塚大道西Ⅲ遺			•	•				
	跡								
	総社閑泉明神北Ⅲ遺跡	•		•	•				
	総社甲稲荷塚大道西IV遺					•			
1	跡	I	I	I	1	1	1		

	番号	遺跡名	時 代								
			縄文	弥生	古墳	奈良	・平安	中世	近世		
	31	元総社小見内Ⅲ遺跡					•	•			
		元総社小見内VI遺跡					•				
		元総社蒼海遺跡群 (12)					•				
	32	王山古墳			•						
	33	元総社西川遺跡					•				
	34	上野国分寺参道遺跡					•				
	35	元総社小見遺跡					•				
	36	元総社小見Ⅲ遺跡	•		•		•	•			
		元総社草作V遺跡					•				
	37	元総社小見内IV遺跡					•				
		元総社小見内Ⅷ遺跡					•				
		元総社小見内IX・X遺跡			•		•	•			
		元総社蒼海遺跡群(2)(6)			•		•	•			
		元総社蒼海遺跡群(11)			•		•	•			
	38	総社閑泉明神北遺跡									
		総社閑泉明神北Ⅱ遺跡					•				
		総社閑泉明神北V遺跡			•		•				
		元総社蒼海遺跡群 (7)					•				
		元総社蒼海遺跡群			•		•				
		(9) (10)									
	39	閑泉樋遺跡					•				
	40	閑泉樋南遺跡			•		•				
	41	元総社宅地遺跡 1 ~ 23 トレンチ			•		•	•	•		
	42	草作遺跡			•		•	•			
lÌ	43	塚田村東遺跡					•				
	44	元総社蒼海遺跡群(8)					•				
lÌ	45	屋敷遺跡・Ⅱ遺跡			•		•	•			
	46	堰越Ⅱ遺跡					•				
	47	大友宅地添遺跡					•				
	48	堰越遺跡					•				
Ì	49	大友屋敷Ⅱ・Ⅲ遺跡			•		•				
lÌ	50	元総社明神遺跡 I ~XIII			•		•	•			
Ì	51	元総社寺田遺跡 Ⅰ~Ⅲ			•		•	•			
	52	寺田遺跡					•				
	53	元総社小学校校庭遺跡					•				
lÌ	54	天神遺跡 · Ⅱ 遺跡					•				
	55	弥勒遺跡 · Ⅱ 遺跡			•		•				
	56	鳥羽遺跡			•		•				
	57	元総社稲葉遺跡	•				•				
	58	中尾遺跡					•				
	59	正観寺遺跡 I ~IV		•	•		•	•			
	60	日高遺跡		•			•				
	61	上野国分寺跡					•				
	62	上野国分尼寺跡					•				
	63	東山道 (推定)									
	64	日高道(推定)									
'											

[※] 本表の遺跡番号は本文・Fig. 3の『遺跡分布図』の番号と一致している。

が、平成12年に寺域確認調査を行っている。この調査の結果、南東・南西隅の築垣とそれに並走する溝、道路 状遺構を捉えるに至っている。なお、上野国府・国分僧寺・国分尼寺に関連する遺構も周辺で確認されている。 上野国分僧寺・尼寺中間地域【27】で、大規模な集落・掘立柱建物跡群が検出されているのを始めとして、鳥羽 遺跡【56】で神社遺構、中尾遺跡【58】で工房跡が見られ、周辺地域における調査の重要性を再認識させられる ものと言えよう。また、東山道(国府ルート)【63】・日高道【64】の存在も明らかになりつつあり、当時の交通 事情や流通を知る貴重な手がかりになるものと考えられる。

一方、公的な建物以外である一般的な集落を概観すると、やはり牛池川と染谷川に挟まれた台地上に立地して くるが、国府推定域の中心部における分布は疎となっている。これは、当然ながら国府域と居住域の区分けがな されていたことを示すものであろう。このような衛星的な集落は古墳時代の集落分布と比べるとさらに多く、確認された集落のほとんどで、 $8\sim11$ 世紀代の竪穴住居跡が所狭しと重複する状況を顕著に見ることができる。無数に分布する集落遺跡に対し、本遺跡周辺の生産遺跡は少なく、元総社北川遺跡【25】・元総社甲稲荷塚大道西Ⅲ遺跡【30】などで確認されている島跡に留まっている。水田跡は、本遺跡より南へ2.3 kmほど離れた日高遺跡【60】で確認されている。

中世の元総社には、上野国府の地割を利用した蒼海城が築かれる。蒼海城は牛池川と染谷川に挟まれた径1,200 m程の範囲を縄張りとする広大な面積を要する城で、千葉介常胤によって鎌倉時代に築かれたと言われている。千葉介常胤については「上毛伝説雑記拾遺」の「総社記」に記されており、「長元元戌辰年(1028年)六月、上総介平忠常下総国より引移らる。其の嫡子下総介常重、其の長子千葉介常胤、此の時城鎮護の為めに、五智の如来を城の四方に数箇寺を建立有って安置す。」とある。

時は下って、蒼海城は永享元年(1429年)に総社長尾氏によって修築を受けることとなる。なお、蒼海城の修築は、長尾景行によって行われたとされているが、景行の子である長尾忠房(賢昌)によるものとの説もある。 長尾忠房は上野国府の地割を利用して築かれた蒼海城を居住には不便であると判断し石倉城を築いて移り住んだが、その石倉城は利根川に崩落してしまったため、再び蒼海城へ戻ることとなったとされている。以後、守護で



Fig. 4 蒼海城縄張り図(山崎 - 1978『群馬県古氏城塁址の研究 上巻』より 1/10,000)

ある上杉氏とともに総社長尾氏は守護代として栄えるが、長尾顕方の時、勃興してきた北条氏綱に服属し、さらには長尾顕方の跡を継いだ長尾顕景は箕輪城主長野信業と厩橋城主長野方業に攻められ、長野氏に屈服したようである。永禄九年(1566 年)には、主力を石倉城へ移していたものの、一部は蒼海城に残っていたこともあり武田信玄に攻略されることとなる。

天正十八年(1590 年)小田原城が落とされ、関東地方は徳川家康の支配下に置かれることになるが、その時 蒼海城に諏訪頼忠が入り、城の北東部に長屋を構えて居住したとされている。そこで、諏訪頼忠は頼永を授かる が、諏訪頼永はその後先祖の地である信濃高島城へ移ることとなる。慶長六年(1601 年)には、諏訪頼永に変 わり秋元長朝が蒼海へ入るが、蒼海城は荒廃していたためであろうか、植野に総社城を築城し移り住んだとされ る。なお、総社城の築城までは時間を要したため、秋元長朝は蒼海城の東に位置する八日市場城を仮の地として 身を置くこととなったようである。秋元長朝が総社城へ移った後は、蒼海城は城としての役割を終え廃城を迎え ることとなる。

蒼海城関連の遺構は本遺跡【1】と元総社蒼海遺跡群(1)【29】・(5)【29】・(6)【37】、元総社小見内Ⅷ遺跡【37】で確認されている。このうち、本遺跡で新旧の2時期にわたる堀、元総社蒼海遺跡群(6)で南北方向に走行する上端幅11mの堀が検出されている。なお、蒼海城周辺で確認されている中世城館の分布はFig. 5に示してある。

参考文献

山崎 一 ほか 1979 『日本城郭大系 第4巻 茨城・栃木・群馬』 株式会社新人物往来社

近藤義雄 1986 『図説・前橋の歴史 群馬県の歴史シリーズ①』 あかぎ出版

群馬県史編さん委員会 1989 『群馬県史 通史編3 中世』 群馬県

山崎 一 1978 『群馬県古城塁址の研究 上巻』 群馬県文化事業振興会

前橋市編さん委員会 1971 『前橋市史 第一巻』 前橋市

秋本太郎 ほか 2008 『史跡箕輪城跡Ⅷ』 高崎市教育委員会

早田 勉 ほか 2008 『更新世の地形発達史と遺跡群の形成』 岩宿博物館・岩宿フォーラム実行委員会

群馬県史編さん委員会 1990 『群馬県史 通史編1 原始古代1』 群馬県

大﨑和久 ほか 2006 『元総社蒼海遺跡群 (6)』 前橋市埋蔵文化財発掘調査団

坂口 一 ほか 2007 『総社閑泉明神北IV遺跡・元総社牛池川遺跡・元総社北川遺跡・元総社小見内V遺跡』 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団

櫻井和哉 ほか 2008 『元総社蒼海遺跡群 (16)』 前橋市埋蔵文化財発掘調査団

阿久澤真一 ほか 2008 『元総社蒼海遺跡群 (13)』 前橋市埋蔵文化財発掘調査団

長谷川一郎 ほか 2001 『元総社小見遺跡』 前橋市埋蔵文化財発掘調査団

長谷川一郎 ほか 2003 『元総社小見Ⅲ遺跡・元総社草作Ⅴ遺跡』 前橋市埋蔵文化財発掘調査団

梅沢克典 ほか 2008 『元総社蒼海遺跡群 (15)』 前橋市埋蔵文化財発掘調査団

近藤雅順 ほか 2006 『元総社蒼海遺跡群 (2)』 前橋市埋蔵文化財発掘調査団

梅沢克典 ほか 2007 『元総社蒼海遺跡群 (12)』 前橋市埋蔵文化財発掘調査団

近藤雅順 ほか 2008 『元総社蒼海遺跡群(14)・元総社蒼海遺跡群(19)』 前橋市埋蔵文化財発掘調査団

金子正人 ほか 2008 『元総社蒼海遺跡群 (17)』 前橋市埋蔵文化財発掘調査団

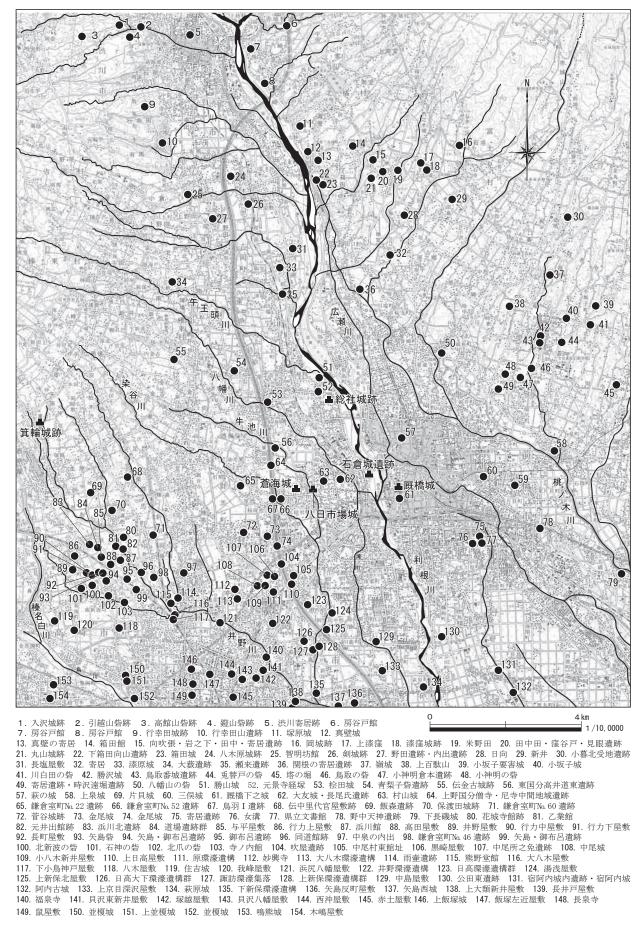


Fig. 5 蒼海城周辺の中世城館分布図(国土地理院発行『前橋』・『榛名山』1/50,000 を 50%縮小)

Ⅲ 調査方針と経過

1 調査方針

委託調査箇所は、前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う道路用地で、調査総面積は 1,313 ㎡である。調査区は 4 つの地点に分かれており、23・24・25・26 地点と名称が付されている。各地区は近接しているわけではなく、場所によって遺跡の性格が大きく異なることも想定されたことから、混乱等を避けるため、遺構名称は各地点ごとに付けることとした。また、離れた地点の調査を同時並行で調査することは困難と判断し、24 地点、25・26 地点、23 地点の順に調査を進めた。調査区に被せる方眼は 2000 年に行われた上野国分尼寺寺域確認調査から用いられている 4 mごとの方眼 (日本測地系)を基準とし、近隣調査との整合性を取りやすくした。グリッドは北西杭の名称を使用し、西から東へX:184、X:185、X:186・・・、北から南へY:129、Y:130、Y:131・・・、と設定した。本遺跡 23 地点の X:185、Y:130 の公共座標は以下のとおりである。

・元総社蒼海遺跡群 (23) 23 地点 **測点** X:185 Y:130

日本測地系: X =43480.000 Y =-71460.000 世界測地系: X =43834.9055 Y =-71751.7606

調査方法は、基本的に表土除去→遺構確認→遺構検出→断面観察→遺構完掘の順に行い、測量及び写真撮影による記録保存は、調査の進捗に合わせて随時行っている。表土除去は 0.45 バックホーで遺構確認面である総社砂層ないしローム漸移層上面まで掘り下げることとした。なお、23 地点においては、浅間 C 軽石混土層がローム漸移層上で確認できたものの、同層での遺構確認は困難を極めると判断したため、ローム漸移層まで掘り下げる運びとなった。遺構確認はジョレンを使用して行い、浅間 C 軽石が混ざる古墳時代から平安時代の黒褐色土と浅間 B 軽石が混ざる中世の黒褐色土の確認に努めた。確認された遺構は基本的に移植ゴテを使用して掘り下げたが、24 地点の堀に限り、壁面・底面付近及び遺物集中部分を除きスコップを使用した。例外として、25・26 地点は民家に囲われ、表土除去による残土搬出が不可能であることから、重機を使用した部分的なトレンチ調査で対応することとした。遺構の検出過程では、ベルトないし半截により遺構の埋没状況を確認し、出土遺物は可能な限りトータルステーションで出土位置及び標高を記録した後に取り上げを行った。

検出された遺構の記録保存は、平面・断面測量及び写真撮影で対応している。遺構図面は平面・断面図とも基本 1/20 縮尺で作成し、いずれもトータルステーションで測量している。遺構写真は、35 mm白黒・35 mmカラーリバーサルフィルムを使用して撮影し、補助として 600 万画素相当のデジタルカメラも利用した。また、23 地点・24 地点の完掘後はラジコンへリコプターによる空撮も行っている。

2 調査経過

現地での発掘調査は平成 20 年 11 月 4 日から平成 21 年 1 月 20 日まで、整理業務は平成 21 年 1 月 13 日~同年 3 月 12 日まで行った。調査経過は以下のとおりである。

平成20年11月4日:プレハブ・簡易トイレ・発掘器材の搬入。11月5日:23 地点の表土除去開始。11月6日:発掘補助員動員。遺構確認・検出作業を開始。11月20日:蒼海城の新段階の堀とともに古段階の堀も確認。12月10日:23 地点の調査と併行して25・26 地点の調査を開始。12月24日:24・25・26 地点の調査を終了し、空撮を実施。12月25日:24・25・26 地点の撤収を行うとともに発掘器材を23 地点へ搬入。平成21年1月5日:23 地点の表土除去開始。1月6日:発掘補助員動員。1月8日:蒼海城関連の南北方向へ走行する堀を確認。1月13日:出土遺物の洗浄・注記・接合を開始。1月16日:23 地点の調査を終了し、空撮を実施。1月19日:発掘器材の撤収。1月20日:プレハブ・簡易トイレを撤収し、現地調査終了。1月21日:図面修正・写真整理開始。1月30日:遺構原稿執筆及び遺物実測開始。2月12日:遺物・遺構トレース開始。2月16日:版組み。2月26日:入稿・校正。3月6日:印刷・製本。3月12日:報告書納品。

IV 標準堆積土層

本遺跡は先述のとおり、 $23 \cdot 24 \cdot 25 \cdot 26$ 地点と調査区が分かれた状態にある。このうち、 $24 \cdot 25 \cdot 26$ 地点は隣接もしくは近い位置に設定されているが、23 地点に関しては、 $24 \cdot 25 \cdot 26$ 地点から北へ 320 mほど離れた位置にある。全ての地点とも染谷川と牛池川に挟まれた台地上に立地し、掘り下げていくと、As-Sj 以降に堆積したとされる総社砂層を確認することができる。この総社砂層は 24 地点で遺構確認面となっているが、23 地点では同層上にローム漸移層・As-C混土の堆積が見られる。なお、23 地点においてはAs-C混土層を遺構確認面とすべきであるが、遺構の重複が激しいことからローム漸移層上面を確認面としている。 $25 \cdot 26$ 地点はトレンチ調査で対応しているが、検出した部分は全て蒼海城の堀底であったため、基本層序は堀底でAs-YPを確認したに留まっている。

総社砂層の下には、部分的にではあるが黒色の泥炭層が $1 \sim 3$ 層確認でき、泥炭層の最下層にはAs - Sjの混入が見られる。 As - Sj 下にはAs - YPが良好な状態で堆積している。

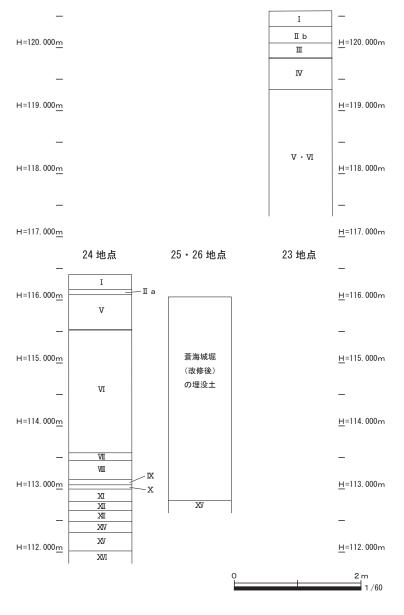


Fig. 6 標準堆積土層

- I . 暗褐色土:現表土。しまり弱。粘性弱。
- Ⅱ a. 暗褐色土:総社砂層ブロック少量、As-B φ 0.2 cm微量含む。しまりやや弱。粘性やや弱。
- II b. 暗褐色土: $A s B \phi 0.2 cm \cdot A s C$ $\phi 0.2 \sim 0.5 cm 少量含む。 しまりやや弱。 粘性やや弱。$
- III . 黒褐色土: $A s C \phi 0.2 \sim 0.5 cm$ 中量含む。 しまりあり。粘性ややあり。 A s C混土。
- IV . にぶい黄褐色土:ローム漸移層。しまりやや弱。 粘性やや弱。
- V . にぶい黄褐色土:総社砂層。流れの強い洪水層。 砂粒多量、礫 φ 0.5 ~ 30.0 cm中量含む。し まり強。粘性なし。
- VI . 暗灰黄色土:総社砂層。流れの緩やかな洪水層。 砂粒多量含む。しまり強。粘性なし。細かい 砂粒と荒い砂粒が互層となる。
- ▼ . 灰黄褐色土:流れの緩やかな洪水層。砂粒多量含む。しまり強。粘性弱。
- Ⅲ . 黒褐色土:泥炭層。鉄分の沈着が少量見られる。しまりあり。粘性強。
- IX . 暗褐色土:泥炭層。鉄分の沈着が少量見られる。 しまりあり。粘性強。
- X . 灰黄褐色土:流れの緩やかな洪水層。砂粒多量含む。しまりあり。粘性弱。
- XI . 黒褐色土:泥炭層。 $As-Sj \phi 0.2 \sim 1.0$ cm中量含む。鉄分の沈着が少量見られる。しまりあり。粘性強。
- XII . 黒褐色土:泥炭層。鉄分の沈着が少量見られる。 しまりあり。粘性強。
- Ⅲ . 灰黄褐色土:流れの緩やかな洪水層。砂粒多量含む。しまりあり。粘性弱。
- XV . 灰黄褐色土:流れの緩やかな洪水層。砂粒多量、 $As-YP\phi$ 0.2~1.0 cm中量含む。しまりあり。粘性弱。
- XV . A s -Y P 次堆積層。 ϕ 0.2 \sim 1.0 cm σ 軽石。 しまり弱。粘性なし。
- II . 灰黄褐色土:流れの緩やかな洪水層。砂粒多量含む。しまりあり。粘性弱。

V 23 地点

1 23 地点概要 (Fig. 7、PL. 1)

23 地点の調査では、竪穴住居跡 20 軒・土坑 9 基・溝 6 条・ピット 25 基が検出されている。竪穴住居跡の時期は古墳時代末と平安時代に大別でき、古墳時代末の住居跡は $H-2\cdot3\cdot7\cdot8\cdot10\cdot16$ 号住居跡で、平安時代の住居跡は $H-1\cdot5\cdot6\cdot11\cdot12\cdot15\cdot18$ 号住居跡である。なお、 $H-4\cdot9\cdot13\cdot14\cdot17\cdot19\cdot20$ 号住居跡に関しては、住居跡の遺存状態が不良であり、なおかつ出土遺物も散見されなかったことから帰属時期を捉えるに至らなかった。土坑は調査を進めた結果、 $D-1\cdot2$ 号土坑が井戸、D-5 号土坑が倒木痕であることが捉えられている。なお、D-1 号土坑は、埋没土上位に現代の遺物が混入し、D-2 号土坑の埋没土中には A S-B の混入が見られる。溝はW-1 号溝が蒼海城に関連する堀と考えられ、宝篋印塔や 14 世紀後半に比定される青磁の碗が出土している。また、W-1 号溝は、蒼海城本丸(新段階)西側を南北方向に走行する堀の延長線上に位置している(Fig. 4 参照)。W-2 号溝は、東西方向に走行する溝でW-1 号溝との関連性を窺わせるものである。埋没土中からは 14 世紀~15 世紀代の軟質陶器片が出土している。その他、 $W-3\cdot4$ 号溝が A S-B 降下以降と推測されるものである。 $W-5\cdot6$ 号溝の詳細時期は不明である。

2 竪穴住居跡

H-1号住居跡(遺構: Fig. 8、PL. 2/遺物: Fig. 32、Tab. 4、PL. 6)

位置:X:185・186、Y:135・136 グリッド。主軸方位:N-86°-W。重複:H-6・9 号住居跡、W-1・ 3号溝、D-8・9号土坑と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-6号住居跡より新しく、 $D-8\cdot9$ 号土坑・ $W-1\cdot3$ 号溝より古い。H-9 号住居跡との新旧関係は不明。**形状**:隅丸方形状を呈する。 規模: 4.50 m× (3.45) m。**残存深度**: 0.53 m。**面積**: (15.53) ㎡。**床面の状態**: 比較的平坦で、しまりは弱い。 住居跡中央から北東寄りに 1.48 m×1.43 m、深さ 0.46 mの楕円形状を呈する土坑が確認されている。カマド: カマドの据え替えが行われており、新旧二つのカマドが確認されている。旧カマドは、住居跡東壁の南端に設置 されており、全長 1.15 m・最大幅 0.50 m・主軸方位 N-60°-Wを測る。断面形状は「U」字状で、埋没土に はAs-C・ローム粒・焼土・灰を含む暗褐色土を主体とした土により埋められている。また、住居の壁面を構 築するために粘土でカマドを塞いでいる。新カマドは、住居跡南東コーナーに設けられており、全長 0.99 m・ 最大幅 0.48 m・主軸方位 N-50°-Wを測る。断面形状は「U」字状で、As-C・ローム粒・焼土・白色粘 土を含む暗褐色を主体とした土で埋没している。袖・焚き口部分は残存していない。貯蔵穴:旧カマド南西に0.61 m×0.61 m、深さ0.30 mの円形状を呈する貯蔵穴が存在する。As-C・ローム粒を含む暗褐色を主体とした 土により埋没している。本貯蔵穴は、カマドとの位置関係から、旧カマドに伴うものと想定される。 柱穴:確認 されていない。掘り方:確認されていない。遺構埋没状態:As-C・ローム粒を含む暗褐色を主体とした土に よる自然埋没と想定される。遺物出土状態:埋没土中より須恵器碗が出土している。時期:10世紀後半と想定 される。

H-2号住居跡(遺構: Fig. 9、PL. 2/遺物: Fig. 32、Tab. 4、PL. 6)

位置: $X:185\cdot186$ 、Y:129 グリッド。主軸方位: $N-65^\circ-E$ 。重複: H-16 号住居跡、W-4 号溝と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-16 号住居跡、W-4 号溝より古い。形状: 方形ないし長方形状を呈するものと推測される。規模: $-m\times\langle 2.77\rangle$ m。残存深度: 0.43 m。面積: -m。床面の状態: カマド周辺がやや窪む状態にあり、比較的しまる。カマド: 全長 1.50 m・最大幅 0.52 m・燃焼部幅 0.67 m・

主軸方位N -68° - Eを測る。断面形状は「U」字状で、埋没土にはAs-C・ローム粒・焼土・炭化粒を含む暗褐色土を主体とした土により埋没しており、最下層には灰層が残る。袖は白色粘土を使用して構築されており、焚き口は床面よりやや窪む状態にある。貯蔵穴:確認されていない。柱穴:推定範囲内に1 基のピットが確認されている。規模は $0.27~m \times 0.23~m$ 、深さ0.34~mを測り、楕円形状を呈する。掘り方:住居跡西側はW-4号溝との重複で確認されなかったものの、東側でAs-Cとローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土が確認されている。遺構埋没状態:As-C・ローム粒を含む暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態:カマド正面付近の床面直上に集中して土師器坏・甕、須恵器甕が出土している。時期:7 世紀前半と想定される。

H-3号住居跡(遺構: Fig. 10、PL. 2/遺物: Fig. 32、Tab. 4、PL. 6)

位置: $X:187\cdot188$ 、 Y:136 グリッド。主軸方位: $N-77^\circ-E$ 。重複: W-3 号溝と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、W-3 号溝より古い。 B 形状:隅丸方形ないし隅丸長方形状を呈するものと推測される。 規模: $4.40~\text{m} \times \langle 3.12 \rangle \text{ m}$ 。 残存深度: 0.46~m。 面積: $\langle 13.73 \rangle \text{ m}$ 。 床面の状態: 平坦で、全体的に硬くしまる。住居跡中央から北西よりに $1.06~\text{m} \times 0.75~\text{m}$ 、深さ 0.16~mの浅い窪みが見られる。 カマド: 確認されていないが、住居跡検出範囲の南東端で埋没土中に焼土が混入する状況が捉えられていることから、同部分の東側にカマドが設置されているものと推測される。 貯蔵穴: 確認されていない。 柱穴: 推定範囲内に 2 基のピットが確認されている。 規模は P-1 が $0.41~\text{m} \times 0.40~\text{m}$ 、深さ 0.50~m、P-2 が $0.31~\text{m} \times 0.28~\text{m}$ 、深さ 0.50~m を測り、いずれも平面円形状を呈する。 掘り方: A_8-C_9 によりを含み、しまりを有する暗褐色土で構築されている。 遺構埋没状態: A_8-C_9 に上して土による自然埋没と想定される。 遺物出土状態: 床面直上に散在する状態で面直上に集中して土師器坏、須恵器坏が出土している。 時期: 0.25~m 世紀後半と想定される。

H-4号住居跡(遺構: Fig. 11)

位置: $X:187\cdot188$ 、Y:129 グリッド。主軸方位: $N-86^\circ$ -W。重複:倒木痕と重複する。埋没土層の観察から本住居跡は、倒木痕より古い。形状:方形ないし長方形状を呈するものと推測される。規模: $\langle 3.25 \rangle$ m× $\langle 1.43 \rangle$ m。残存深度:0.39 m。住居跡南側における壁面の立ち上がりは確認できなかった。面積: $\langle 4.65 \rangle$ ㎡。床面の状態:平坦で、全体的にややしまる。カマド:確認されていない。貯蔵穴:確認されていない。柱穴:確認されていない。掘り方:確認されなかった。遺構埋没状態: $As-C\cdot$ ローム粒・炭化粒を含む暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態:遺物の出土は見られなかった。時期:不明。

H-5号住居跡(遺構:Fig. 12、PL. 2/遺物:Fig. 32・33、Tab. 4・5、PL. 6・7)

位置: $X:185\cdot186$ 、 $Y:134\cdot135$ グリッド。主軸方位: $N-84^\circ-E$ 。重複: $H-6\cdot15$ 号住居跡と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、 $H-6\cdot15$ 号住居跡より新しい。形状: 方形状を呈するものと想定される。規模: (3.75) m×3.59 m。残存深度: 0.28 m。面積: (13.46) ㎡。床面の状態: 住居跡東側がやや窪むものの比較的平坦で、全体的にややしまる。カマド: 住居跡の南東コーナーに設置されており、全長 1.20 m・最大幅 0.48 m・燃焼部幅 0.40 m・主軸方位 $N-43^\circ-W$ を測る。断面形状は「U」字状で、As-C・ローム粒・焼土・炭化粒・白色粘土を含む暗褐色土を主体とした土により埋没しており、最下層には灰層が残る。袖は芯材の礫に白色粘土を被せて構築されている。天井部の芯材には古代の平瓦が使用されている。焚き口は床面よりやや窪む状態にある。貯蔵穴: 確認されていない。 柱穴: 確認されていない。 掘り方: As-C・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態: As-C・ローム粒・炭化粒を含む暗



Fig. 7 23 地点全体図

褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態:カマド内部・正面付近の床面直上に集中して おり、須恵器坏・碗、灰釉陶器碗、羽釜、土釜が出土している。また、カマドの構築材に古代の平瓦を使用して いる。時期:11世紀前半と想定される。

H-6号住居跡(遺構: Fig. 12・13、PL. 2/遺物: Fig. 34・35、Tab. 5・6、PL. 7・8)

位置:X:186・187、Y:135 グリッド。主軸方位:N-52°-W。重複:H-1・5・15 号住居跡と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-1・5 号住居跡より古い。H-15 号住居跡との新旧関係は不明である。形状:方形状を呈するものと想定される。規模:(3.75)m×3.59 m。残存深度:0.28 m。面積:(13.46)m。床面の状態:多少の凸凹が見られるものの比較的平坦で、全体的にややしまる。カマド:住居跡南東壁に設置されており、全長 0.89 m・最大幅 0.64 m・燃焼部幅 0.58 m・主軸方位 N-44°-Wを測る。断面形状は「U」字状で、As-C・焼土・炭化粒・灰・白色粘土を含む暗褐色土を主体とした土により埋没している。袖は芯材の礫・古代の平瓦に白色粘土を被せて構築されている。焚き口は床面よりやや窪む状態にある。貯蔵穴:カマド南西脇で確認されており、0.61 m×0.52 m、深さ0.24 mの円形状を呈する。埋没土にはAs-C・ローム粒・焼土・灰・白色粘土が含まれる。柱穴:確認されていない。掘り方:As-C・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態:As-C・ローム粒・炭化粒を含む暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態:カマド内部・周辺の床面直上がら多量の須恵器坏・碗が出土している。また、カマドの構築材に古代の平瓦を使用している。時期:10 世紀前半と想定される。

H-7号住居跡(遺構: Fig. 11、PL. 3/遺物: Fig. 35、Tab. 6、PL. 8)

位置: $X:186\cdot187$ 、Y:129 グリッド。主軸方位: $N-88^\circ-W$ 。重複:攪乱土坑と重複し、住居跡の大半は壊されている。規模:3.57 m× $\langle 0.84 \rangle$ m。残存深度:0.37 m。面積: $\langle 3.00 \rangle$ m³。床面の状態:住居跡中央に向けてやや床面は低くなり、多少の凸凹が見られる。全体的にややしまる。カマド:検出範囲内では確認されていないが、東壁付近の埋没土中に白色粘土の混入が認められることから、東壁に設置されている可能性が高いものと想定される。貯蔵穴:確認されていない。柱穴:確認されていない。掘り方: $As-C\cdot$ ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態: $As-C\cdot$ ローム粒を含む暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態:住居跡南西コーナー付近の床面直上から須恵器小型壺と底面に孔が穿たれた土師器坏が出土している。時期:7世紀後半と想定される。

H-8号住居跡(遺構:Fig. 14・15、PL. 3/遺物:Fig. 35、Tab. 6、PL. 8)

位置: $X:185\cdot186$ 、 $Y:131\cdot132$ グリッド。主軸方位: $N-65^\circ-E$ 。重複: $H-11\cdot16$ 号住居跡と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、 $H-11\cdot16$ 号住居跡より古い。形状:長方形状を呈する。規模: $5.23~m\times3.30~m$ 。残存深度:0.22~m。面積:17.26~m。床面の状態:多少の凸凹が見られるものの比較的平坦で、全体的にややしまる。北西壁の東半では壁周溝と想定される溝が確認されている。カマド:明確な確認はなされなかったが、北西壁南側周辺の埋没土中に焼土粒・灰・白色粘土が混入することから、同部分にカマドが設置されていた可能性が高いものと想定される。貯蔵穴:住居跡北東コーナー付近で確認されており、規模は $0.76~m\times0.62~m$ 、深さ0.59~mを測る。平面長方形、断面逆台形状を呈し、 $As-C\cdot$ ローム粒を含む暗褐色を主体とした土で埋没している。また、貯蔵穴の周りには幅 $5\sim18~m$ 程のテラスが確認されており、貯蔵穴蓋の設置痕と想定される。柱穴:推定範囲内に1基のピット(P-1)が確認されている。規模は $0.45~m\times0.41~m$ 、深さ0.51~mを測り、楕円形状を呈する。掘り方: $As-C\cdot$ ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態: $As-C\cdot$ ローム粒を含む暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土

状態:埋没土中から土師器坏・壺、赤色顔料の塊が出土している。時期:7世紀前半と想定される。

H-9号住居跡(遺構: Fig. 16、PL. 3/遺物: Fig. 36、Tab. 6、PL. 8)

H-10号住居跡(遺構: Fig. 17、PL. 3/遺物: Fig. 36、Tab. 6・7、PL. 9)

位置: $X:186\cdot187$ 、 $Y:130\sim132$ グリッド。主軸方位: $N-88^\circ$ - E。重複: $W-5\cdot6$ 号溝と重複するが、新旧関係は不明である。規模: 5.31 m× 5.19 m。残存深度: 0.23 m。面積: 27.56 m。床面の状態: 比較的平坦で、しまる。カマド: 住居跡の東壁中央のやや南寄りに設置されており、全長 1.23 m・最大幅 0.67 m・燃焼部幅 0.41 m・主軸方位 $N-90^\circ$ を測る。断面形状は「U」字状で、As-C・ローム粒・焼土・灰・白色粘土を含む暗褐色土を主体とした土により埋没している。袖は白色粘土を使用して構築されており、焚き口は床面よりやや窪む状態にある。貯蔵穴: 確認されていない。柱穴: 推定範囲内に 4 基のピットが確認されている。各ピットの規模は P-1 が 0.31 m× 0.30 m、深さ 0.40 m、P-2 が 0.39 m× 0.36 m、深さ 0.40 m、P-3 が 0.30 m× 0.29 m、深さ 0.40 m、0.40 m 0.40 m、0.40 m 0.40 m

H-11号住居跡(遺構: Fig. 18/遺物: Fig. 36、Tab. 7、PL. 9)

位置: X:186、Y:132 グリッド。主軸方位: N-84°-E。重複: H-8号住居跡と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡はH-8号住居跡より新しい。規模: -m×-m。残存深度: 0.19 m。面積: -m³。床面の状態: 掘り方のみの検出となっているため詳細は不明。カマド: 住居跡の東壁に付設される。カマドも掘り方のみの検出となっており、全長 0.86 m・主軸方位 N-90°を測る。掘り方の断面形状は「U」字状で、焼土化した煙道の壁面が良好な状態で確認されている。煙道に僅かに残る暗褐色の埋没土にはAs-C・ローム粒・焼土・炭化粒灰・白色粘土の混入が見られる。貯蔵穴: カマドの南脇で確認されており、規模は1.29 m×0.89 m深さ 0.54 mを測り、楕円形状を呈する。また、貯蔵穴の壁面及び底面には、灰色の粘土が薄く貼られている状況が捉えられている。埋没土は暗褐色を主体とした土で、As-C・ローム粒・白色粘土粒が含まれ、多量の土器が出土している。柱穴: 確認されていない。掘り方: 貼床は断面で僅かに残存しており、As-C・ローム粒を含み、硬くしまる。貼床の下はAs-C・ローム粒・炭化粒・白色粘土を含む暗褐色を主体とした土により埋められている。遺構埋没状態: 不明。遺物出土状態: 貯蔵穴内から須恵器坏・碗が多量に出土している。時期: 10 世紀前半と想定される。

H-12号住居跡(遺構: Fig. 19・20、PL. 4/遺物: Fig. 37、Tab. 7、PL. 9)

H-13号住居跡(遺構: Fig. 21、PL. 3)

位置: $X:187\cdot188$ 、Y:132 グリッド。主軸方位: $N-44^\circ-E$ 。重複: なし。規模: $\langle 2.83\rangle$ m× $\langle 2.00\rangle$ m。 残存深度: 0.09 m。面積: $\langle 5.66\rangle$ ㎡。床面の状態: 平坦でしまる。カマド: 検出範囲内では確認されていない。貯蔵穴: 確認されていない。柱穴: 確認されていない。掘り方: $As-C\cdot$ ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態: $As-C\cdot$ ローム粒を含む暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: 不明。

H-14号住居跡(遺構:Fig. 19、PL. 4)

位置: X:186、Y:133 グリッド。主軸方位: $N-61^\circ$ - E。重複: H-12 号住居跡、W-2 号溝、D-5 号土坑(倒木痕)と重複する。埋没土層の観察から本住居跡はH-12 号住居跡、W-2 号溝、D-5 号土坑より古い。規模: $\langle 1.78 \rangle$ m× $\langle 1.76 \rangle$ m。**残存深度**: 0.22 m。面積: $\langle 3.13 \rangle$ m³。床面の状態: 比較的平坦でしまる。カマド:検出範囲内では確認されていない。貯蔵穴: 確認されていない。柱穴: 確認されていない。掘り方: A S-C · U - U

H-15号住居跡(遺構: Fig. 22、PL. 4/遺物: Fig. 37、Tab. 7・8、PL. 10)

位置:X:187、Y:134 グリッド。主軸方位: $N-45^\circ$ -W。重複: $H-5\cdot6$ 号住居跡、W-2 号溝と重複する。出土遺物と埋没土層の観察から本住居跡はH-5 号住居跡、W-2 号溝より古い。H-6 号住居跡との新旧関係は不明。規模: $\langle 3.05 \rangle$ $m \times -m$ 。残存深度:0.17 m。面積:-m。床面の状態:壁面付近の床面はやや高い。全体的には比較的平坦で、全体的にややしまる。カマド:住居跡南東壁に付設されているが、重複が激しいことから、左袖一部の検出に留まっている。規模は全長 0.52 $m\cdot$ 主軸方位 $N-30^\circ$ -W を測る。袖の構築には白色の粘土が使用されている。貯蔵穴:確認されていない。柱穴:推定範囲内において 1 基のピット(P-1)が確認されている。規模は 0.50 $m \times 0.42$ m、深さ 0.17 m を測り、平面形状は楕円形状を呈する。掘り方:A s-C ・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態:A s-C ・ローム粒を含む暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態:カマドの周辺から須恵器碗、カマドの構築材として使われたと推測される古代の丸瓦・平瓦が出土している。時期:10 世紀前半と想定される。

H-16号住居跡(遺構: Fig. 23、PL. 4/遺物: Fig. 37・38、Tab. 8、PL. 10)

位置:X:185・186、Y:129 ~ 131 グリッド。主軸方位:N -55° - E。重複:H - 2 ・ 8 号住居跡、D - 2

号土坑、W-1・4号溝、P-14と重複する。出土遺物と埋没土層の観察から本住居跡はH-2・8号住居跡より新しく、D-2号土坑・W-1・4号溝・P-14よりも古い。規模: (5.41) m×5.11 m。残存深度: 0.40 m。面積: (27.65) ㎡。床面の状態: 多少の凸凹が見られるが、比較的平坦でしまる。カマド: P-14により壊されているが、住居跡北東壁中央から南寄りに設置されており、全長1.24 m・最大幅0.70 m・燃焼部幅0.48 m・主軸方位N-58°-Eを測る。断面形状は「U」字状で、As-C・ローム粒・焼土・灰を含む暗褐色土を主体とした土により埋没しており、埋没土の下位では灰を多量に含む層が認められる。袖は白色粘土を使用して構築されている。なお、右袖部分には構築材の礫を引き抜いたと推測される不整形な小ピット(P-6)が認められる。貯蔵穴:確認されていない。柱穴:推定範囲内に6基のピットが確認されており、このうちP-1~P-4は配列から柱穴と想定される。各ピットの規模はP-1が0.31 m×0.30 m、深さ0.40 m、P-2が0.39 m×0.36 m、深さ0.40 m、P-3が0.30 m×0.29 m、深さ0.40 m、0.40 m を測る。なお、柱穴(0.40 m では、0.40 mを測る。なお、柱穴(0.40 m では、0.40 mを測る。なお、柱穴(0.40 m では、0.40 mを測る。なお、柱穴(0.40 m では、0.40 m では、0.40 m では、0.40 mを測る。なお、柱穴(0.40 m では、0.40 m では、0.40 m では、0.40 mを測る。なお、柱穴(0.40 m では、0.40 mを測る。なお、柱穴(0.40 m では、0.40 m では、0.40 m では、0.40 m では、0.40 mを引きる。なお、柱穴(0.40 m では、0.40 m では、0.40 m では、0.40 mを測る。なお、柱穴(0.40 m では、0.40 m では、0.40 mを測る。なお、柱穴(0.40 m では、0.40 m では、0.40 mを測る。なお、柱穴(0.40 m では、0.40 m では、

H-17号住居跡(遺構: Fig. 24、PL. 4)

位置: $X:187\cdot188$ 、 $Y:134\cdot135$ グリッド。主軸方位: $N-89^\circ$ - E。重複: W-2 号溝と重複する。埋没土層の観察から本住居跡はW-2 号溝より古い。規模: $\langle 3.63 \rangle$ m× $\langle 1.72 \rangle$ m。残存深度: 0.28 m。面積: (27.65) m³。床面の状態: 多少の凸凹が見られるが、比較的平坦でしまる。カマド: 検出範囲内では確認されていない。貯蔵穴: 確認されていない。柱穴: 確認されていない。掘り方: As-C・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態: As-C・ローム粒を含む暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: 不明。

H-18号住居跡(遺構: Fig. 25、PL. 5/遺物: Fig. 38、Tab. 8、PL. 11)

H-19号住居跡(遺構: Fig. 26、PL. 5)

位置: X:187・188、Y:133 グリッド。主軸方位: N-50° - E。重複: W-2号溝、D-5号土坑(倒木痕)、 攪乱土坑2基と重複する。埋没土層の観察から本住居跡はW-2号溝より古く、D-5号土坑より新しい。規模: ⟨2.40⟩ m×⟨1.81⟩ m。残存深度: 0.09 m。面積: ⟨4.34⟩ ㎡。床面の状態: 掘り方のみの検出となっている ため詳細は不明。北東壁付近で1.17 m×1.17 m、深さ34 mの土坑(D-1) が確認されている。カマド: 検 出範囲内では確認されていない。**貯蔵穴**:確認されていない。**柱穴**:確認されていない。**掘り方**: $A s - C \cdot p - \Delta t = \Delta t$

H-20号住居跡(遺構:PL.5)

位置: X:187、Y:132 グリッド。主軸方位: $N-60^\circ$ - E。重複: H-12 号住居跡、 $W-5\cdot 6$ 号溝と重複する。 埋没土層の観察から本住居跡はH-12 号住居跡より古い。 $W-5\cdot 6$ 号溝との新旧関係は不明。規模: $\langle 2.94\rangle$ m× $\langle 1.67\rangle$ m。残存深度: 0.07 m。面積: $\langle 4.91\rangle$ ㎡。床面の状態: 掘り方のみの検出となっているため詳細は不明。カマド: 検出範囲内では確認されていない。貯蔵穴: 確認されていない。柱穴: 確認されていない。掘り方: $As-C\cdot D-\Delta$ 粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態: 不明。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: 不明。

3 十坑 (遺構: Fig. 7、Tab. 2、PL. 1)

23 地点において土坑は 9 基確認されている。調査の結果、 $D-1 \cdot 2$ 号土坑は井戸、D-5 号土坑は倒木痕であることが判明している。D-1 号土坑の埋没土上位では現代遺物の混入が見られるが、下位では見られない。現代遺物は井戸が埋没することで窪地と姿を変えた段階で投棄されたものと考えられる。各土坑の計測値等は Tab. 2 に示してある。

Tab. 2 23 地点土坑一覧表

遺構名	グリッド	規模(m)	深さ (m)	平面形態	遺物	備考
D-1号土坑	X:186 Y:136	1.55 × 1.49	1.38 以上	円形	上位に現代	井戸。埋没土にAs-B混入。下位には現代遺物は見られ
					遺物	ない。
D-2号土坑	X :186 Y :130	1.92 × 1.86	0.75以上	不整円形	_	井戸。埋没土にAs-B混入。H-16号住居跡と重複し、 本土坑が新しい。
D-3号土坑	X:188 Y:131	- × 1.22	0. 45	楕円形	_	As-C・ローム粒を含む暗褐色土で埋没。
D-4号土坑	X:187 Y:135	0.72×0.61	0.44	楕円形	_	As-C・ローム粒を含む暗褐色土で埋没。
D-5号土坑	X :187 Y :133	⟨1.81⟩ × 1.51	0. 62	不整楕円形	_	倒木痕。H-14・19 号住居跡・W-2 号溝と重複し、本 土坑はH-19 号住居跡・W-2 号溝より古く、H-14 号 住居跡より新しい。
D-6号土坑	X :185 Y :133	$\langle 1.58 \rangle \times 1.41$	0. 26	隅丸方形	_	As-C・ローム粒を含む暗褐色土で埋没。W-1号溝と 重複し、本土坑はW-1号溝より古い。
D-7号土坑	X:188 Y:132	$\langle 1.15 \rangle \times \langle 0.81 \rangle$	0. 12	不整長方形	_	As-C・ローム粒・焼土粒・炭化粒を含む暗褐色土で埋没。
D-8号土坑	X :185 Y :135	1.29 × (0.86)	_	円形?	_	As-B・総社砂層を含む暗褐色土で埋没。 $H-1$ 号住居跡・ $D-9$ 号土坑・ $W-1$ 号溝と重複し、本土坑は $D-9$ 号土坑・ $W-1$ 号溝より古く、 $H-1$ 号住居跡より新しい。
D-9号土坑	X :185 Y :136	1.02 × (0.30)		楕円形?	_	As-B・総社砂層を含む暗褐色土で埋没。 $H-1$ 号住居跡・ $D-8$ 号土坑、 $W-1$ 号溝と重複し、本土坑は $W-1$ 号溝より古く、 $H-1$ 号住居跡・ $D-8$ 号土坑より新しい。

W-1号溝(遺構: Fig. 27・28、PL. 5/遺物 Fig. 39、Tab. 8、PL. 11)

位置: $X:183\sim185$ 、 $Y:129\sim136$ グリッド。主軸方位: N-3° -W。重複: $H-1\cdot9\cdot16\cdot18$ 号住居跡・ $D-6\cdot8\cdot9$ 号土坑・W-3 号溝と重複する。出土遺物と埋没土層の観察から、本溝はいずれの遺構よりも新しい。規模: 上端幅〈4.87〉~〈5.65〉m、下端幅 $0.22\sim0.53$ m。断面形状: 逆台形状を呈するが、西側でテラス面を有する。残存深度: 2.64 m。底面の状態: 多少の凸凹は見られるが比較的平坦である。流水及び帯水の痕跡は認められない。遺構埋没状態: $As-B\cdot As-C\cdot U$ 一ム粒・総社砂層ブロックを含む暗褐色を主体とした土により埋没している。埋没土の下位では西側からの埋没が目立つが、中位から上位にかけては東側からの埋没

が目立つ状態にある。また、総社砂層のブロックに風化現象が見られないことから、人為的な埋没と想定される。 埋没土の21層では、堀西壁の立ち上がりからの連続性が窺えることから、堀の重複(作り直し)も推測される。 遺物出土状態:埋没土の下位から青磁碗・宝篋印塔の相輪部が出土している。時期:青磁碗の時期から14世紀 後半以降に帰属するものと想定される。備考:蒼海城関連の堀と想定される。W-1号溝は蒼海城新段階におけ る本丸西側を南北方向に走行する堀の延長線上に位置するものである(Fig. 4参照)。

W-2号溝(遺構: Fig. 29、PL. 5/遺物 Fig. 39、Tab. 8・9、PL. 11)

位置: $X:185\sim188$ 、 $Y:133\sim134$ グリッド。主軸方位: $N-89^{\circ}-E$ 。重複: $H-14\cdot15\cdot17\cdot19$ 号住居跡・D-5 号土坑と重複する。出土遺物と埋没土層の観察から、本溝はいずれの遺構よりも新しい。規模: 上端幅 2.04 ~2.63 m、下端幅 $0.40\sim0.91$ m。断面形状: 逆台形状を呈する。残存深度: 1.20 m。底面の状態: 多少の凸凹は見られるが比較的平坦である。流水及び帯水の痕跡は認められない。遺構埋没状態: $As-C\cdot$ ローム粒・ロームブロックを含む暗褐色を主体とした土により埋没している。埋没土の観察では北側からの埋没が目立ち、ロームブロックに風化現象が見られないことから、人為的な埋没と想定される。遺物出土状態: 埋没土の中から上位で軟質陶器の内耳鍋・鉢及び獣骨が出土している。時期: 軟質陶器の時期から 14 世紀~15 世紀以降に帰属するものと想定される。備考: 蒼海城関連の堀と想定される。本溝を西へ延長させると、W-1 号溝とほぼ直交する状態にある。

W-3号溝(遺構: Fig. 30/遺物 Fig. 39、Tab. 9、PL. 11)

位置: $X:185\sim188$ 、Y:136 グリッド。主軸方位: $N-88^\circ$ - E。重複: $H-1\cdot3$ 号住居跡・W-1 号溝と重複する。出土遺物と埋没土層の観察から、本溝はW-1 号溝より古く、 $H-1\cdot3$ 号住居跡より新しい。規模: 上端幅 $0.53\sim1.24$ m、下端幅 $0.24\sim0.66$ m。断面形状: 皿状を呈するものと想定される。残存深度: 0.43 m。底面の状態: 細かい起伏を有する。流水及び帯水の痕跡は認められない。遺構埋没状態: $As-B\cdot As-C\cdot U-L$ 公粒を含む暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態: 埋没土の中から須恵器碗が出土している。時期: 10 世紀前半に比定される須恵器碗が出土しているものの、埋没土中にAs-B が混入することから、As-B 降下以降(1108 年以降)と想定される。備考: 性格不明。

W-4号溝(遺構: Fig. 31)

位置: X:185、Y:129・130 グリッド。主軸方位: N-0°。重複: H-2・16 号住居跡と重複する。埋没土層の観察から、本溝はH-2・16 号住居跡より新しい。規模: 上端幅 2.69 ~ 3.12 m、下端幅 1.60 ~ 2.81 m。断面形状: 皿状を呈する。残存深度: 0.41 m。底面の状態: 細かい起伏を有する。流水及び帯水の痕跡は認められない。遺構埋没状態: As-B・As-C・ローム粒を含む暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: 埋没土中にAs-Bが混入することから、As-B降下以降(1108 年以降)と想定される。備考: 性格不明。

W-5号溝(遺構: Fig. 7)

位置: X:186·187、Y:132 グリッド。主軸方位: N-80°-W。重複: H-10·20 号住居跡、W-6 号溝、P-3・4 と重複するが、新旧関係は不明。規模: 上端幅 0.51 ~ 0.81 m、下端幅 0.41 ~ 0.69 m。断面形状: 皿状を呈する。残存深度: 0.11 m。底面の状態: 細かい起伏を有する。流水及び帯水の痕跡は認められない。遺構埋没状態: As-C・ローム粒を含む暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: 不明。備考: 性格不明。

W-6号溝(遺構: Fig. 7)

位置: X:186、Y:132 グリッド。主軸方位: $N-86^\circ$ - E。重複: $H-10\cdot12\cdot20$ 号住居跡、W-5 号溝と重複するが、新旧関係は不明。規模: 上端幅 $0.70\sim0.87$ m、下端幅 $0.39\sim0.65$ m。断面形状: 皿状を呈する。残存深度: 0.08 m。底面の状態: 細かい起伏を有する。流水及び帯水の痕跡は認められない。遺構埋没状態: $As-C\cdot$ ローム粒を含む暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: 不明。備考: 性格不明。

5 ピット (遺構: Fig. 7、Tab. 3)

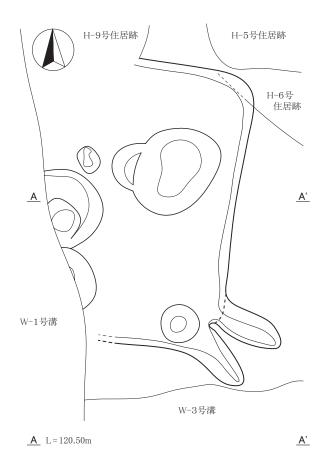
23 地点においてピットは 15 基確認されている。このうちの 10 基は調査区北側に集中するが、掘立柱建物跡 等の配列は窺えない。各ピットの計測値等は Tab. 3 に示してある。

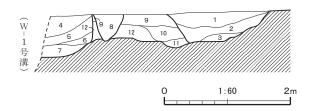
Tab. 3 23 地点ピット一覧表

遺構名	グリッド	規模(m)	深さ(m)	平面形態	遺物	備 考
P - 1	X :187 Y :132	0.61×0.50		楕円形	-	暗褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 2	X:186 · 187 Y:129	0.92×0.55	0. 15	楕円形	_	黒褐色の埋没土にAs-C・ローム粒・白色粘土混入。
P - 3	X:187 Y:132	0.51×0.43	0. 15	楕円形	_	黒褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P-4	X:186 Y:132	0.52×0.37	0.18	楕円形	_	暗褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 5	X:186 Y:129	0.71×0.63	0.13	楕円形	_	黒褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 6	X:186 Y:129	0.55×0.39	0.02	楕円形	_	黒褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 7	X:186 Y:129	0.58×0.45	0.43	楕円形	_	黒褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 8	X:186 Y:129	0.31×0.29	0.07	円形	_	黒褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 9	X:186 Y:129	0.57×0.33	0. 15	不整楕円形	_	黒褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 10	X:187 Y:130	0.37×0.33	0.07	楕円形	_	黒褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 11	X:186 Y:130	0.31×0.31	0. 21	円形	_	黒褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 12	X:186 · 187 Y:130	0.34×0.28	0. 15	楕円形	_	黒褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 13	X:187 Y:130	0.37×0.31	0.11	楕円形	_	黒褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 14	X:186 Y:130	0.55×0.51	0. 28	楕円形	_	暗褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 15	X:186 Y:131	0.66×0.41	0.34	楕円形	_	暗褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。

6 遺構外出十遺物(遺物: Fig. 39、Tab. 9、PL. 11)

遺構外出土遺物として、8点の遺物を提示した。このうち $1\sim5$ は7世紀から8世紀代に帰属するもので、本地点で確認された住居跡の時期に伴うものである。6は古代の瓦であるが、 $H-5\cdot6$ 号住居跡での類例を見ると、カマドの構築材として平安時代の住居跡に再利用されたものと推測できよう。 $7\cdot8$ は白磁で7は皿、8は 碗である。これらの遺物は $W-1\cdot2$ 号溝と同様に蒼海城に関連するものと想定される。





H-1号住居跡土層説明

1. 暗褐色土: As-Co0.2~0.5 cm中量、ローム粒少量含む。しまり あり。粘性ややあり。土坑埋没土。

2. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 cm・ローム粒少量含む。 しまりあり。粘性

ややあり。土坑埋没土。 3. 暗褐色土: ローム粒中量、As - Cφ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。土坑埋没土。

4. 暗褐色土: A s − B φ 0.2 cm中量、A s − C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム 粒少量含む。しまりあり。粘性やや弱。溝埋没土。

5. 暗褐色土: A s - B φ 0.2 cm・A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少

量含む。しまりあり。粘性やや弱。溝埋没土。

6. 暗褐色土: ロームブロック φ 0.2 ~ 0.3 cm中量、A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。溝埋没土。

7. 暗褐色土: ローム粒中量、 $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm少量含む。しまり

あり。粘性ややあり。溝埋没土。

8. 暗褐色土: As-C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。

料性ややあり。土坑埋没土。 9. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm中量、ローム粒少量含む。しまり

あり。粘性ややあり。H-1住埋没土。

10. 暗褐色土: As-C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒微量含む。しまり あり。粘性ややあり。H-1住埋没土。

11. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm中量、ローム粒・焼土粒少量含む。

しまりあり。粘性ややあり。H-1住埋没土。

12. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒中量含む。しまりあり。 粘性ややあり。H-1住埋没土。

H-1号住居跡カマド土層説明

1. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm 中量、ローム粒少量含む。 しまり あり。粘性ややあり。旧カマド埋没土。

2. 暗灰色土: 粘土層。旧カマドを閉鎖するために貼られた壁。しまりあ り。粘性あり。旧カマド埋没土。

3. 暗褐色土: ローム粒中量、 $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm少量含む。しまり

あり。粘性やや弱。旧カマド埋没土。 4. 暗褐色土: $As-C\phi 0.2 \sim 0.5 cm$ ・ローム粒少量、焼土微量含む。

しまりあり。粘性ややあり。旧カマド埋没土。 5. 暗褐色土: 焼土・灰中量、As-Cφ0.2 cm微量含む。しまり弱。粘

性弱。旧カマド埋没土。

6. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm少量、ローム粒微量含む。しまり あり。粘性ややあり。新カマド埋没土。

7. 暗褐色土: As-C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量、焼土 微量含む。しまりあり。粘性ややあり。旧カマド埋没土。

8. 暗褐色土: 焼土多量、As-Cφ0.2~0.5 cm微量含む。しまり弱。

粘性やや弱。旧カマド埋没土。

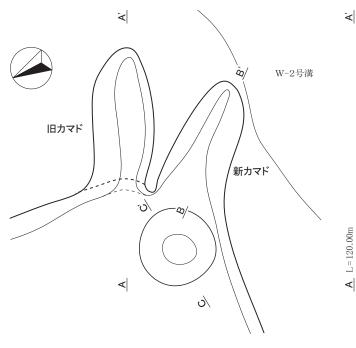
H-1号住居跡貯蔵穴土層説明

1. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや あり。

2. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒少量含む。 しまりあり。

粘性ややあり。

3. 暗褐色土: ローム粒中量、As-Co0.2~0.5 cm少量含む。しまり あり。粘性やや弱。



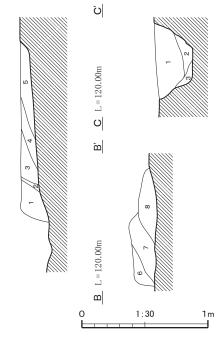
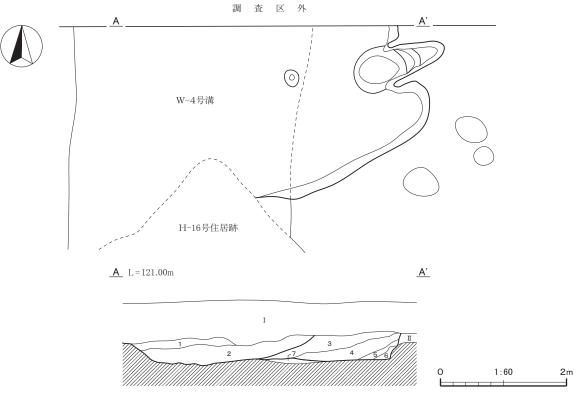


Fig. 8 H-1号住居跡



H-2号住居跡土層説明

1. 暗褐色土: As-Bφ0.2cm中量、As-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒・

 焼土少量含む。しまりあり。粘性やや弱。W-4溝埋没土。

 2. 暗褐色土: As-Bø0.2 cm・As-Cø0.2~0.5 cm・ローム粒少

量含む。しまりあり。粘性やや弱。W-4溝埋没土。

3. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。

粘性ややあり。

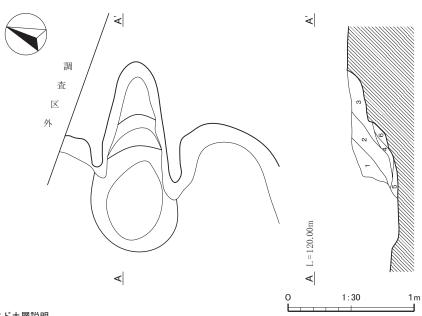
4. 暗褐色土: A s - C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒・炭化粒少量含む。し

まりあり。粘性ややあり。

5. 暗褐色土: A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・焼土・炭化粒少量含

7. 暗褐色土: A s - C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒中量含む。しまり強。

粘性ややあり。貼床。



H-2号住居跡カマド土層説明

1. 暗褐色土: 白色粘土 ϕ 0.5 cm 中量、A s - C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・焼土・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性あり。

2. 暗褐色土: 焼土・白色粘土 ϕ 0.5 cm 中量、A s - C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm ・

炭化粒少量含む。しまりあり。粘性あり。 3. 暗褐色土: A s - C φ 0.2 cm・焼土・炭化粒・白色粘土 φ 0.5 cm少量

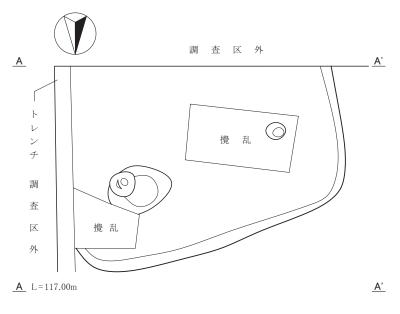
含む。しまりあり。粘性あり。

4. 黒褐色土: ローム粒中量、A s - C φ 0.2 cm・焼土・炭化粒・灰少量

含む。しまり弱。粘性ややあり。

5. 黒褐色土: 灰多量、ローム粒・焼土少量含む。しまり弱。粘性やや弱。

Fig. 9 H-2号住居跡



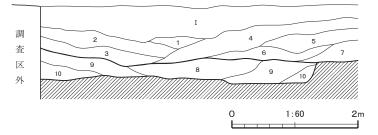


Fig. 10 H - 3 号住居跡

H-3号住居跡土層説明

1. 暗褐色土: $As-C\phi0.2\sim0.5cm$ ・ローム粒少量含む。

しまりあり。粘性ややあり。W-3溝埋没土。 2. 暗褐色土: As-C φ 0.2 ~ 0.5 cm少量、ローム粒微量含

む。しまりあり。粘性ややあり。W-3溝埋没土。 3. 暗褐色土: As-Co0.2~0.5cm・ローム粒中量含む。

しまりあり。粘性ややあり。W-3溝埋没土。 4. 暗褐色土: As-Co0.2~0.5 cm中量、ローム粒少量含

む。しまりあり。粘性ややあり。W-3溝埋没土。 5. 暗褐色土: As-C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量含む。

しまりあり。粘性ややあり。W-3溝埋没土。

6. 暗褐色土: ローム粒中量、A s - C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm少量含 む。しまりあり。粘性ややあり。W-3溝埋没土。

7. 暗褐色土: $As-C\phi 0.2 \sim 0.5 \, \mathrm{cm} \cdot \mathrm{u}$ ーム粒中量含む。 しまりあり。粘性ややあり。W-3溝埋没土。

8. 暗褐色土: As-C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量、炭化粒微 量含む。しまりあり。粘性ややあり。H-3住埋没土。

9. 暗褐色土: As-C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量、白 色粘土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

10. 暗褐色土: ローム粒中量、As-Co0.2~0.5cm・焼土・炭

化粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

H-4・7号住居跡土層説明

1. 黄灰色土: As-Bφ0.2cm多量、As-Cφ0.2~0.5cm・ 炭化物少量含む。しまり弱。粘性弱。攪乱土坑。

2. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量 含む。しまりあり。粘性ややあり。H-7住埋没土。 3. 暗褐色土: A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含

む。しまりあり。粘性ややあり。H-7住埋没土。 4. 暗褐色土: ローム粒中量、As-Co0.2~0.5 cm少量含

む。しまりあり。粘性ややあり。H-7住埋没土。

5. 暗褐色土: As-C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量、炭化粒 微量含む。しまりあり。粘性ややあり。H-4住埋没土。 6. 暗褐色土: As-Cφ0.2~0.5 cm中量、ローム粒・炭化粒微

量含む。しまりあり。粘性ややあり。H-4住埋没土。 7. 暗褐色土: $As-C\phi 0.2 \sim 0.5 \, \mathrm{cm} \cdot \mathrm{D}$ ーム粒中量含む。

しまりあり。粘性ややあり。H-4住埋没土。 8. 暗褐色土: ローム粒中量、A s - C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm少量含

む。しまりあり。粘性ややあり。H-4住埋没土。

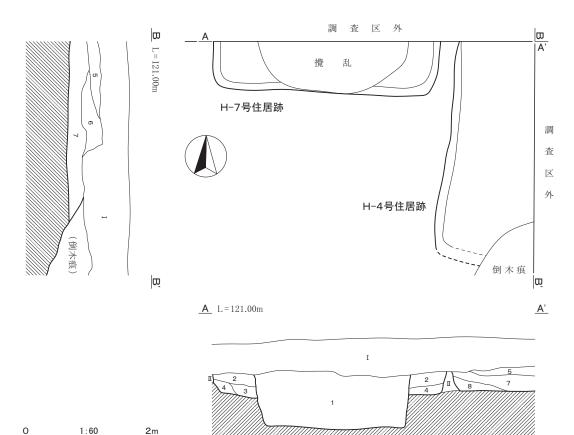
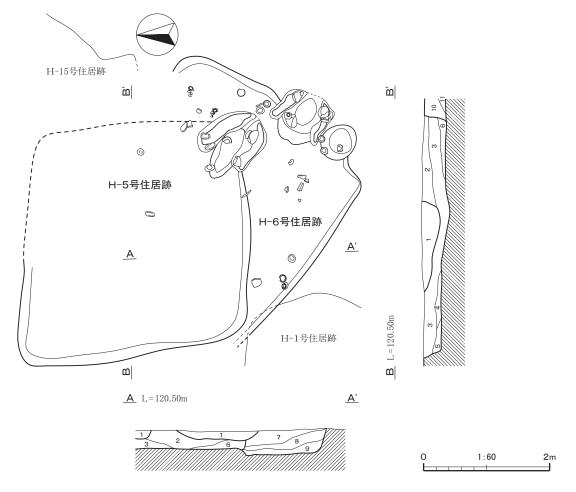
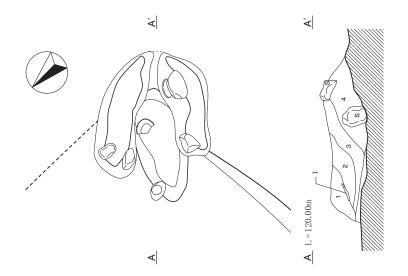


Fig. 11 H - 4 · 7 号住居跡



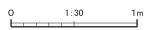
H-5・6号住居跡土層説明

- 1. 暗褐色土: $As-B\phi$ 0.2 cm多量含む。しまり弱。粘性弱。土坑埋没土。
- 2. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 m中量、 $U-\Delta粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。<math>H-5$ 住埋没土。
- 3. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm中量、ローム粒少量、焼土・炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。H-5住埋没土。
- 粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。H-5任理没土。 4. 暗褐色土: $As-C\phi0.2\sim0.5$ cm・ローム粒中量含む。しまりあり。
- 5. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒少量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。 H-5 住埋没土。
- 6. 暗褐色土: ローム粒中量、 $As-C \phi 0.2 \sim 0.5 cm \cdot$ 炭化粒少量含む。 しまりあり。粘性ややあり。H-5 住埋没土。
- 7. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm中量、 $U-\Delta粒・炭化粒少量含む。 しまりあり。粘性ややあり。<math>H-6$ 住埋没土
- 8. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒少量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。 H-6 住埋没土。
- 9. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒中量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。 H-6 住埋没土。
- 10. 暗褐色土: A s C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒少量含む。 しまりあり。
 - 粘性ややあり。H-15住埋没土。
- 11. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm中量、ローム粒少量、炭化粒微量 含む。しまりあり。粘性ややあり。H-15 住埋没土。



H-5号住居跡カマド土層説明

- 1. 暗褐色土: $A s C \phi 0.2 \sim 0.5 \text{ cm} \cdot$ 焼土 $\phi 0.5 \text{ cm} \rightarrow$ 量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 2. 暗褐色土: 白色粘土 φ 0.5 ~ 1.0 cm 中量、A s -
- 日色粘土 6 0.5 ~ 1.0 cm 平量、As C 6 0.2 ~ 0.5 cm・焼土・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性あり。
- 3. 暗褐色土: 白色 粘土 φ 0.5 cm 中 量、A s C φ 0.2 cm・焼土・炭化粒・灰少量含む。 しまりあり。粘性あり。
- 4. 暗褐色土: $As-C \phi 0.2 \sim 0.5 cm$ ・白色粘土 $\phi 0.5 cm$ 少量含む。しまりあり。粘性 あり。



粘性弱。

Fig. 12 H-5·6号住居跡

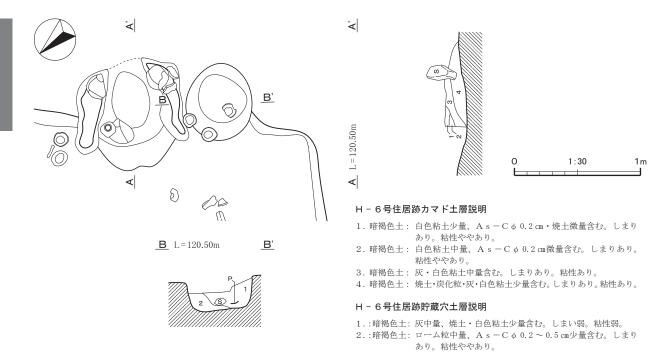


Fig. 13 H - 6 号住居跡カマド

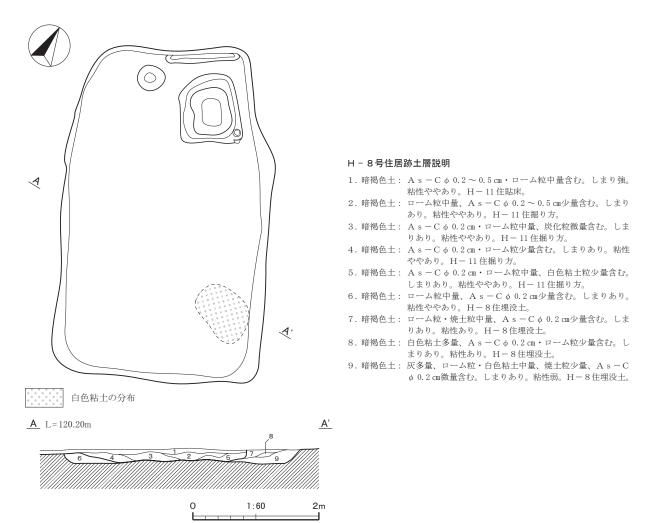
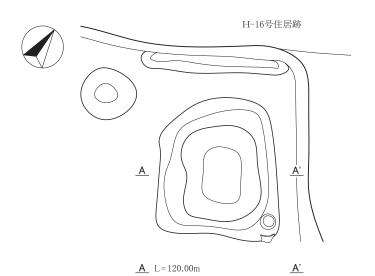
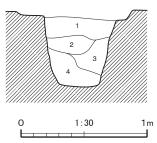


Fig. 14 H-8号住居跡

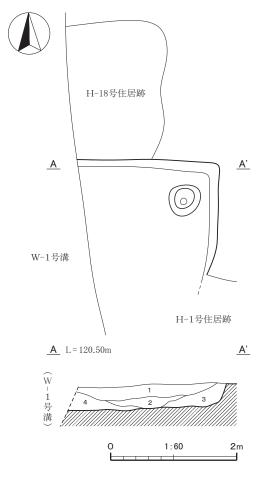




H-8号住居跡貯蔵穴土層説明

- 1. 暗褐色土: $As-C\phi 0.2\sim 0.5$ cm中量含む。しまり弱。粘性ややあり。 2. 暗褐色土: $As-C\phi 0.2\sim 0.5$ cm中量、ローム粒少量含む。しまり弱。粘性ややあり。
- 3. 暗褐色土: $As-C \phi$ 0.2 \sim 0.5 cm少量含む。しまり弱。粘性やや弱。 4. 暗褐色土: ローム粒少量、 $As-C \phi$ 0.2 \sim 0.5 cm微量含む。しまり弱。粘性弱。

Fig. 15 H-8号住居跡貯蔵穴



H-9号住居跡土層説明

- 1. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒中量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。
- 2. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm中量、ローム粒少量含む。 しまり あり。 粘性ややあり。
- 3. 暗褐色土: ローム粒中量、 $As-C\phi0.2\sim0.5$ cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 4. 暗褐色土: $A s C \phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒中量、炭化粒微量含む。 しまりあり。粘性ややあり。

Fig. 16 H - 9 号住居跡

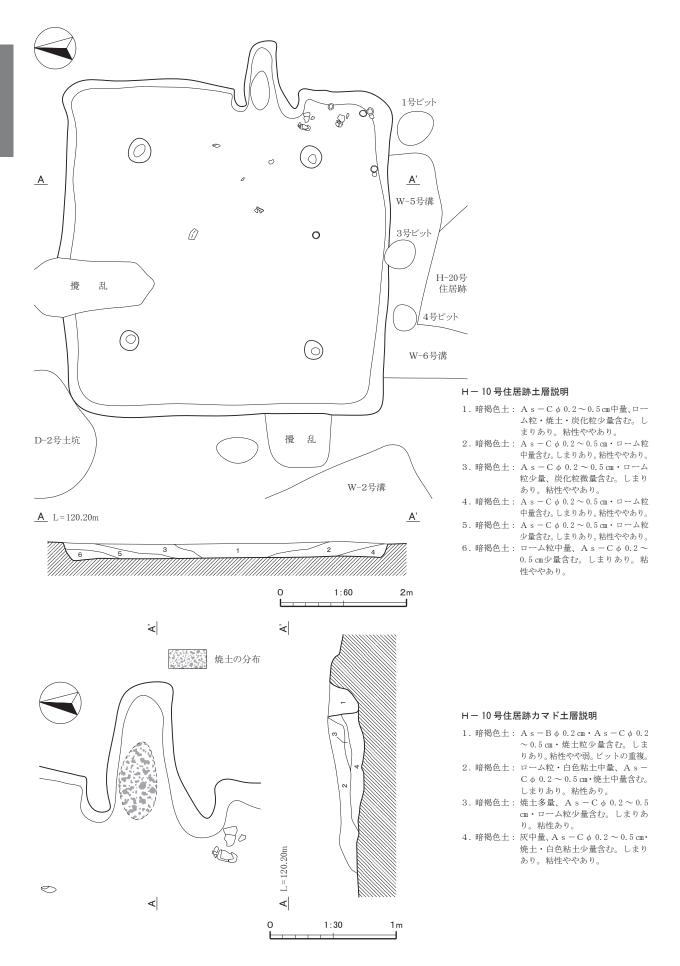


Fig. 17 H-10 号住居跡

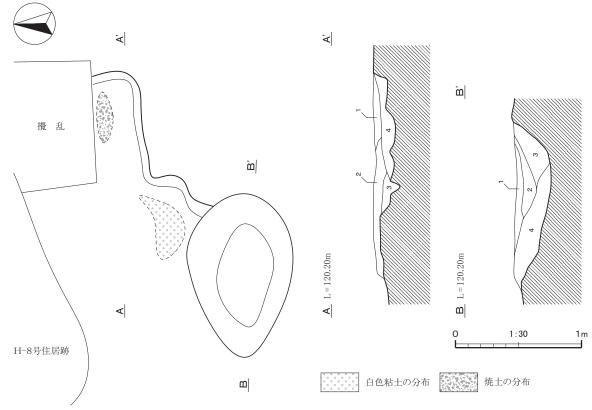


Fig. 18 H-11 号住居跡

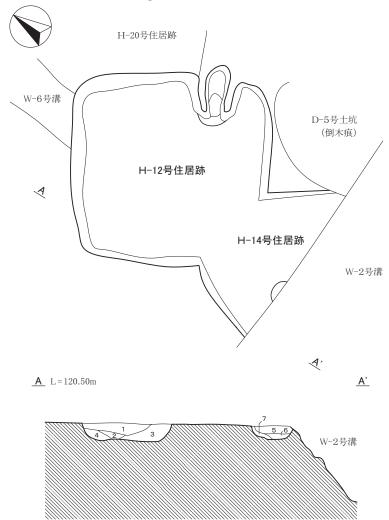


Fig. 19 H-12·14 号住居跡

H-11号住居跡カマド土層説明

 1. 暗褐色土: 焼土・白色粘土中量、炭化粒・灰少量、As-Cφ0.2cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
 2. 暗褐色土: ローム粒・焼土粒・灰中量、As-Cφ0.2 ~0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

3. 暗褐色土: A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・焼 土粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

4. 暗褐色土: ローム粒中量、As-Co0.2cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

H-11号住居跡貯蔵穴土層説明

1. 暗褐色土: A s − C φ 0.2 ~ 0.5 cm 中量、ローム粒 微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

2. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm 中量、ローム粒 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

3. 暗褐色土: $As-C\phi0.2\sim0.5$ cm・ローム粒少量、白色粘土粒微量含む。 しまりあり。粘性ややあり。

4. 暗褐色土: A s - C o 0.2 ~ 0.5 cm 中量、ローム粒・白色粘土粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

H-12·14号住居跡土層説明

1. 暗褐色土: A s - C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm 中量、ローム粒 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。 H- 12 住埋没土。

暗褐色土: As-Cφ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。
 しまりあり。粘性ややあり。H-12 住埋没土。

3. 暗褐色土: ローム粒多量、As-Coの.2~0.5cm 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。 H-12住埋没土。

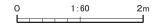
4. 暗褐色土: $A s - C \phi 0.2 \sim 0.5 \, \mathrm{cm} \cdot \mathrm{D}$ ローム粒少量含む。 しまりあり。粘性ややあり。H - 12 住埋没土。

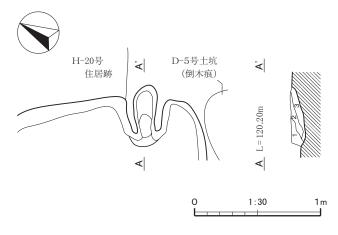
5. 暗褐色土: ローム粒中量、 $As-C\phi0.2\sim0.5$ cm 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。H-14 住埋没土。

6. 暗褐色土: ローム粒少量、As-Co0.2 cm微量含む。 しまりあり。粘性ややあり。H-14 住埋没土。

7. 暗褐色土: ローム粒中量、As - C φ 0.2 cm微量含む。

しまりあり。粘性ややあり。H - 14 住埋没土。

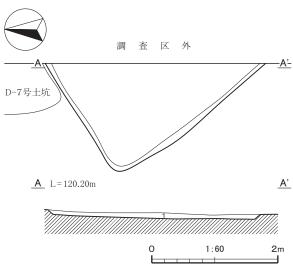




H-12号住居跡カマド土層説明

- 1. 暗褐色土: A s C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒・焼土・灰・白色粘土 少量含む。しまりあり。粘性あり。
- 2. 暗褐色土: 焼土多量、灰中量、As-Cφ0.2~0.5 cm少量含む。し

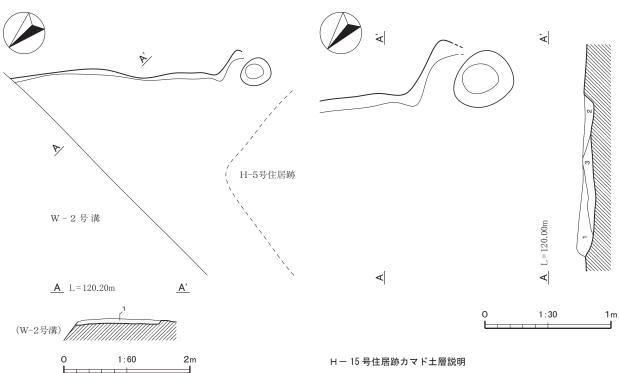
Fig. 20 H-12 号住居跡カマド



H-13号住居跡土層説明

1. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む。 しまり あり。粘性ややあり。

Fig. 21 H-13 号住居跡

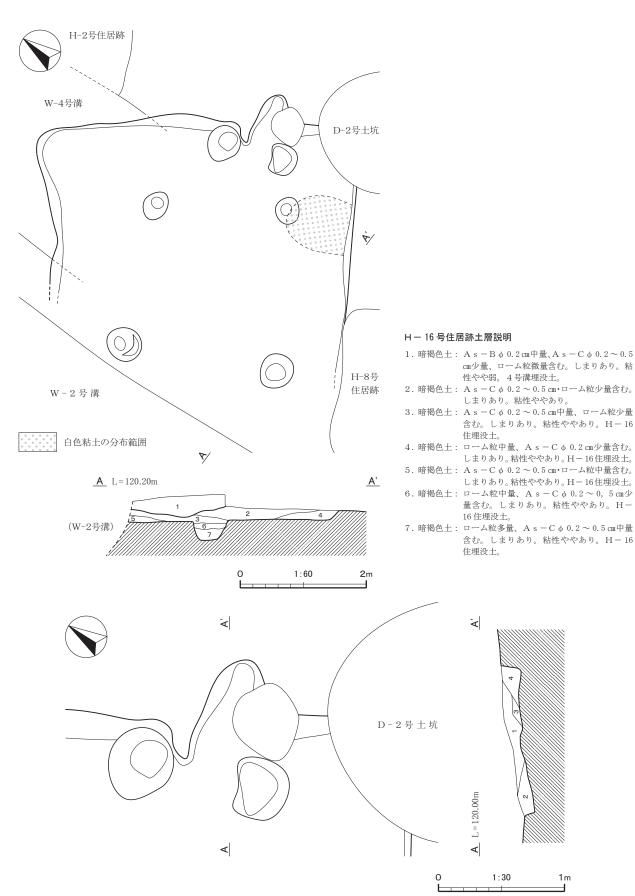


H-15号住居跡土層説明

1. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。 粘性ややあり。

- 1. 暗褐色土: 白色粘土中量、A s C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・焼土少量含む。 しまりあり。粘性あり。
- 2. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・焼土少量含む。 しまりあり。 粘 性ややあり。
- 3. 暗褐色土: A s C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・焼土・白色粘土少量含む。 しま りあり。粘性ややあり。

Fig. 22 H-15 号住居跡



H-16号住居跡カマド土層説明

1. 暗褐色土: ローム粒中量、A s - C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm少量、焼土粒微量

含む。しまりあり。粘性ややあり。

2. 暗褐色土: 焼土中量、A s - C $_{\phi}$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒少量、炭化

粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

- 3. 暗褐色土:灰多量、焼土少量含む。しまり弱。粘性弱。
- 4. 暗褐色土: ローム粒中量、 $As-C \phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・灰少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

Fig. 23 H-16 号住居跡

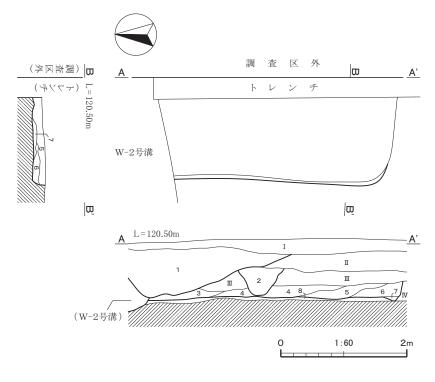


Fig. 24 H-17 号住居跡

H-17号住居跡土層説明

1. 撹 乱

2. 黒褐色土: $A s - C \phi$ 0.2 \sim 0.5 cm多量含む。 しまりあり。粘性ややあり。土坑

埋没土。

3. 暗褐色土: A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム 粒少量含む。しまりあり。粘性や

やあり。

4. 暗褐色土: ローム粒中量、As-Co0.2~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘

性ややあり。

5. 暗褐色土: A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム 粒少量含む。しまりあり。粘性や

やあり。 ローム粒は

6. 暗褐色土: ローム粒中量、 $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘

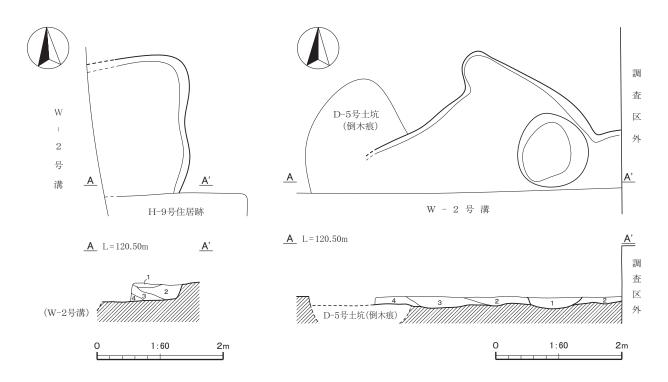
性ややあり。

7. 暗褐色土: ローム粒多量、 $As-C \phi 0.2 \sim 0.5$ cm少量含む。しまりあり。粘

性ややあり。

8. 暗褐色土: $A s - C \phi 0.2 \sim 0.5 \, \mathrm{cm} \cdot \mathrm{D}$ 一ム 粒中量含む。しまり強。粘性やや

あり。貼床。



H-18号住居跡土層説明

1. 暗褐色土: $As-B\phi$ 0.2 cm中量、 $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム 粒少量含む。 しまりあり。粘性弱。溝埋没土。

2. 暗褐色土: $As-B\phi 0.2$ cm・ $As-C\phi 0.2\sim 0.5$ cm・ υ ーム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

3. 暗褐色土: As - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・焼土・白色粘土少量 含む。しまりあり。粘性ややあり。

4. 暗褐色土: ローム粒・焼土・白色粘土少量、As-Co 0.2 cm微量含む。 しまりあり。粘性ややあり。

Fig. 25 H-18 号住居跡

H-19号住居跡土層説明

2. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒中量含む。しまり強。 粘性ややあり。貼床。

3. 暗褐色土: ローム粒中量、 $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm少量含む。しまり強。粘性ややあり。貼床。

4. 暗褐色土: As-C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量含む。しまり強。 粘性ややあり。貼床。

Fig. 26 H-19 号住居跡



調査区外

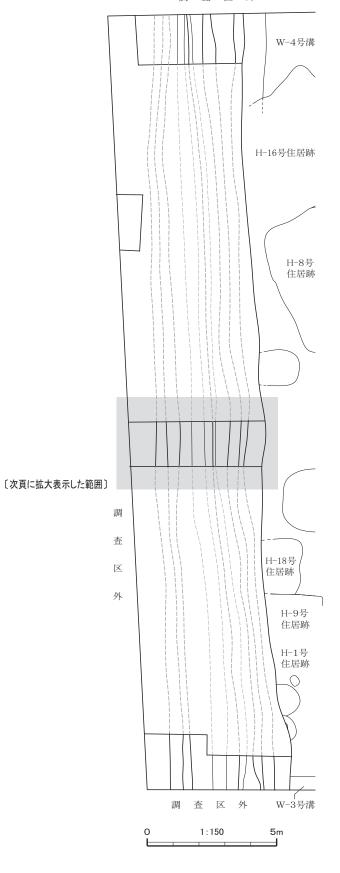
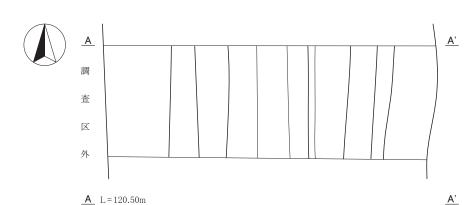
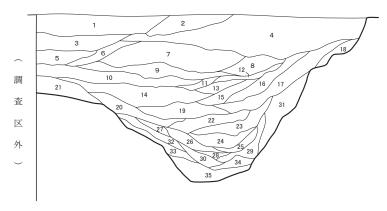


Fig. 27 W-1号溝





W-1号溝土層説明

- 1. 暗褐色土: $A s B \phi$ 0.2 cm・ $A s C \phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ μ 0.2 cm・ μ 量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。
- 2. 暗褐色土: $As-B\phi$ 0.2 cm中量、 $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム 粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 3. 暗褐色土: A s B φ 0.2 cm · A s C φ 0.2 ~ 0.5 cm · ローム粒少
- 量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 4. 暗褐色土: $As-B\phi$ 0.2 cm中量、 $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム 粒少量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。
- 5. 暗褐色土: A s B φ 0.2 cm·A s C φ 0.2 ~ 0.5 cm·ローム粒少量、
- 小 ϕ 0.5 cm・炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 6. 暗褐色土: $As-B\phi$ 0.2 cm・ローム粒少量、 $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 7. 暗褐色土: ローム粒中量、A s B φ 0.2 cm少量、A s C φ 0.2 ~
- 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。 8. 暗褐色土: As-Bφ0.2 cm中量、As-Cφ0.2 ~ 0.5 cm・ローム
- 粒少量含む。しまりやや弱。粘性ややあり。 9. 暗褐色土: $As-B\phi$ 0.2 cm中量、ローム粒少量、 $As-C\phi$ 0.2 \sim
- 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 10. 暗褐色土: A s B φ 0.2 cm・A s C φ 0.2 cm・ローム粒少量含む。 しまりあり。粘性ややあり。
- 11. 暗褐色土: ローム粒中量、 $As-B\phi$ 0.2 cm・ $As-C\phi$ 0.2 cm少量 含む。 しまりあり。 粘性ややあり。
- 12. 暗褐色土: A s B φ 0.2 cm・ローム粒中量、A s C φ 0.2 cm少量
- 含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 13. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm 中量、A s B ϕ 0.2 cm \cdot A s C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm、ローム粒少量含む。
- しまりあり。粘性ややあり。 14. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・A s - B ϕ 0.2 cm・A s - C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。
- 15. 暗物巴工: 総任砂層ノロック(日) φ 0.5 ~ 1.0 cm・A s B φ 0.2 cm・A s C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 16. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 4.0 cm 中量、A s B ϕ 0.2 cm \cdot A s C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm \cdot ローム粒少量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。
- 17. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 20.0 cm 中量、A s C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒少量、A s B ϕ 0.2 cm 微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 18. 暗褐色土: ローム粒多量、As B φ 0.2 cm・As C φ 0.2 ~ 0.5 cm微量含む。 しまりあり。粘性ややあり。

19. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm 中量、A s - C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒少量、A s - B ϕ 0.2 cm 微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

1.60

2m

- 20. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量、ローム粒少量、A s B ϕ 0.2 cm・A s C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 22. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 2.0 cm中量、A s C φ 0.2 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 23. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5~5.0 cm 多量、A s ー C φ 0.2 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 24. 暗褐色土: As C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 25. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 5.0 cm 中量、A s C ϕ 0.2 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 26. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 5.0 cm 中量、A s C ϕ 0.2 cm・ローム粒少量含む。しまりやや強。粘性あり。
- 27. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm·A s C φ 0.2 cm·ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 28. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm 中量、A s C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性や や δ N
- 29. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 30.0 cm 中量、A s C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりやや強。粘性 あり。
- 30. 暗褐色土: $A s C \phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒少量含む・総社砂層ブ
- ロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm。しまりあり。粘性ややあり。 31. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 5.0 cm多量、ローム粒中量、 A s - C ϕ 0.2 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 32. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm・A s C φ 0.2 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 33. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm中量、A s C φ 0.2 cm・ローム粒少量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。
- 34. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm \Rightarrow \blacksquare 、A s C ϕ 0.2 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 35. 暗褐色土: 砂粒・小礫 φ 0.5 ~ 1.0 cm多量、総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 2.0 cm中量、As C φ 0.2 ~ 0.5 cm微量含む。

しまり強。粘性弱。

Fig. 28 W-1号溝(土層説明)

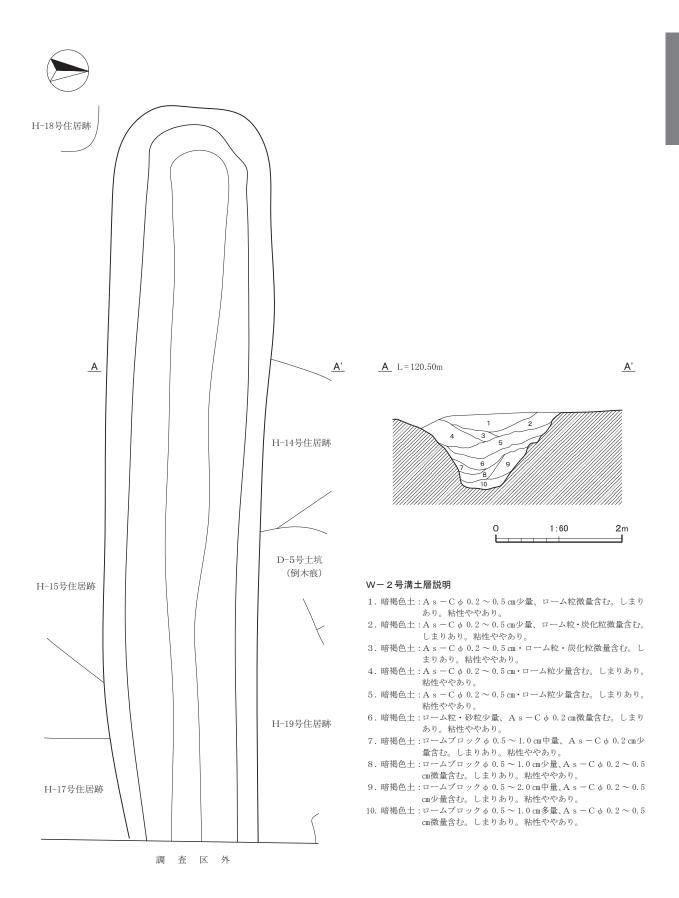


Fig. 29 W-2号溝

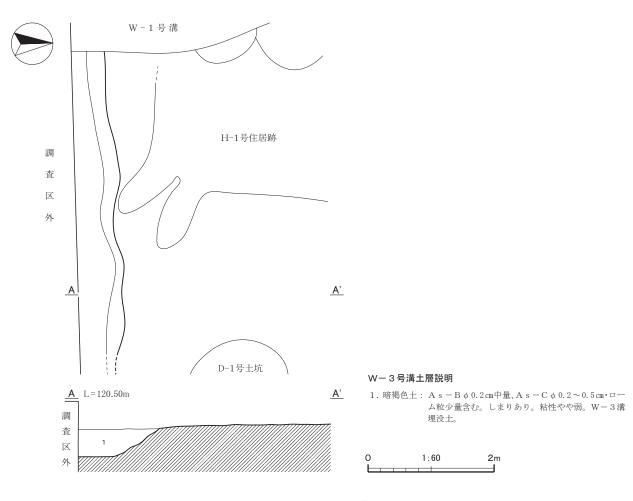


Fig. 30 W-3号溝

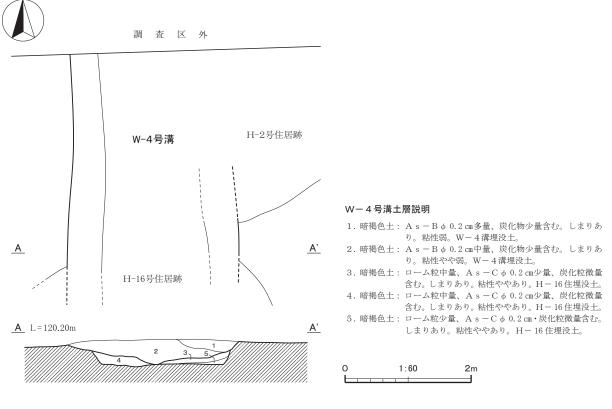


Fig. 31 W-4号溝

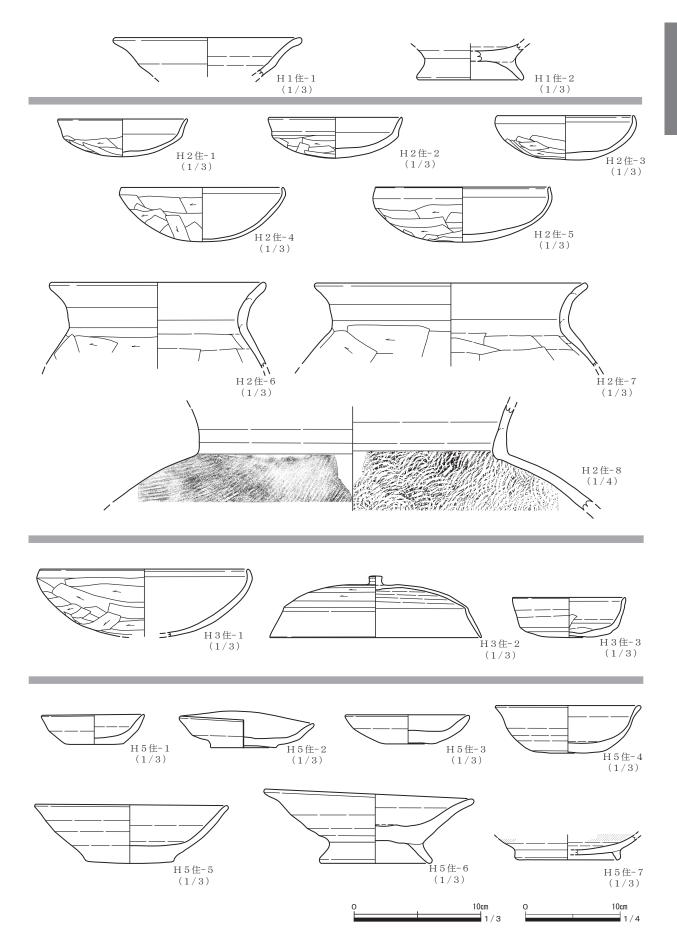


Fig. 32 23 地点出土遺物①

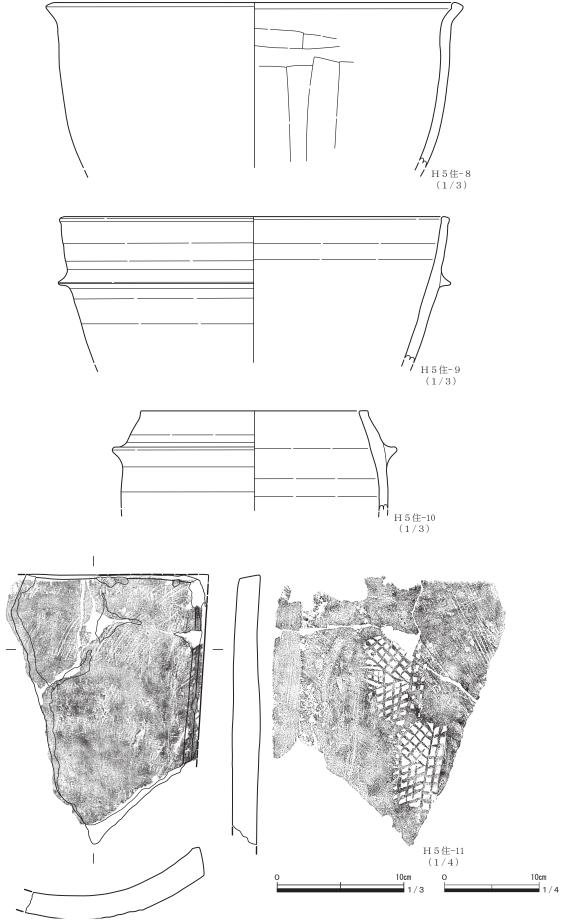


Fig. 33 23 地点出土遺物②

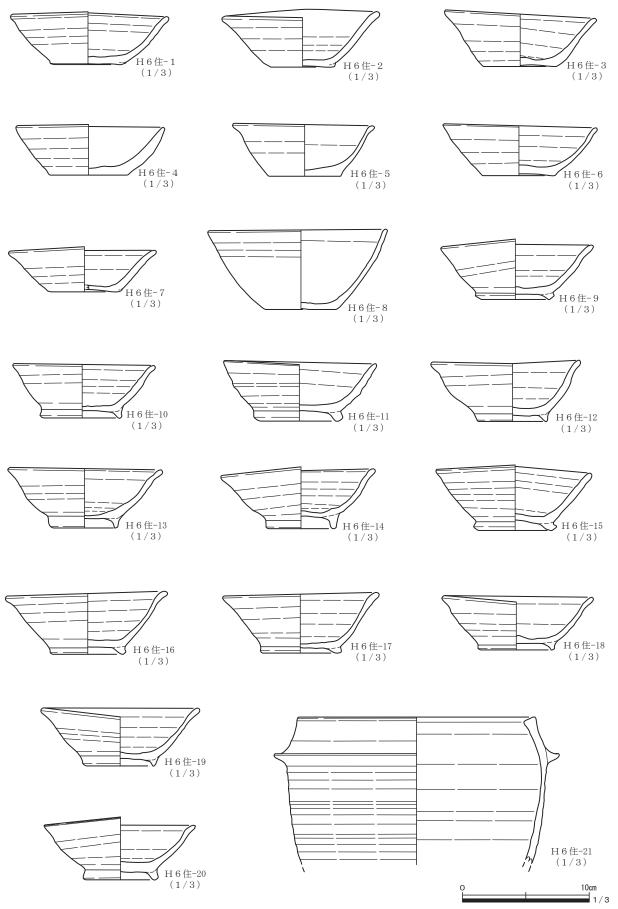


Fig. 34 23 地点出土遺物③

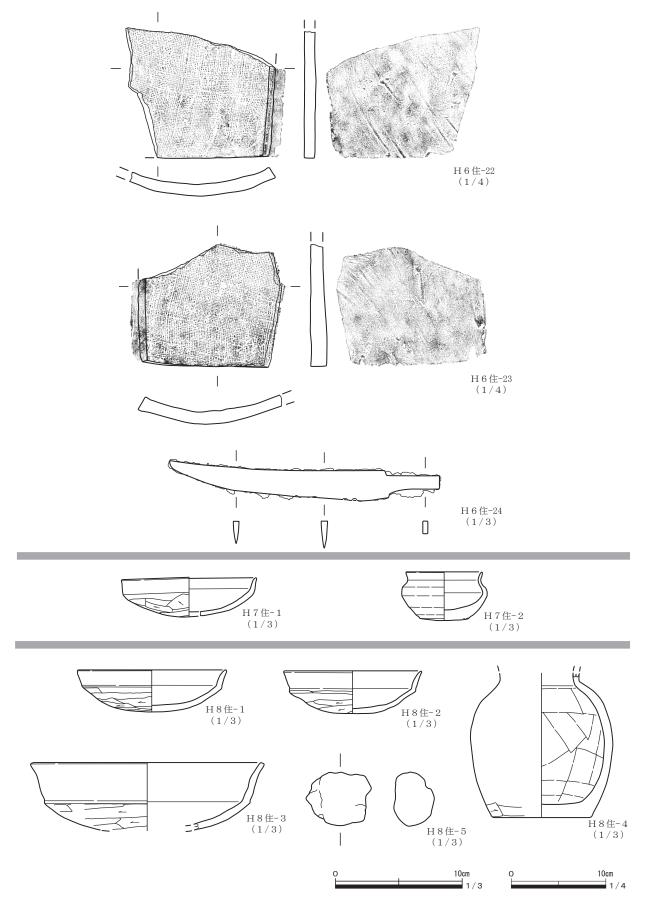
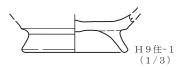


Fig. 35 23 地点出土遺物④



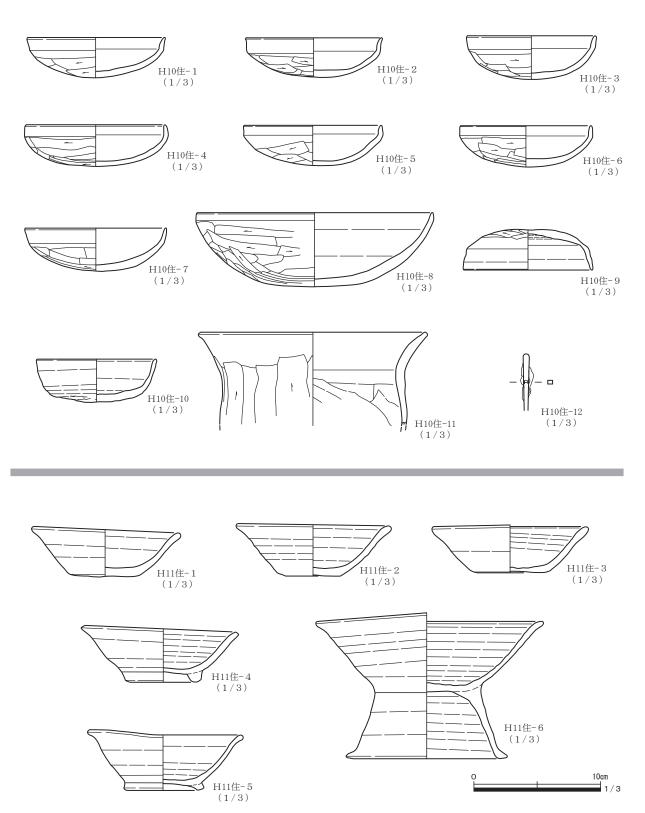
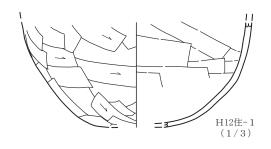
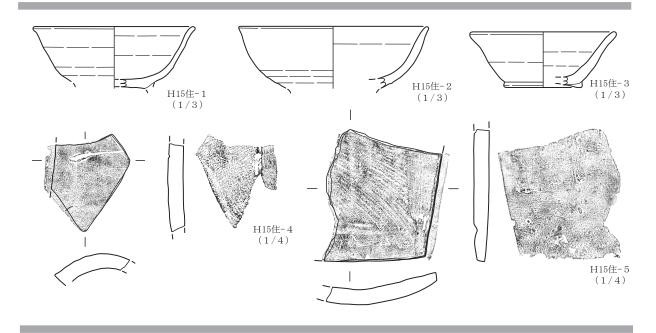


Fig. 36 23 地点出土遺物⑤





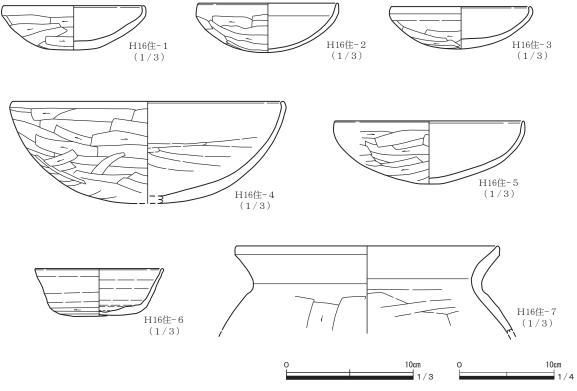


Fig. 37 23 地点出土遺物⑥

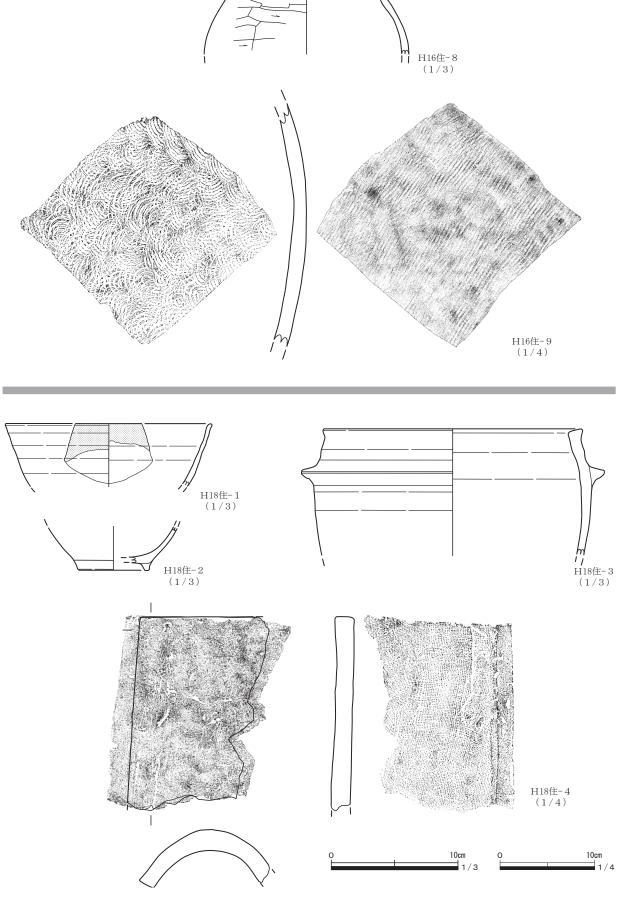


Fig. 38 23 地点出土遺物⑦

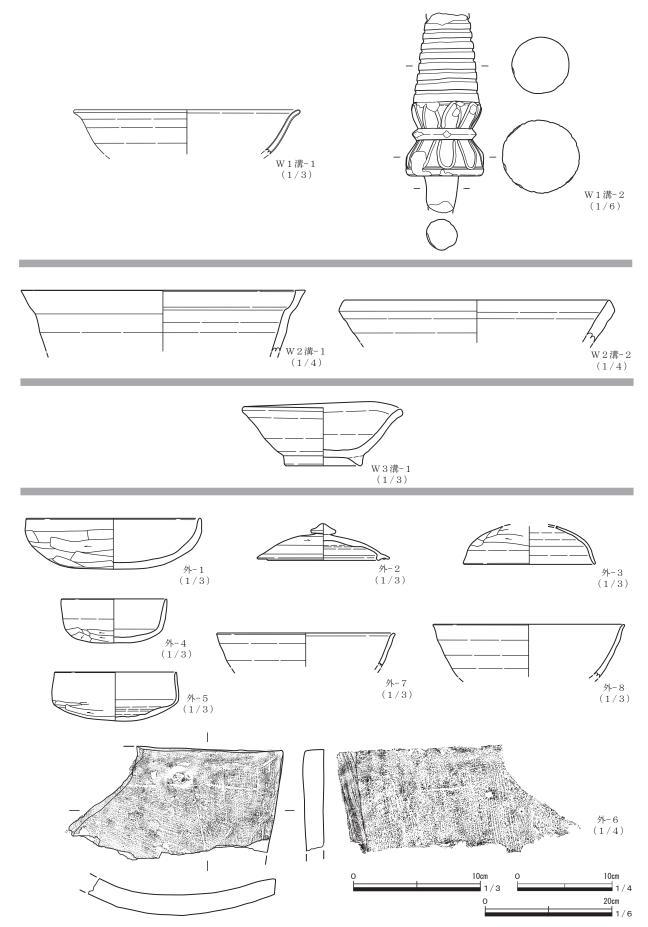


Fig. 39 23 地点出土遺物⑧

Tab. 4 23 地点出土遺物観察表①

H-1号住居跡

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 碗		①酸化 ②にぶい橙 ③白色粒・角閃石・礫 ④口縁部~体部 1/6	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形。	
2	須恵器 碗	/ /	①酸化 ②にぶい橙色 ③白色粒・角閃石・礫 ④体部~高台部 1/2	外面 轆轤整形、底部回転糸切り。 内面 轆轤整形。	

H-2号住居跡

番号	器 種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 坏	口径 10.2 底径 一 器高 3.0		外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。	
2	土師器 坏	口径 10.5 底径 一 器高 3.2		外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。	
3	土師器 坏	口径 (10.8) 底径 一 器高 3.5	①普通 ②橙 ③角閃石・雲母 ④ 3/4	外面 口縁部横撫で、体部上位撫で、体部下位〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。	
4	土師器 坏	口径 (12.8) 底径 一 器高 4.3	①普通 ②橙 ③白色粒・角閃石・雲母 ④ 2/3	外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。	
5	土師器 坏	口径 (13.8) 底径 一 器高 4.4	①普通 ②橙 ③角閃石・雲母 ④ 3/5	外面 口縁部横撫で、体部上位撫で、体部下位〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。	
6	土師器 甕	口径 16.8 底径 一 器高 一	①普通 ②橙 ③白色粒・角閃石 ④口縁部~胴部上位残存	外面 口縁部横撫で、胴部上位箆削り。 内面 口縁部横撫で、胴部上位箆撫で。	
7	土師器 甕	口径 21.3 底径 一 器高 一	①普通 ②橙 ③白色粒・角閃石 ④口縁部~胴部上位 2/3	外面 口縁部横撫で、胴部上位箆削り。 内面 口縁部横撫で、胴部上位箆撫で。	
8	須恵器 甕	口径 - 底径 - 器高 -	①還元 ②灰 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部下位~胴部上位 1/8	外面 轆轤整形、胴部平行叩き。 内面 轆轤整形、青海波文。	

H-3号住居跡

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 坏	口径 (16.4) 底径 — 器高 —	①普通 ②にぶい橙 ③白色粒・角閃石 ④ 1/3	外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。	
2	須恵器 蓋	口径 16.7 摘み 1.0 器高 4.9	①還元 ②灰 ③白色粒・黒色粒 ④ 1/3	外面 轆轤整形、天井部右回転箆削り。 内面 轆轤整形。	
3	須恵器 坏	口径 8.9 底径 6.8 器高 3.2	①還元 ②灰 ③白色粒・礫 ④完形	外面 ・ 	

H-5号住居跡①

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存			成・整形技法の特徴	備	考
1	須恵器	口径 8.1	①酸化 ②橙	外面	轆轤整形、	底部右回転糸切り。		
	坏	底径 4.6	③白色粒・黒色粒	内面	轆轤整形。			
		器高 2.4	④口縁部一部欠損					
2	須恵器	口径 10.5	①酸化 ②橙	外面	轆轤整形、	底部右回転糸切り。		
	坏	底径 5.2	③白色粒・黒色粒	内面	轆轤整形。			
		器高 2.9	④口縁部一部欠損					
3	須恵器	口径 9.7	①酸化気味 ②橙~灰黄褐	外面	轆轤整形、	底部右回転糸切り。		
	坏	底径 4.5	③白色粒·褐色粒	内面	轆轤整形。			
		器高 2.3	④口縁部一部欠損					
4	須恵器	口径 (11.4)	①還元 ②黒褐	外面	轆轤整形、	底部右回転糸切り。		
	坏	底径 5.8	③白色粒・黒色粒 ④ 1/3	内面	轆轤整形。			
		器高 3.8						
5	須恵器	口径 15.2	①酸化気味 ②にぶい褐~黒	外面	轆轤整形、	底部右回転糸切り。		
	坏	底径 7.0	褐 ③白色粒・黒色粒 ④口	内面	轆轤整形。			
		器高 4.7	縁部一部欠損					

H-5号住居跡②

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備	考
6	須恵器 碗	口径 16.5 底径 (8.6) 器高 5.9	①酸化 ②明赤褐 ③白色粒・黒色粒 ④ 3/4	外面 轆轤整形、底部回転糸切り。 内面 轆轤整形。		
7	灰釉陶器 碗	口径 - 底径 (7.8) 器高 -	①還元 ②灰白 ③白色粒 ④体部下位~高台部 1/4	外面 轆轤整形、底部回転撫で。 内面 轆轤整形。 釉は漬掛け。		
8	須恵器 土釜	口径 (31.6) 底径 一 器高 一	①酸化気味 ②黒褐 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部~胴部上位 1/5	外面 器面荒れ調整不明瞭。 内面 口縁部~胴部箆撫で。		
9	須恵器 羽釜	口径 (30.0) 底径 - 器高 -	①酸化気味 ②黒褐 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部~胴部上位 1/5	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形、胴部箆撫で。		
10	須恵器 羽釜	口径 (18.0) 底径 - 器高 -	①酸化 ②黄褐 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部~胴部上位 1/5	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形。		
11	瓦 平瓦	厚さ 3.0	①還元 ②明褐 ③白色粒 ④広端部右側	凹面 糸切り痕、布目圧痕、箆撫で、側端部面取り。 凸面 格子目叩き、箆撫で。 側面 箆撫で。 狭端部 箆撫で。		

H-6号住居跡①

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存			成・整形技法の特徴	備考	
1	須恵器 坏	口径 12.2 底径 6.0 器高 4.2	①酸化気味 ②にぶい黄橙 ③白色粒・角閃石・雲母 ④完形	内面	轆轤整形。	底部右回転糸切り。		
2	須恵器 坏	口径 12.1 底径 5.1 器高 4.6	①酸化気味 ②にぶい黄橙 ③白色粒・礫 ④完形	内面	轆轤整形。	底部右回転糸切り。		
3	須恵器 坏	口径 11.8 底径 5.8 器高 4.5	①還元 ②暗灰 ③白色粒・雲母 ④完形	内面	轆轤整形。	底部右回転糸切り。		
4	須恵器 坏	口径 11.5 底径 6.2 器高 4.0	①還元 ②灰〜灰黄 ③白色粒・角閃石・礫 ④ほぼ完形	内面	轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
5	須恵器 坏	口径 10.9 底径 5.7 器高 4.2	①酸化気味 ②黄灰 ③白色粒・角閃石・礫 ④口縁部一部欠損	内面	轆轤整形。	底部右回転糸切り。		
6	須恵器 坏	口径 12.0 底径 5.6 器高 4.1	①酸化気味 ②にぶい褐〜灰 黄褐 ③白色粒・褐色粒・雲母・ 礫 ④ 7/8			底部右回転糸切り。		
7	須恵器 坏	口径 11.5 底径 5.8 器高 3.6	①酸化気味 ②にぶい黄橙~ 褐灰 ③白色粒・角閃石・礫 ④ 3/4			底部右回転糸切り。		
8	須恵器 坏	口径 14.0 底径 5.6 器高 6.4	①酸化気味 ②黒褐 ③白色粒・礫 ④ 5/6	内面	轆轤整形。	底部右回転糸切り。		
9	須恵器 碗	口径 11.8 底径 5.3 器高 4.8	①酸化気味 ②にぶい黄橙~ 褐灰 ③白色粒・角閃石 ④完形		轆轤整形、 轆轤整形。	底部右回転糸切り。		
10	須恵器 碗	口径 11.1 底径 6.0 器高 4.3	①酸化気味 ②灰~灰黄 ③白色粒・角閃石・雲母・礫 ④完形	内面	轆轤整形。	底部右回転糸切り。		
11	須恵器 碗	口径 12.0 底径 6.2 器高 4.8	①酸化気味 ②にぶい黄橙〜 灰 ③白色粒 ④ほぼ完形		轆轤整形、 轆轤整形。	底部右回転糸切り。		
12	須恵器 碗	口径 11.6 底径 5.4 器高 4.9	①酸化気味 ②灰~にぶい黄橙 ③白色粒・雲母・礫 ④ほぼ完形	内面	轆轤整形。			
13	須恵器 碗	口径 12.0 底径 4.9 器高 4.8	①酸化気味 ②褐灰~にぶい 黄橙 ③白色粒・角閃石・礫 ④完形	内面	轆轤整形。			
14	須恵器 碗	口径 12.0 底径 5.2 器高 4.9	①酸化気味 ②にぶい黄橙~ 褐灰 ③白色粒・角閃石・礫 ④ほぼ完形	内面	轆轤整形。			
15	須恵器 碗	口径 12.1 底径 5.8 器高 5.2	①還元 ②灰 ③白色粒・雲母・礫 ④ 9/10			底部右回転糸切り。		
16	須恵器 碗	口径 12.5 底径 5.6 器高 5.0	①還元 ②灰 ③白色粒・石英・礫 ④ 3/4		轆轤整形、 轆轤整形。	底部右回転糸切り。		

Tab. 6 23 地点出土遺物観察表③

H-6号住居跡②

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
17	須恵器 碗	口径 12.0 底径 6.0 器高 4.8		外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
18	須恵器 碗	口径 11.7 底径 5.6 器高 4.3		外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
19	須恵器 碗	口径 (12.3) 底径 5.3 器高 4.6	①酸化気味 ②灰~にぶい橙 ③白色粒・角閃石・礫 ④ 2/3	外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
20	須恵器 碗	口径 (11.8) 底径 5.4 器高 5.0		外面 轆轤整形、底部回転撫で。 内面 轆轤整形。	
21	須恵器 羽釜	口径 (18.8) 底径 - 器高 -		外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形。	
22	瓦 平瓦	厚さ 1.4		凹面 布目圧痕。 凸面 斜縦位箆撫で。 側面 箆撫で。 夹端部 箆撫で。	
23	瓦 平瓦	厚さ 1.7		凹面 布目圧痕。 凸面 斜縦位箆撫で。 側面 箆撫で。 夹端部 箆撫で。	
番号	7	景 種		法量 (cm)、成・整形技法の特徴	備考
24	鉄製品	刀子	長さ21.4 刃部長17.5 幅2.15	厚さ0.5 茎部長さ3.9 幅1.0 厚さ0.4 重さ79.7 g	

H-7号住居跡

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備	考
1	土師器	口径 10.6	①普通 ②橙	外面 口縁部横撫で、体部上位撫で、体部~底部箆削り。底部中		
	坏	底径 -	③白色粒・角閃石・雲母	央に焼成前の円孔、径 1.4 cm。		
		器高 3.2	④完形	内面 口縁部~体部横撫で、底部撫で。		
2	須恵器	口径 6.0	①還元 ②灰白~灰	外面 轆轤整形、底部右回転箆切り後撫で。		
	小形壺	底径 3.9	③白色粒・黒色粒 ④ 4/5	内面 轆轤整形。		
		器高 3.9				

H-8号住居跡

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備	考
1	土師器	口径 11.8	①普通 ②橙	外面 口縁部横撫で、体部~底部箆削り。		
	坏	底径 一	③白色粒・雲母 ④ 7/8	内面 口縁部~体部横撫で、底部撫で。		
		器高 3.4				
2	土師器	口径 (10.8)	①普通 ②橙~明褐	外面 口縁部横撫で、体部~底部箆削り。		
	坏	底径 一	③白色粒・角閃石 ④ 1/2	内面 口縁部~体部横撫で、底部撫で。		
		器高 3.4				
3	土師器	口径 (18.0)	①普通 ②橙	外面 口縁部横撫で、体部~底部箆削り。		
	坏	底径 一	③白色粒・雲母 ④ 2/5	内面 口縁部横撫で、体部~底部箆撫で。		
		器高 一				
4	土師器	口径 一	①普通 ②にぶい黄橙~明黄	外面 頸部~胴部器面が荒れ調整不明瞭、胴部下位~底部箆削り。		
	壺	底径 7.8	褐 ③白色粒・雲母	内面 頸部~底部箆撫で。		
		器高 一	④頸部~底部 7/8			
番号	岩	景 種		法量 (cm)、成・整形技法の特徴	備	考
5	土玉		長さ4.2 幅4.7 厚さ3.0 重	i さ 67.6 g 赤色顔料の塊		

H-9号住居跡

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備	考
1	須恵器 碗	口径 - 底径 7.9 器高 -	①還元 ②にぶい橙~にぶい 黄橙 ③角閃石・雲母 ④体部下位~高台部 7/8	外面 		

H-10号住居跡①

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備者	考
1	土師器 坏	口径 10.8 底径 一 器高 3.2	①普通 ②橙〜明赤褐 ③角閃石・雲母 ④完形	外面 口縁部横撫で、体部上位撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。		
2	土師器 坏	口径 10.8 底径 一 器高 3.1	①普通 ②橙 ③白色粒・雲母 ④完形	外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。		

H-10号住居跡②

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備	考
3	土師器 坏	口径 10.2 底径 一 器高 3.5	①普通 ②橙 ③白色粒 ④完形	外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。		
4	土師器 坏	口径 11.0 底径 一 器高 3.3	①普通 ②明褐 ③角閃石 ④完形	外面 口縁部横撫で、体部〜底部篦削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。		
5	土師器 坏	口径 10.9 底径 一 器高 3.2	①普通 ②にぶい橙 ③角閃石 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部上位撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。		
6	土師器 坏	口径 10.3 底径 一 器高 3.3	①普通 ②橙~明赤褐 ③角閃石 ④ 5/6	外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。		
7	土師器 坏	口径 11.2 底径 一 器高 3.4	①普通 ②橙 ③角閃石 ④ 4/5	外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。		
8	土師器 坏	口径 (18.6) 底径 一 器高 5.6	①普通 ②明赤褐 ③白色粒・礫 ④ 1/4	外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。		
9	須恵器 蓋	口径 10.2 摘み 一 器高 3.2	①還元 ②灰黄 ③白色粒・黒色粒 ④ 2/3	外面 轆轤整形、天井部手持ち箆削り。 内面 轆轤整形。		
10	須恵器 坏	口径 9.4 底径 一 器高 3.4	①還元 ②灰 ③白色粒・黒色粒 ④ 5/6	外面 轆轤整形、底部右回転箆切り。 内面 轆轤整形。		
11	土師器 甕	口径 (17.8) 底径 — 器高 —	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・黒色粒・褐色粒・ 石英 ④口縁部~胴部上位 1/2	外面 口縁部横撫で、胴部箆削り。 内面 口縁部横撫で、胴部箆撫で。		
番号		景 種		法量(cm)、成・整形技法の特徴	備	考
12	鉄製品	釘	残存長 4.6 幅 0.4 厚さ 0.3	重さ 3.8 g		

H-11号住居跡

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 坏	口径 11.5 底径 5.6 器高 4.0	①還元 ②黄灰~にぶい黄 ③白色粒・雲母 ④ほぼ完形	外面 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 	
2	須恵器 坏	口径 11.9 底径 4.4 器高 4.2	①還元 ②灰黄~にぶい黄 ③白色粒・角閃石 ④完形	外面 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 	
3	須恵器 坏	口径 (12.1) 底径 5.8 器高 3.8	①還元 ②灰~灰黄 ③白色粒・雲母 ④ 3/5	外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
4	須恵器 碗	口径 11.9 底径 5.2 器高 4.5	①還元 ②灰~灰黄 ③白色粒・雲母 ④完形	外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
5	須恵器 碗	口径 12.0 底径 5.6 器高 4.8	①酸化気味 ②にぶい橙~灰 ③白色粒・礫 ④ 4/5	外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
6	須恵器 碗	口径 (17.9) 底径 11.6 器高 11.6	①酸化気味 ②にぶい橙~灰 ③白色粒・礫 ④ 3/4	外面 ・ 	

H-12号住居跡

番	号 器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器	口径 一		外面胴部〜底部篦削り。	
	甕	底径 - 器高 -	④胴部中位~底部 3/5	内面 胴部〜底部箆撫で。	

H-15号住居跡①

番号	器 種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 碗	口径 (12.6) 底径 一 器高 一	①酸化 ②にぶい黄橙~にぶい黄褐 ③白色粒 ④口縁部~底部 1/2	外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
2	須恵器 碗	口径 (15.0) 底径 一 器高 一	①酸化 ②にぶい黄橙 ③褐色粒 ④口縁部~体部下位 1/4	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形。	

Tab. 8 23 地点出土遺物観察表⑤

H-15号住居跡②

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
3	須恵器 碗	口径 (11.2) 底径 (6.0) 器高 4.4	①酸化 ②にぶい橙~にぶい 黄褐 ③白色粒・角閃石 ④ 1/8	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形。	
4	瓦丸瓦	厚さ 1.6	9 7	凹面 布目圧痕。 凸面 横位箆撫で。線刻あり。 側面 箆撫で。	
5	瓦 平瓦	厚さ 1.6	0 - 2 - 0 - 7 - 1	凹面 糸切り痕、布目圧痕、側端部箆撫で。 凸面 横位箆撫で。 側面 箆撫で。 狭端部 箆撫で。	

H-16号住居跡

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存		成・整形技法の特徴	備	考
1	土師器 坏	口径 11.1 底径 一 器高 3.5	①普通 ②橙 ③白色粒・角閃石 ④ほぼ完形		口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。		
2	土師器 坏	口径 11.0 底径 一 器高 3.9	①普通 ②橙 ③褐色粒・礫 ④ 2/3		口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。		
3	土師器 坏	口径 (11.0) 底径 一 器高 3.4	①普通 ②橙 ③白色粒・角閃石 ④ 2/5		口縁部横撫で、体部上位撫で、体部〜底部箆削り。 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。		
4	土師器坏	口径 21.6 底径 一 器高 8.1	①普通 ②橙 ③礫 ④ 3/4		口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 口縁部横撫で、体部箆撫で、底部撫で。		
5	土師器 坏	口径 (14.9) 底径 一 器高 5.0	①普通 ②橙 ③白色粒・角閃石・雲母・礫 ④ 2/5		口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。		
6	須恵器 坏	口径 10.0 底径 4.0 器高 3.8	①還元 ②灰~黄灰 ③白色粒 ④ 3/4	外面 内面	轆轤整形、底部右回転箆切り後右回転箆削り。 轆轤整形。		
7	土師器 甕	口径 (20.7) 底径 — 器高 —	①普通 ②にぶい褐 ③白色粒・片岩・礫 ④口縁部~胴部上位 1/5	外面 内面	口縁部横撫で、胴部箆削り。 口縁部横撫で、胴部箆撫で。		
8	土師器 甕	口径 (14.0) 底径 — 器高 —	①普通 ②にぶい赤褐 ③白色粒 ④口縁部~胴部上位 1/8		口縁部横撫で、胴部箆削り。 口縁部横撫で、胴部箆撫で。		
9	須恵器 甕	口径 - 底径 - 器高 -	①還元 ②灰 ③白色粒・礫 ④胴部中位破片	外面内面	胴部平行叩き。 青海波文。		

H- 18 号住居跡

番号	器 種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備	考
1	灰釉陶器	口径 (16.4)	①還元 ②灰白 ③白色粒	外面 轆轤整形。		
	碗	底径 -	④口縁部~体部破片	内面 轆轤整形。		
		器高 一		釉は漬掛け。		
2	須恵器	口径 一	①還元 ②にぶい黄	外面 轆轤整形。		
	碗	底径 (5.6)	③白色粒・雲母	内面 轆轤整形。		
		器高 一	④体部~高台部 1/4			
3	須恵器	口径 (20.4)	①酸化 ②明褐	外面 轆轤整形。		
	羽釜	底径 一	③白色粒・雲母	内面 轆轤整形。		
		器高 一	④口縁部~胴部上位 1/2			
4	瓦	厚さ 2.2	①還元 ②黒褐	凹面 布目圧痕。 凸面 縦位箆撫で。 側面 箆撫で。		
	丸瓦		③白色粒・礫 ④狭端部左側	狭端部 箆撫で。		

W-1号溝

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存		成・整形技法の特徴		考
1	青磁碗		①還元 ②オリーブ灰 ④口縁部破片	外面 内面	轆轤整形。 轆轤整形。	D 1 類 14 世紀	後半
番号	器	景 種		法量	(cm)、成・整形技法の特徴	備	考
2	石製品	宝筐印塔	相輪部、宝珠部は欠損。残存長	31.8	重さ 3600 g		

Tab. 9 23 地点出土遺物観察表⑥

W-2号溝

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備	考
1	土器 内耳鍋	口径 (30.0) 底径 一 器高 一	①普通 ②にぶい赤褐、黒褐 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部~胴部上位 1/12	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形。		
2	土器 鉢	口径 (28.0) 底径 一 器高 一	①普通 ②灰 ③白色粒・雲母 ④口縁部~胴部上位 1/12	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形。		

W-3号溝

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器			外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。	
	碗	底径 5.9 器高 5.1	褐灰 ③白色粒・褐色粒・礫 ④ 4/5	内面 轆轤整形。	

遺構外出土遺物

番号	器 種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 坏	口径 13.7 底径 一 器高 4.0		外面 口縁部横撫で、体部〜底部篦削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。	VIII 3
2	須恵器 蓋	口径 8.8 摘み 2.0 器高 2.9	①還元 ②灰 ③白色粒・礫 ④ 3/5	外面 轆轤整形、天井部右回転箆削り。 内面 轆轤整形。	
3	須恵器 蓋	口径 (10.3) 摘み - 器高 -	①還元 ②灰 ③白色粒 ④口縁部~天井部 1/4	外面 轆轤整形、天井部手持ち箆削り。 内面 轆轤整形。	
4	須恵器 坏	口径 (8.3) 底径 一 器高 3.5	①還元 ②にぶい黄橙 ③白色粒 ④ 1/2	外面 轆轤整形、底部手持ち箆削り。 内面 轆轤整形。	
5	須恵器 坏	口径 (9.6) 底径 一 器高 3.9	①還元 ②灰白 ③白色粒・角閃石 ④ 2/5	外面 轆轤整形、底部手持ち箆削り。 内面 轆轤整形。	
6	瓦 平瓦	厚さ 2.2	①還元 ②灰 ③白色粒 ④広端部右側	凹面 布目圧痕、側端部箆撫で。 凸面 縄目状圧痕、表面は荒れている。 側面 箆撫で。 広端部 箆撫で。	
7	白磁皿	口径 (14.0) 底径 一 器高 一	①還元 ②灰白 ④口縁部破片	轆轤整形。	B群
8	白磁碗	口径 (15.0) 底径 一 器高 一	①還元 ②灰白 ④口縁部破片	轆轤整形。	B群

VI 24 地点

1 24 地点概要 (Fig. 40、PL. 12·13)

24 地点の調査では、性格不明遺構 1 基・土坑 24 基・溝 7 条・ピット 76 基が検出されており、上野国府及び 蒼海城関連と想定される遺構を主とした地点である。性格不明遺構である SX-1 は 7 世紀代に帰属するものと 考えられる遺構で、埋没土の状態等から竪穴住居跡の掘り方が僅かに残存したものと想定されるものである。土 坑は調査を進めた結果、 $D-2\cdot7\cdot9\cdot14\cdot22$ 号土坑は井戸であることが判明している。なお、D-7 号土坑は、『元総社蒼海遺跡群(21)』 27 地点(以下、27 地点)における D-4 号土坑と同一遺構である。 D-2 号土坑は、掘削を途中であきらめている井戸でW-1 号溝が埋没した後に掘られている。本遺跡での井戸は、硬くしまる総社砂層が基盤層となっているためか、総社砂層部分は算盤球状に掘り込む傾向が見られる。 D-2 号土坑でも、算盤球状に掘り込もうとしてみたところ、W-1 号溝の埋没土に当たってしまったことから掘削を断念したものと考えられよう。また、D-2 号土坑を除く他の井戸では、埋没土上位に近世以降の陶磁器片が混入する状態が認められている。しかし、下位で該期の遺物は見られないことから、一概にも近世以降の遺構とはいえ



ないものと言えよう。その他、注目すべき土坑としてD-8号土坑が挙げられる。本土坑は、W-5号溝と重複し、調査段階でW-5号溝よりも新しい遺構として捉えていたが、出土遺物と埋没土層の状況を再確認したところ、同時期に存在していた可能性があり得るものと認識を改めている。なお、D-8号土坑は平面長方形状を呈する土坑であるが、コーナー部分に杭の打ち込み痕が確認されている。 $D-23\cdot25$ 号土坑は整理調査段階で欠番としている。溝は時期不明なものを除くと、大きく平安時代・15世紀後半・15世紀後半以降の 3 時期に分類することができる。平安時代に帰属するものはW-4号溝で、南北方向へ直線的に走行するものである。同溝も27 地点のW-1号溝と同一遺構で、長距離にわたり直線的に走行することから上野国府との関連性が指摘されるものである。15世紀後半に比定される溝はW-5号溝で同溝も27 地点W-2号溝からの継続である。同溝については蒼海城古段階の堀と認識しており、埋没土中から多量のカワラケ・貿易陶磁・在地陶器・古瀬戸等が出土するとともに、炭化材・焼けた土壁の混入が見られる。溝からの炭化材・焼けた土壁の出土は、郭内の建物が火災にあったことを示すもので、焼け落ちて不要となった建物の材や家財道具を土塁とともに堀に埋めた状況が捉えられている。15世紀後半以降の溝はW-1号溝とW-6号溝(27地点W-3号溝)で、蒼海城新段階の堀と考えられる。W-1号溝は現在の地形から描かれた縄張り図(山崎 1978)と一致する溝で、縄張り図では本丸と二の丸を区切る堀とされている。また、W -6 号溝は弧状に走行する溝で、丸馬出の可能性を有するものである。W -1 号溝との位置関係を見ると、交わることはなくW -1 号溝の手前 13 m程で立ち上がっている。

2 性格不明遺構

SX-1 (遺構: Fig. 41、PL. 13/遺物: Fig. 62、Tab. 15、PL. 18)

位置: X:200~202、Y:211・212 グリッド。主軸方位: 不明。重複: D-6号土坑・W-1・2号溝、ピット23 基と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、D-6号土坑・W-1・2号溝より古い。ピットとの新旧関係は不明。形状: 不整長方形状を呈する。規模: 〈5.10〉m×4.78 m。残存深度: 0.14 m。面積: 〈24.38〉m³。床面の状態: 細かい凸凹が顕著に見られる。また、本遺構北端では「L」字状に曲がる上端幅 0.15~0.27 m、下端幅 0.03~0.15 m、残存深度 0.11 mを測る溝が見られ、さらに溝の中にピット(P-1~4)が等間隔に並ぶ状態が確認されている。この状況から、住居跡の重複も考えられる。遺構埋没状態:総社砂層ブロックを含む暗褐色を主体とした土による人為埋没と想定される。また、部分的にではあるが、焼土・炭化粒の混入も見られる。遺物出土状態: 埋没土中より土師器坏・甕、須恵器蓋の出土が見られる。時期: 7世紀前半の遺物を主とするが、7世紀後半に比定されるものと想定される遺物も混ざる。備考: 性格不明遺構としたが、竪穴住居跡の掘り方が部分的ないし重複した状態の可能性が考えられる。

3 十坑 (遺構: Tab. 10·11)

24 地点において土坑は 26 基確認されている。調査の結果、 $D-2\cdot7\cdot9\cdot14\cdot22$ 号土坑は井戸であることが判明している。また、D-8 号土坑など蒼海城との関連性を有する土坑も見られることから、数基については詳細な事実記載を行うこととした。それ以外の土坑に関しては、計測値等を Tab. 10 に示してある。

D-2号土坑(遺構:Fig. 42、Tab. 10、PL. 14 / 遺物:Fig. 70、Tab. 22、PL. 25)

位置: X:202・203、Y:211・212 グリッド。重複: W-1・2・4 号溝と重複する。出土遺物・埋没土層の 観察から、本土坑は重複する全ての遺構より新しい。平面形態: 円形状を呈する。規模: 確認面(1.71) m×1.35 m。 最大径(3.11) m×(3.07) m。断面形態: 上位円筒状、中~下位算盤球状。残存深度: 2.32 m。底面の状態: 緩やかに中央へ向けて傾斜し、凸凹は少ない。遺構埋没状態:焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロックを含む黒褐色ないし暗褐色を主体とした土による人為埋没と想定される。埋没土の中位よりやや下では薄い焼土層が見られる。遺物出土状態:埋没土中より白磁端反碗・馬骨等が出土している。時期:W-1号溝より新しい遺構であることから、15世紀後半以降と想定される。備考:掘削を途中であきらめた井戸跡。当時、総社砂層の硬い土質を想定して、断面算盤球状を呈する井戸を掘ったところ、井戸北側の堆積土はW-1号溝の埋没土であったことから、地耐力不足と判断し、掘削を断念したものと推測される。

D-7号土坑(遺構: Fig. 43、Tab. 11、PL. 16・17/遺物: Fig. 70、Tab. 22、PL. 25)

位置: X:214・215、Y:201・202 グリッド。重複: W-5・6 号溝・『元総社蒼海遺跡 (21)』27 地点D-1 号土坑と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本土坑はいずれの遺構よりも新しい。平面形態: 不整楕円形状を呈する。規模: 4.30 m×3.57 m。断面形態: ロート状を呈する。残存深度: 〈4.21〉 m。底面の状態: 不明。遺構埋没状態: 埋没土の上位では近世以降の遺物出土が目立つが、中位以下には総社砂層ブロックが多量に含まれる。本遺構は井戸跡であるが、この埋没状況は地下式坑の埋没状況と類似していることから、D-2号土坑で見られるような断面算盤球状の掘り込みであったことが推測される。埋没土中に入る多量の総社砂層ブロックは、断面算盤球状のオーバーハングしている部分が崩落したものであろう。遺物出土状態: 埋没土上位では、近世以降の陶磁器が多量に出土している。これは井戸が崩落して窪地と姿を変えたため、遺構の性格もこれとともに変わりゴミ捨て場として機能したものと考えられる。総社砂層を多量に含む崩落土以下からは、常滑陶器大甕や木材等の出土が見られる。時期:15世紀後半以降と想定される。備考:土坑として調査を行ったが、調査の結果井戸跡であることが判明。『元総社蒼海遺跡群 (21)』27 地点D-4号土坑と同一遺構。

D-8号土坑(遺構: Fig. 44、Tab. 11、PL. 16・17 / 遺物: Fig. 70、Tab. 22・23、PL. 25)

位置: X:203・204、Y:213・214 グリッド。重複: W-4・5 号溝と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から本土坑はW-4号溝より新しい。なお、現地調査の段階で、埋没土層の観察から本土坑はW-5号溝よりも新しいものと判断したが、整理調査段階で出土遺物の詳細な観察や埋没土層の再解釈を行った結果、W-5号溝と同一時期に機能していた(一連の遺構である)可能性が高いものと認識を変更するに至っている。平面形態:隅丸長方形状を呈する。規模:3.07 m×1.77 m。断面形態:箱状を呈する。残存深度:2.66 m。底面の状態:比較的平坦。遺構埋没状態:焼土・炭化物・総社砂層ブロック・黒色粘質土ブロックを含む黒褐色を主体とした土による人為埋没と想定される。埋没土層のほとんどは南側からの流入となっており、炭化材や焼土化した土壁が混入する。遺物出土状態:埋没土中より青磁・白磁・古瀬戸擂鉢・常滑大甕・カワラケ・獣骨等の出土が見られる。時期:出土したカワラケから15世紀後半と想定される。備考:土坑南壁の両コーナーに直径7㎝のピットが見られる。同ピットは掘り方が見られないなどの状況から杭の打ち込み痕と想定される。

D-16号土坑(遺構: Fig. 45・46、Tab. 11)

位置: X:206、Y:213 グリッド。重複: D-24 号土坑・W-6 号溝と重複する。埋没土層の観察から、本土坑はW-6 号溝より古い。D-24 号土坑との新旧関係は不明。平面形態: 楕円形状を呈するものと推測される。規模: 〈0.61〉 m×0.55 m。断面形態: 逆台形状を呈するものと想定される。残存深度: 0.53 m。底面の状態: 全体的に端部が6 cmほど壁周溝状に窪み、中央部は盛り上がる。壁周溝状の窪みは、桶等の設置痕か? 遺構埋没状態: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロックを含む黒褐色を主体とした土により埋没している。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: W-6 号溝構築以前。備考: 性格不明。

D-17号土坑(遺構: Fig. 45・46、Tab. 11)

位置: X:206、Y:213 グリッド。重複: D-20 号土坑・W-6 号溝と重複する。埋没土層の観察から、本土坑はD-20 号土坑より新しく、W-6 号溝より古い。平面形態: 楕円形状を呈するものと想定される。規模: 1.30 m× 1.12 m。断面形態: 皿状を呈する。残存深度: 0.41 m。底面の状態: 多少の凸凹は見られるが、比較的なだらかな状態である。北西側に幅狭で低いテラスを有する。遺構埋没状態:総社砂層ブロックを含む黒褐色を主体とした土により埋没している。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: W-6 号溝構築以前。備考: 性格不明。

D-20号土坑 (遺構: Fig. 45・46、Tab. 11)

位置: X:206、Y:213 グリッド。重複: D-17 号土坑と重複する。埋没土層の観察から、本土坑はD-17 号土坑より古い。平面形態: 円形状ないし楕円形状を呈するものと推測される。規模: $\langle 1.09 \rangle$ m× $\langle 1.01 \rangle$ m。断面形態: 不明。残存深度: 0.40 m。底面の状態: 多少の凸凹は見られるが、比較的平坦である。遺構埋没状態: 炭化粒・総社砂層ブロックを含む黒褐色を主体とした土により埋没している。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: W-6 号溝構築以前。備考: 性格不明。

D-24号土坑(遺構: Fig. 45、Tab. 11)

位置: X:206、 $Y:212\cdot213$ グリッド。重複: D-16 号土坑・W-6 号溝と重複する。埋没土層の観察から、本土坑はW-6 号溝より古い。D-16 号土坑との新旧関係は不明。平面形態: 円形状ないし楕円形状を呈するものと推測される。規模: $\langle 0.44 \rangle$ m× $\langle 0.37 \rangle$ m。断面形態: 逆台形状を呈する。残存深度: 0.47 m。底面の状態: 多少の凸凹は見られるが比較的平坦である。遺構埋没状態: 総社砂層ブロックを含む黒褐色を主体とした土により埋没している。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: W-6 号溝構築以前。備考: 性格不明。

D-26号土坑(遺構: Fig. 47、Tab. 11、PL. 16)

位置:X:206、Y:214 グリッド。重複:W-5 号溝と重複する。埋没土層の観察から、本土坑はW-5 号溝より新しい。平面形態:方形状ないし長方形状を呈するものと推測される。規模:1.65 m×〈0.42〉 m。断面形態:逆台形状を呈するものと推測される。残存深度:〈1.66〉 m。底面の状態:底面までの検出ができなかったため不明。遺構埋没状態:焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック・黒色粘質土ブロックを含む黒褐色ないし暗褐色を主体とした土による人為埋没と想定される。また、埋没土の流入は北側及び南側の両方から行われている。遺物出土状態:遺物の出土は見られない。時期:15 世紀後半以降。備考:性格不明。D-8 号土坑と形状等は近似するものの、W-5 号溝との明確な切り合い関係が確認できていることと、埋没土の流入状況に違いが見られる等から、本土坑はD-8 号土坑とは異なる性格と想定される。

Tab. 10 24 地点土坑一覧表①

遺構名	グリッド	規模	(m)	深さ (m)	平面形態	遺物	備考
D−1号土坑	X:205 Y:211	0.67	× (0.60)	0.12	不整長方形	_	総社砂層ブロックを含む暗褐色土で埋没。
D-2号土坑	X:202 · 203	(1.71)	× 1.35	2. 32	楕円形	白磁端反碗	掘りかけの井戸。人為埋没。W-1・2・4号溝と重複し、
	Y:211 · 212					・馬歯等	本土坑はいずれの遺構よりも新しい。15世紀後半以降。
D-3号土坑	X:202 · 203	0.89	× 0.60	0.47	楕円形	_	小礫・総社砂層ブロックを含む黒褐色土で埋没。
	Y:212 · 213						
D-4号土坑	X:202 · 203	0.93	× 0.61	0.42	不整形	_	砂粒・小礫・総社砂層ブロックを含む黒褐色土で埋没。
	Y:213						
D-5号土坑	X:202 Y:212	0.81	× 0.61	0.11	隅丸長方形	_	小礫・総社砂層ブロックを含む黒褐色土で埋没。
D-6号土坑	X:201 · 202	0.47	× 0.41	0.27	楕円形	_	SX-1と重複し、本土坑はSX-1より新しい。小礫・
	Y:212						総社砂層ブロックを含む黒褐色土で埋没。

Tab. 11 24 地点土坑一覧表②

遺構名	グリッド	規模	[(m)	深さ (m)	平面形態	遺物	備考
	X:201 · 202		× 3.57	4.21以上			上位が崩落した井戸。上位人為埋没、下位自然埋没。W-5・
2 . 3 ± 3 1	Y:214 · 215	1,00		1.01	1131 3712		6 号溝·『元総社蒼海遺跡群 (21)』 27 地点D-1 号土坑
						大甕・木材	と重複し、本土坑はいずれの遺構よりも新しい。15世紀
							後半以降。『元総社蒼海遺跡群(21)』27地点D-4号土
							坑と同一遺構。
D-8号土坑		3. 07	× 1.77	2.66	隅丸長方形		人為埋没。W-5号溝と同時期に機能し、同遺構と一連で
	Y:213 · 214						あると想定。W-4号溝と重複し、本土坑はW-4号溝より新しい。15世紀後半。
						カワラケ・	り材 しい。15 世和後十。
						獣骨等	
D-9号土坑	X:203 · 204	1. 57	× 1.35	1.74以上	楕円形	近世以降陶	井戸。D-22 号土坑・W-2 号溝と重複し、本土坑はW
	Y:211 · 212					磁器・青磁	-2号溝より新しい。D-22号土坑との新旧関係は不明。
						盤	崩落の危険性から上位の調査で終了。礫・総社砂層ブロッ
					17:		クを含む黒褐色土で埋没。
D - 10 号土坑	X:204 Y:211	1. 27	× 1.19	0.17	楕円形	_	W-2号溝と重複し、本土坑はW-2号溝より新しい。小
							礫・炭化粒・総社砂層ブロックを含む暗褐色土・黒褐色土 で埋没。
D - 11 是土痘	X:204 Y:214	1 25	× (0.52)	0.76	楕円形?	_	W-5号溝と重複し、本土坑はW-5号溝より古い。総社
D 11 7 ± 90	1.2011 .211	1.20	/ (0.02/	0.10	1H1 1/1/2 .		砂層ブロックを含む暗褐色土で埋没。
D-12 号土坑	X:204 Y:212	1.07	× 1.07	1. 20	円形	_	D-18・22 号土坑と重複するが、新旧関係は不明。小礫・
							総社砂層ブロックを含む灰白色土・黒褐色土で埋没。
D-13 号土坑	X:204 Y:212	1.09	× 0.37	0. 27	楕円形	_	砂粒・総社砂層ブロックを含む黒褐色土で埋没。
D-14 号土坑		1.81	× 1.25	1.88 以上	楕円形	近世以降	井戸跡と想定。W-3・7号溝と重複し、本土坑はいずれ
	Y:211 • 212					陶磁器	の遺構よりも新しい。崩落の危険性から上位の調査で終了。
1 / -	X:205 Y:212			0.42	不整方形	-	小礫・総社砂層ブロックを含む黒褐色土で埋没。
D - 16 号土坑	X:206 Y:213	$\langle 0.61 \rangle$	× 0.55	0. 53	楕円形?	_	D-24号土坑・W-6号溝と重複し、本土坑はW-6号
							溝より古い。D = 24 号土坑との新旧関係は不明。底面端 部は壁周溝状に窪む。桶等の設置痕か?
D = 17 早土拉	X:206 Y:213	1 30	V 1 19	0.41	楕円形?	_	D-20 号土坑・W-6 号溝と重複し、本土坑はD-20 号
D 11 9 1 9 1	A .200 1 .213	1.50	A 1.12	0. 11	1811/1/2:		土坑より新しく、W-6号溝より古い。北西側に幅狭で低
							いテラス。
D-18号土坑	X:204 Y:212	0. 95	× 0.73	0.49	楕円形	_	D-12 号土坑と重複するが、新旧関係は不明。小礫・総
							社砂層ブロックを含む黒褐色土・暗褐色土で埋没。
D-19 号土坑		0.58	\times 0.55	0.55	隅丸方形	_	総社砂層ブロックを含む暗褐色土で埋没。
	Y:213 · 214	(>	/				
	X:206 Y:213			0.40	円形?	_	D - 17 号土坑と重複し、本土坑はD - 17 号土坑より古い。
D-21 号土坑	X:202 · 203 Y:214 · 215	0.68	× 0.66	0.43	隅丸方形	_	焼土・小礫・炭化物・総社砂層ブロックを含む黒褐色土で 埋没。
	X:204 Y:212	1 20	V 1 25	1.43 以上	梅田形	近世以降	埋夜。 井戸跡と想定。D-9・12 号土坑と重複するが、新旧関
ロー22 万工机	A · 204 I · 212	1. 00	^ 1.00	1.40 以上	作用门力	加州以降	
						Lea Machin	小礫・炭化粒・総社砂層ブロックを含む黒褐色土で埋没。
D-23 号土坑						欠 番	
D-24 号土坑	X:206	(0.44)	× (0.37)	0.47	円形?	_	D-16号土坑・W-6号溝と重複し、本土坑はW-6号
	Y:212 • 213						溝より古い。D-16号土坑との新旧関係は不明。
D-25 号土坑						欠 番	
D-26 号土坑	X:206 Y:214	1. 65	\times $\langle 0.42 \rangle$	1.66 以上	方形?	_	W-5号溝と重複し、本土坑はW-5号溝より新しい。15
							世紀後半以降。

詳細記述を行っている土坑

4 溝

W-1号溝(遺構: Fig. 48・49、PL. 14)

位置: $X:200\sim204$ 、Y:211 グリッド。主軸方位: $N-82^\circ-E$ 。重複: $SX-1\cdot D-2$ 号土坑・W-4 号 溝と重複する。埋没土層の観察から、本溝は $SX-1\cdot W-4$ 号溝より新しく、D-2 号土坑より古い。規模: 上端幅 $\langle 3.25\rangle$ m。本堀は蒼海城縄張り図(Fig. 4)で示されている新段階の蒼海城本丸と二の丸間を東西方向に走行する堀と想定されるもので、縄張り図を基に計測すると上端幅は 10 m程あるものと推測される。断面形態: 堀底までの検出に至らなかったため不明。壁面は堀底へ向けて約 40° の斜度で直線的に落ち込んでいく。残存深度: $\langle 2.71\rangle$ m。底面の状態: 検出が及んでいないため不明。遺構埋没状態: 総社砂層ブロック・黒色粘質土ブロック・As-YP を含む暗褐色ないし灰黄褐色の土による人為埋没と想定される。総社砂層ブロックに風化現象が見られないことや、検出した壁面(総社砂層)よりさらに下で見られる黒色粘質土やAs-YP が埋没土中に混入することから土塁の土を埋め戻したものと推測される。また、検出部分東端で確認した埋没土には

総社砂層ブロックの混入が多く見られることから、掘り残しの土橋が付近に存在する可能性も指摘される。遺物 出土状態:遺物の出土は見られないが、同一遺構である 25・26 地点のW-1 号溝の底から木器の椀が出土して いる。時期:15 世紀後半~17 世紀前半と想定される。備考:蒼海城新段階の堀と想定される。25・26 地点W-1 号溝と同一遺構。

W-2号溝(遺構: Fig. 50、PL. 14)

位置: $X:201\sim204$ 、Y:211 グリッド。主軸方位: $N-88^\circ$ - E。重複: $SX-1\cdot D-2\cdot 9\cdot 10$ 号土坑・W-4 号溝と重複する。埋没土層の観察から、本溝は $SX-1\cdot W-4$ 号溝より新しく、 $D-2\cdot 9\cdot 10$ 号土坑より古い。規模: 上端幅 $0.43\sim 1.42$ m。下端幅 $0.18\sim 1.18$ m。断面形態: 西側では皿状を呈するが、東側では箱状を呈する。残存深度: 0.49 m。底面の状態: 比較的凸凹は少なく、検出部分の東及び西端の標高が高い。中央に向かうにつれ標高を減ずる。遺構埋没状態: 小礫・総社砂層ブロックを含む暗褐色ないし黒褐色の土により埋没している。流水等の痕跡は見られない。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: 不明。

W-3号溝(遺構: Fig. 40)

位置: X:205、Y:211 グリッド。主軸方位: $N-1^\circ$ - W。重複: D-14 号土坑・W-7 号溝と重複する。埋没土層の観察から、本溝はD-14 号土坑より古い。W-7 号溝との新旧関係は不明。規模: 上端幅 $0.40\sim0.58$ m、下端幅 $0.16\sim0.32$ m。断面形態: 皿状を呈する。残存深度: 0.29 m。底面の状態: 南から北へ向けて標高を減ずる。表面はやや凸凹する。遺構埋没状態: 総社砂層ブロック暗褐色の土により埋没している。流水等の痕跡は見られない。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: 不明。

W-4号溝(遺構: Fig. 51、PL. 13/遺物: Fig. 62、Tab. 15、PL. 18)

位置: X:203、 Y:211~214 グリッド。主軸方位: N-8°-W。重複: D-2・8 号土坑・W-1・2・5 号溝と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本溝は重複する全ての遺構より古い。規模:上端幅 2.35~1.85 m、下端幅 0.55~0.30 m。断面形態:皿状を呈し、東半に低いテラス面を有する。残存深度:0.42 m。底面の状態:凸凹は少ない。鉄分の沈着が見られる。遺構埋没状態:埋没土の状態から本溝は 2 時期に分類することができ、W-4 a 溝、W-4 b 溝と名称を付してあり、断面形状で見られるテラス以下をW-4 b 溝、テラス以上をW-4 a 溝としている。W-4 b 溝の下位は砂粒・小礫・鉄分を多く含む暗褐色を主体とした土により埋没している。この状況は、比較的強い水流によって埋没したことを示すものである。W-4 b 溝は総社砂層ブロック・小礫を含む黒褐色土により埋没している。遺物出土状態:W-1 b 溝からは 10 世紀~11 世紀代の須恵器坏・碗、灰釉陶器皿、古代の丸瓦が出土している。W-4 a 溝からは火打ち金が出土している。時期:W-4 a 溝は 11 世紀以降、W-4 b 溝が 10~11 世紀代と想定される。備考:出土遺物の時期や長距離にわたり直線的に走行することなどから、上野国府に関連する遺構である可能性が高いものである。『元総社蒼海遺跡群 (21)』27 地点W-1 号溝と同一遺構。

W-5号溝(遺構: Fig. 52 \sim 55、PL. $14 \sim 16$ /遺物: Fig. 62 \sim 69、Tab. $15 \sim 22$ 、PL. $18 \sim 24$) 位置: X: 200 \sim 206、Y: 213・214 グリッド。主軸方位: 東西方向N-89° - W、南北方向N-64° - W。重複: D-7・8・11・26 号土坑・W-4・6 号溝と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本溝はD-11 号土坑・W-4号溝より新しく、D-7・26 号土坑・W-6号溝より古い。なお、D-8号土坑との新旧関係については、現地調査の段階で、埋没土層の観察から本溝はD-8号土坑より古いものと判断したが、整理調査段階で出土遺物の詳細な観察や埋没土層の再解釈を行った結果、D-8号土坑と同一時期に機能していた(一連の遺構である)

可能性が高いものと認識を改めるに至っている。規模:上端幅 2.45 ~ 3.30 m、下端幅 1.46 ~ 2.25 m。断面形態:南及び西壁は底面に向けて直線的に落ち込むが、北壁は底面に向けてオーバーハングする傾向にある。残存深度:1.80 m。底面の状態:調査区内における東西端の標高が高く、中央やや西寄りが窪む。また、掘削時の作業単位を表すものと推測される低い段差が確認されている。遺構埋没状態:最下位は総社砂層の風化による白灰色の自然埋没で、それ以上はAs-B・焼土・小礫・炭化物・総社砂層ブロック・黒色粘質土ブロックを含む暗褐色・黒褐色・黄褐色の土による人為埋没と想定される。なお、埋没土の流入は南側から行われており、総社砂層ブロックに風化現象が見られないことから、土塁の土を埋め戻したものと推測される。遺物出土状態:埋没土中より貿易陶磁(青磁・白磁・染付・褐釉陶器・天目茶碗)・古瀬戸(鉢・茶壺)・常滑(大甕)・在地土器(火鉢・擂鉢)・カワラケ・石製品(鉢・茶臼・石臼・板碑)・銅製品(古銭等)が出土しており、ほとんどの遺物に二次焼成痕が見られる。時期:カワラケの時期から15世紀後半と想定される。備考:蒼海城古段階の堀と想定される。『元総社蒼海遺跡群 (21)』27 地点W-2 号溝と同一遺構。

W-6号溝(遺構: Fig. 56·57、PL. 13·17/遺物: Fig. 70、Tab. 22、PL. 25)

位置: X:200・201・205・206、Y:212~214グリッド。主軸方位: 平面形態が半円状(弧状)を呈するため不明。重複: D-7・16・17・24号土坑・W-5号溝と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本溝はD-16・17・24号土坑より新しく、D-7号土坑より古い。規模: 上端幅1.00~1.38 m、下端幅0.36~0.74 m。断面形態: 逆台形状を呈する。残存深度: 1.15 m。底面の状態: 北から南に向けて標高を現ずる。掘削時の作業単位を表すものと推測される低い段差が確認されている。また、壁面には掘削時の工具痕が残存している。遺構埋没状態: 基本的に総社砂層ブロックを含む黒褐色・暗褐色を主体とした土により埋没している。W-5号溝と重複する部分に限り、埋没土中には焼土・炭化物・黒色粘質土ブロックが混ざる。総社砂層ブロックに風化現象が見られないことから土塁の土を埋め戻したものと推測される。遺物出土状態: 埋没土中より常滑大甕が出土している。時期: 15世紀後半~17世紀前半と想定される。備考: 蒼海城新段階の堀と想定され、半円形状(弧状)の平面形態やW-1号溝との位置関係から丸馬出の可能性を有するものである。『元総社蒼海遺跡群(21)』27地点W-3号溝と同一遺構。

W-7号溝(遺構: Fig. 58)

位置: $X:204\sim206$ 、Y:211 グリッド。主軸方位: $N-86^\circ$ - E。重複: D-14 号土坑・W-3 号溝と重複する。埋没土層の観察から、本溝はD-14 号土坑より古い。W-3 号溝との新旧関係は不明。規模: 上端幅 $0.31\sim0.84$ m、下端幅 $0.20\sim0.68$ m。断面形態: 「U」字状を呈する。残存深度: 0.33 m。底面の状態: 多少の段差が見られる。遺構埋没状態: 小礫を含む黒褐色を主体とした土により埋没している。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: 不明。

5 ピット (遺構: Fig. 59 ~ 61、Tab. 12・13・14)

24 地点においてピットは 76 基確認されているが、掘立柱建物跡等の配列は捉えられていない。各ピットの計 測値等は Tab. に示してある。

Tab. 12 24 地点ピット一覧表①

遺構名	グリット	規模(m)	深さ(m)	平面形態	遺物	備 考
P - 1	X:200 Y:211	0.24×0.16	0.15	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 2	X:201 Y:211	0.27×0.21	0.13	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。

Tab. 13 24 地点ピット一覧表②

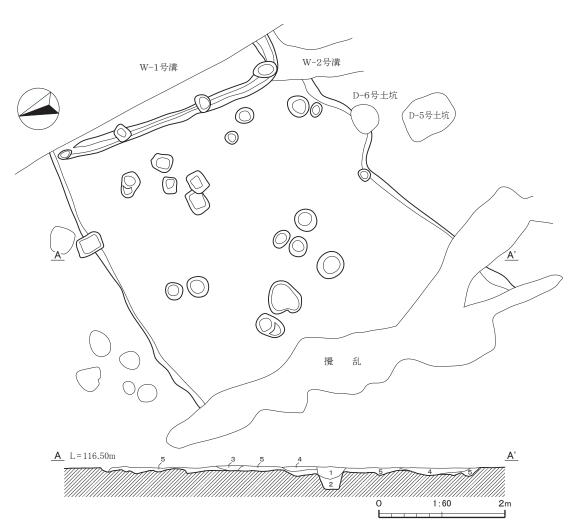
arts lake 6-	18.17	X0	Surt 5. /	and the	Sets of C	III. 4
遺構名	グリット		深さ(m)		遺物	備考
b - 3	X:201 Y:211	0.30×0.22	0. 10	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 4	X:201 Y:211	0.39×0.24	0. 14	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 5	X:201 Y:211	0.29×0.25	0. 53	楕円形	_	暗褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 6	X:201 Y:212	0.20×0.20	0.31	円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 7	X:201 Y:211 • 212	0.32×0.29	0.38	隅丸長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
P - 8	X:201 Y:212	0.42×0.32	0. 33	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 9	X:201 Y:212	0.25×0.23	0. 22	長方形	_	暗褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 10	X:201 Y:212	0.33×0.28	0. 21	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
	X : 201 Y : 212	0.41×0.30		長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
		0.36×0.33		楕円形	_	暗褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 201 Y : 212	0.24×0.17	0. 22	楕円形	_	暗褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 200 Y : 212	0.41×0.39		長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 200 Y : 212			長方形		黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
		0.41×0.31				
	X : 200 Y : 212	0.27×0.19	-	不整方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:200 Y:212	0.33×0.29	0. 01	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:200 Y:212	0.21×0.15	-	楕円形	-	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 19	X:201 Y:212	0.21×0.18	0.03	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 20	X:201 Y:212	0.39×0.34	0.44	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 21	X:201 Y:212	0.31×0.23	0.30	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 22	X:201 Y:212	0.31×0.28	0.12	円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 23	X:201 Y:212	0.43×0.40	0. 21	円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
	X:201 Y:212	0.27×0.27	0. 27	円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 201 Y : 212	0.34×0.32	0. 31	円形	_	暗褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 200 Y : 212	0.43×0.31	-	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 200 Y : 212	0.40×0.01 0.41×0.37	_	不整形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
	X : 200 Y : 212	0.41×0.37 0.33×0.29	0. 42	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 200 Y : 212		0. 42	楕円形		黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
		0.20×0.18				
	X : 200 Y : 212	0. 31 × 0. 27	0. 29	楕円形		黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
	X : 200 Y : 212	0.69×0.47	-	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:201 Y:212	0.58×0.51	0.01	不整形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:201 Y:212	0.47×0.32		楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・焼土粒・小礫混入。
P - 34	X:202 Y:213	0.41×0.39	0.42	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・焼土粒混入。
P - 35	X:202 Y:213	0.25×0.20	0.39	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 36	X:200 Y:213	0.27×0.25	0.11	円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 37	X:200 Y:213 · 214	0.51×0.23	0.30	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 38	X:200 Y:213	0.33×0.25	0. 19	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:201 Y:213	0.36×0.35	0. 34	隅丸方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・炭化粒混入。
	X : 201 Y : 213	0.27×0.25	0. 24	円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 201 Y : 213	0.45×0.39	0. 20	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 203 Y : 214	0.39×0.32	0. 67	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
	X : 203 Y : 211	0.39×0.32 0.22×0.21	0. 07	方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 204 Y : 211	0. 20 × 0. 19	0. 14	方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:204 Y:211	0.32×0.28	0. 21	不整方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:204 Y:211 • 212			長方形		黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:203 · 204 Y:212			長方形	_	暗褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
	X:203 Y:212	0.21×0.19	0. 13	方形	_	暗褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:204 Y:211	0.28×0.15	0.32	楕円形?	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 50	X:204 Y:211	0.11×0.09	0.44	不整長方形?	_	暗褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 51	X:205 Y:211	0.17×0.15	0.08	円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 52	X:205 Y:211	0.29×0.25	0.03	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 53	X:205 Y:211 • 212	0.62×0.32		隅丸三角形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
		0.95×0.58	0.04	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・炭化粒混入。
	X : 205 Y : 212	0.45×0.39		長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
	X : 206 Y : 211	0.35×0.25		楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
-	X : 205 Y : 212	0.33×0.23 0.17×0.10	0. 42	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・軽石(As-B?)混入。
	X : 205 Y : 212	0.17×0.10 0.16×0.10	0. 12	長方形		黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・軽石(As-B?)混入。 黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・軽石(As-B?)混入。
				方形	_	
	X:206 Y:212	0.30×0.29	0. 22			黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
	X : 205 • 206 Y : 212	0.47×0.33	0. 51	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
	X : 205 Y : 212	0.73 × 0.31	0. 26	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫・炭化粒混入。
	X:205 Y:212	0.47×0.41		長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:205 Y:212	0.79×0.63	0.30	不整形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 64	X:205 Y:212 • 213	0.45×0.45	0.39	円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 65	X:205 Y:212	0.19×0.17	0.16	方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
P - 66	X:205 • 206 Y:213	0.20×0.20	0. 28	方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
P - 67	X:205 Y:213	0.51×0.39	0. 25	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 205 Y : 213	0.69×0.43	0.40	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:205 Y:213	0.28×0.19	0. 14	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:204 · 205 Y:213		0. 61	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
				4712		The second of th

Tab. 14 24 地点ピット一覧表③

遺構名	グリット	規模(m)	深さ(m)	平面形態	遺物	備 考
P - 71	X:205 Y:213	0.37×0.28	0.18	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 72	X:205 Y:213	0.31×0.25	0.23	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 73	X:205 Y:213	0.38×0.35	0.33	方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 74	X:205 Y:213	0.23×0.23	0.24	方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
P - 75	X:205 Y:213	0.28×0.27	0.19	方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
P - 76	X:205 Y:214	0.23×0.22	0.56	方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。

遺構外出土遺物(遺物: Fig. 70、Tab. 23、PL. 25)

遺構外出土遺物として、1点の遺物を提示した。同遺物は青磁の皿で、内面に蓮弁文が施される舶来品である。 このような舶来品の磁器はD-8号土坑・W-5号溝から多数出土しており、蒼海城を改修するにあたり投棄さ れたものと推測される。

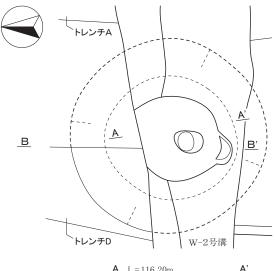


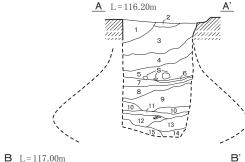
SX-1土層説明

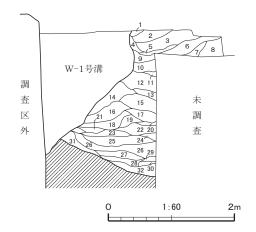
- 1. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。ピット埋没土。
- 2. 黒褐色土: 小礫 ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm少量含む。
 - しまりあり。粘性ややあり。ピット埋没土。
- 3. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。
 - 粘性ややあり。
- 4. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm多量含む。しまりあり。
 - 粘性ややあり。

- 5. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm少量含む。しまり弱。粘
 - 性ややあり。
- 6. 黒褐色土: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm少量含
 - む。しまりあり。粘性ややあり。
- 7. 黒褐色土: 炭化粒・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量含む。しま
 - りあり。粘性ややあり。
- 8. にぶい黄褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 3.0 cm 多量含む。 しまり
 - あり。粘性やや弱。

Fig. 41 S X - 1







13. 黒褐色土 : 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白)

 ϕ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

14. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 10.0 cm 中量、炭化粒少

量含む。しまりあり。粘性ややあり。

15. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm中量、炭化粒少量・総 社砂層ブロック(黄)φ0.5 cm含む。しまりあり。粘性ややあり。

16. 黒褐色土: 炭化物・総社砂層ブロック (黄) ø 0.5 ~ 2.0 cm・総社砂層ブロッ ク (白) φ 0.5 \sim 10.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

17. 黒褐色土 : 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5

cm少量、焼土粒・炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

18. 黒褐色土: 炭化粒・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロッ ク(白)φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

19. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量、炭化粒・総社砂層 ブロック (黄) φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや

20. 褐 色 土: 上位に炭化層、下位に焼土層が堆積する。しまりあり。粘性ややあり。

21. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 5.0 cm中量、炭化粒少量

含む。しまりあり。粘性ややあり。 22. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白)

 ϕ 0.5 cm・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

D-2号土坑土層説明(A-A')

1. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

2. 黒褐色土:総社砂層ブロック(黄)中量、小礫少量含む。しまりやや

あり。粘性ややあり。

3. 黒褐色十: 総社砂層ブロック(白) a 0.5 cm少量含む。しまりあり。 粘性ややあり.

4. 黒褐色土: 炭化粒・総社砂層ブロック (自) φ 0.5 cm少量含む。しま りあり。粘性ややあり。

5. 黒褐色土: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm微量含 む。しまりあり。粘性ややあり。

6. 褐色土:焼土・炭化物多量含む。しまりややあり。粘性ややあり。 7. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

8. 黒褐色土: 総社砂層ブロック(白) φ 0.5~1.0 cm中量、炭化物・総 社砂層ブロック (黄) o 0.5~2.0 cm少量含む。しまりあ

り。粘性ややあり。

9. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量、焼土粒・炭化粒微量含む。しまりあり。粘 性ややあり

10. 黒褐色土: 炭化粒・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロッ

ク (白) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

11. 黒褐色土: 焼土・炭化物中量含む。しまりあり。粘性ややあり。 12. 黒褐色土: 炭化粒・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロッ ク (白) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

13. 黒褐色土: 小礫・総社砂層ブロック (黄) 多量含む。しまりややあり。 粘性ややあり。

14. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (白) 中量含む。しまりややあり。粘性

ややあり

15. 暗褐色土: 炭化粒・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロッ ク(自) φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

16. 灰白色土: 総社砂層ブロック(白)多量、黒色粘質土ブロック少量含 む。しまりあり。粘性なし。

D-2号土坑土層説明(B-B')

1. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白)φ0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

2. 黒褐色土: 白色軽石 ϕ 0.2 cm・褐色粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。 3. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

4. 黒褐色土: 炭化粒・総社砂層ブロック(自) φ 0.5 cm少量含む。しま りあり、粘性ややあり。

5. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm 多量含む。 しまり

あり。粘性ややあり。 6. 黒褐色土: 小礫 φ 0.5 cm・総社砂層ブロック(白) φ 0.5 cm少量、総社砂 層ブロック(黄)φ0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

7. 黒褐色土: 小礫 φ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 cm微量 含む。しまりあり。粘性ややあり。

8. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

9. 黒褐色土: 総社砂層ブロック(白) o 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。 炭化粒・総社砂層ブロック(白) φ 0.5 cm微量含む。しま

10. 黒褐色土: りあり。粘性ややあり。

11. 暗褐色土: 焼土ブロック ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・炭化物中量含む。 しまりあ

り。粘性ややあり

12. 黒褐色土: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm微量含

む。しまりあり。粘性ややあり。

23. 黒褐色土: 炭化物・総社砂層ブロック(白) φ 0.5~1.0 cm少量含む。

しまりあり。粘性ややあり。

24. 黒褐色土: 炭化物・総社砂層ブロック(白) φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。

しまりあり。粘性ややあり。

炭化物・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロッ 25. 黒褐色土: ク (白) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

26. 暗褐色土: 炭化物・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロッ ク (白) φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

27. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm多量含む。 しまり

あり。粘性ややあり。 28. 黒褐色土:

総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm中量含む。しまり あり。粘性ややあり。

29. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 3.0 cm中量、炭化物少量 含む。しまりあり。粘性ややあり。

30. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm多量含む。 しまり

あり。粘性ややあり。

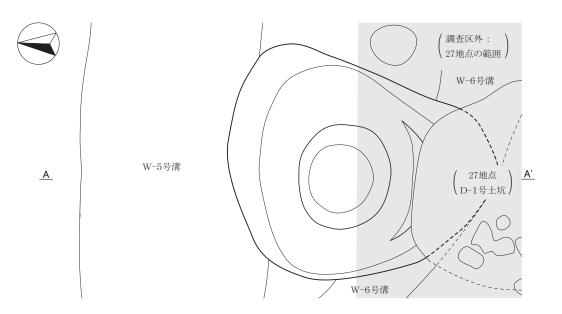
31. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 30.0 cm 多量含む。しま

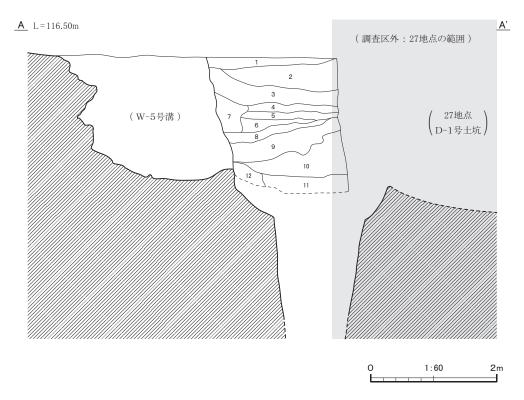
りあり、粘性ややあり、

32. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白)

φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

Fig. 42 D-2号土坑





D-7号土坑土層説明

没十。

- 1. 黒褐色土: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量含 む。しまりあり。粘性ややあり。D-7号土坑埋没土。
- 2. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 3.0 cm・総社砂層ブロッ ク (自) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。D-7号土坑埋
- 3. 黒褐色土 : 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm中量、炭化物・礫 ϕ 0.5 \sim 10.0 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0
- cm少量含む。しまり弱。粘性ややあり。D-7 号土坑埋没土。 4. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm多量、炭化粒微量
- 含む。しまりややあり。粘性ややあり。D-7号土坑埋没土。
- 5. 黒褐色土: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・ 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまり あり。粘性ややあり。D-7号土坑埋没土。
- 粘性弱。D-7号土坑埋没土。
- 6. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) φ 0.5~10.0 cm多量含む。しまり弱。

- 7. 黒褐色土: 総社砂層ブロック(黄) φ 0.5~30.0 cm多量含む。しまり弱。 粘性弱。D-7号土坑埋没土。
- 8. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量、総社砂層ブ ロック (白) φ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。D-7号土坑埋没土。
- 9. 暗褐色土:総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 10.0 cm中量、総社砂層 ブロック (白) ϕ 0.5 cm・礫 ϕ 0.5 \sim 5.0 cm少量含む。し まり弱。粘性ややあり。D-7 号土坑埋没土。
- 10. 暗褐色土:総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 20.0 cm 多量、総社砂層 ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm少量含む。しまり弱。粘性 ややあり。D-7号土坑埋没土。
- 11. にぶい黄褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 多量含む。しまり弱。粘性弱。大 規模な壁面の崩落。D-7号土坑埋没土。
- 12. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 3.0 cm中量含む。しまりあり。粘性ややあり。D 7 号土坑埋没土。

Fig. 43 D - 7 号土坑

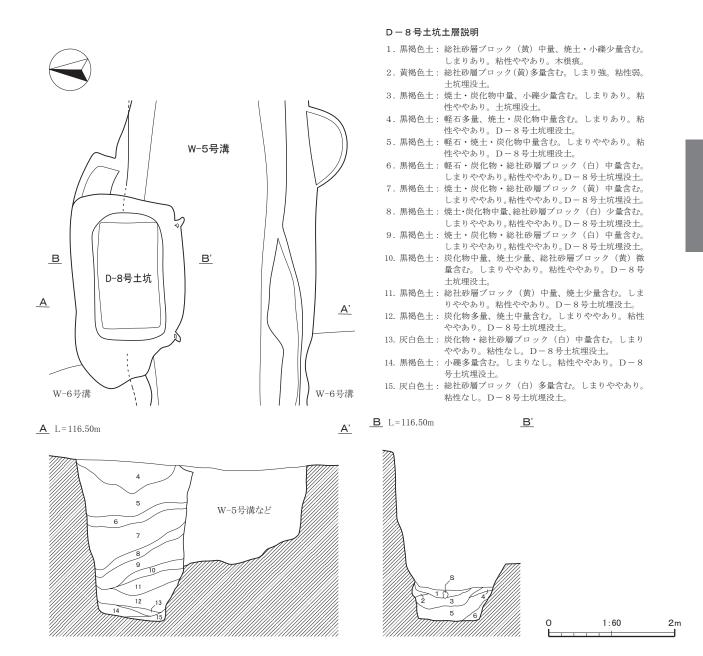


Fig. 44 D-8号土坑

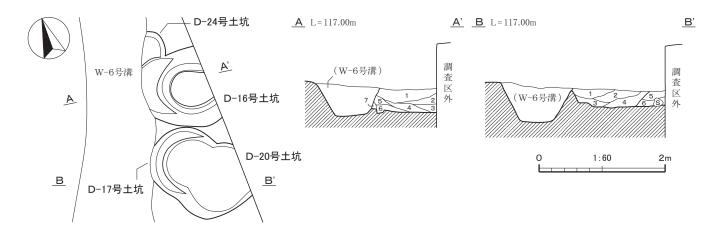


Fig. 45 D-16·17·20·24 号土坑

D-16号土坑土層説明 (A-A')

1. 黒褐色土: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック(黄) 微量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。 D-16 号土坑埋没土。

2. 黒褐色土: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) 微量含む。しまりあり。粘性ややあり。D-16 号土坑埋没土。

3. 黒褐色土: 焼土・総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりあり。粘 性ややあり。D-16 号土坑埋没土。

4. 黒褐色土:焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック(黄)微量含む。しま

りあり。粘性なし。D - 16 号土坑埋没土。 5. 黒褐色土:総社砂層ブロック (黄) 微量含む。しまりあり。粘性ややあり。D - 16 号土坑埋没土。

6. 黒褐色土: 焼土・総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりややあり。 粘性ややあり。D-16 号土坑埋没土。

- 16 号土坑埋没土。

D-17·20号土坑土層説明(B-B')

1. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりややあり。粘性 ややあり。D - 17 号土坑埋没土。

2. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量含む。しまりあり。粘性ややあり。D-17 号土坑埋没土。

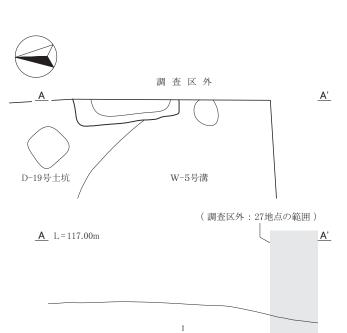
3. 黒褐色土: 砂粒・総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりやや弱。 粘性やや弱。D-17 号土坑埋没土。

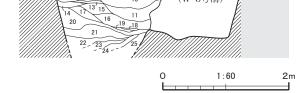
4. 黒褐色土:総社砂層ブロック(黄)多量含む。しまり強。粘性ややあり。 D - 17 号土坑埋没土。

5. 黒褐色土: 炭化粒・総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。D-20号土坑埋没土。

6. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 微量含む。しまりややあり。粘性 ややあり。D-20号土坑埋没土。

Fig. 46 D-16·17·20号土坑(土層説明)





10

(W-5号溝)

8

D-26号土坑土層説明

1. にが 黄褐色士: 磯・総社砂層ブロック (黄) 多量含む。しまり強。 粘性なし。土坑埋没土。 2. にが 黄褐色士:総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりあり。粘性なし。土坑埋没土。 3. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量、炭化物少量、焼土微量含む。

しまりあり。粘性なし。D-26号土坑埋没土。

4. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 多量、焼土・炭化物微量含む。 しまりあり。粘性ややあり。D-26 号土坑埋没土。

5. 黒褐色土: 炭化物・総社砂層ブロック (黄) 多量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。 D-26 号土坑埋没土。

6. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量含む。しまりあり。粘性や やあり。D-26 号土坑埋没土。

7. 黒褐色土: 炭化物・総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりややあり。 M性ややあり。 D-26 号土坑埋没土。

8. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 多量含む。しまりややあり。粘性ややあり。D-26号土坑埋没土。

9. 黒褐色土: 総社砂層ブロック(黄)中量、焼土少量含む。しまりあり。 粘性ややあり。D-26号土坑埋没土。

10. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 少量、黒色粘質土ブロック微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。D-26 号土坑埋没土。

11. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量、黒色粘質土ブロック微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。D-26号土坑埋没土。

12. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量、焼土微量含む。 しまりなし。 粘性ややあり。 D - 26 号土坑埋没土。

13. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 微量含む。しまりなし。粘性や やあり。D-26 号土坑埋没土。

14. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 微量含む。しまりややあり。粘性あり。D-26号土坑埋没土。

15. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量含む。しまりややあり。粘 性ややあり。D-26号土坑埋没土。

16. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量、炭化物微量含む。しまり ややあり。粘性ややあり。D - 26 号土坑埋没土。

17. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄)中量含む。しまりややあり。粘 性ややあり。 D - 26 号土坑埋没土。

18. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 微量含む。しまりなし。粘性や やあり。 D - 26 号土坑埋没土。

19. 黒褐色土: 軽石微量含む。しまりなし。粘性ややあり。D-26号土坑埋没土。20. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量、小礫微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。D-26号土坑埋没土。

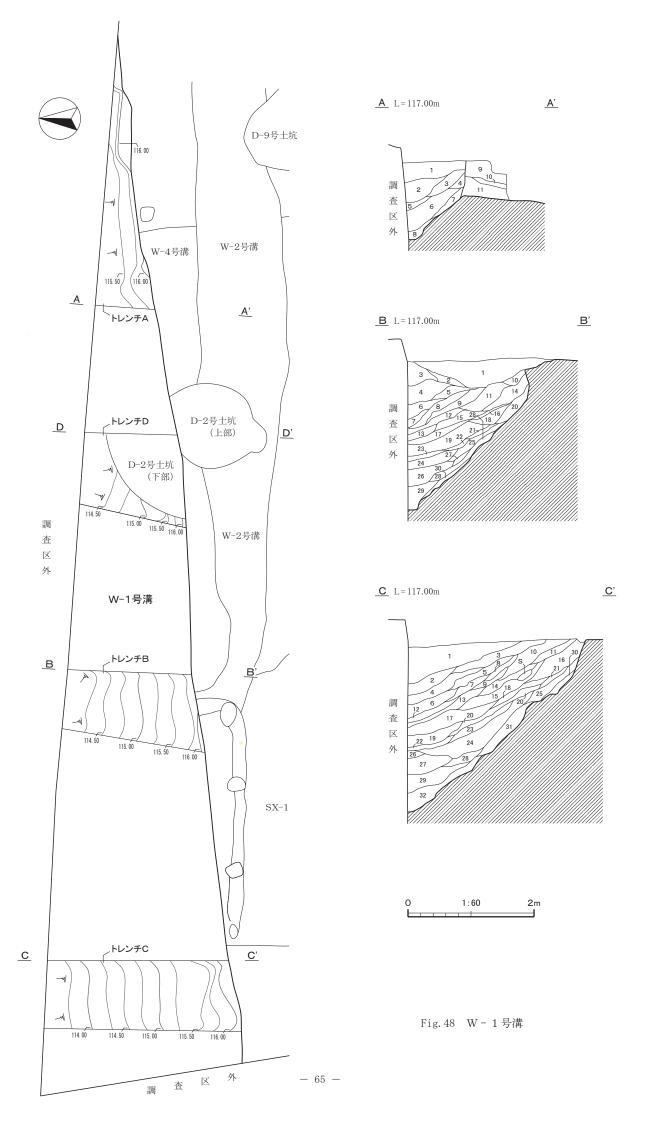
21. 黒褐色土: 小礫・総社砂層ブロック (黄) 微量含む。しまりややあり。 粘性ややあり。D - 26 号土坑埋没土。

22. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。D-26号土坑埋没土。

23. 黒褐色土: 焼土微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。D-26号土坑埋没土。
 24. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。D-26号土坑埋没土。

25. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) 多量、焼土・小礫・炭化物・総社砂層ブロック (黄) 微量含む。しまりややあり。粘性なし。D-26 号土坑埋没土。

Fig. 47 D-26 号十坑



W-1号溝土層説明(Aトレンチ)

1. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性弱。W-1号溝埋没土。

2. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 2.0 cm少量 含む。 しまりあり。 粘性弱。 W \sim 1 号溝埋没土。

3. 灰白色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm - 黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm 中量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm 少量含

む。しまりあり。粘性弱。W-1号溝埋没土。 4. 灰黄褐色土:総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 cm多量、総社砂層ブロック

ク(黄) ϕ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm少量含む。 しまりあり。 粘性弱。W-1 号溝埋没土。

5. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-1号溝埋没土。

6. 灰白色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm・量含む。しまりあり。粘性やや弱。W-1号溝埋没土。

7. 暗褐色土: 小礫 6 0.5 cm・総社砂層ブロック (黄) 6 0.5 cm少量含む。 しまりあり。粘性ややあり。W-1号溝埋没土。

8. にい 黄褐色: 小礫 ϕ $0.5 \sim 1.0$ cm・総社砂層ブロック(黄) ϕ $0.5 \sim 1.0$ cm多量含む。 しまりあり。 粘性なし。 W-1 号溝埋没土。

9. 暗褐色土: 白色軽石 φ 0.2 cm・褐色粒少量含む。しまりあり。粘性や やあり。W-2 号溝埋没土。

10. 暗褐色土: 白色軽石 φ 0.2 cm少量含む。しまり強、粘性あり。W - 2 号溝埋没土。 11. 暗褐色土: 小礫 φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量含む。 しまりあり。粘性ややあり。W - 4 号溝埋没土。

W-1号溝土層説明(Bトレンチ)

1. 暗褐色土: 小礫 ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量、炭化粒微量含む。 しまりあり。 粘性やや弱。

2. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm 中量、総社砂層ブロック

(黄) φ 0.5 ~ 2.0 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。3. 暗褐色土:総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

4. 暗褐色土 : 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。5. 灰黄褐色土 : 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック (黄)

 ϕ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性やや弱。 6. 灰黄褐色土:総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm 中量、総社砂層ブロック(黄)

5. 灰夷物巴工: 総任砂層ノロック(日) φ 0.5~2.0 四甲重、総任砂層ノロック(東) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック α 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性弱。

7. 灰黄褐色土:総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm 多量、総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm 少量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm 微量含む。しまりあり。粘性弱。

8. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 2.0 cm中量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm の 量 と と と に の 少量、黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm 微量含む。 しまりあり。 粘性やや弱。

10. 黒褐色土: 総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック(白)
 ф 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

11. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

m・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。 12. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 2.0 cm中量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

13. 灰黄褐色土:総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量、総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm少量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。

14. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) φ.0.5~1.0 cm 総社砂層ブロック(白) φ.0.5~1.0 cm 総社砂層ブロック(白) φ.0.5~1.0 cm 総社砂層ブロック(カ.5 cm 微量含む。しまりあり。粘性やや弱。

15. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック(白) φ 0.5 ~ 2.0 cm多量、総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 ~ 3.0 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

16. 灰黄褐色土 : 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。

17. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm :黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm 少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

18. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック(白) φ0.5~1.0 cm中量、総社砂層ブロック(黄) φ0.5 cm・黒色粘質土ブロックφ0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

19. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 3.0 cm中量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm・里合む。しまりあり。粘性やや弱。

20. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm・量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 2.0 cm・量含む。しまりあり。粘性弱。

21. 暗褐色土 : 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

ロ 中 重 、 黒色 粘質 土 ブロック φ 0.5 cm 少量 含む。 しまりあり。 粘性やや弱。 22. 暗褐色土: 総社砂層 ブロック (黄) φ 0.5 cm ・総社砂層 ブロック (白) φ 0.5 cm 少量 、

黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm 微量含む。しまりあり。粘性やや弱。 23. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm・量含む。しまりあり。粘性やや弱。

24. 灰白色土: 黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm少量含む。 しまりあり。粘性弱。25. 灰白色土: 黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm 微量含む。 しまりあり。粘性弱。26. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim

1.0 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性弱。

27. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 2.0 cm多量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm・黒色粘質土ブロックφ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性弱。

28. 灰黄褐色土 : 総社砂層ブロック (黄) 🕹 0.5 cm : 総社砂層ブロック (白) 🔞 0.5 cm : 総社砂層ブロック (白) 0.5 cm 少量含む。 しまりあり、粘性やや弱。

29. 灰黄褐色土:総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm・量、総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。

30. 灰白色土:総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm多量、黒色粘質土ブロッ

クφ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性弱。

W-1号溝土層説明(Cトレンチ)

1. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) φ 0.5~1.0 cm・総社砂層ブロック(白) φ 0.5~1.0

 $cm \cdot$ 黒色粘質土ブロック ϕ $0.5 \sim 2.0 cm$ 少量含む。しまりあり。粘性やや弱。 2. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ $0.5 \sim 2.0 cm$ 中量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5

2. 暗機・巴士: 総社砂槽ノロック (日) φ 0.5~2.0 cm 中重、総社砂槽ノロック (東) φ 0.5 ~1.0 cm・黒色粘質土ブロックφ 0.5 cm 少量合む。しまりあり。粘性やや弱。

3. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) φ 0.5~1.0 cm中量、総社砂層ブロック(黄) φ 0.5~1.0 cm・黒色粘質土ブロックφ 0.5~2.0 cm少量含む。 しまりあり。 粘性やや弱。

4. 暗褐色土 : 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 \times 8社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 \times 8社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \times 1.0 \times 8社砂層ブロック (カ.5 \times 1.0 \times 8社砂層ブロック (カ.5 \times 1.0 \times 1.

5. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 2.0 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

6. 暗褐色土:総砂層ブロック(白) φ 0.5~3.0 cm多量(お砂層ブロック(黄) φ 0.5~1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

7. 暗褐色土:総社砂層ブロック(白) φ0.5~1.0 cm多量、総社砂層ブロック(黄) φ0.5 cm・黒色粘質土ブロックφ0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。

8. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロックφ 0.5 cm少量、 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。

9. 灰黄褐色土:総社砂層ブロック (角) ゆ 0.5~1.0 四多量、黒色粘質土ブロック 0.5~1.0 田少量、総社砂層ブロック (角) ゆ 0.5 四微量含む。しまりあり。粘性やや弱。

10. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ø 0.5 cm中量,総社砂層ブロック (黄) ø 0.5 c 1.0 cm・黒色粘質土ブロック ø 0.5 cm少量含む。 しまりあり。粘性やや弱。

11. 暗褐色土 : 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

12. 灰黄褐色土 : 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm多量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 2.0

皿少量、総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 m微量含む。 しまりあり。 粘性やや弱。 13. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック(寅) ϕ 0.5 \sim 1.0 m中量 総社砂層ブロック(寅) ϕ 0.5 \sim 1.0

 ${\bf m}$ ・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 1.0 ${\bf m}$ 少量含む。しまりあり。粘性やや弱。14. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 ${\bf m}$ ・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 ${\bf cm}$ ・

黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性弱。 15. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm

黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。 16. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 1.0 cm

少量、総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm微量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。 17. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量、総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5

 ~ 1.0 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・量含む。しまりあり。粘性弱。18. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5

 $m \cdot$ 黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 m少量含む。しまりあり。粘性やや弱。 19. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ $0.5\sim4.0$ m中量、総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5

 $\sim\!1.0$ cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。 20. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm少量、総社砂層ブロック

(黄) ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。 21. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm多量、総社砂層ブロック(黄)

⋄ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック ⋄ 0.5 cm 衡量含む。しまりあり。粘性やや弱。
 22. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ⋄ 0.5 cm 中量、黒色粘質土ブロック
 ⋄ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

23. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量含む。しまりあり。粘性弱。

24. 暗褐色土 : 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm・量含む。しまりあり。粘性やや弱。

25. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 2.0 cm多量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

26. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm・ 黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm・ 上まりあり。 粘性やや弱。

27. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm 中量、 黒色粘質土ブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

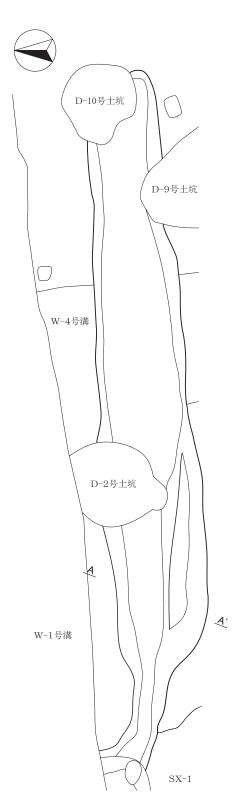
28. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (も) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (も) ない によりあり。 粘性やや弱。

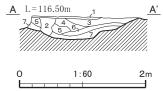
29. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 cm中量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量、A s - Y P ϕ 0.2 cm微量含む。 しまりあり。粘性やや弱。

30. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5~2.0 cm多量含む。しまりあり。粘性弱。 31. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5~2.0 cm多量、総社砂層ブロック (黄)

31. 暗褐色土 : 総社が増フにソフ (日) の 0.5~2.0 (四) 風 (記しが増フにソフ (例) 。 0.5~2.0 (回) 風 (配) 単位 (2.5~3.0 (回) 風 (2.5~5.0 (回) (2.5~5.0 (□) (2.5~5.0 (□) (2.5~5.0 (□)

 $cm \cdot$ 黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。



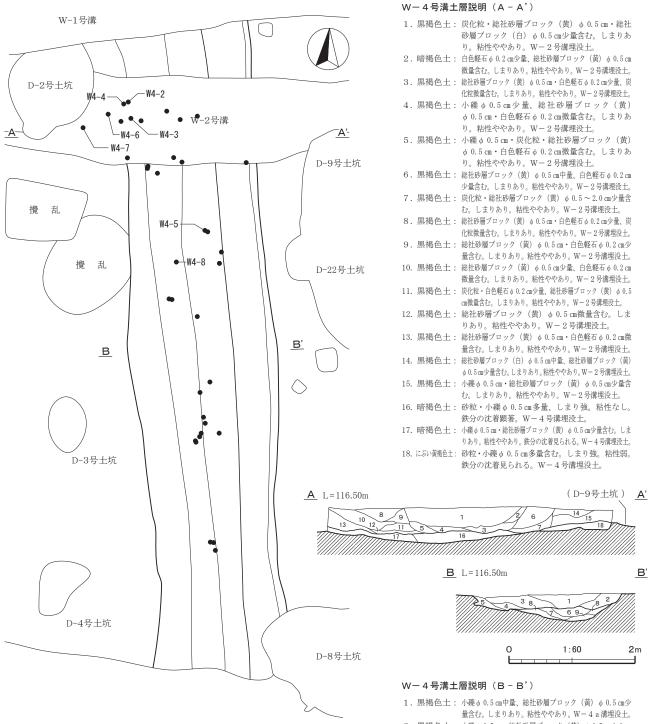


W-2号土坑土層説明

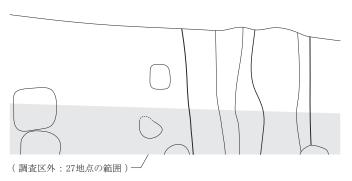
- 1. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm多量、黒色粘質土ブロッ
- クφ0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性弱。 2. 黒褐色土: 小礫φ0.5 cm・総社砂層ブロック(黄)φ0.5 cm少量含む。 しまりあり。粘性ややあり。
- しまりあり。粘性ややあり。
 3. 黒褐色土: 小礫 φ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量 合む。しまりあり。粘性ややあり。
 4. 黒褐色土: 小礫 φ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm微量 合む。しまりあり。粘性ややあり。
 5. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・白色軽石φ 0.2 cm少量 合む。しまりあり。粘性ややあり。

- 6. 黒褐色土: 小礫 ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量、 白色軽石 φ 0.2 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 1. 黒褐色土: 小碟 6 0.5 cm・総社砂層ブロック(黄) 6 0.5 cm・白色軽石 6 0.2 cm少量含む。しまり強。粘性ややあり。

Fig. 50 W-2号溝



W-5号溝



2. 黒褐色土: 小礫 φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm 中量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-4a溝埋没土。 3. 黒褐色土: 小礫 φ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量、総社砂層ブロック(白) φ 0.5 cm微量含む。 しまりあり。粘性ややあり。W-4a溝埋没土。

4. 黒褐色土: 小礫 φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm中量含 む。しまりあり。粘性ややあり。W-4 a 溝埋没土。 5. 黒褐色土: 小礫 φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量含 む。しまりあり。粘性ややあり。W-4a溝埋没土。 6. 黒褐色土: 小礫 φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量含

む。しまりあり。粘性あり。W-4b溝埋没土。

7. 黒褐色土 : 砂粒中量、小礫 ϕ 0.5 cm少量、総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-4 b溝埋没土。 8. 黒褐色土: 砂粒・小礫 φ 0.5 cm少量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-4 b 溝埋没土。

9. 暗褐色土: 小礫 ø 0.5 ~ 1.0 cm多量、砂粒中量含む。しまり強。

粘性なし。鉄分の沈着が顕著。W-4b溝埋没土。

Fig. 51 W-4号溝

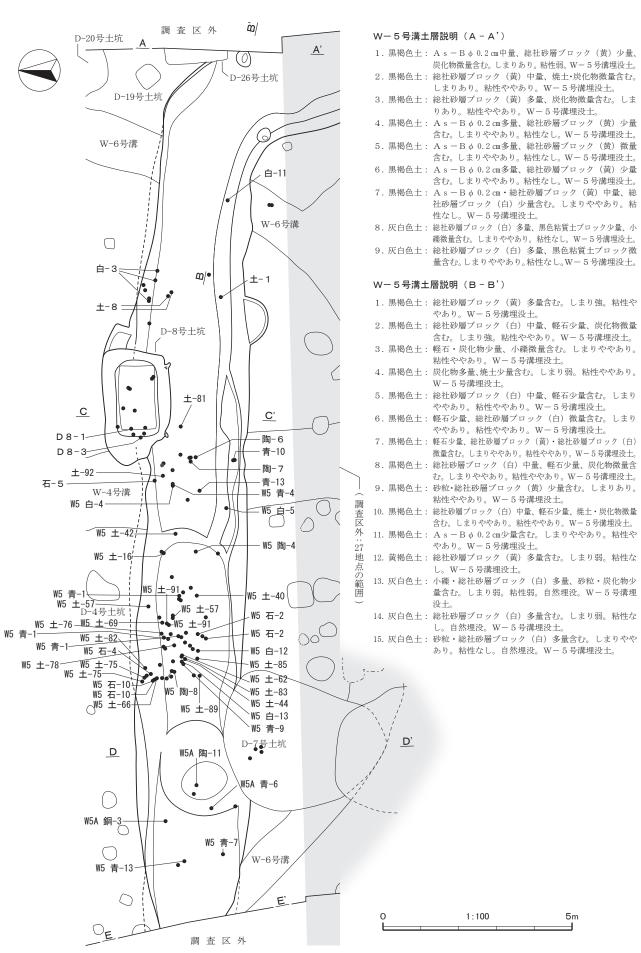


Fig. 52 W-5号溝①

W-5号溝土層説明 (C-C')

1. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量、焼土・小礫少量含む。しま りあり。粘性ややあり。木根痕。

2. 黄褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 多量含む。しまり強。粘性弱。土

坑埋没土。

3. 黒褐色土: 焼土・炭化物中量、小礫少量含む。しまりあり。粘性やや あり。土坑埋没土。

4. 黒褐色土: 軽石・炭化物中量、焼土少量、総社砂層ブロック (黄) 微

量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。 5. 黒褐色土: 焼土・軽石・炭化物中量、小礫少量含む。しまりややあり。

粘性ややあり。W-5号溝埋没土。

6. 黒褐色土: 焼土・小礫・炭化物中量含む。しまりややあり。粘性やや あり。W-5号溝埋没土。

A L=117.00m

7. 黒褐色土: 焼土・炭化物・総社砂層ブロック (黄) 中量含む。しまり

(調査区外:27地点の範囲)-

Ι

(D-26号土坑)

2,

4

5

6

まりややあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。

まりややあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。

14. 黒褐色土: 焼土・炭化物中量含む。しまりややあり。粘性ややあ り。W-5号溝埋没土。

ややあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。

8. 黒褐色土: 焼土・炭化物中量含む。しまり強。粘性ややあり。W-5

9. 黒褐色土: 焼土・炭化物中量含む。しまりややあり。粘性ややあり。

10. 黒褐色土: 焼土・炭化物多量、小礫中量、総社砂層ブロック (黄) 少

11. 黒褐色土: 焼土・炭化物中量、総社砂層ブロック (黄) 微量含む。し

12. 黒褐色土: 焼土・炭化物中量、総社砂層ブロック (黄)・総社砂層ブロッ

13. 暗褐色土: 焼土・炭化物多量、総社砂層ブロック(自)中量含む。し

量含む。しまりややあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。

ク(白)少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。W-

号溝埋没土。

W-5号潇埋没十。

5号溝埋没土。

15. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) 中量、総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。W-5号

溝埋没土。

16. 暗褐色土: 焼土・総社砂層ブロック (白) 中量、炭化物少量含む。 しまりややあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。

17. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) 中量、小礫・炭化物中量含む。 しまりややあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。 18. 黒褐色土: 炭化物中量、焼土・総社砂層ブロック (黄)・総社砂

層ブロック(白)少量含む。しまりややあり。粘性や やあり。W-5号溝埋没土。

19. 暗褐色土: 小礫・炭化物少量含む。しまりややあり。粘性ややあ り。W-5号溝埋没土。

20. 黄褐色土: 小礫・総社砂層ブロック (黄) 多量含む。しまりなし。 粘性なし。W-5号溝埋没土。

21. 暗褐色土: 小礫・炭化物・総社砂層ブロック (白) 少量含む。し まりややあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。

22. 灰白色土: 総社砂層ブロック (白) 多量含む。しまりややあり。粘

B L=117.00m

調 W-6号溝) 査 10 区 11 外 125 13 (S)

B' 性ややあり。W-5号溝埋没土。

23. 灰白色土:総社砂層ブロック(白)多量、 炭化物・総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりややあり。粘 性ややあり。W-5号溝埋没土。 24. 灰白色土:総社砂層ブロック(白)多量、

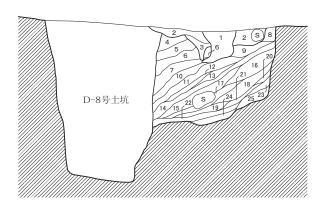
小礫・炭化物少量含む。しまり ややあり。粘性ややあり。W-

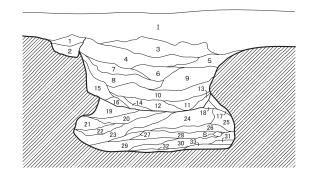
5 号溝埋没土。

25. 灰白色土:総社砂層ブロック(白)多量、 炭化物少量含む。しまりややあ

り。粘性なし。

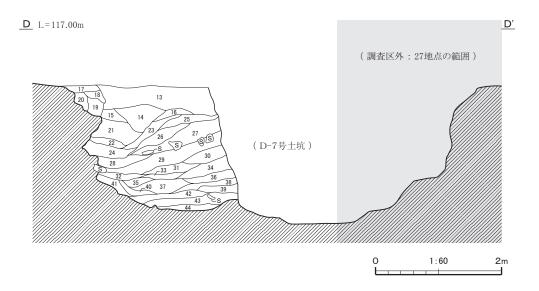
C L=117.00m C' **E** L=117.00m E'





1:60 2m

Fig. 53 W-5号溝②



W-5号溝土層説明 (D-D')

- 1. 黒褐色土: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm少量含む。 し
- まりあり。粘性ややあり。D-7号土坑埋没土。
- 2. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 3.0 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm少量、黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。D − 7 号土坑埋没土。
- 3. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 2.0 cm中量、炭化物・礫φ 0.5 ~ 10.0 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。 しまり弱。粘性ややあり。 D − 7 号土坑埋没土。
- 黒褐色土:総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 ~ 3.0 cm多量、炭化粒微量含む。 しまりややあり。粘性ややあり。D-7号土坑埋没土。
- 5. 黒褐色土: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社 砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性 ややあり。D 7 号土坑埋没土。
- 6. 暗褐色土:総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 ~ 10.0 cm多量含む。しまり弱。 粘性弱。D-7号土坑埋没土。
- 7. 黒褐色土: 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 30.0 cm 多量含む。 しまり弱。 粘性弱。 D 7 号土坑埋没土。
- 8. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm中量、総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。 D-7号土坑埋没土。
- 9. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 10.0 cm中量、礫φ 0.5 ~ 5.0 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量含む。しまり弱。粘性ややあり。D-7号土坑埋没土。
- 10. 暗褐色土 : 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 20.0 cm多量、総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm少量含む。しまり弱。粘性ややあり。D
- 7 号土坑埋没土。 11. にぶい黄褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 多量含む。しまり弱。粘性弱。大規模な 壁面の崩落。D- 7 号土坑埋没土。
- 12. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 3.0 cm中量含む。しまりあり。 粘性ややあり。D-7号土坑埋没土。
- 13. 暗褐色土: 焼土粒・小礫 φ 0.5 cm・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 14. 黒褐色土: 焼土ブロック φ 0.5 ~ 1.0 cm・炭化粒中量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。
- 15. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 4.0 cm中量、焼土粒・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 16. 暗褐色土: 焼土ブロック ϕ 0.5 \sim 2.0 cm 中量、総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm・炭化物少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 17. 黒褐色土: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) ø 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 18. 黒褐色土: 焼土粒中量、炭化粒・総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm少量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。
- 19. 黒褐色土 : 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm 中量、焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 5.0 cm 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 20. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) � 0.5 ~ 1.0 cm *総社砂層ブロック (白) � 0.5 ~ 2.0 cm 中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 21. 暗褐色土: 焼土ブロック ϕ 0.5 cm・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

- 22. 黒褐色土: 焼土ブロック ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・総社 砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm・最立 しまりあり。粘性ややあり。
- 24. 黒褐色土: 焼土粒・炭化物・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 5.0 cm少量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。
- 25. 暗褐色土: 焼土ブロック φ 0.5 cm 中量、炭化物・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 ~ 3.0 cm少量含む。しまり あり、粘性ややあり、
- 26. 暗褐色土: 焼土ブロック ϕ 0.5 \sim 1.0 cm多量、炭化物中量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm少量 含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 27. 黒褐色土: 炭化物多量、焼土ブロック ϕ 0.5 \sim 1.0 cm 中量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。 礎石と想定される礫の投棄が見られる。
- 28. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) φ 0.5 ~ 10.0 cm多量、総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 ~ 3.0 cm中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 29. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm 中量、焼土ブロック ϕ 0.5 cm・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・黒 色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 30. 暗褐色土 : 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 cm中量、焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm少量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。
- 31. 暗褐色土 : 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 4.0 cm・炭化物中量、総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量、焼土粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 32. 暗褐色土 : 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 5.0 cm多量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 33. 暗褐色土 : 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm中量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm少量、焼土粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 34. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5~4.0 cm多量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5~3.0 cm少量、焼土粒・炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 35. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm・炭化物少量含む。しまりあり。粘性あり。
- 36. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm多量、総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 37. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm中量、炭化物・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
 38. 黒褐色土: 炭化物・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm・黒色粘質土ブ
- しまりあり。粘性ややあり。 40. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック (黄)
- φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。 41. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白)φ 0.5 ~ 2.0 cm多量、総社砂層ブロック
- (黄) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。 42. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白)
- φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。 43. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 30.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 44. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) φ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 cm少量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。

W-5号溝土層説明(E-E')

- 1. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白)
 - φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。ピット埋没土。
- 2. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。ピッ ト埋没十。
- 3. 暗褐色十: 総計砂層ブロック (黄) a 0.5~4.0 cm・総計砂層ブロッ ク (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。W - 6 号溝埋没土。
- 4. 暗褐色土:総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロッ ク (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm少 量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-6 号溝埋没土。
- 5. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) φ 0.5~5.0 cm中量、総社砂層ブロッ ク (白) φ $0.5 \sim 1.0$ cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm少 量含む。しまり強。粘性あり。W-6号溝埋没土。
- 6. 暗褐色土 : 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm 中量、炭化粒・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm 微量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-6号溝埋没土。
- 7. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量、総社砂層ブ ロック (白) φ 0.5 cm少量、黒色粘質土ブロックφ 0.5 cm 微量含む。しまり強。粘性ややあり。W-6号溝埋没土。
- 8. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm少量、黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm 微量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-6号溝埋没土。
- 9. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) φ 0.5~3.0 cm多量、総社砂層ブロッ ク (白) ϕ 0.5 ~ 1.0 cm中量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 $\sim 1.0 \, \text{cm}$ 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-6 号 溝埋没土。
- 10. 暗褐色土: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 2.0 cm・ 総社砂層ブロック(自) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm・黒色粘質土ブロッ otag
 otag
- 11. 黒褐色土: 砂粒・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂 層ブロック (白) ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性や や弱。W-6号溝埋没土。
- 12. 黒褐色土: 焼土ブロック ϕ 0.2 \sim 1.0 cm・炭化物中量、総社砂層ブロッ ク (黄) φ 0.5 ~ 5.0 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。※下位に灰白 色の総社砂層の土が堆積(厚さ0.5 cm) する。W-6号溝 埋没十。
- 13. 黒褐色土 : 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロッ ク (白) ϕ 0.5 ~ 1.0 cm少量、焼土粒微量含む。しまりあ り。粘性ややあり。W-6号溝埋没土。
- 14. 暗褐色土:砂粒少量、焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
- 15. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm・総社砂層ブロッ ク (白) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロックφ 0.5 cm少量含む。 しまりあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。
- 16. 黒褐色土: 総社砂層ブロック(白) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm・ A s - B φ 0.2 cm少量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm微 量含む。しまりあり。粘性やや弱。W-5号溝埋没土。
- 17. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-5号 溝埋没十.
- 18. 黒褐色土: 炭化物・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm少量、焼土 粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-5 号溝埋没土。
- 19. 黒褐色土: 炭化粒・総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロッ ク (自) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロックφ 0.5 cm少量含む。 しまりあり。粘性ややあり。総社砂層最上位層の崩落土が 入り込む。W-5号溝埋没土。
- 20. 黒褐色土: 炭化物・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂 層ブロック(白)φ0.5 cm少量、灰微量含む。しまりあり。 粘性ややあり。W-5号溝埋没土。
- 21. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm 中量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm・炭化粒 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。
- 22. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロッ ク (白) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。 W-5号溝埋没土。
- 23. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5~ 15.0 cm・総社砂層ブロッ ク (白) φ 0.5 ~ 3.0 cm多量、黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。W-5号溝埋没土。

- 24. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 10.0 cm・総社砂層ブロッ ク (自) φ 0.5 ~ 2.0 cm多量、砂粒・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。W - 5 号溝埋没土。
- 25. 暗褐色十: 総社砂層ブロック (黄) a 0.5 ~ 15.0 cm・総社砂層ブロッ ク (白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm中量含む。しまりあり。粘性やや あり。W-5号溝埋没土。
- 26. 暗褐色土 : 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 5.0 cm多量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm少量含 む。しまりあり。粘性ややあり。下位に炭化層が薄く(厚 さ 1.0 cm) 堆積する。W-5号溝埋没土。
- 27. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量含む。 しまりあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。
- 28. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ø 0.5 ~ 4.0 cm・総社砂層ブロッ ク(白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm多量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 ~3.0 cm中量含む。しまりあり。粘性ややあり。下位に炭 化層が薄く(厚さ 1.0 cm)堆積する。W-5号溝埋没土。
- 29. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 10.0 cm 多量、総社砂層 ブロック (黄) φ 0.5 ~ 5.0 cm中量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 2.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。W - 5 号溝埋没土。
- 30. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm中量、焼土粒・総社砂層ブ ロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-5 号溝埋没土。
- 31. 灰白色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 5.0 cm多量、黒色粘質土 ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。 W-5号溝埋没土。
- 32. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm多量含む。 しまり あり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。
- 33. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm中量・黒色粘質土ブ ロック ϕ 0.5~1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

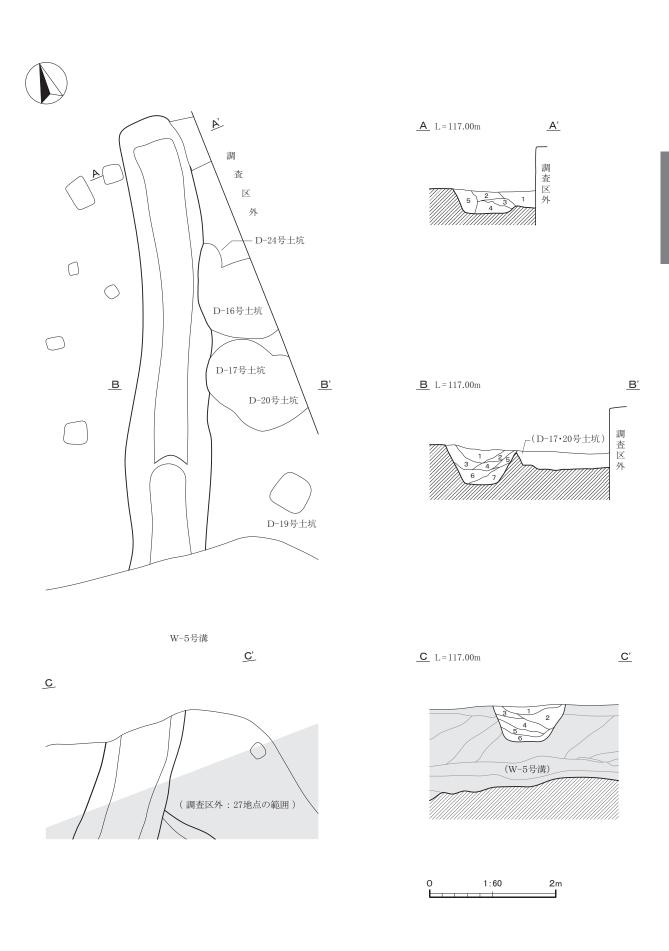


Fig. 56 W-6号溝

W-6号土坑土層説明(A-A')

- 1. 黒褐色土: 攪乱。総社砂層ブロック(黄) 多量含む。しまりややあり。 粘性ややあり。
- 2. 黒褐色土: 総社砂層ブロック(黄)多量含む。しまりややあり。粘性ややあり。 3. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりややあり。粘性なし。
- 4. 黒褐色土: 小礫・総社砂層ブロック(黄)少量含む。しまりややあり。粘性なし。
- 5. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりあり。粘性なし。

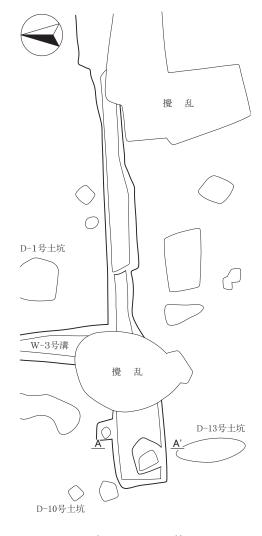
W-6号土坑土層説明(B-B')

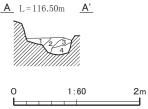
- 1. 黒褐色土: 小礫・総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりあり。粘
- 性ややあり。W-6号溝埋没土。 2. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 多量含む。しまりあり。粘性やや あり。W-6号溝埋没土。
- 3. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量、軽石少量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。W-6号溝埋没土。
- 4. 黒褐色土:総社砂層ブロック(白)多量、焼土粒・軽石・炭化粒・総 社砂層ブロック(黄)少量含む。しまり強。粘性ややあり。
- W-6号溝埋没土。 5. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量含む。しまりあり。粘性やや あり。W-6号溝埋没土。
- 6. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量含む。しまりあり。粘性やや あり。W-6号溝埋没土。
- 7. 黒褐色土: 焼土粒・小礫・炭化粒少量、総社砂層ブロック (黄) 微量 含む。しまりあり。粘性ややあり。W-6号溝埋没土。

W-6号土坑土層説明 (C-C')

- 1. 黒褐色土:総社砂層ブロック(白)・軽石少量含む。しまりあり。粘 性ややあり。W-6号溝埋没土。
- 2. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (自)・軽石中量、炭化物少量含む。し まりあり。粘性弱。W-6号溝埋没土。
- 3. 暗褐色土:軽石・砂粒中量、小礫・炭化物少量含む。しまりややあり。 粘性ややあり。W-6号溝埋没土。
- 4. 暗褐色土:総社砂層ブロック(白)中量、炭化物少量含む。しまりあ り。粘性ややあり。W-6 号溝埋没土。
- 5. 暗褐色土:総社砂層ブロック(白)多量含む。しまり強。粘性ややあ り。W-6号溝埋没土。
- 6. 暗褐色土: 焼土少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。W-6号 溝埋没土。

Fig. 57 W-6号溝(土層説明)





W-7号溝土層説明

- 1. 黒褐色土:小礫少量含む。しまりなし。粘性ややあり。
- 2. 黒褐色土:小礫中量含む。しまりなし。粘性なし。ピット埋没土。 3. 黄褐色土: 小礫・総社砂層ブロック (黄) 多量含む。しまりあり。粘 性なし。ピット埋没土。
- 4. 黒褐色土:小礫多量含む。しまりあり。粘性なし。ピット埋没土。

Fig. 58 W-7号溝

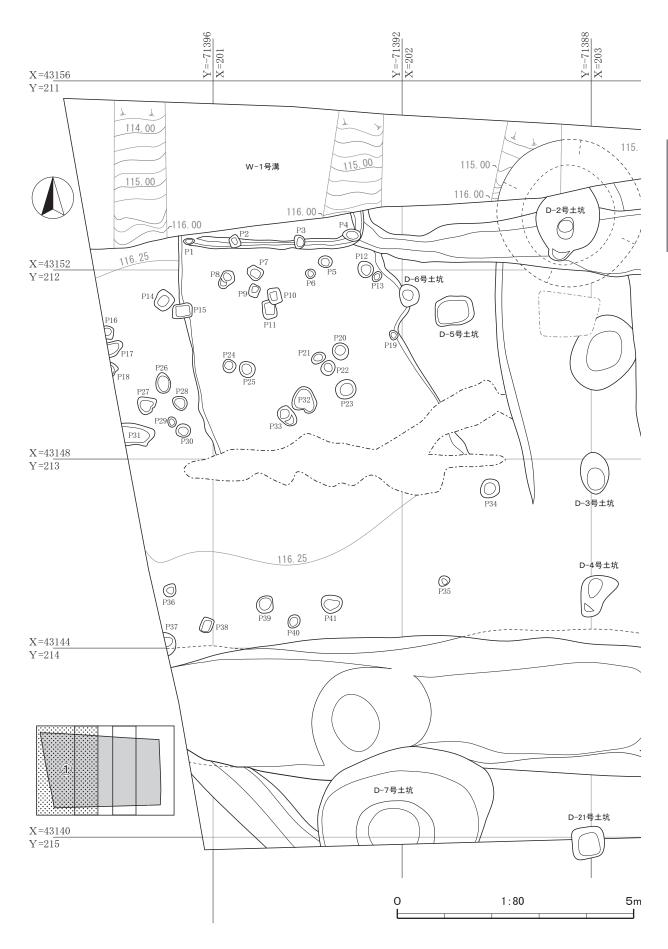
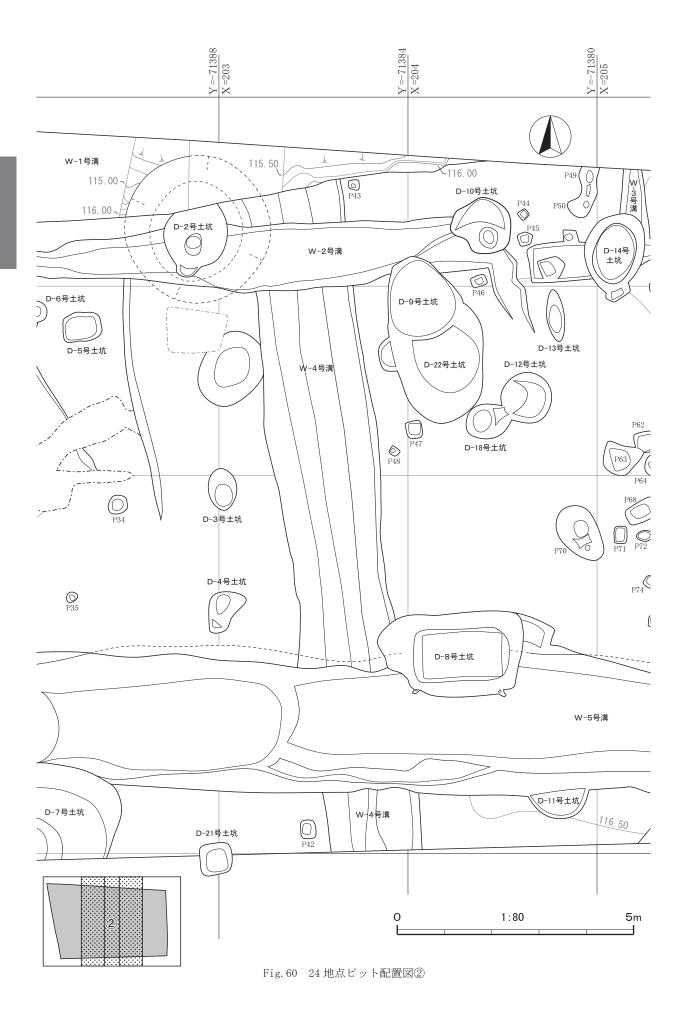


Fig. 59 24 地点ピット配置図①



- 76 -

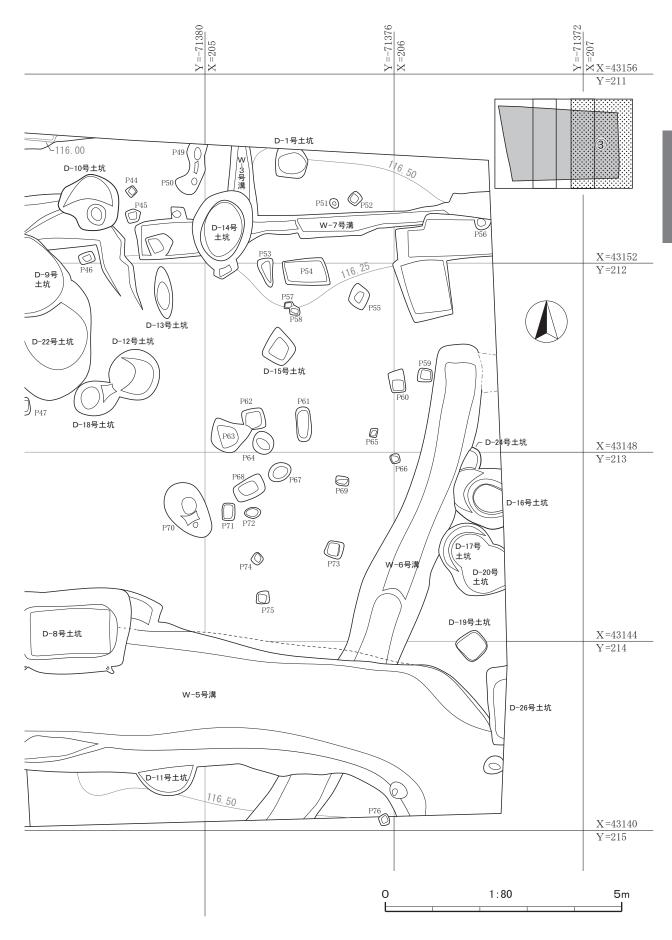


Fig. 61 24 地点ピット配置図③

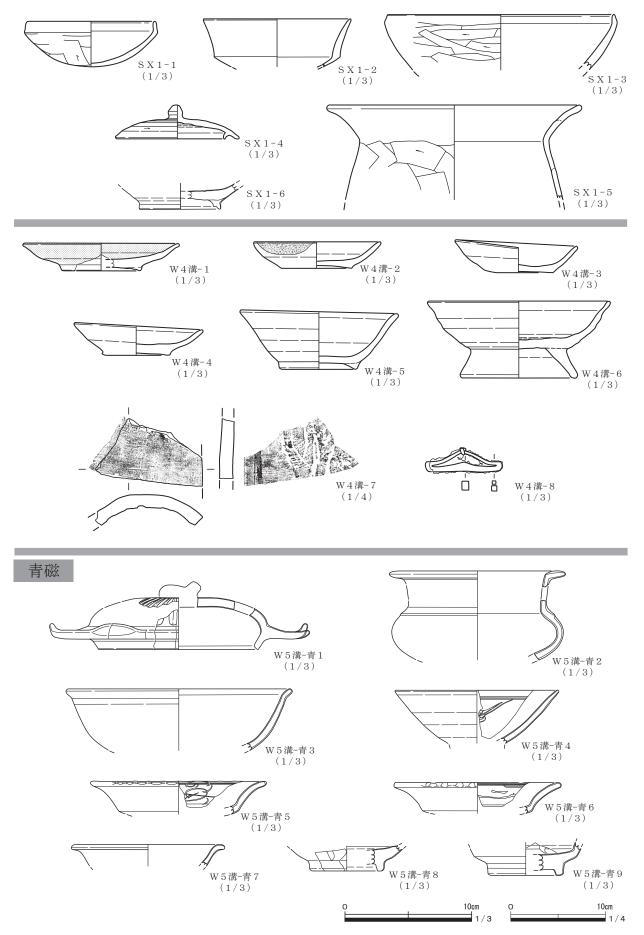
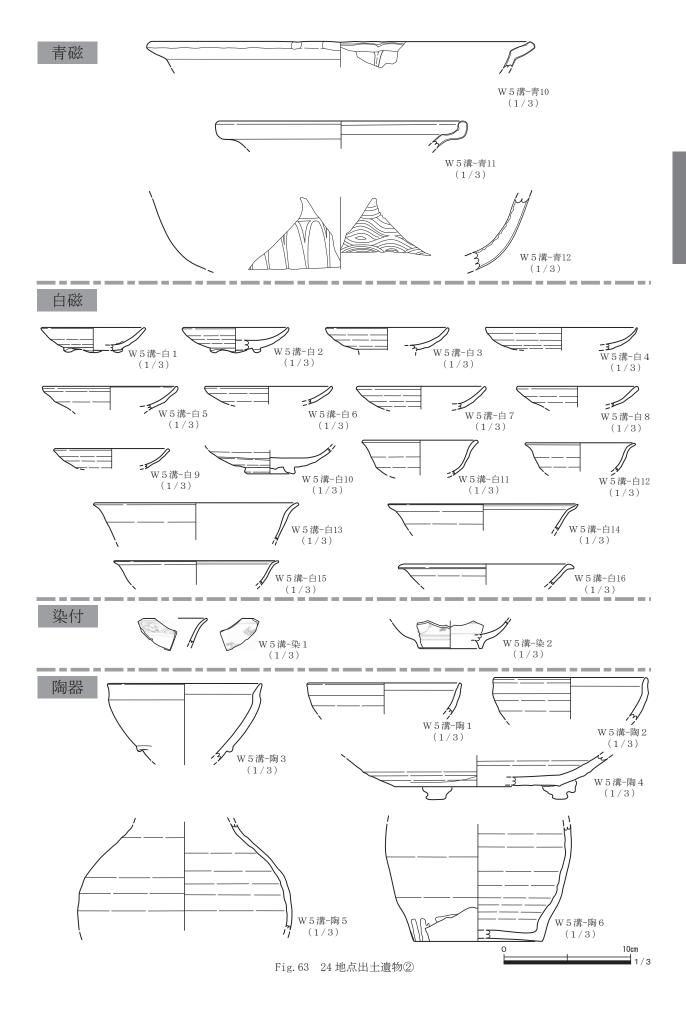
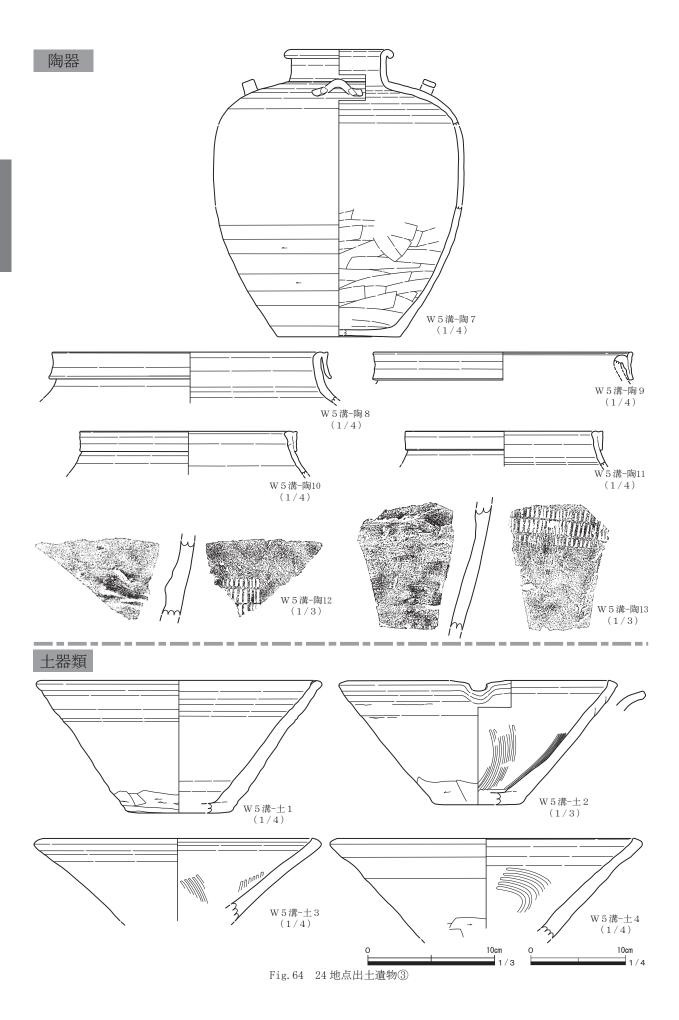


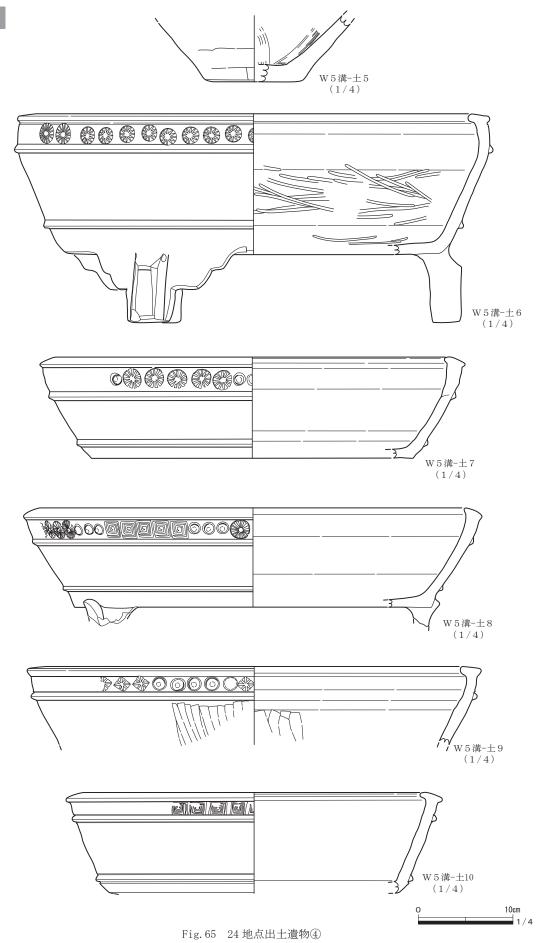
Fig. 62 24 地点出土遺物①

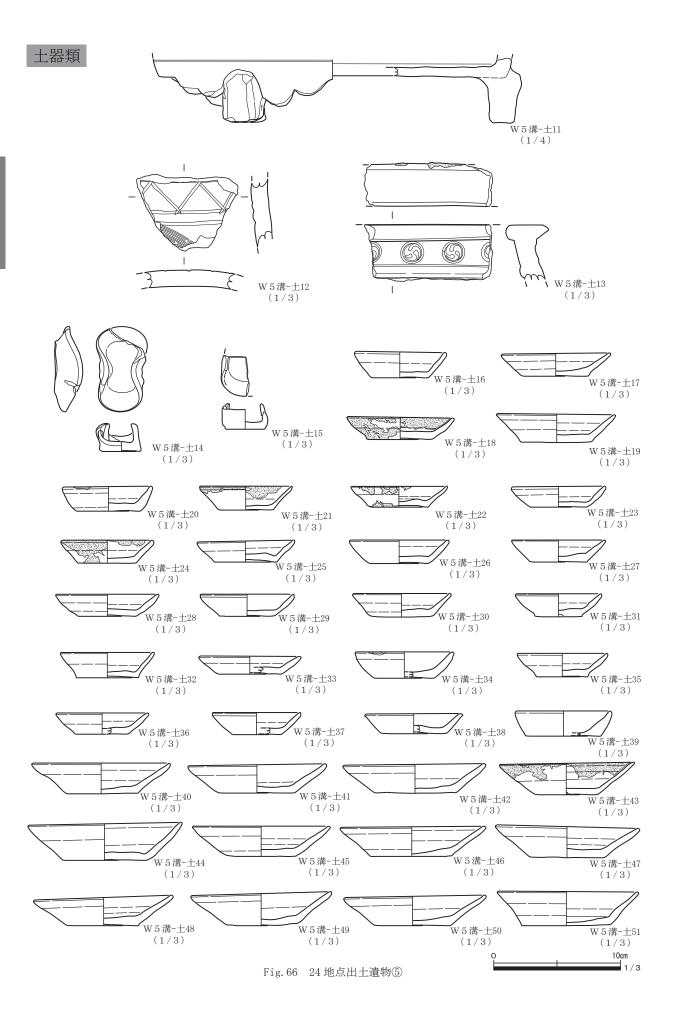




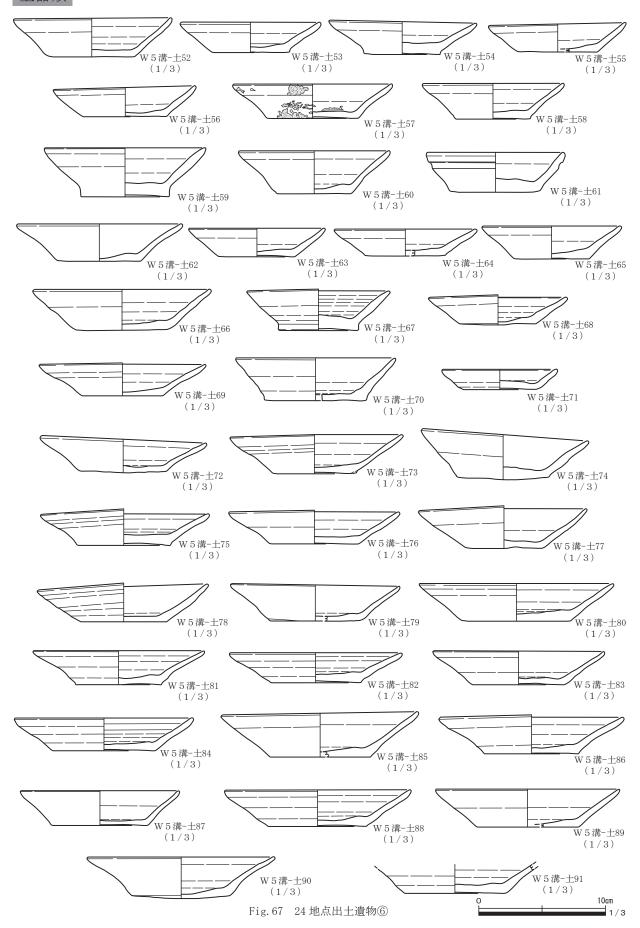
- 80 -

土器類





土器類



土器類

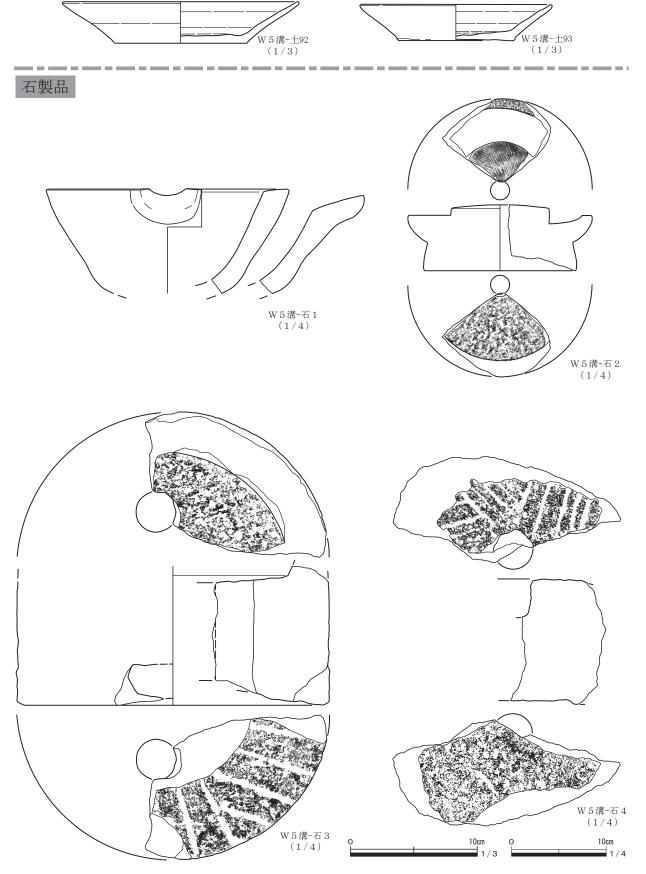


Fig. 68 24 地点出土遺物⑦

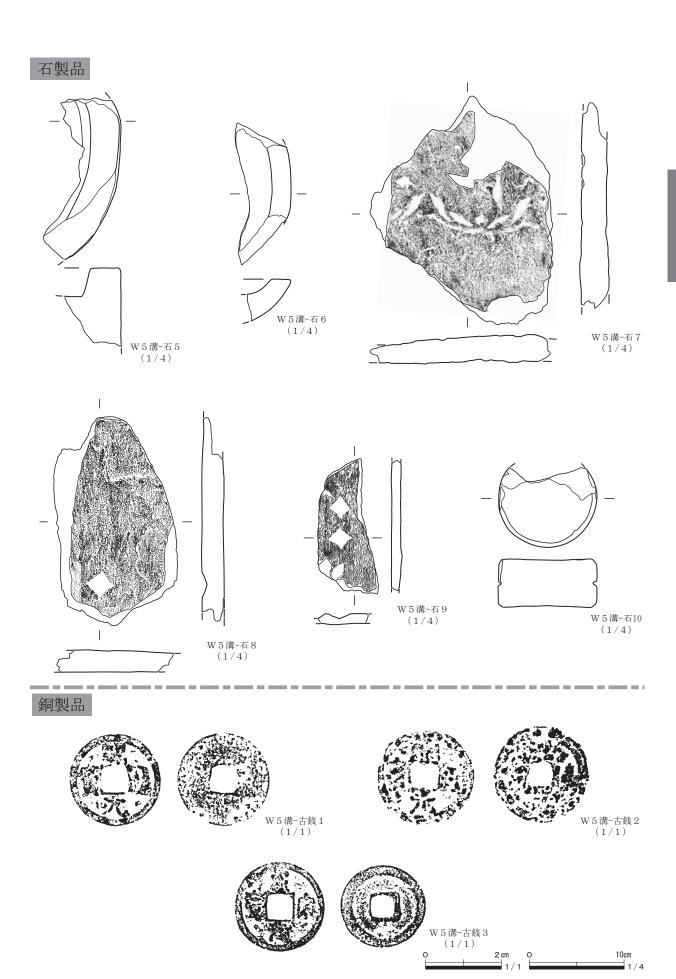


Fig. 69 24 地点出土遺物⑧

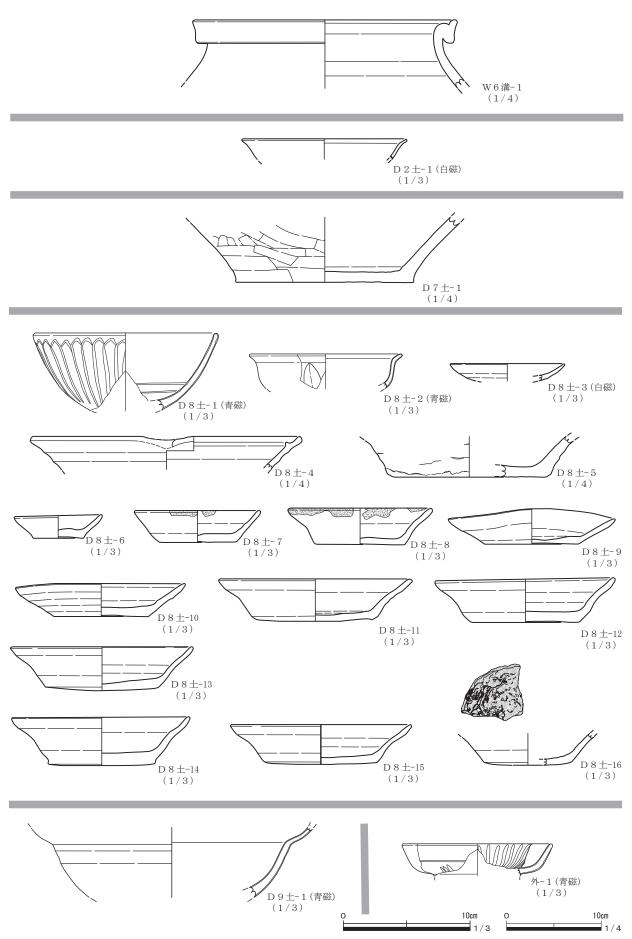


Fig. 70 24 地点出土遺物⑨

Tab. 15 24 地点出土遺物観察表①

S X - 1

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存		成・整形技法の特徴	備	考
1	土師器 坏	口径 (10.2) 底径 一 器高 3.7	①普通 ②橙 ③白色粒・角閃石 ④ 1/4	外面 内面	口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。		
2	土師器 坏	口径 (11.6) 底径 一 器高 一	①普通 ②橙 ③黒色粒・褐色粒 ④口縁部~体部 1/5	外面内面	口縁部横撫で、体部箆削り。 口縁部〜体部横撫で。		
3	土師器 坏	口径 (17.9) 底径 - 器高 -	①普通 ②橙 ③白色粒・角閃石 ④口縁部~体部 1/5	外面内面	口縁部横撫で、体部箆削り。 口縁部〜体部横撫で。		
4	須恵器 蓋	口径 (9.6) 摘み 1.1 器高 2.7	①還元 ②黄灰 ③白色粒・黒色粒 ④ 1/3	外面 内面	轆轤整形、天井部右回転箆削り。 轆轤整形。		
5	土師器 甕	口径 (19.8) 底径 - 器高 -	①普通 ②にぶい橙色 ③白色粒・褐色粒・角閃石 ④口縁部~胴部上位 1/4	外面 内面	口縁部横撫で、胴部箆削り。 口縁部横撫で、胴部箆撫で。		

W-4号溝

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備	考
1	灰釉陶器 皿	口径 (12.2) 底径 6.0 器高 2.2	①還元 ②灰白 ③白色粒・黒色粒 ④ 1/4	外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 内面 轆轤整形。 釉は漬掛け。		
2	須恵器 坏	口径 10.0 底径 5.6 器高 2.1	①酸化気味 ②浅黄 ③黒色粒・角閃石 ④完形	外面 轆轤整形、底部静止糸切り。 内面 轆轤整形。 煤付着。		
3	須恵器 坏	口径 9.5 底径 5.5 器高 2.6	①酸化気味 ②灰白~にぶい黄橙色 ③褐色粒・角閃石 ④ 7/8	外面 轆轤整形、底部静止糸切り。 内面 轆轤整形。		
4	須恵器 坏	口径 10.0 底径 5.4 器高 2.6	①酸化気味 ②灰白~にぶい黄橙 ③褐色粒・角閃石 ④ 4/5	外面 轆轤整形、底部静止糸切り。 内面 轆轤整形。		
5	須恵器 椀	口径 12.3 底径 5.8 器高 4.7	①酸化気味 ②にぶい黄橙 ③白色粒・黒色粒 ④3/4	外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 内面 轆轤整形。		
6	須恵器 椀	口径 (14.3) 底径 9.0 器高 6.1	①酸化気味 ②にぶい橙 ③白色粒・黒色粒・石英 ④ 2/3	外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 内面 轆轤整形。		
7	瓦 丸瓦	厚さ 1.4	①還元 ②灰白 ③白色粒・黒色粒 ④側端部	凹面 布目圧痕。 凸面 横位箆撫で。 側面 箆撫で。		
番号	岩	景 種		法量 (cm)、成・整形技法の特徴	備	考
8	鉄製品	火打金	残存長 5.8 幅 0.7 厚さ 0.5	重さ 10.9 g		

W-5号溝(青磁)①

- P	PP 44	N. B. ()		by the weal to be a distribution of the second	fills ile
番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	青磁	口径 (12.6)	②緑灰	外面 蓮弁文。	13~14世紀
	酒会壺蓋	底径 -	④口縁部・天井部破片		良品
		器高 一			
2	青磁	口径 (12.8)	②緑灰	無文、火を受けている。	13~14世紀
	袴腰香炉	底径 一	④口縁部・胴部破片		良品
		器高 一			
3	青磁	口径 (17.6)	②オリーブ灰		D 2 類
	端反碗	底径 一	④口縁部~体部破片		
		器高 一			
4	青磁	口径 (12.9)	②オリーブ灰	内面 箆描きの梅月文。	14 世紀後半
	碗	底径 一	④口縁部~体部破片		~ 15 世紀
		器高 一			良品
5	青磁	口径 (13.6)	②オリーブ灰	内面 口縁部下に2条の凹線、片切彫による文様。	15 世紀後半
	稜花皿	底径 一	④口縁部~体部破片		
		器高 一			
6	青磁	口径 (13.0)	②オリーブ灰	内面 口縁部下に2条の凹線、片切彫による文様。	15 世紀後半
	稜花皿	底径 一	④口縁部~体部破片		
		器高 一			
7	青磁	口径 (11.5)	②オリーブ灰 ④口縁部破片		15世紀前半~
	小皿	底径 -			中頃
		器高 一			

W-5号溝(青磁)②

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
8	青磁碗	口径 一 底径 (5.4) 器高 一	②オリーブ灰 ④底部~高台部破片	外面 蓮弁文か。	B 3 類
9	青磁 稜花皿	口径 一 底径 (5.6) 器高 一	②オリーブ灰 ④底部~高台部破片		15 世紀中頃~ 後半
10	青磁盤	口径 (30.0) 底径 - 器高 -	②オリーブ灰 ④口縁部破片	内面 蓮弁文。	14 世紀
11	青磁盤	口径 (19.4) 底径 - 器高 -	②オリーブ灰 ④口縁部破片	無文。	14 世紀
12	青磁盤	口径 - 底径 - 器高 -	②オリーブ灰 ④胴部破片	外面 蓮弁文。 内面 青海波文。	14 世紀

W-5号溝(白磁)

番号	器種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	白磁皿	口径 (8.1) 底径 (4.0) 器高 2.0	②灰白 ④ 1/8	轆轤整形、抉高台。	B群
2	白磁皿	口径 (8.3) 底径 (3.4) 器高 2.0	②灰白 ④ 1/4	轆轤整形。	B群
3	白磁皿	口径 (9.6) 底径 — 器高 —	②灰白 ④口縁部~体部 1/4	轆轤整形。	B群
4	白磁皿	口径 (12.0) 底径 — 器高 —	②灰白 ④口縁部~体部 1/8	轆轤整形。	B群
5	白磁皿	口径 (10.6) 底径 一 器高 一	②灰白 ④口縁部~体部 1/8	轆轤整形。	B群
6	白磁皿	口径 (10.0) 底径 一 器高 一	②灰白 ④口縁部~体部 1/8	轆轤整形。	B群
7	白磁皿	口径 (10.0) 底径 一 器高 一	②灰白 ④口縁部~体部破片	轆轤整形。	B群
8	白磁皿	口径 (9.4) 底径 — 器高 —	②灰白 ④口縁部~体部 1/6	轆轤整形。	B群
9	白磁皿	口径 (9.0) 底径 — 器高 —	②灰白 ④口縁部~体部破片	轆轤整形。	B群
10	白磁皿	口径 一 底径 3.6 器高 一	②灰白 ④体部~高台部 2/5	轆轤整形。	B群
11	白磁 端反小坏	口径 (9.0) 底径 一 器高 一	②灰白 ④口縁部~体部 1/8	轆轤整形。	B群
12	白磁 端反小坏	口径 (8.6) 底径 一 器高 一	②灰白 ④口縁部~体部破片	轆轤整形。	B群
13	白磁碗	口径 (16.0) 底径 — 器高 —	②灰白 ④口縁部~体部 1/8	轆轤整形。	15 世紀
14	白磁碗	口径 (15.0) 底径 一 器高 一	②灰白 ④口縁部~体部破片	轆轤整形、口錆。	15 世紀中頃
15	白磁碗	口径 (13.0) 底径 - 器高 -	②灰白 ④口縁部~体部破片	轆轤整形、口錆。	15 世紀中頃
16	白磁碗	口径 (13.0) 底径 — 器高 —	②明オリーブ灰 ④口縁部~体部破片	轆轤整形。	12 世紀

W-5号溝(染付)

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	染付	口径 一	口縁部破片	轆轤整形。	B群
	碗	底径 - 器高 -			
2	染付 Ⅲ	口径 - 底径 (4.6) 器高 -	体部~高台部 1/7	轆轤整形。	B群

W-5号溝(陶器)

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	陶器 天目茶碗	口径 (12.0) 底径 — 器高 —	③黒色粒 ④口縁部破片	内面 轆轤整形。	中国
2	陶器 天目茶碗	口径 (12.0) 底径 — 器高 —	①普通 ②素 - にぶい黄褐、 釉 - 黒褐 ③白色粒 ④口縁部破片	内面 轆轤整形。	中国
3	土器 天目茶碗	口径 (12.0) 底径 — 器高 —	④口縁部破片	土器に漆を塗った天目茶碗。外面体部下位に釉溜まりを表現した 段を作る。	
4	陶器 鉢	口径 一 底径 (13.0) 器高 一	①普通 ②灰黄 ③白色粒・黒色粒 ④体部~底部 1/5	外面 轆轤整形、底部右回転箆削り。 内面 轆轤整形。	古瀬戸
5	陶器 褐釉壺	口径 (20.8) 底径 一 器高 一	①普通 ②灰褐 ③白色礫 ④頸部~胴部中位 1/4	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形。 火を受けている。	中国
6	陶器 褐釉壺	口径 - 底径 - 器高 -	①普通 ②灰赤、釉 - 黒褐 ③白色礫 ④胴部中位~底部 1/3	内面 轆轤整形。	中国
7	陶器 茶壺	口径 (11.6) 底径 13.0 器高 一		外面 轆轤整形、胴部下位〜底部右回転箆削り。鉄釉。 内面 轆轤整形、胴部下位箆撫で。	古瀬戸
8	陶器 大甕	口径 (58.0) 底径 一 器高 一	①普通 ②褐 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部~頸部 1/5	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形。	常滑
9	陶器 大甕	口径 (54.4) 底径 — 器高 —	①普通 ②にぶい赤褐 ③白色粒 ④口縁部 1/8	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形。	常滑
10	陶器 大甕	口径 (45.6) 底径 一 器高 一	①普通 ②褐灰 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部破片	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形。	常滑
11	陶器 大甕	口径 (41.6) 底径 一 器高 一	①普通 ②暗赤褐 ③白色粒 ④口縁部~頸部 1/4		常滑
12	陶器 大甕	口径 - 底径 - 器高 -	①普通 ②褐灰 ③白色粒・黒色粒 ④胴部破片	外面 轆轤整形、格子状の押印。 内面 轆轤整形。	常滑
13	陶器 大甕	口径 - 底径 - 器高 -	①普通 ②暗灰黄 ③白色粒・黒色粒 ④胴部破片	外面 轆轤整形、格子状の押印。 内面 轆轤整形。	常滑

W-5号溝(土器類)①

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備	考
1	土器擂鉢	口径 (29.2) 底径 (10.8) 器高 14.1	①普通 ②にぶい赤褐~にぶい褐 ③白色粒・黒色粒・礫 ④ 1/3	外面 轆轤整形、体部撫で、単位不明瞭、下位箆削り、底部回転 糸切り。 内面 轆轤整形、体部箆撫で。		
2		口径 (27.6) 底径 (9.0) 器高 13.1	①普通 ②にぶい褐〜黒褐 ③白色粒・黒色粒・褐色粒 ④ 1/4	外面 轆轤整形、体部撫で、単位不明瞭、下位箆削り、底部器面 荒れ調整不明瞭。 内面 轆轤整形、体部箆撫で、7本1単位の擂り目。		
3	土器 擂鉢	口径 (28.4) 底径 - 器高 -	①普通 ②灰黄褐 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部~体部 1/4	外面 轆轤整形、体部撫で、単位不明瞭。 内面 轆轤整形、体部箆撫で、6本1単位の擂り目。		
4	土器 擂鉢	口径 (31.4) 底径 - 器高 -	①普通 ②褐灰 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部~体部 1/6	外面 轆轤整形、体部撫で、単位不明瞭。 内面 轆轤整形、体部箆撫で、5 本 1 単位の擂り目。		
5	土器 擂鉢	口径 一 底径 (10.4) 器高 一	①普通 ②褐灰 ③白色粒・黒色粒 ④体部~底部 1/3	外面 体部撫で、単位不明瞭、下位箆削り、底部回転糸切り。 内面 体部箆撫で。		

W-5号溝(土器類)②

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
6	土器 火鉢	口径 (46.0) 底径 (40.0)	①普通 ②灰黄褐~褐灰 ③白色粒 ④ 1/6	外面 轆轤整形、口縁部菊花文、体部粗い箆磨き、底部チヂレ目、 三脚。	
	1 88	器高 22.1	① ** **	内面 轆轤整形、口縁部~底部粗い箆磨き。	
7	土器 火鉢	口径 (41.6) 底径 (34.0) 器高 -	世帯通 ②にあい橙~にあい 黄褐 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部~底部 1/10	外面 轆轤整形、口縁端部箆磨き、口縁部菊花文・珠文、体部粗 い箆磨き、底部箆撫で、脚が付くと推定される。 内面 轆轤整形。	
8	土器 火鉢	口径 (45.0) 底径 (37.6) 器高 -	①普通 ②にぶい黄褐〜黒褐 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部〜脚部上位 1/5	外面 ・ 糖 ・ ・ は ・ を ・ は 	
9	土器	口径 (44.0)	①普通 ②灰褐~褐灰	外面 轆轤整形、口縁部花菱文・珠文、体部箆撫で。	
3	火鉢	底径 一器高 一	③白色粒・黒色粒・褐色粒 ④口縁部~体部 1/6	内面 轆轤整形、体部箆撫で。	
10	土器 火鉢	口径 (36.2) 底径 (30.6) 器高 -	①普通 ②褐灰 ③白色粒・黒色粒・褐色粒 ④口縁部~体部 1/8	外面 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 	
11	土器 火鉢	口径 - 底径 (36.6) 器高 -	①普通 ②灰 ③白色粒・黒色粒 ④底部~脚部破片	外面 轆轤整形、底部無調整、一部撫で、脚部撫で。 内面 轆轤整形。	
12	土器 火鉢	口径 - 底径 - 器高 -	①普通 ②灰 ③白色粒・黒色粒 ④体部破片	外面 轆轤整形、線刻による連続三角文、刷毛による文様が一部 あり。 内面 器面荒れ調整不明瞭。	
13	土器	口径 一	①普通 ②灰黄褐	外面 箆撫で、巴文、口縁部内側一部に煤付着。形状は角形。	
10	火鉢	底径 — 器高 —	③白色粒・黒色粒・雲母 ④口縁部破片	内面 箆撫で。	
14	土器耳皿	口径 (6.8) 底径 4.0 器高 2.2	①普通 ②橙 ③白色粒・黒色粒 ④ 4/5	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
15	土器耳皿	口径 - 底径 - 器高 -	①普通 ②にぶい黄橙 ③黒色粒 ④ 1/4	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形。	
16	土器 カワラケ	口径 6.9 底径 4.4 器高 2.1	①普通 ②橙 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部一部欠損	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
17	土器 カワラケ	口径 8.4 底径 5.2 器高 1.8	①普通 ②橙 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部一部欠損	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
18	土器 カワラケ	口径 8.3 底径 5.2 器高 1.8	①普通 ②黒~にぶい黄橙 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部一部欠損	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。 煤付着。	
19	土器 カワラケ	口径 9.2 底径 5.6 器高 2.3	①普通 ②橙 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部一部欠損	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
20	土器 カワラケ	口径 6.9 底径 5.1 器高 2.0	①普通 ②にぶい橙~橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 3/4	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。 煤付着。	
21	土器 カワラケ	口径 7.2 底径 4.4 器高 1.9	①普通 ②灰黄〜黒 ③白色粒・褐色粒 ④ 6/7	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。 煤付着。	
22	土器 カワラケ	口径 7.4 底径 4.6 器高 1.7	①普通 ②灰黄褐~黒褐 ③褐色粒 ④ 5/6	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。 煤付着。	
23	土器 カワラケ	口径 7.2 底径 4.5 器高 1.7	①普通 ②にぶい黄褐~褐灰 ③白色粒・褐色粒 ④ 7/8	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
24	土器 カワラケ	口径 7.0 底径 4.6 器高 1.9	①普通 ②にぶい橙~黒褐 ③褐色粒 ④ 4/5	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。 煤付着。	
25	土器 カワラケ	口径 7.5 底径 5.0 器高 1.7	①普通 ②橙 ③褐色粒 ④ 4/5	外面	
26	土器 カワラケ	口径 (7.6) 底径 4.6 器高 1.9	①普通 ②橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 3/5	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
27	土器 カワラケ	口径 (7.3) 底径 4.6 器高 1.8	①普通 ②橙~にぶい橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 2/3	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
28	土器 カワラケ	口径 (7.9) 底径 4.6 器高 1.8	①普通 ②橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 1/2	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。	

W-5号溝(土器類)③

番号	器 種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存			成・整形技法の	の特徴	備考
29	土器	口径 (7.2) 底径 4.4 器高 1.8	①普通 ②灰褐 ③白色粒・褐色粒 ④ 3/4	外面	轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
30	土器 カワラケ	口径 (7.6) 底径 5.1 器高 1.9	①普通 ②橙 ③白色粒・褐色粒・雲母 ④ 3/5		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
31	土器 カワラケ	口径 (6.6) 底径 3.7 器高 1.8	①普通 ②にぶい黄橙~にぶい赤褐 ③褐色粒 ④ 2/3	外面 内面		底部左回転糸切り。		
32	土器 カワラケ	口径 (7.2) 底径 4.9 器高 2.0	①普通 ②にぶい橙 ③褐色粒 ④ 2/3		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
33	土器 カワラケ	口径 (7.7) 底径 5.0 器高 1.4	①普通 ②橙~にぶい橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 2/5		轆轤整形、 轆轤整形。	底部回転糸切り。		
34	土器 カワラケ	口径 (7.6) 底径 4.9 器高 2.1	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 2/5		轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
35	土器 カワラケ	口径 (7.0) 底径 4.0 器高 1.9	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 1/3		轆轤整形、 轆轤整形。	底部回転糸切り。		
36	土器 カワラケ	口径 (7.1) 底径 4.2 器高 1.7	①普通 ②にぶい黄橙 ③褐色粒 ④ 2/5		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
37	土器 カワラケ	口径 (6.8) 底径 3.8 器高 1.8	①普通 ②橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 1/3		轆轤整形、 轆轤整形。	底部回転糸切り。		
38	土器 カワラケ	口径 (7.4) 底径 5.2 器高 1.6	①普通 ②にぶい橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 1/5		轆轤整形、 轆轤整形。	底部回転糸切り。		
39	土器 カワラケ	口径 (7.3) 底径 6.0 器高 2.0	①普通 ②浅黄橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 1/8	外面 内面		底部回転糸切り。		
40	土器 カワラケ	口径 10.7 底径 5.7 器高 2.5	①普通 ②橙 ③白色粒・褐色粒 ④ほぼ完形	外面 内面	轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
41	土器 カワラケ	口径 10.6 底径 6.0 器高 2.3	①普通 ②にぶい黄橙〜褐灰 ③白色粒・褐色粒 ④ほぼ完形		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
42	土器 カワラケ	口径 10.9 底径 6.5 器高 2.3	①普通 ②にぶい橙~橙 ③白色粒・褐色粒 ④ほぼ完形		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
43	土器 カワラケ	口径 10.5 底径 5.0 器高 2.6	①普通 ②にぶい橙〜黒 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部一部欠損		轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
44	土器 カワラケ	口径 11.9 底径 6.5 器高 3.0	①普通 ②浅黄橙~橙 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部一部欠損		轆轤整形、 轆轤整形、	底部左回転糸切り、 底部撫で。	板状圧痕。	
45	土器 カワラケ	口径 10.5 底径 5.5 器高 2.4	①普通 ②にぶい橙~褐灰 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部一部欠損	外面 内面	轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
46	土器 カワラケ	口径 11.0 底径 6.4 器高 2.4	①普通 ②浅黄橙~灰褐 ③白色粒・褐色粒 ④ 7/8	外面 内面	轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
47	土器 カワラケ	口径 11.0 底径 5.9 器高 2.6	①普通 ②浅黄橙~褐灰 ③白色粒・褐色粒 ④ 6/7	外面 内面	轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
48	土器 カワラケ	口径 10.7 底径 5.6 器高 2.4	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 7/8	外面 内面	轆轤整形、 轆轤整形、	底部左回転糸切り。 底部撫で。		
49	土器 カワラケ	口径 10.8 底径 5.5 器高 2.7	①普通 ②鈍い黄橙〜黒褐色 ③白色粒・褐色粒 ④ 6/7	内面	轆轤整形、 轆轤整形、	底部左回転糸切り。 底部撫で。		
50	土器 カワラケ	口径 10.9 底径 6.0 器高 2.4	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白 色粒・褐色粒・雲母 ④ 3/4	外面 内面	轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
51	土器 カワラケ	口径 10.9 底径 7.0 器高 2.7	①普通 ②鈍い橙色 ③白色 粒・褐色粒 ④ 6/7	外面 内面	轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。		

W-5号溝(土器類)④

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存			成・整形技法の特徴	備考
52	土器 カワラケ	口径 12.2 底径 6.8 器高 3.1	①普通 ②浅黄橙色 ③白色 粒・褐色粒 ④3/4		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。	
53	土器 カワラケ	口径 10.7 底径 6.2 器高 2.4	①普通 ②鈍い橙色 ③白色 粒・褐色粒 ④3/5		轆轤整形、 轆轤整形、		
54	土器 カワラケ	口径 11.4 底径 6.0 器高 2.7	①普通 ②鈍い橙〜鈍い黄橙 色 ③白色粒・褐色粒 ④3/4			底部左回転糸切り。	
55	土器 カワラケ	口径 10.5 底径 6.3 器高 2.3		内面	轆轤整形。		
56	土器 カワラケ	口径 10.9 底径 6.6 器高 2.4	①普通 ②橙〜鈍い褐色 ③ 白色粒・褐色粒 ④ 3/5			底部左回転糸切り。 底部全面撫で。	
57	土器 カワラケ	口径 (12.3) 底径 7.2 器高 2.7	①普通 ②鈍い橙色 ③白色 粒・褐色粒 ④ 2/5		轆轤整形。	底部左回転糸切り。	
58	土器 カワラケ	口径 (10.9) 底径 5.8 器高 2.8	①普通 ②橙色 ③白色粒・ 褐色粒 ④ 1/2		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。	
59	土器 カワラケ	口径 12.5 底径 6.8 器高 3.9	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白 色粒・褐色粒 ④ 2/5		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。	
60	土器 カワラケ	口径 (11.7) 底径 5.8 器高 3.4			轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。	
61	土器 カワラケ	口径 (10.5) 底径 7.1 器高 3.2	①普通 ②灰白色 ③白色粒・ 褐色粒 ④ 1/2		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。	
62	土器 カワラケ	口径 (12.8) 底径 6.5 器高 3.0	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白 色粒・褐色粒 ④ 1/2		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。	
63	土器 カワラケ	口径 (10.5) 底径 6.0 器高 2.3	①普通 ②鈍い黄橙~褐灰色 ③白色粒・褐色粒 ④ 1/2		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。	
64	土器 カワラケ	口径 (11.0) 底径 6.4 器高 2.2	①普通 ②橙〜黒色 ③白色 粒・褐色粒 ④ 1/2		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。	
65	土器 カワラケ	口径 (10.6) 底径 5.9 器高 2.6	①普通 ②鈍い黄橙〜浅黄橙 色 ③白色粒・褐色粒 ④ 4/7	内面	轆轤整形、	底部撫で。	
66	土器 カワラケ	口径 (13.8) 底径 (7.2) 器高 3.3	①普通 ②鈍い橙色 ③褐色 粒・黒色粒 ④ 1/3	内面	轆轤整形、	底部撫で。	
67	土器 カワラケ	口径 (11.2) 底径 6.2 器高 2.3	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白 色粒 ④ 3/5		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。	
68	土器 カワラケ	口径 (10.8) 底径 6.0 器高 2.4	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白 色粒・黒色粒 ④ 3/5		轆轤整形、 轆轤整形、		
69	土器 カワラケ	口径 (13.0) 底径 6.4 器高 2.6	①普通 ②鈍い橙色 ③黒色 粒・褐色粒 ④ 2/5	外面 内面		底部回転糸切り。 底部全面撫で。	
70	土器 カワラケ	口径 (12.6) 底径 (8.0) 器高 3.4	①普通 ②鈍い褐色 ③白色 粒・黒色粒 ④ 1/4	内面	轆轤整形。 二径約 0.9 cr	底部回転糸切り。 nの焼成前穿孔。	
71	土器 カワラケ	口径 (9.0) 底径 5.8 器高 1.6	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白 色粒・褐色粒・雲母 ④1/2	外面 内面	轆轤整形、 轆轤整形。	底部回転糸切り。	
72	土器 カワラケ	口径 13.0 底径 6.9 器高 2.9	①普通 ②にぶい黄橙 ③黒色粒・褐色粒 ④ 7/8	外面 内面	轆轤整形、 轆轤整形、	底部回転糸切り、板状圧痕。 底部撫で。	
73	土器 カワラケ	口径 13.5 底径 6.6 器高 3.1	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 9/10	外面 内面	轆轤整形、 轆轤整形、	底部左回転糸切り。 底部撫で。	
74	土器 カワラケ	口径 13.0 底径 7.2 器高 4.1	①普通 ②にぶい黄橙 ③黒色粒 ④3/4	外面 内面		底部左回転糸切り。 底部全面撫で。	

W-5号溝(土器類)⑤

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存			成・整形技法の)特徴	備考
75	土器 カワラケ	口径 13.2 底径 7.4 器高 2.9	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 4/5	内面	轆轤整形、			
76		口径 13.4 底径 7.0 器高 2.7	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒 ④ 4/5	内面	轆轤整形、			
77	土器 カワラケ	口径 13.1 底径 6.0 器高 3.4	①普通 ②橙 ③白色粒・黒色粒 ④ 3/4	内面	轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
78		口径 13.4 底径 6.8 器高 3.1	①普通 ②にぶい橙 ③白色粒 ④ 3/5	内面	轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
79	土器 カワラケ	口径 13.2 底径 7.0 器高 3.0	①普通 ②にぶい橙 ③黒色粒・褐色粒 ④ 2/3	内面	轆轤整形、	底部左回転糸切り。 底部全面撫で。		
80		口径 (15.3) 底径 8.7 器高 3.0	①普通 ②にぶい黄橙〜褐灰 ③白色粒 ④ 1/2	内面	轆轤整形、	底部左回転糸切り。 底部全面撫で。		
81	土器 カワラケ	口径 (13.4) 底径 (6.8) 器高 2.7	①普通 ②にぶい橙 ③黒色粒・褐色粒 ④ 1/3	内面	轆轤整形、			
82	土器 カワラケ	口径 (13.5) 底径 7.2 器高 2.4	①普通 ②にぶい橙 ③褐色粒 ④ 3/5	外面内面	轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
83	土器 カワラケ	口径 (13.4) 底径 7.3 器高 2.7	①普通 ②橙 ③白色粒・黒色粒・褐色粒 ④ 2/3		轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
84	土器 カワラケ	口径 (14.1) 底径 8.1 器高 2.6	①普通 ②にぶい橙 ③褐色粒 ④ 4/5		轆轤整形、 轆轤整形、	底部左回転糸切り。 底部撫で。		
85	土器 カワラケ	口径 15.4 底径 8.0 器高 3.6	①普通 ②にぶい黄橙 ③黒色粒・褐色粒 ④ 2/3	. ,	轆轤整形、 轆轤整形、	底部左回転糸切り。 底部撫で。		
86	土器 カワラケ	口径 (14.4) 底径 7.5 器高 3.1	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒 ④ 3/5		轆轤整形、 轆轤整形、	底部左回転糸切り。 底部撫で。		
87	土器 カワラケ	口径 (12.5) 底径 7.4 器高 2.7	①普通 ②にぶい褐 ③黒色粒 ④ 3/5	内面	轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
88	土器 カワラケ	口径 (14.6) 底径 7.8 器高 2.9	①普通 ②にぶい黄橙 ③褐色粒・雲母 ④ 2/3		轆轤整形、 轆轤整形、	底部左回転糸切り。 底部撫で。		
89	土器 カワラケ	口径 (14.5) 底径 (8.0) 器高 3.0	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・黒色粒 ④ 1/4	内面	轆轤整形、			
90	土器 カワラケ	口径 (14.6) 底径 7.8 器高 3.3	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・黒色粒 ④ 1/2		轆轤整形、			
91	土器 カワラケ	口径 一 底径 8.0 器高 一	①普通 ②にぶい橙 ③黒色粒・褐色粒 ④体部下位〜底部残存	外面内面	轆轤整形、			
92	土器 カワラケ	口径 (18.6) 底径 10.5 器高 3.3	①普通 ②にぶい橙 ③白色粒・黒色粒・褐色粒 ④ 1/2	外面 内面	轆轤整形、			
93	土器 カワラケ	口径 (15.0) 底径 (9.0) 器高 2.9	①普通 ②褐灰〜にぶい黄橙 ③白色粒・黒色粒 ④ 1/3	外面 内面	轆轤整形、 轆轤整形、	底部左回転糸切り、底部撫で。	板状圧痕。	

W-5号溝(石製品)①

番号	器 種		法量 (cm)、成・整形技法の特徴	備考
1	石製品	<u></u> 鉢	口径 (25.2) 重さ 420 g	DID 3
2	石製品	茶臼	直径 (39.0) 孔径 (4.0) 高さ 13.9 重さ 4,600g	
3	石製品	石臼	直径 (33.0) 孔径 (4.2) 重さ 4,540g 上臼破片	
4	石製品	石臼	孔径 (4.2) 高さ 13.3 重さ 3,830g 下臼破片	
5	石製品	石臼	重さ648.8g 上臼破片	
6	石製品	茶臼	重さ 256.8 g 下臼破片	
7	石製品	板碑	残存長 24.4 残存幅 19.4 厚さ 3.1 重さ 1,840g 蓮座部分残存。	
8	石製品	板碑	残存長 22.1 残存幅 13.1 厚さ 2.3 重さ 1,115.7g 種子の一部残存。	

W-5号溝(石製品)②

番号	器	器 種 法量 (cm)、成・整形技法の特徴		備考
9	石製品	板碑	残存長 14.3 残存幅 6.5 厚さ 1.0 重さ 161.6g 種子の一部残存。	
10	石製品	不明	直径 10.4 厚さ 5.1 重さ 561.1 g	

W-5号溝(銅製品)

番号	器	計 種	法量 (cm)、成・整形技法の特徴	備考
1	銅製品	古銭	開元通寶	
2	銅製品	古銭	開元通寶	
3	銅製品	古銭	聖宋元寶	

W-6号溝

番号	器 種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	陶器 大甕	底径 -	①普通 ②にぶい赤褐 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部破片	外面 (常滑

D-2号土坑

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	白磁端反皿	口径 (13.0) 底径 — 器高 —	②灰白 ④口縁部~体部破片	轆轤整形。	15 世紀

D-7号土坑

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	陶器 大甕	口径 - 底径 18.8 器高 -		ト面 箆撫で、砂底。 内面 箆撫で。	常滑

D-8号土坑①

or □	nn	VIB /		h when the bill a date that	744	Luc .
番号	器 種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考	Ē
1	青磁碗	口径 (14.4) 底径 — 器高 —	②オリーブ灰 ④口縁部~体部破片	外面 連弁文。 内面 体部下位に凹線 2 条。	B 3 類	
2	青磁 蓮弁文 折縁皿	口径 (12.0) 底径 一 器高 一	②明緑灰 ④口縁部~体部破片	外面 蓮弁文。	B 2 類	
3	白磁 皿	口径 (9.0) 底径 一 器高 一	②灰白 ④口縁部~体部 1/6	轆轤整形、火を受けている。	B群	
4	陶器 擂鉢	口径 (28.2) 底径 一 器高 一	①普通 ②浅黄橙 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部~体部 1/5	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形。	古瀬戸	
5	陶器 大甕	口径 - 底径 (16.5) 器高 -	①普通 ②にぶい褐 ③白色粒・黒色粒 ④胴部下位~底部 1/3	外面 箆撫で、砂底。 内面 箆撫で。	常滑	
6	土器 カワラケ	口径 6.9 底径 4.0 器高 1.9	①普通 ②にぶい橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 3/4	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。		
7	土器 カワラケ	口径 9.9 底径 6.2 器高 2.5	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 3/5	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。 煤付着。		
8	土器 カワラケ	口径 (11.2) 底径 (7.0) 器高 2.9	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 2/5	外面 轆轤整形、底部回転糸切り。 内面 轆轤整形。 煤付着。		
9	土器 カワラケ	口径 13.1 底径 7.4 器高 2.8	①普通 ②橙 ③白色粒・黒色粒 ④ほぼ完形	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形、底部撫で。		
10	土器 カワラケ	口径 13.3 底径 7.5 器高 2.6	①普通 ②にぶい橙 ③白色粒・黒色粒 ④ 4/5	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り、板状圧痕。 内面 轆轤整形、底部全面撫で。		

D-8号土坑②

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備	考
11	土器	口径 15.0	①普通 ②にぶい橙	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。		
	カワラケ	底径 9.0 器高 3.4	③白色粒・黒色粒 ④ほぼ完形	内面 轆轤整形、底部撫で。		
12	土器 カワラケ	口径 14.1 底径 8.5 器高 3.6	①普通 ②にぶい黄橙 ③褐色粒・礫 ④ 3/4	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形、底部撫で。		
13	土器 カワラケ	口径 14.2 底径 9.0 器高 3.5	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・黒色粒 ④ 3/4	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形、底部撫で。		
14	土器 カワラケ	口径 14.0 底径 8.4 器高 3.9	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・黒色粒 ④ 4/5	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形、底部撫で。		
15	土器 カワラケ	口径 14.1 底径 9.0 器高 3.2	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・黒色粒・褐色粒 ④ 2/3	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形、底部撫で。		
16	土器 カワラケ	口径 - 底径 (7.0) 器高 -	①普通 ②褐灰~灰黄褐 ③白色粒 ④体部~底部 1/6	外面 轆轤整形、底部回転糸切り。 内面 轆轤整形、全面に融着物、坩堝に転用。		

D-9号土坑

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調	③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備	考
1	青磁盤	口径 - 底径 - 器高 -	②オリーブ灰	④体部破片	無文。		

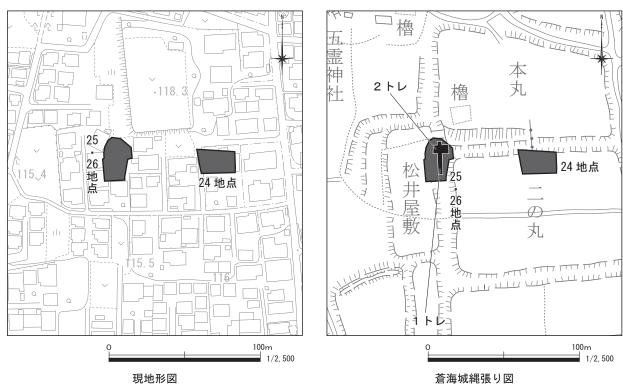
遺構外出土遺物

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	青磁皿	口径 (11.7) 底径 - 器高 -	②緑灰 ④口縁部~体部破片	轆轤整形、内面蓮弁文。	

VII 25·26 地点

1 25·26 地点概要 (Fig. 71·72、PL. 26)

25・26 地点の調査は、民家に囲われ残土搬出等に制限が伴うことから、トレンチ調査で対応している。トレンチは 2 本設け、1号トレンチ・2号トレンチと名称を付してある。調査の進行は、南北方向に設定した 1号トレンチを調査した後、同トレンチを埋め戻し、東西方向に設定した 2号トレンチに着手している。なお、両トレンチの設定は、蒼海城新段階の堀を捉えることを主眼に置いたが、いずれのトレンチでも堀の立ち上がりは確認できず、堀底の検出のみに留まっている。確認された堀底は、蒼海城の縄張り図(Fig. 71 参照)から 1号トレンチが、本丸と二の丸の西側を南北に走行する堀、2号トレンチが本丸と二の丸間を東西に走行する堀と想定され、いずれの堀もW-1号溝と名称を付してある。なお、2号トレンチで確認された堀底は 24 地点W-1号溝からの続きと想定されるものである。堀の深さは、最深で現地表面から 3.96 mを測り、As-YPの一次堆積層よりも深く掘り込んでいる状況が捉えられており、埋没土の下位では人為的に埋められた痕跡が 1号トレンチ内で確認されている。出土遺物は埋没土の上位から板碑片、下位から漆塗りの木器椀が出土しているものの、明確な時期を決定付けるような遺物は出土していない。このため、本地点で確認された堀の時期は、明確には提示できず、24 地点W-5号溝(蒼海城古段階の堀)が埋められたと想定される 15 世紀後半から蒼海城が廃城となったとされる 17 世紀前半と幅を持たせた捉え方に留まろう。



(前橋市役所発行『前橋市現形図 52-1 · 52-3 』)

(山崎 - 1978『群馬県古城塁址の研究 上巻』)

Fig. 71 現地形図と縄張り図における調査地点

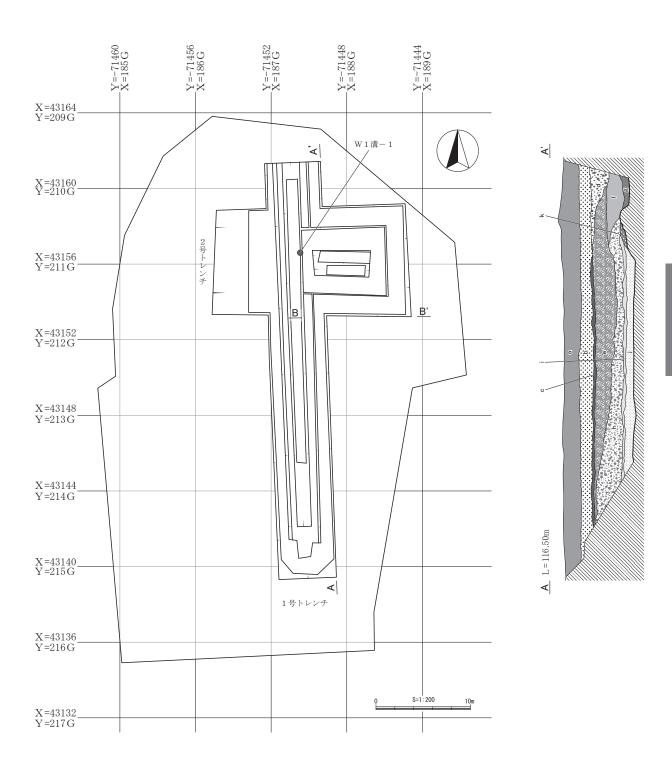
2 トレンチ

1号トレンチ (遺構: Fig. 72、PL. 26・27/遺物: Fig. 74、Tab. 24、PL. 27)

位置: $X:186\cdot187$ 、 $Y:209\sim215$ グリッド。トレンチ概要:幅3.00 m、長さ22.00 mのトレンチを南北方向に設定。遺構底面までの深さが3 m以上になったため、安全帯を2 段設けて掘り下げを行った。このため、底面の検出範囲は、幅0.60 m、長さ15.00 mとなっている。確認遺構:蒼海城新段階における本丸と二の丸の西を南北方向に走行する堀底を確認し、W-1 号溝と名称を付した。縄張り図によると本堀の西側には『松井屋敷』と呼称される郭が存在するものと想定される。断面の状態:W-1 号溝の堀底まで検出し、現地表面からの深さは3.88 mを測る。断面で確認された土層は全てW-1 号溝の埋没土と考えられる。トレンチ北側の堀底では瘤状に底面が上がる部分が見られるが詳細は不明である。出土遺物:埋没土中位から板碑の破片、下位から漆塗りの木器椀が出土している。このほか、板状の木片が出土しているが、自然木であるか材として使用されたものかは不明である。検出遺構の時期:15 世紀後半~17 世紀前半と想定される。

2号トレンチ(遺構: Fig. 72・73、PL. 27)

位置: $X:186\sim188$ 、 $Y:210\cdot211$ グリッド。トレンチ概要:幅 $6.00\,\mathrm{m}$ 、長さ $10.00\,\mathrm{m}$ のトレンチを東西方向に設定。遺構底面までの深さが $3\,\mathrm{m}$ 以上になったため、安全帯を $3\,\mathrm{B}$ 設けて掘り下げを行った。このため、底面の検出範囲は、幅 $0.50\,\mathrm{m}$ 、長さ $2.00\,\mathrm{m}$ となっている。確認遺構:蒼海城新段階における本丸と二の丸の間を東西方向に走行する堀底を確認し、W-1 号溝と名称を付した。なお、本溝は $24\,\mathrm{m}$ 点W-1 号溝と同一の堀と考えられる。断面の状態:W-1 号溝の堀底まで検出し、現地表面からの深さは $3.96\,\mathrm{m}$ を測る。断面で確認された土層は全てW-1 号溝の埋没土と考えられる。出土遺物:遺物の出土は見られない。検出遺構の時期: $15\,\mathrm{m}$ 世紀後半~ $17\,\mathrm{m}$



1号トレンチ土層説明

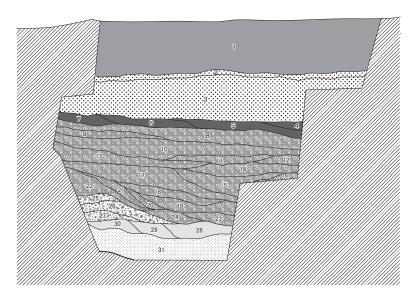
- a. 暗褐色土:表土層。中位より上は近年埋められた土。しまりあり。粘
- 性ややあり。
- b. 灰 色 土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- c. 灰 色 土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm・最社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm・最社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 2.0 cm・総社砂層ブロック
- d. 灰 色 土:総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 2.0 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 2.0 cm中量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- e. 灰 色 土:総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- f. 暗褐色土:総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 100.0 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm中量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5

- $\sim 2.0 \, \mathrm{cm}$ 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- g. 青灰色土: $As-YP \phi 0.2 cm$ ・総社砂層ブロック (白) $\phi 0.5 \sim 1.0 cm$ 少量含む。しまりあり。粘性あり。ノロ状の土。
- h. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 30.0 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 30.0 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim

- k. 暗褐色土: $As-YP\phi$ 0.2 cm中量、総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。

Fig. 72 25・26 地点全体図、1号トレンチ断面図

<u>B</u> L=116.50m <u>B'</u>





トーンの土層は1号トレンチ A-A'との整合性を示すものである。

2号トレンチ土層説明

1. 暗褐色土: 表土層。

2. 灰色 土:鉄分・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。

3. 灰 色 土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

4. 灰 色 土:総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。

5. 灰 色 土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm多量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量 含む。しまりあり。粘性ややあり。

6. 灰 色 土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 5.0 cm多量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。

7. 灰 色 土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。
8. 灰 色 土: 炭化粒・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm少量、総社砂層

8. 灰 色 土: 炭化粒・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm少量、総社砂層 ブロック (黄) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm微量含む。 しまりあり。粘性ややあり。

9. 灰 色 土: 総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック(白) φ 0.5 cm少量、 黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

10. 灰 色 土: 総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 cm少量、総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 cm・ 黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm微量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。

11. 灰色 土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。

12. 灰 色 土: 炭化粒・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やああり。

13. 灰 色 土 : 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量、炭化粒・総社砂層 ブロック (白) ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

14. 灰 色 土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 2.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

15. 灰 色 土:総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性あり。

16. 灰 色 土:総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm・炭化粒・黒色粘質土ブロック

0 1:60 2m

φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性強。

17. 灰 色 土:総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

18. 灰 色 土:総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm中量含む。しまりあり。粘性あり。

19. 灰 色 土: 総社砂層ブロック (黄) ¢ 0.5 ~ 5.0 cm中量、総社砂層ブロック (白) ¢ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

20. 灰 色 土: 総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。 21. 灰 色 土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。

22. 灰 色 土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm少量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性あり。

23. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量含む。 しまりあり。 粘性あり。

24. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm中量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm少量含む。 しまりあり。粘性あり。

25. 暗褐色土: 炭化粒総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm 少量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm 微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

26. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。

27. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm少量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm微量含む。しまりあり。粘性あり。

28. 青灰色土: 砂粒中量、総社砂層プロック(白) ϕ 0.5 cm少量含む。 しまりあり。 粘性強。 ノロ状の土。

29. 青灰色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm微量含む。 しまりあり。粘性強。 ノロ状の土。

30. 青灰色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性強。 ノロ状の土。

31. 青灰色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 cm・植物遺体少量含む。 しまりあり。 粘性強。ノロ状の土。

Fig. 73 2号トレンチ断面図

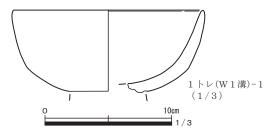


Fig. 74 25·26 地点出土遺物

Tab. 24 25·26 地点出土遺物観察表

1号トレンチ (W-1号溝)

番号	器 種	法 量 (cm)	残 存
1	木製品 椀	口径 (15.0) 底径 - 器高 -	口縁部~体部 1/4
		備考	
内・タ	外面に漆塗作		



Fig. 7 23 地点全体図

褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態:カマド内部・正面付近の床面直上に集中して おり、須恵器坏・碗、灰釉陶器碗、羽釜、土釜が出土している。また、カマドの構築材に古代の平瓦を使用して いる。時期:11世紀前半と想定される。

H-6号住居跡(遺構: Fig. 12・13、PL. 2/遺物: Fig. 34・35、Tab. 5・6、PL. 7・8)

位置: X:186・187、Y:135グリッド。主軸方位: N-52° - W。重複: H-1・5・15 号住居跡と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、H-1・5 号住居跡より古い。H-15 号住居跡との新旧関係は不明である。形状:方形状を呈するものと想定される。規模: (3.75) m×3.59 m。残存深度: 0.28 m。面積: (13.46) ㎡。床面の状態:多少の凸凹が見られるものの比較的平坦で、全体的にややしまる。カマド:住居跡南東壁に設置されており、全長 0.89 m・最大幅 0.64 m・燃焼部幅 0.58 m・主軸方位 N-44° - Wを測る。断面形状は「U」字状で、As-C・焼土・炭化粒・灰・白色粘土を含む暗褐色土を主体とした土により埋没している。袖は芯材の礫・古代の平瓦に白色粘土を被せて構築されている。焚き口は床面よりやや窪む状態にある。貯蔵穴:カマド南西脇で確認されており、0.61 m×0.52 m、深さ0.24 mの円形状を呈する。埋没土にはAs-C・ローム粒・焼土・灰・白色粘土が含まれる。柱穴:確認されていない。掘り方: As-C・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態: As-C・ローム粒・炭化粒を含む暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態: カマド内部・周辺の床面直上がら多量の須恵器坏・碗が出土している。また、カマドの構築材に古代の平瓦を使用している。時期: 10 世紀前半と想定される。

H-7号住居跡(遺構: Fig. 11、PL. 3/遺物: Fig. 35、Tab. 6、PL. 8)

位置: $X:186\cdot187$ 、Y:129 グリッド。主軸方位: $N-88^\circ$ -W。重複:攪乱土坑と重複し、住居跡の大半は壊されている。規模:3.57 m× $\langle 0.84 \rangle$ m。残存深度:0.37 m。面積: $\langle 3.00 \rangle$ ㎡。床面の状態:住居跡中央に向けてやや床面は低くなり、多少の凸凹が見られる。全体的にややしまる。カマド:検出範囲内では確認されていないが、東壁付近の埋没土中に白色粘土の混入が認められることから、東壁に設置されている可能性が高いものと想定される。貯蔵穴:確認されていない。柱穴:確認されていない。掘り方:As-C・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態:As-C・ローム粒を含む暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態:住居跡南西コーナー付近の床面直上から須恵器小型壺と底面に孔が穿たれた土師器坏が出土している。時期:7世紀後半と想定される。

H-8号住居跡(遺構:Fig. 14・15、PL. 3/遺物:Fig. 35、Tab. 6、PL. 8)

位置: $X:185\cdot186$ 、 $Y:131\cdot132$ グリッド。主軸方位: $N-65^\circ-E$ 。重複: $H-11\cdot16$ 号住居跡と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、 $H-11\cdot16$ 号住居跡より古い。形状: 長方形状を呈する。規模: $5.23~m\times3.30~m$ 。 残存深度: 0.22~m。 面積: 17.26~m。 床面の状態: 多少の凸凹が見られるものの比較的平坦で、全体的にややしまる。北西壁の東半では壁周溝と想定される溝が確認されている。カマド: 明確な確認はなされなかったが、北西壁南側周辺の埋没土中に焼土粒・灰・白色粘土が混入することから、同部分にカマドが設置されていた可能性が高いものと想定される。貯蔵穴: 住居跡北東コーナー付近で確認されており、規模は $0.76~m\times0.62~m$ 、深さ 0.59~mを測る。平面長方形、断面逆台形状を呈し、A~s-C~t中一ム粒を含む暗褐色を主体とした土で埋没している。また、貯蔵穴の周りには幅 5~18~cm程のテラスが確認されており、貯蔵穴蓋の設置痕と想定される。柱穴: 推定範囲内に 1 基のピット (P-1) が確認されている。規模は $0.45~m\times0.41~m$ 、深さ 0.51~mを測り、楕円形状を呈する。掘り方: A~s-C~t中一ム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺精埋没状態: A~s-C~t中一ム粒を含む暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土

状態:埋没土中から土師器坏・壺、赤色顔料の塊が出土している。時期:7世紀前半と想定される。

H-9号住居跡(遺構: Fig. 16、PL. 3/遺物: Fig. 36、Tab. 6、PL. 8)

H-10号住居跡(遺構: Fig. 17、PL. 3/遺物: Fig. 36、Tab. 6・7、PL. 9)

位置: $X:186\cdot187$ 、 $Y:130\sim132$ グリッド。主軸方位: $N-88^\circ$ - E。重複: $W-5\cdot6$ 号溝と重複するが、新旧関係は不明である。規模: 5.31 m× 5.19 m。残存深度: 0.23 m。面積: 27.56 m。床面の状態: 比較的平坦で、しまる。カマド: 住居跡の東壁中央のやや南寄りに設置されており、全長 1.23 m・最大幅 0.67 m・燃焼部幅 0.41 m・主軸方位 $N-90^\circ$ を測る。断面形状は「U」字状で、As-C・ローム粒・焼土・灰・白色粘土を含む暗褐色土を主体とした土により埋没している。袖は白色粘土を使用して構築されており、焚き口は床面よりやや窪む状態にある。貯蔵穴: 確認されていない。柱穴: 推定範囲内に 4 基のピットが確認されている。各ピットの規模は P-1 が 0.31 m× 0.30 m、深さ 0.40 m、P-2 が 0.39 m× 0.36 m、深さ 0.40 m、P-3 が 0.30 m× 0.29 m、深さ 0.40 m、0.40 m 0.40 m、0.40 m 0.40 m

H-11号住居跡(遺構: Fig. 18/遺物: Fig. 36、Tab. 7、PL. 9)

位置: X:186、Y:132 グリッド。主軸方位: N-84°-E。重複: H-8号住居跡と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡はH-8号住居跡より新しい。規模: -m×-m。残存深度: 0.19 m。面積: -m³。 床面の状態: 掘り方のみの検出となっているため詳細は不明。カマド: 住居跡の東壁に付設される。カマドも掘り方のみの検出となっており、全長 0.86 m・主軸方位 N-90°を測る。掘り方の断面形状は「U」字状で、焼土化した煙道の壁面が良好な状態で確認されている。煙道に僅かに残る暗褐色の埋没土にはAs-C・ローム粒・焼土・炭化粒灰・白色粘土の混入が見られる。貯蔵穴: カマドの南脇で確認されており、規模は1.29 m×0.89 m深さ 0.54 mを測り、楕円形状を呈する。また、貯蔵穴の壁面及び底面には、灰色の粘土が薄く貼られている状況が捉えられている。埋没土は暗褐色を主体とした土で、As-C・ローム粒・白色粘土粒が含まれ、多量の土器が出土している。柱穴:確認されていない。掘り方: 貼床は断面で僅かに残存しており、As-C・ローム粒を含み、硬くしまる。貼床の下はAs-C・ローム粒・炭化粒・白色粘土を含む暗褐色を主体とした土により埋められている。遺構埋没状態: 不明。遺物出土状態: 貯蔵穴内から須恵器坏・碗が多量に出土している。時期: 10 世紀前半と想定される。

H-12号住居跡(遺構: Fig. 19・20、PL. 4/遺物: Fig. 37、Tab. 7、PL. 9)

位置: X:186・187、Y:132・133 グリッド。主軸方位: N-56°-E。重複: H-14・20 号住居跡、W-6 号溝と重複する。埋没土層の観察から本住居跡はH-14・20 号住居跡より新しい。W-6号溝との新旧関係は不明。規模: 3.17 m×3.10 m。残存深度: 0.28 m。面積: 9.83 ㎡。床面の状態: 比較的平坦でしまる。カマド:住居跡北東壁中央から南寄りに設置されており、全長 0.97 m・最大幅 0.39 m・燃焼部幅 0.20 m・主軸方位 N-60°-Eを測る。断面形状は「U」字状で、As-C・ローム粒・焼土・灰・白色粘土を含む暗褐色土を主体とした土により埋没している。袖は白色粘土を使用して構築されており、焚き口は床面よりやや窪む状態にある。貯蔵穴: 確認されていない。柱穴:確認されていない。掘り方: As-C・ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態: As-C・ローム粒を含む暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態: カマド内部より土師器甕が出土している。時期: 8世紀代と想定される。

H-13号住居跡(遺構: Fig. 21、PL. 3)

位置: $X:187\cdot188$ 、Y:132 グリッド。主軸方位: $N-44^\circ-E$ 。重複: なし。規模: $\langle 2.83\rangle$ m× $\langle 2.00\rangle$ m。 残存深度: 0.09 m。面積: $\langle 5.66\rangle$ ㎡。床面の状態: 平坦でしまる。カマド: 検出範囲内では確認されていない。貯蔵穴: 確認されていない。柱穴: 確認されていない。掘り方: $As-C\cdot$ ローム粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態: $As-C\cdot$ ローム粒を含む暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: 不明。

H-14号住居跡(遺構:Fig. 19、PL. 4)

H-15号住居跡(遺構: Fig. 22、PL. 4/遺物: Fig. 37、Tab. 7・8、PL. 10)

位置: X:187、Y:134 グリッド。主軸方位: $N-45^\circ$ -W。重複: $H-5\cdot 6$ 号住居跡、 W-2 号溝と重複する。出土遺物と埋没土層の観察から本住居跡は H-5 号住居跡、 W-2 号溝より古い。 H-6 号住居跡との新旧関係は不明。規模: $\langle 3.05 \rangle$ $m \times -m$ 。 残存深度:0.17 m。 面積:-m。 床面の状態:壁面付近の床面はやや高い。全体的には比較的平坦で、全体的にややしまる。カマド:住居跡南東壁に付設されているが、重複が激しいことから、左袖一部の検出に留まっている。規模は全長 0.52 $m\cdot$ 主軸方位 $N-30^\circ$ -W を測る。袖の構築には白色の粘土が使用されている。 貯蔵穴:確認されていない。 柱穴:推定範囲内において1 基のピット(P-1)が確認されている。 規模は 0.50 $m \times 0.42$ m、深さ 0.17 m を測り、平面形状は楕円形状を呈する。 掘り方: A S-C P-1 P-1

H-16号住居跡(遺構: Fig. 23、PL. 4/遺物: Fig. 37・38、Tab. 8、PL. 10)

位置:X:185・186、Y:129 ~ 131 グリッド。主軸方位:N -55° - E。重複:H - 2 ・ 8 号住居跡、D - 2

号土坑、W-1・4号溝、P-14と重複する。出土遺物と埋没土層の観察から本住居跡はH-2・8号住居跡より新しく、D-2号土坑・W-1・4号溝・P-14よりも古い。規模: (5.41) m×5.11 m。残存深度: 0.40 m。面積: (27.65) m³。床面の状態: 多少の凸凹が見られるが、比較的平坦でしまる。カマド: P-14により壊されているが、住居跡北東壁中央から南寄りに設置されており、全長 1.24 m・最大幅 0.70 m・燃焼部幅 0.48 m・主軸方位N-58° - Eを測る。断面形状は「U」字状で、As-C・ローム粒・焼土・灰を含む暗褐色土を主体とした土により埋没しており、埋没土の下位では灰を多量に含む層が認められる。袖は白色粘土を使用して構築されている。なお、右袖部分には構築材の礫を引き抜いたと推測される不整形な小ピット(P-6)が認められる。貯蔵穴:確認されていない。柱穴:推定範囲内に 6 基のピットが確認されており、このうちP-1~P-4 は配列から柱穴と想定される。各ピットの規模はP-1が 0.31 m× 0.30 m、深さ 0.40 m、P-2 が 0.39 m× 0.36 m、深さ 0.40 m、0.50 m 0.50 m、0.50 m 0.50 m

H-17号住居跡(遺構: Fig. 24、PL. 4)

位置: $X:187\cdot188$ 、 $Y:134\cdot135$ グリッド。主軸方位: $N-89^\circ-E$ 。重複: W-2 号溝と重複する。埋没土層の観察から本住居跡はW-2 号溝より古い。規模: $\langle 3.63 \rangle$ m× $\langle 1.72 \rangle$ m。残存深度: 0.28 m。面積: (27.65) ㎡。床面の状態: 多少の凸凹が見られるが、比較的平坦でしまる。カマド: 検出範囲内では確認されていない。貯蔵穴: 確認されていない。柱穴: 確認されていない。掘り方: As-C ・ D ・ D ・ D ・ D ・ D を有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態: D ・ D ・ D ・ D ・ D ・ D ・ D を有する暗褐色をされる。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: 不明。

H-18号住居跡(遺構: Fig. 25、PL. 5/遺物: Fig. 38、Tab. 8、PL. 11)

H-19号住居跡(遺構: Fig. 26、PL. 5)

位置: X:187・188、Y:133 グリッド。主軸方位: N-50° - E。重複: W-2号溝、D-5号土坑(倒木痕)、 攪乱土坑2基と重複する。埋没土層の観察から本住居跡はW-2号溝より古く、D-5号土坑より新しい。規模: ⟨2.40⟩ m×⟨1.81⟩ m。残存深度: 0.09 m。面積: ⟨4.34⟩ ㎡。床面の状態: 掘り方のみの検出となっている ため詳細は不明。北東壁付近で1.17 m×1.17 m、深さ34 mの土坑(D-1) が確認されている。カマド: 検 出範囲内では確認されていない。**貯蔵穴**:確認されていない。**柱穴**:確認されていない。**握り方**: $A s - C \cdot p - \Delta t = \Delta t$

H-20号住居跡(遺構:PL.5)

位置: X:187、Y:132 グリッド。主軸方位: $N-60^\circ$ - E。重複: H-12 号住居跡、 $W-5\cdot 6$ 号溝と重複する。 埋没土層の観察から本住居跡はH-12 号住居跡より古い。 $W-5\cdot 6$ 号溝との新旧関係は不明。規模: $\langle 2.94\rangle$ m× $\langle 1.67\rangle$ m。残存深度: 0.07 m。面積: $\langle 4.91\rangle$ ㎡。床面の状態: 掘り方のみの検出となっているため詳細は不明。カマド: 検出範囲内では確認されていない。貯蔵穴: 確認されていない。柱穴: 確認されていない。掘り方: $As-C\cdot D-\Delta$ 粒を含み、しまりを有する暗褐色土により構築されている。遺構埋没状態: 不明。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: 不明。

3 十坑 (遺構: Fig. 7、Tab. 2、PL. 1)

23 地点において土坑は 9 基確認されている。調査の結果、 $D-1 \cdot 2$ 号土坑は井戸、D-5 号土坑は倒木痕であることが判明している。D-1 号土坑の埋没土上位では現代遺物の混入が見られるが、下位では見られない。現代遺物は井戸が埋没することで窪地と姿を変えた段階で投棄されたものと考えられる。各土坑の計測値等は Tab. 2 に示してある。

Tab. 2 23 地点土坑一覧表

遺構名	グリッド	規模 (m)	深さ (m)	平面形態	遺物	備考
D-1号土坑	X:186 Y:136	1.55 × 1.49	1.38 以上	円形	上位に現代	井戸。埋没土にAs-B混入。下位には現代遺物は見られ
					遺物	ない。
D-2号土坑	X:186 Y:130	1.92 × 1.86	0.75以上	不整円形	_	井戸。埋没土にAs-B混入。H-16号住居跡と重複し、 本土坑が新しい。
D-3号土坑	X:188 Y:131	- × 1.22	0. 45	楕円形	_	As-C・ローム粒を含む暗褐色土で埋没。
D-4号土坑	X:187 Y:135	0.72 × 0.61	0. 44	楕円形	_	As-C・ローム粒を含む暗褐色土で埋没。
D-5号土坑	X :187 Y :133	$\langle 1.81 \rangle \times 1.51$	0. 62	不整楕円形	_	倒木痕。H-14・19 号住居跡・W-2 号溝と重複し、本土坑はH-19 号住居跡・W-2 号溝より古く、H-14 号住居跡より新しい。
D-6号土坑	X:185 Y:133	$\langle 1.58 \rangle \times 1.41$	0. 26	隅丸方形	_	As-C・ローム粒を含む暗褐色土で埋没。W-1号溝と 重複し、本土坑はW-1号溝より古い。
D-7号土坑	X:188 Y:132	$\langle 1.15 \rangle \times \langle 0.81 \rangle$	0. 12	不整長方形	_	As-C・ローム粒・焼土粒・炭化粒を含む暗褐色土で埋没。
D-8号土坑	X:185 Y:135	1.29 × (0.86)	_	円形?	_	As-B・総社砂層を含む暗褐色土で埋没。 $H-1$ 号住居跡・ $D-9$ 号土坑・ $W-1$ 号溝と重複し、本土坑は $D-9$ 号土坑・ $W-1$ 号溝より古く、 $H-1$ 号住居跡より新しい。
D-9号土坑	X :185 Y :136	1.02 × (0.30)	_	楕円形?	_	As-B・総社砂層を含む暗褐色土で埋没。 $H-1$ 号住居跡・ $D-8$ 号土坑、 $W-1$ 号溝と重複し、本土坑は $W-1$ 号溝より古く、 $H-1$ 号住居跡・ $D-8$ 号土坑より新しい。

W-1号溝(遺構: Fig. 27・28、PL. 5/遺物 Fig. 39、Tab. 8、PL. 11)

位置: $X:183\sim185$ 、 $Y:129\sim136$ グリッド。主軸方位: N-3° -W。重複: $H-1\cdot9\cdot16\cdot18$ 号住居跡・ $D-6\cdot8\cdot9$ 号土坑・W-3 号溝と重複する。出土遺物と埋没土層の観察から、本溝はいずれの遺構よりも新しい。規模: 上端幅〈4.87〉~〈5.65〉m、下端幅 $0.22\sim0.53$ m。断面形状: 逆台形状を呈するが、西側でテラス面を有する。残存深度: 2.64 m。底面の状態: 多少の凸凹は見られるが比較的平坦である。流水及び帯水の痕跡は認められない。遺構埋没状態: $As-B\cdot As-C\cdot U$ 一ム粒・総社砂層ブロックを含む暗褐色を主体とした土により埋没している。埋没土の下位では西側からの埋没が目立つが、中位から上位にかけては東側からの埋没

が目立つ状態にある。また、総社砂層のブロックに風化現象が見られないことから、人為的な埋没と想定される。 埋没土の21層では、堀西壁の立ち上がりからの連続性が窺えることから、堀の重複(作り直し)も推測される。 遺物出土状態:埋没土の下位から青磁碗・宝篋印塔の相輪部が出土している。時期:青磁碗の時期から14世紀 後半以降に帰属するものと想定される。備考:蒼海城関連の堀と想定される。W-1号溝は蒼海城新段階におけ る本丸西側を南北方向に走行する堀の延長線上に位置するものである(Fig. 4参照)。

W-2号溝(遺構: Fig. 29、PL. 5/遺物 Fig. 39、Tab. 8・9、PL. 11)

位置: $X:185\sim188$ 、 $Y:133\sim134$ グリッド。主軸方位: $N-89^{\circ}-E$ 。重複: $H-14\cdot15\cdot17\cdot19$ 号住居跡・D-5 号土坑と重複する。出土遺物と埋没土層の観察から、本溝はいずれの遺構よりも新しい。規模: 上端幅 2.04 ~2.63 m、下端幅 $0.40\sim0.91$ m。断面形状: 逆台形状を呈する。残存深度: 1.20 m。底面の状態: 多少の凸凹は見られるが比較的平坦である。流水及び帯水の痕跡は認められない。遺構埋没状態: $As-C\cdot$ ローム粒・ロームブロックを含む暗褐色を主体とした土により埋没している。埋没土の観察では北側からの埋没が目立ち、ロームブロックに風化現象が見られないことから、人為的な埋没と想定される。遺物出土状態: 埋没土の中から上位で軟質陶器の内耳鍋・鉢及び獣骨が出土している。時期: 軟質陶器の時期から 14 世紀~15 世紀以降に帰属するものと想定される。備考: 蒼海城関連の堀と想定される。本溝を西へ延長させると、W-1 号溝とほぼ直交する状態にある。

W-3号溝(遺構: Fig. 30/遺物 Fig. 39、Tab. 9、PL. 11)

位置: $X:185\sim188$ 、Y:136 グリッド。主軸方位: $N-88^\circ$ - E。重複: $H-1\cdot3$ 号住居跡・W-1 号溝と重複する。出土遺物と埋没土層の観察から、本溝はW-1 号溝より古く、 $H-1\cdot3$ 号住居跡より新しい。規模: 上端幅 $0.53\sim1.24$ m、下端幅 $0.24\sim0.66$ m。断面形状: 皿状を呈するものと想定される。残存深度: 0.43 m。底面の状態: 細かい起伏を有する。流水及び帯水の痕跡は認められない。遺構埋没状態: $As-B\cdot As-C\cdot U-L$ 公粒を含む暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態: 埋没土の中から須恵器碗が出土している。時期: 10 世紀前半に比定される須恵器碗が出土しているものの、埋没土中にAs-Bが混入することから、As-B降下以降(1108年以降)と想定される。備考: 性格不明。

W-4号溝(遺構: Fig. 31)

位置: X:185、Y:129・130 グリッド。主軸方位: N-0°。重複: H-2・16 号住居跡と重複する。埋没土層の観察から、本溝はH-2・16 号住居跡より新しい。規模: 上端幅 2.69 ~ 3.12 m、下端幅 1.60 ~ 2.81 m。断面形状: 皿状を呈する。残存深度: 0.41 m。底面の状態: 細かい起伏を有する。流水及び帯水の痕跡は認められない。遺構埋没状態: As-B・As-C・ローム粒を含む暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: 埋没土中にAs-Bが混入することから、As-B降下以降(1108 年以降)と想定される。備考: 性格不明。

W-5号溝(遺構: Fig. 7)

位置: $X:186\cdot187$ 、Y:132 グリッド。主軸方位: $N-80^\circ$ -W。重複: $H-10\cdot20$ 号住居跡、W-6 号溝、 $P-3\cdot4$ と重複するが、新旧関係は不明。規模: 上端幅 $0.51\sim0.81$ m、下端幅 $0.41\sim0.69$ m。断面形状: 皿状を呈する。残存深度: 0.11 m。底面の状態: 細かい起伏を有する。流水及び帯水の痕跡は認められない。遺構埋没状態: $As-C\cdot$ ローム粒を含む暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: 不明。備考: 性格不明。

W-6号溝(遺構: Fig. 7)

位置: X:186、Y:132 グリッド。主軸方位: $N-86^\circ$ - E。重複: $H-10\cdot12\cdot20$ 号住居跡、W-5 号溝と重複するが、新旧関係は不明。規模: 上端幅 $0.70\sim0.87$ m、下端幅 $0.39\sim0.65$ m。断面形状: 皿状を呈する。残存深度: 0.08 m。底面の状態: 細かい起伏を有する。流水及び帯水の痕跡は認められない。遺構埋没状態: $As-C\cdot$ ローム粒を含む暗褐色を主体とした土による自然埋没と想定される。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: 不明。備考: 性格不明。

5 ピット (遺構: Fig. 7、Tab. 3)

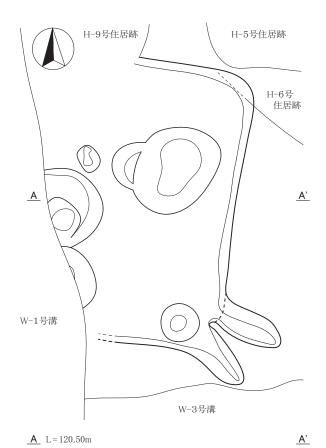
23 地点においてピットは 15 基確認されている。このうちの 10 基は調査区北側に集中するが、掘立柱建物跡等の配列は窺えない。各ピットの計測値等は Tab. 3 に示してある。

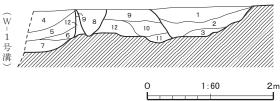
Tab. 3 23 地点ピット一覧表

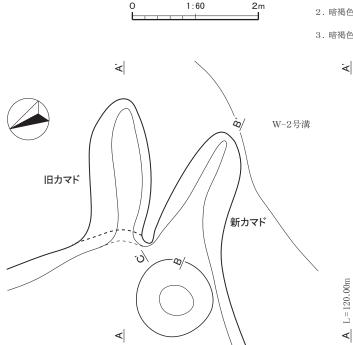
遺構名	グリッド	規模(m)	深さ(m)	平面形態	遺物	備考
						910 3
P-1	X:187 Y:132	0.61×0.50	0. 25	楕円形	_	暗褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 2	X:186 · 187 Y:129	0.92×0.55	0.15	楕円形	_	黒褐色の埋没土にAs-C・ローム粒・白色粘土混入。
P - 3	X:187 Y:132	0.51×0.43	0.15	楕円形	_	黒褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 4	X:186 Y:132	0.52×0.37	0.18	楕円形	_	暗褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 5	X:186 Y:129	0.71×0.63	0.13	楕円形	_	黒褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 6	X:186 Y:129	0.55×0.39	0.02	楕円形	_	黒褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 7	X:186 Y:129	0.58×0.45	0.43	楕円形	_	黒褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 8	X:186 Y:129	0.31×0.29	0.07	円形	_	黒褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 9	X:186 Y:129	0.57×0.33	0.15	不整楕円形	_	黒褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 10	X:187 Y:130	0.37×0.33	0.07	楕円形	_	黒褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 11	X:186 Y:130	0.31×0.31	0. 21	円形	_	黒褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 12	X:186 · 187 Y:130	0.34×0.28	0.15	楕円形	_	黒褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 13	X:187 Y:130	0.37×0.31	0.11	楕円形	_	黒褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 14	X:186 Y:130	0.55×0.51	0. 28	楕円形	_	暗褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。
P - 15	X:186 Y:131	0.66×0.41	0.34	楕円形	_	暗褐色の埋没土にAs-C・ローム粒混入。

6 遺構外出十遺物 (遺物: Fig. 39、Tab. 9、PL. 11)

遺構外出土遺物として、8点の遺物を提示した。このうち $1\sim5$ は7世紀から8世紀代に帰属するもので、本地点で確認された住居跡の時期に伴うものである。6は古代の瓦であるが、 $H-5\cdot6$ 号住居跡での類例を見ると、カマドの構築材として平安時代の住居跡に再利用されたものと推測できよう。 $7\cdot8$ は白磁で7は皿、8は 碗である。これらの遺物は $W-1\cdot2$ 号溝と同様に蒼海城に関連するものと想定される。







3

Fig. 8 H-1号住居跡

H-1号住居跡土層説明

1. 暗褐色土: As-Co0.2~0.5 cm中量、ローム粒少量含む。しまり あり。粘性ややあり。土坑埋没土。

2. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 cm・ローム粒少量含む。 しまりあり。粘性

ややあり。土坑埋没土。 3. 暗褐色土: ローム粒中量、As - C φ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。土坑埋没土。

4. 暗褐色土: A s − B φ 0.2 cm中量、A s − C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム 粒少量含む。しまりあり。粘性やや弱。溝埋没土。

5. 暗褐色土: A s - B φ 0.2 cm・A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少

量含む。しまりあり。粘性やや弱。溝埋没土。

6. 暗褐色土: ロームブロック φ 0.2 ~ 0.3 cm中量、A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。溝埋没土。

7. 暗褐色土: ローム粒中量、 $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm少量含む。しまり

あり。粘性ややあり。溝埋没土。 8. 暗褐色土: As-C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。

料性ややあり。土坑埋没土。 9. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm中量、ローム粒少量含む。しまり

あり。粘性ややあり。H-1住埋没土。

10. 暗褐色土: As-C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒微量含む。しまり あり。粘性ややあり。H-1住埋没土。

11. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm中量、ローム粒・焼土粒少量含む。

しまりあり。粘性ややあり。H-1住埋没土。 12. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒中量含む。しまりあり。

粘性ややあり。H-1住埋没土。

H-1号住居跡カマド土層説明

1. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm 中量、ローム粒少量含む。 しまり あり。粘性ややあり。旧カマド埋没土。

2. 暗灰色土: 粘土層。旧カマドを閉鎖するために貼られた壁。しまりあ

り。粘性あり。旧カマド埋没土。

3. 暗褐色土: ローム粒中量、 $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm少量含む。しまり

あり。粘性やや弱。旧カマド埋没土。

4. 暗褐色土: $As-C\phi 0.2\sim 0.5 cm$ ・ローム粒少量、焼土微量含む。 しまりあり。粘性ややあり。旧カマド埋没土。

5. 暗褐色土: 焼土・灰中量、As-Cφ0.2 cm微量含む。しまり弱。粘

性弱。旧カマド埋没土。 6. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm少量、ローム粒微量含む。しまり

あり。粘性ややあり。新カマド埋没土。

7. 暗褐色土: As-C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・白色粘土少量、焼土 微量含む。しまりあり。粘性ややあり。旧カマド埋没土。

8. 暗褐色土: 焼土多量、As-Cφ0.2~0.5 cm微量含む。しまり弱。

粘性やや弱。旧カマド埋没土。

H-1号住居跡貯蔵穴土層説明

1. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや

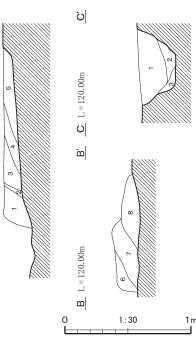
あり。

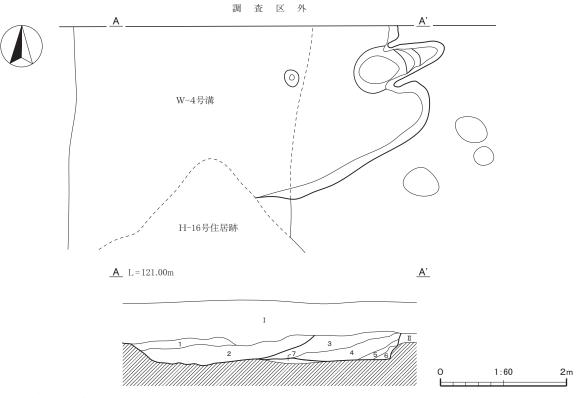
2. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒少量含む。 しまりあり。

粘性ややあり。

3. 暗褐色土: ローム粒中量、As-Co0.2~0.5 cm少量含む。しまり

あり。粘性やや弱。





H-2号住居跡土層説明

1. 暗褐色土: As-Bφ0.2cm中量、As-Cφ0.2~0.5cm・ローム粒・

 焼土少量含む。しまりあり。粘性やや弱。W-4溝埋没土。

 2. 暗褐色土: As-Bø0.2 cm・As-Cø0.2~0.5 cm・ローム粒少

量含む。しまりあり。粘性やや弱。W-4溝埋没土。

3. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。

粘性ややあり。

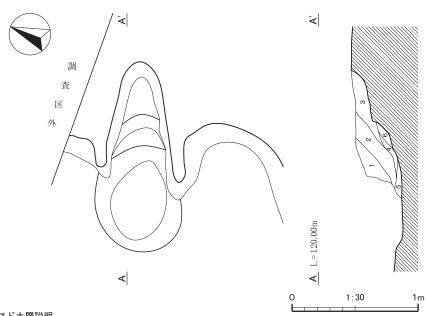
4. 暗褐色土: A s - C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒・炭化粒少量含む。し

まりあり。粘性ややあり。

5. 暗褐色土: A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・焼土・炭化粒少量含

7. 暗褐色土: A s - C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒中量含む。しまり強。

粘性ややあり。貼床。



H-2号住居跡カマド土層説明

1. 暗褐色土: 白色粘土 ϕ 0.5 cm 中量、A s - C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・焼土・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性あり。

2. 暗褐色土: 焼土・白色粘土 ϕ 0.5 cm 中量、A s - C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm ・

炭化粒少量含む。しまりあり。粘性あり。 3. 暗褐色土: A s - C φ 0.2 cm・焼土・炭化粒・白色粘土 φ 0.5 cm少量

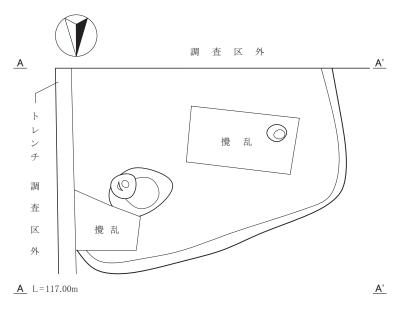
含む。しまりあり。粘性あり。

4. 黒褐色土: ローム粒中量、A s - C φ 0.2 cm・焼土・炭化粒・灰少量

含む。しまり弱。粘性ややあり。

5. 黒褐色土: 灰多量、ローム粒・焼土少量含む。しまり弱。粘性やや弱。

Fig. 9 H-2号住居跡



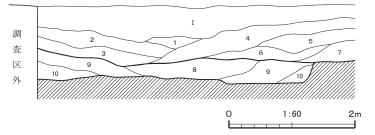


Fig. 10 H-3号住居跡

H-3号住居跡土層説明

1. 暗褐色土: $As-C\phi 0.2 \sim 0.5 \, \mathrm{cm} \cdot \mathrm{ロ}$ ーム粒少量含む。

しまりあり。粘性ややあり。W-3溝埋没土。 2. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm少量、ローム粒微量含

む。しまりあり。粘性ややあり。W-3溝埋没土。 3. 暗褐色土: As-C \(\phi 0.2 \cdot 0.5 \cdot cm \cdot u - \text{ \ \text{ \ \text{ \text{ \text{ \text{ \text{ \text{ \text{ \text{ \text{ \

しまりあり。粘性ややあり。W-3溝埋没土。 4. 暗褐色土: As-Co0.2~0.5 cm中量、ローム粒少量含

む。しまりあり。粘性ややあり。W-3溝埋没土。 5. 暗褐色土: As-Cφ0.2~0.5 cm・ローム粒中量含む。

しまりあり。粘性ややあり。W-3溝埋没土。

6. 暗褐色土: ローム粒中量、As-Co0.2~0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-3溝埋没土。

7. 暗褐色土: As-C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量含む。 しまりあり。粘性ややあり。W-3 溝埋没土。

8. 暗褐色土: As-Cø0.2~0.5cm・ローム粒中量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。H-3住埋没土。

9. 暗褐色土: As-Co0.2~0.5 cm・ローム粒中量、白色粘土微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

10. 暗褐色土: ローム粒中量、As-Co0.2~0.5cm・焼土・炭 化粒・白色粘土少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

H-4・7号住居跡土層説明

1. 黄灰色土: $As-B\phi0.2$ cm多量、 $As-C\phi0.2\sim0.5$ cm・ 炭化物少量含む。しまり弱。粘性弱。攪乱土坑。

2. 暗褐色土: As-Cø0.2~0.5cm・ローム粒・白色粘土少量 含む。しまりあり。粘性ややあり。H-7住埋没土。
 3. 暗褐色土: As-Cø0.2~0.5cm中量、ローム粒少量含

む。しまりあり。粘性ややあり。H-7住埋没土。 4. 暗褐色土: ローム粒中量、As-Co0.2~0.5cm少量含

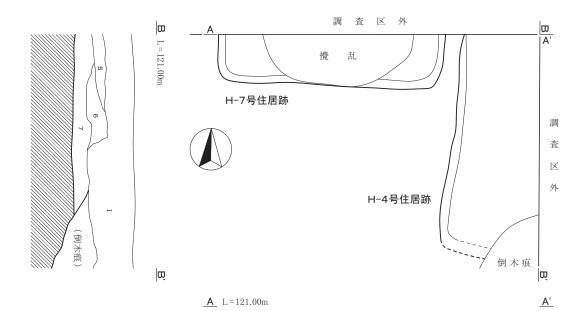
む。しまりあり。粘性ややあり。H - 7住埋没土。 5. 暗褐色土: As-C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量、炭化粒

微量含む。しまりあり。粘性ややあり。H-4住埋没土。 6. 暗褐色土: As-C φ 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒・炭化粒微

量含む。しまりあり。粘性ややあり。H − 4 住埋没土。 7.暗褐色土: A s − C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒中量含む。

しまりあり。粘性ややあり。H — 4 住埋没土。 8. 暗褐色土: ローム粒中量、A s — C ø 0.2 ~ 0.5 cm少量含

む。しまりあり。粘性ややあり。H-4住埋没土。



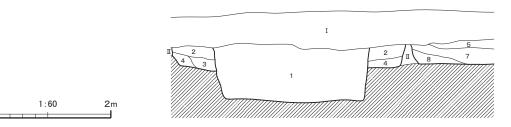
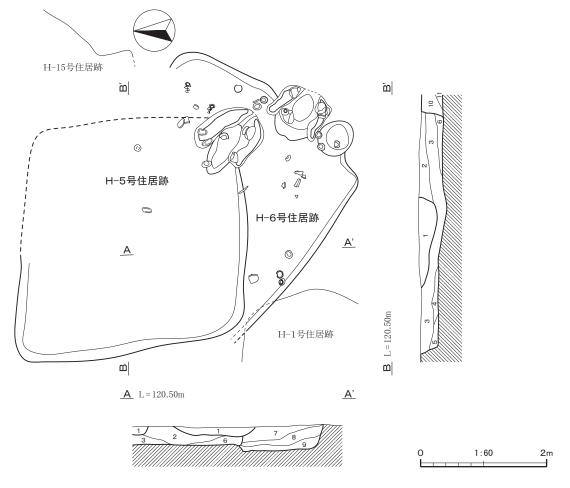
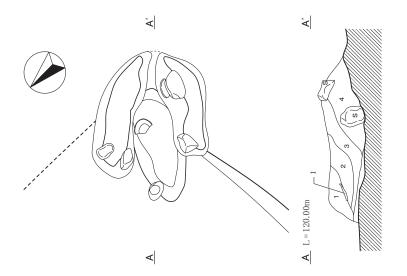


Fig. 11 H-4·7号住居跡



H-5・6号住居跡土層説明

- 1. 暗褐色土: As-B φ 0.2 cm多量含む。しまり弱。粘性弱。土坑埋没土。
- 2. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 m中量、 $U-\Delta粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。<math>H-5$ 住埋没土。
- 3. 暗褐色士: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm中量、ローム粒少量、焼土・炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。H-5住埋没土。
- 4. 暗褐色土: As-C φ 0.2 ~ 0.5 cm · ローム粒中量含む。しまりあり。
- 6. 暗褐色土: ローム粒中量、 $As-C\phi0.2\sim0.5cm$ ・炭化粒少量含む。 しまりあり。粘性ややあり。H-5住埋没土。
- 7. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm中量、 $U-\Delta粒・炭化粒少量含む。 しまりあり。粘性ややあり。<math>H-6$ 住埋没土
- 8. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒少量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。 H-6 住埋没土。
- 9. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm \cdot D Δ 粒中量含む。しまりあり。 粘性ややあり。H-6 住埋没土。
- 10. 暗褐色土: A s C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒少量含む。 しまりあり。
 - 粘性ややあり。H-15住埋没土。
- 11. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm中量、ローム粒少量、炭化粒微量 含む。しまりあり。粘性ややあり。H-15 住埋没土。



H - 5号住居跡カマド土層説明

- 1. 暗褐色土: A s C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・焼土 ϕ 0.5
 - cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 2. 暗褐色土: 白色粘土 φ 0.5 ~ 1.0 cm中量、A s C φ 0.2 ~ 0.5 cm・焼土・炭化粒少量
- 含む。しまりあり。粘性あり。 3. 暗褐色土: 白色 粘土 φ 0.5 cm 中量、A s - C φ 0.2 cm・焼土・炭化粒・灰少量含む。
- しまりあり。粘性あり。 4. 暗褐色土: As-Co0.2~0.5 cm・白色粘土
- φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性 あり。
- 5. 黒褐色土: 灰中量、焼土・炭化粒少量、As-C φ 0.2 ~ 0.5 cm 微量含む。しまり弱。 粘性弱。

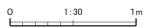


Fig. 12 H-5·6号住居跡

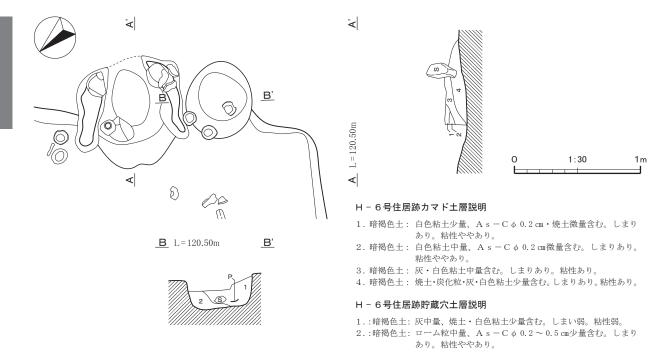


Fig. 13 H - 6 号住居跡カマド

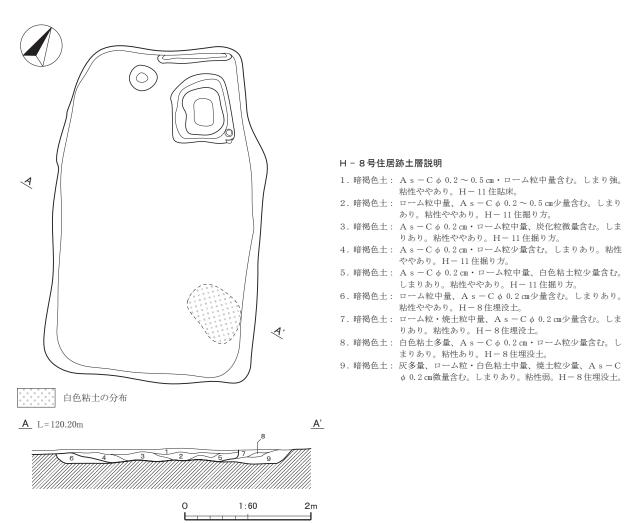
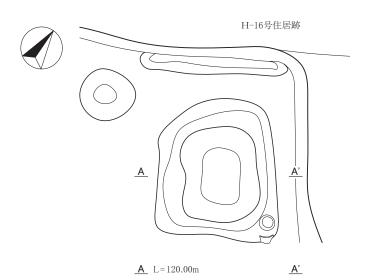
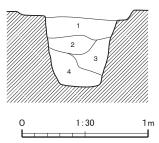


Fig. 14 H-8号住居跡

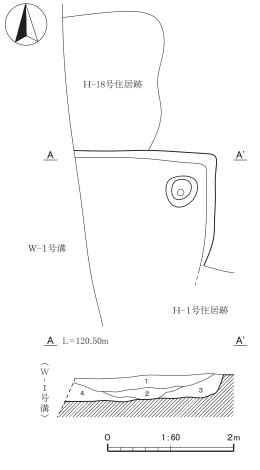




H-8号住居跡貯蔵穴土層説明

- 1. 暗褐色土: $As-C\phi 0.2\sim 0.5$ cm中量含む。しまり弱。粘性ややあり。2. 暗褐色土: $As-C\phi 0.2\sim 0.5$ cm中量、ローム粒少量含む。しまり弱。粘性ややあり。

Fig. 15 H-8号住居跡貯蔵穴



H-9号住居跡土層説明

- 1. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒中量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。
- 2. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2~0.5 cm中量、ローム粒少量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。
- 3. 暗褐色土: ローム粒中量、 $As-C\phi0.2\sim0.5$ cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 4. 暗褐色土: $A s C \phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒中量、炭化粒微量含む。 しまりあり。粘性ややあり。

Fig. 16 H - 9 号住居跡

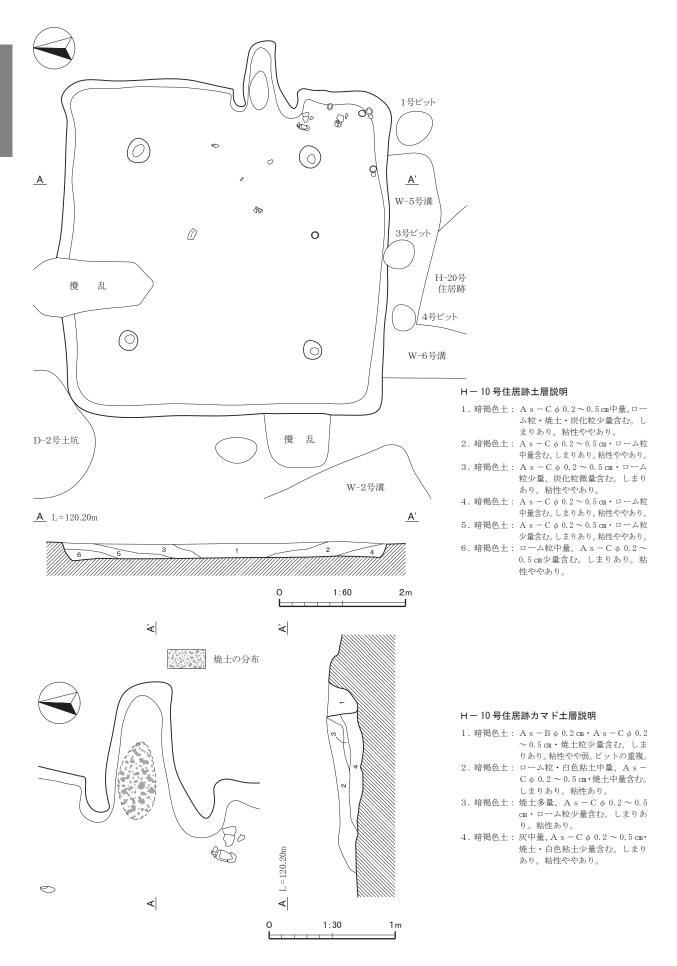


Fig. 17 H-10 号住居跡

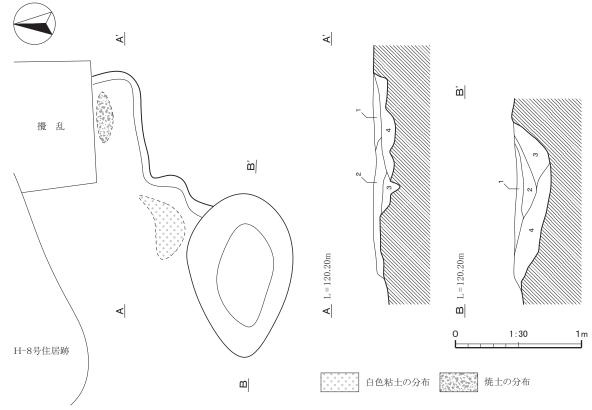


Fig. 18 H-11 号住居跡

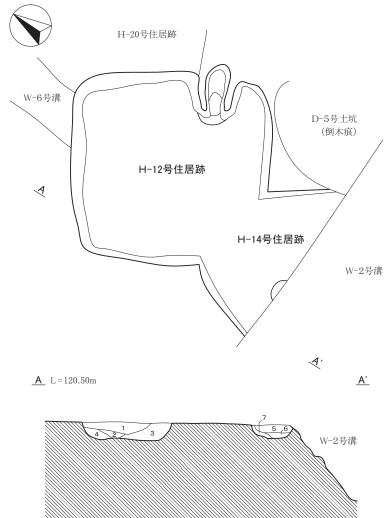


Fig. 19 H-12·14 号住居跡

H-11号住居跡カマド土層説明

 日. 暗褐色土: 焼土・白色粘土中量、炭化粒・灰少量、As-Cφ0.2cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
 日. 暗褐色土: ローム粒・焼土粒・灰中量、As-Cφ0.2 ~0.5cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

3. 暗褐色土: A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・焼土粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

4. 暗褐色土: ローム粒中量、As-Co0.2cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

H-11号住居跡貯蔵穴土層説明

1. 暗褐色土: A s − C φ 0.2 ~ 0.5 cm 中量、ローム粒 微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

2. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm 中量、ローム粒 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

3. 暗褐色土: $As-C \phi 0.2 \sim 0.5 \, \mathrm{cm} \cdot \mathrm{pr}$ ム粒少量、白色粘土粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

4. 暗褐色土: A s - C φ 0.2 ~ 0.5 cm 中量、ローム粒・白 色粘土粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

H-12·14号住居跡土層説明

1. 暗褐色土: A s - C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm 中量、ローム粒 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。 H- 12 住埋没土。

暗褐色土: As-Cφ0.2~0.5 cm・ローム粒少量含む。
 しまりあり。粘性ややあり。H-12 住埋没土。

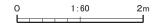
3. 暗褐色土: ローム粒多量、As-Co0.2~0.5cm 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。 H-12住埋没土。

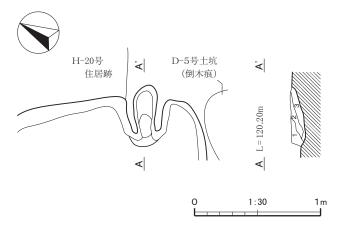
4. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ υ - Δ \pm Δ Δ とよりあり。 Δ 8 Δ 9 Δ 9 Δ 10 Δ 12 Δ 12 Δ 12 Δ 13 Δ 14 Δ 15 Δ 16 Δ 17 Δ 17 Δ 18 Δ 18 Δ 18 Δ 19 Δ

5. 暗褐色土: ローム粒中量、 $As-C\phi0.2\sim0.5$ cm 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。H-14 住埋没土。

6. 暗褐色土: ローム粒少量、As-C φ 0.2 cm微量含む。 しまりあり。粘性ややあり。H-14 住埋没土。

7. 暗褐色土: ローム粒中量、As-Co0.2cm微量含む。 しまりあり。粘性ややあり。H-14住埋没土。

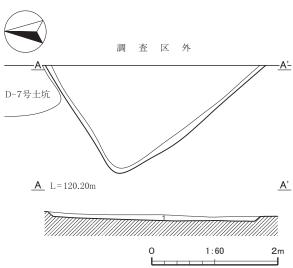




H-12号住居跡カマド土層説明

- 1. 暗褐色土: A s C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒・焼土・灰・白色粘土 少量含む。しまりあり。粘性あり。
- 2. 暗褐色土: 焼土多量、灰中量、As-Cφ0.2~0.5 cm少量含む。し

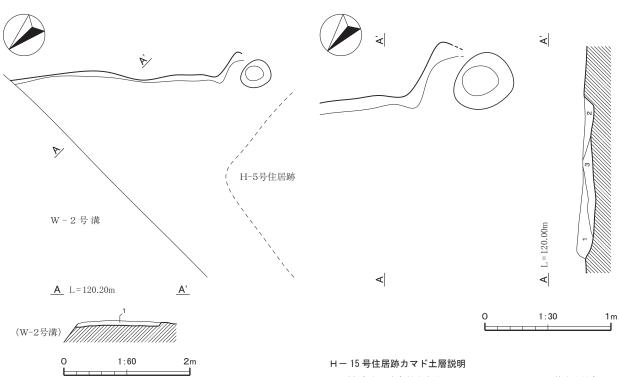
Fig. 20 H-12 号住居跡カマド



H-13号住居跡土層説明

1. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 ~ 0.5 cm中量、ローム粒少量含む。 しまり あり。粘性ややあり。

Fig. 21 H-13 号住居跡

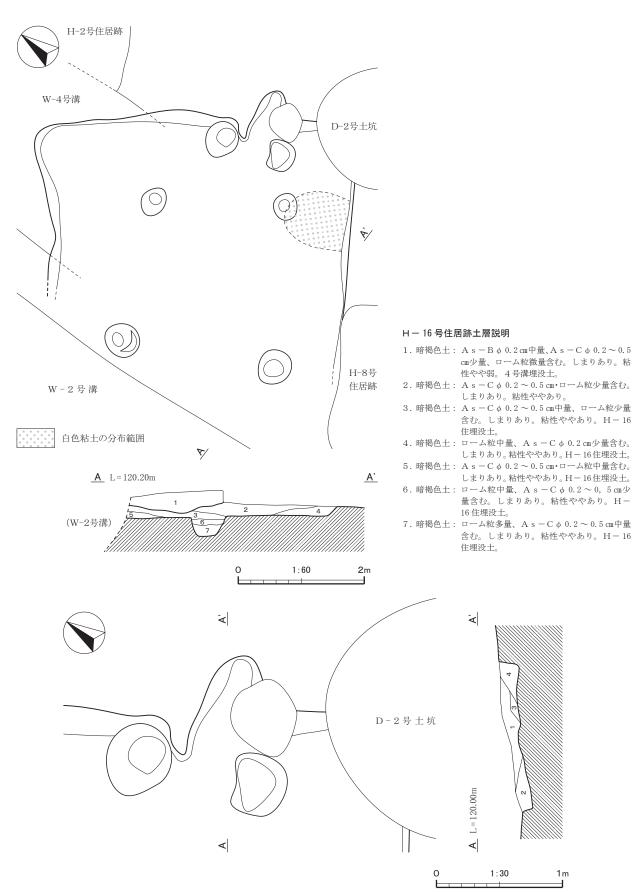


H-15号住居跡土層説明

1. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。 粘性ややあり。

- 1. 暗褐色土: 白色粘土中量、A s C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・焼土少量含む。 しまりあり。粘性あり。
- 2. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・焼土少量含む。 しまりあり。 粘 性ややあり。
- 3. 暗褐色土: A s C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・焼土・白色粘土少量含む。 しま りあり。粘性ややあり。

Fig. 22 H-15 号住居跡



H-16号住居跡カマド土層説明

- 1. 暗褐色土: ローム粒中量、A s C $_{\phi}$ 0.2 \sim 0.5 cm少量、焼土粒微量
- 含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 2. 暗褐色土: 焼土中量、A s C $_{\phi}$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒少量、炭化
 - 粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 3. 暗褐色土: 灰多量、焼土少量含む。しまり弱。粘性弱。
- 4. 暗褐色土: ローム粒中量、A s C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・灰少量含む。し

まりあり。粘性ややあり。

Fig. 23 H-16 号住居跡

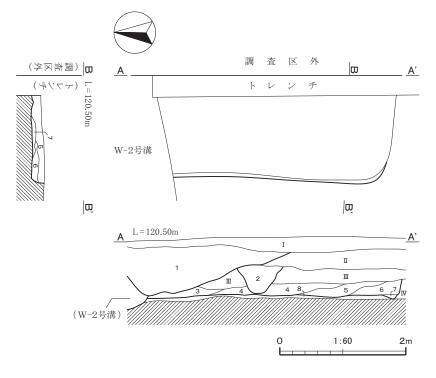


Fig. 24 H-17 号住居跡

H-17号住居跡土層説明

1. 撹 乱

2. 黒褐色土: A s - C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm多量含む。 しまりあり。粘性ややあり。土坑

埋没土。

3. 暗褐色土: As-C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム 粒少量含む。しまりあり。粘性や やあり。

4. 暗褐色土: ローム粒中量、As-Co0.2~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘

性ややあり。

5. 暗褐色土: A s − C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム 粒少量含む。しまりあり。粘性や やあり。

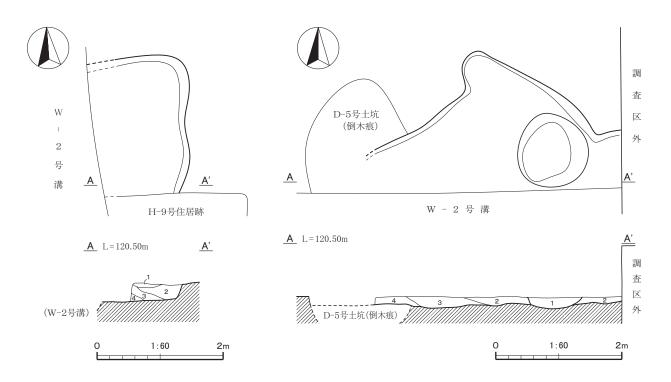
6. 暗褐色土: ローム粒中量、As-Co0.2~ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘 性ややあり。

7. 暗褐色土: ローム粒多量、As-C φ 0.2 ~

0.5 cm少量含む。しまりあり。粘 性ややあり。

8. 暗褐色土: As-C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム 粒中量含む。しまり強。粘性やや

あり。貼床。



H-18号住居跡土層説明

1. 暗褐色土: A s - B ϕ 0.2 cm中量、A s - C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム 粒少量含む。しまりあり。粘性弱。溝埋没土。

2. 暗褐色土: A s - B ϕ 0.2 cm · A s - C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm · ローム粒少 量含む。しまりあり。粘性ややあり。

3. 暗褐色土: A s - C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒・焼土・白色粘土少量 含む。しまりあり。粘性ややあり。

4. 暗褐色土: ローム粒・焼土・白色粘土少量、As-Co 0.2 cm微量含 む。しまりあり。粘性ややあり。

Fig. 25 H-18 号住居跡

H-19号住居跡土層説明

1. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm中量、ローム粒少量含む。 しまり やや弱。粘性ややあり。土坑埋没土。

2. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒中量含む。しまり強。 粘性ややあり。貼床。

3. 暗褐色土: ローム粒中量、 $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm少量含む。しまり 強。粘性ややあり。貼床。

4. 暗褐色土: As-Cφ0.2~0.5 cm・ローム粒中量含む。しまり強。 粘性ややあり。貼床。

Fig. 26 H-19 号住居跡



調査区外

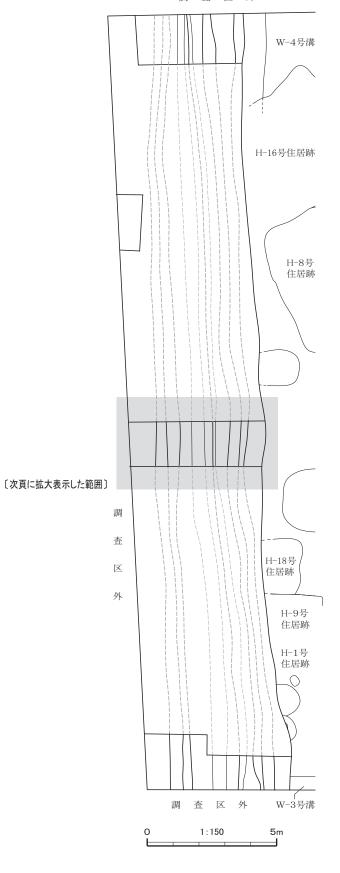
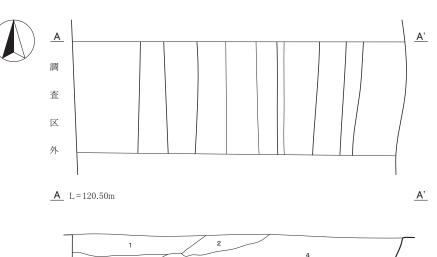
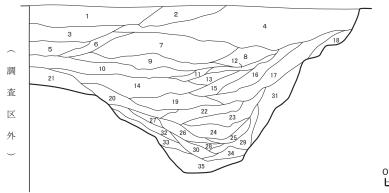


Fig. 27 W-1号溝





0 1:60 2m

W-1号溝土層説明

- 1. 暗褐色土: $A s B \phi$ 0.2 cm・ $A s C \phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ μ 0.2 ϕ 量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。
- 2. 暗褐色土: $As-B\phi$ 0.2 cm中量、 $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム 粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 3. 暗褐色土: A s B φ 0.2 cm・A s C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少
- 量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 4. 暗褐色土: $As-B\phi$ 0.2 cm中量、 $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム 粒少量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。
- 5. 暗褐色土: As-B φ 0.2 cm·As-C φ 0.2 ~ 0.5 cm·ローム粒少量、 小礫 φ 0.5 cm·炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 6. 暗褐色土: As-Bφ0.2cm・ローム粒少量、As-Cφ0.2~0.5
- cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 7. 暗褐色土: ローム粒中量、As-B φ 0.2 cm少量、As-C φ 0.2 ~ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 8. 暗褐色土: As-Boo.2cm中量、As-Coo.2co.5cm・ローム 粒少量含む。しまりやや弱。粘性ややあり。
- 9. 暗褐色土: A s B φ 0.2 cm中量、ローム粒少量、A s C φ 0.2 ~
- $0.5\,\mathrm{cm}$ 微量含む。しまりあり。粘性ややあり。 10. 暗褐色土: $A\,s-B\,\phi~0.2\,\mathrm{cm}\cdot A~s-C\,\phi~0.2\,\mathrm{cm}\cdot$ ローム粒少量含む。
- しまりあり。粘性ややあり。
- 11. 暗褐色土: ローム粒中量、 $As-B\phi$ 0.2 cm・ $As-C\phi$ 0.2 cm少量 含む。 しまりあり。 粘性ややあり。
- 12. 暗褐色土: As-B φ 0.2 cm・ローム粒中量、As-C φ 0.2 cm少量
- 含む。しまりあり。粘性ややあり。 13. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm 中量、A s - B ϕ 0.2 cm・A s - C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm、ローム粒少量含む。
- しまりあり。粘性ややあり。 14. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm・A s - B φ 0.2 cm・A s - C + 0.2 cm A s
- 14. 暗巻色土: 総社砂筒プロック(日) φ 0.5 ~ 1.0 cm·A s B φ 0.2 cm·A s C φ 0.2 ~ 0.5 cm·ローム粒少量含む。しまりあり。 粘性ややあり。
- 15. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm·A s B ϕ 0.2 cm·A s C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm·ローム粒少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 16. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 4.0 cm 中量、A s B ϕ 0.2 cm \cdot A s C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm \cdot ローム粒少量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。
- 17. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 20.0 cm 中量、A s C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒少量、A s B ϕ 0.2 cm 微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 18. 暗褐色土: ローム粒多量、As B φ 0.2 cm · As C φ 0.2 ~ 0.5 cm 微量含む。 しまりあり。粘性ややあり。

- 19. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm 中量、A s C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒少量、A s B ϕ 0.2 cm 微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 20. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量、ローム粒少量、A s B ϕ 0.2 cm・A s C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 21. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 5.0 cm 中量、A s C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒・炭化粒少量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。
- 22. 暗褐色土: 総社砂層プロック (白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm 中量、A s C ϕ 0.2 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 23. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 5.0 cm多量、A s C ϕ 0.2 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 24. 暗褐色土: $As-C\phi$ 0.2 \sim 0.5 cm·ローム粒・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 25. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 5.0 cm 中量、A s C ϕ 0.2 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 26. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 5.0 cm 中量、A s C φ 0.2 cm・ローム粒少量含む。しまりやや強。粘性あり。
- 27. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm·A s C φ 0.2 cm·ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 28. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm 中量、A s C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性や や 5 h
- 29. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 30.0 cm 中量、A s C φ 0.2 ~ 0.5 cm・ローム粒少量含む。しまりやや強。粘性 あり。
- 30. 暗褐色土: $A s C \phi 0.2 \sim 0.5 cm \cdot ローム粒少量含む・総社砂層ブロック (白) <math>\phi 0.5 \sim 1.0 cm$ 。しまりあり。粘性ややあり。
- 31. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 5.0 cm多量、ローム粒中量、 As C φ 0.2 cm微量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。
- 32. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm・A s C φ 0.2 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 33. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm中量、 $As-C\phi$ 0.2 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 34. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm \Rightarrow \blacksquare 、A s C ϕ 0.2 cm・ローム粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 35. 暗褐色土: 砂粒・小礫 ϕ 0.5 \sim 1.0 cm多量、総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm中量、 A s C ϕ 0.2 \sim 0.5 cm微量含む。

しまり強。粘性弱。

Fig. 28 W-1号溝(土層説明)

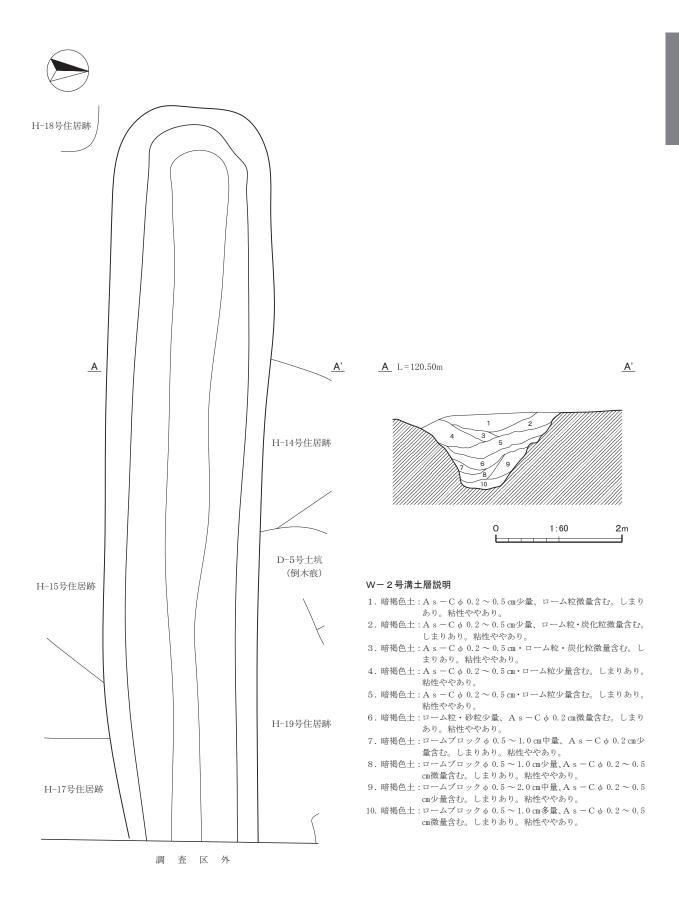


Fig. 29 W-2号溝

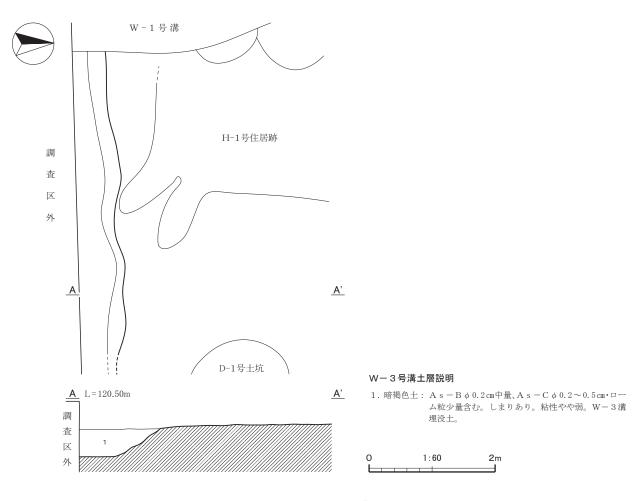


Fig. 30 W-3号溝

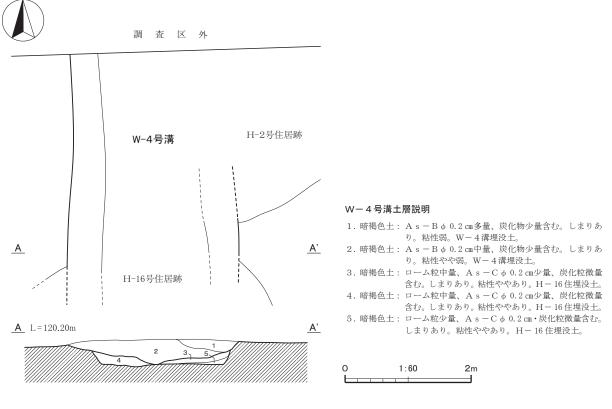


Fig. 31 W-4号溝

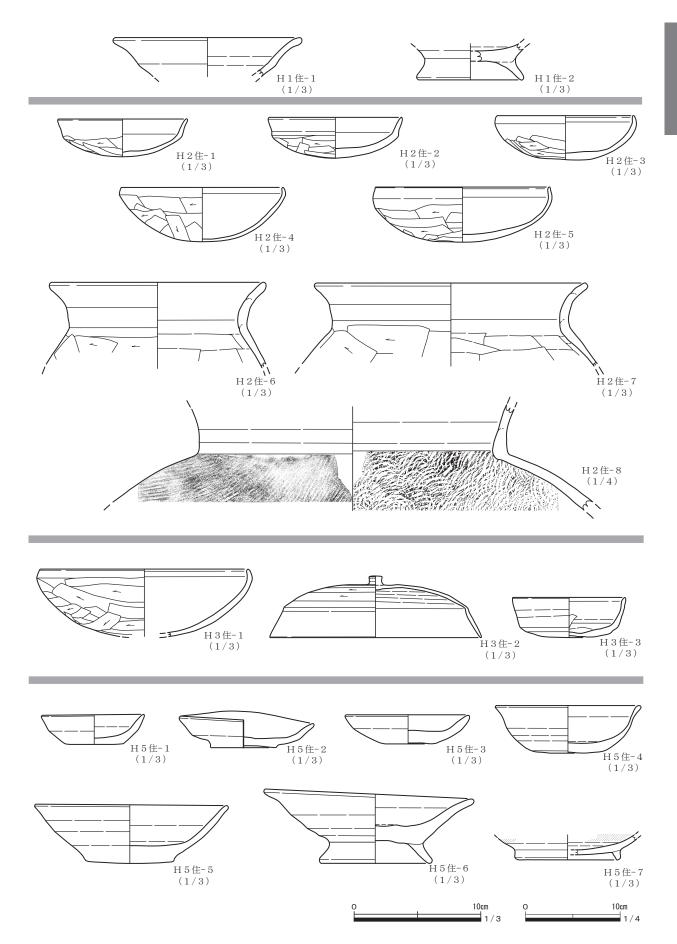


Fig. 32 23 地点出土遺物①

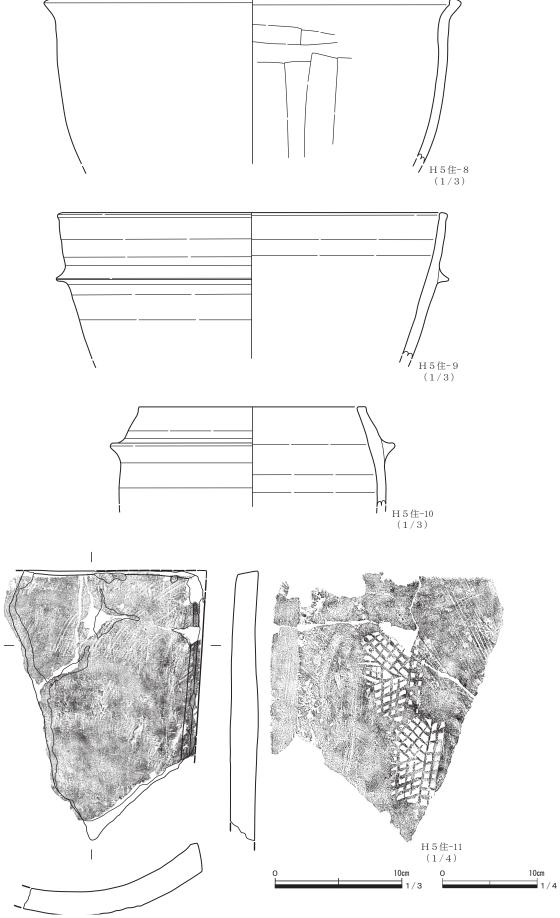


Fig. 33 23 地点出土遺物②

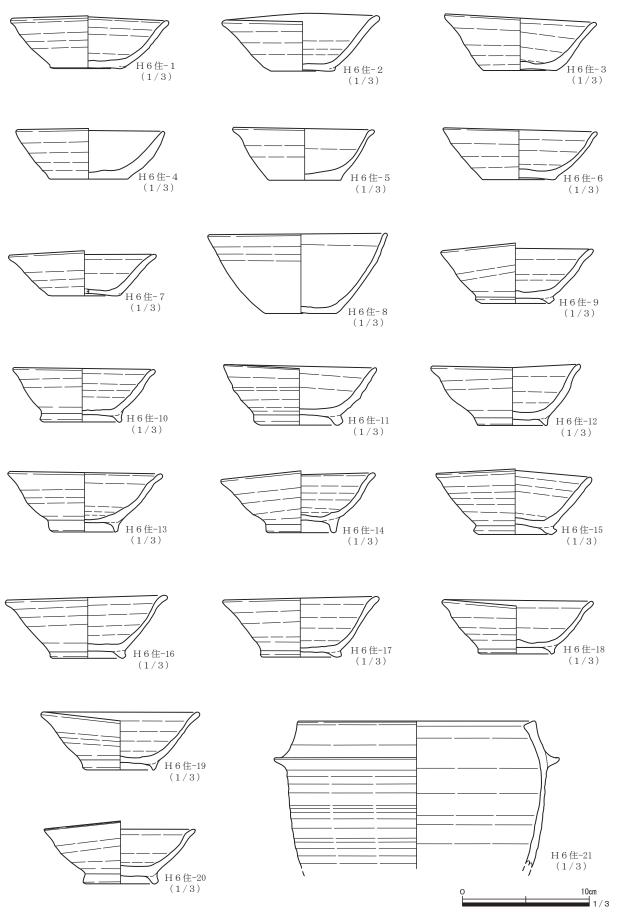


Fig. 34 23 地点出土遺物③

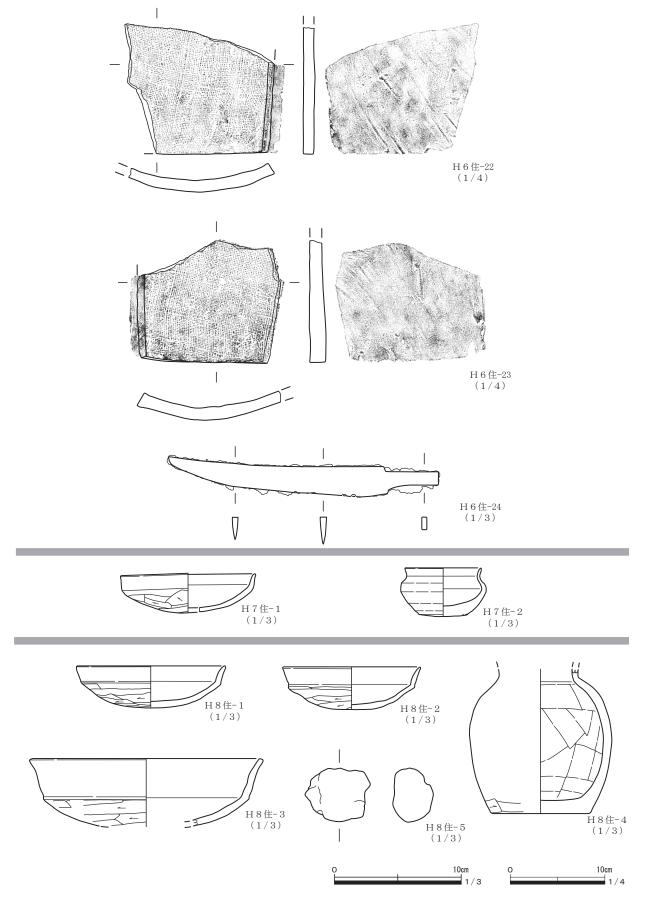
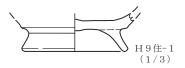


Fig. 35 23 地点出土遺物④



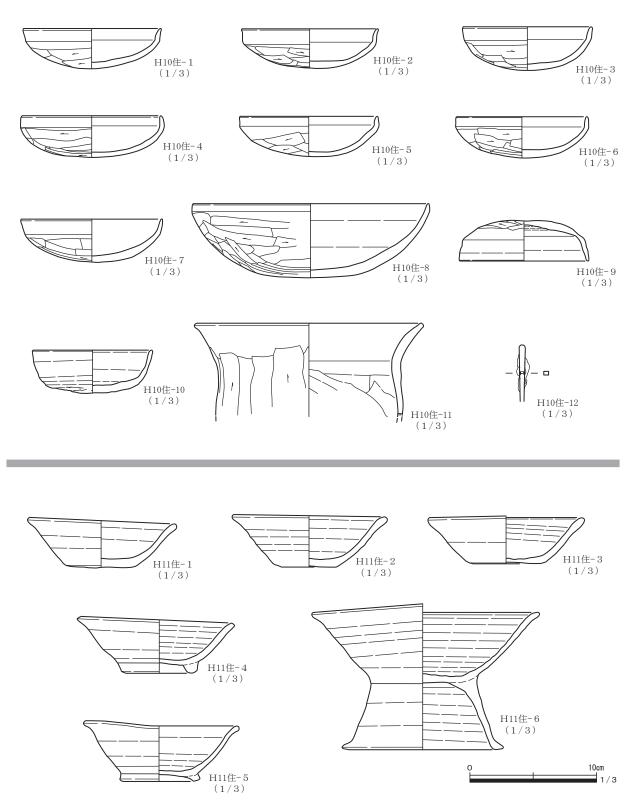
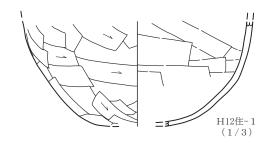
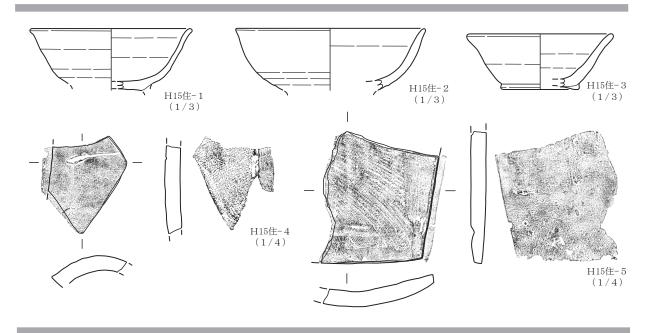


Fig. 36 23 地点出土遺物⑤





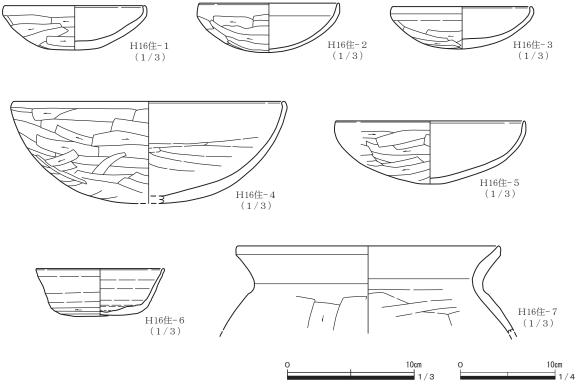


Fig. 37 23 地点出土遺物⑥

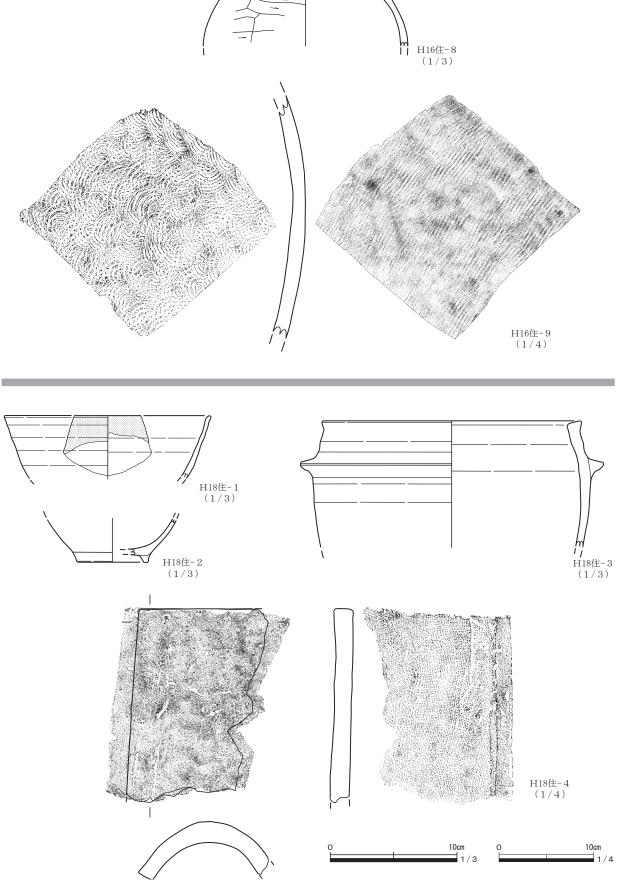


Fig. 38 23 地点出土遺物⑦

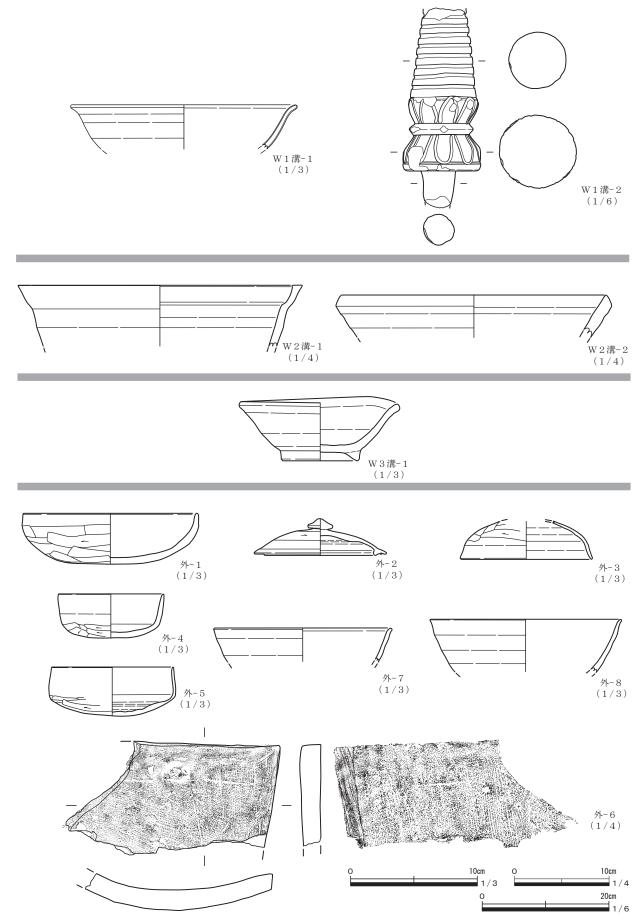


Fig. 39 23 地点出土遺物⑧

Tab. 4 23 地点出土遺物観察表①

H-1号住居跡

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 碗	底径 -	①酸化 ②にぶい橙 ③白色粒・角閃石・礫 ④口縁部~体部 1/6	外面 轆轤整形。 內面 轆轤整形。	
2	須恵器 碗		①酸化 ②にぶい橙色 ③白色粒・角閃石・礫 ④体部~高台部 1/2	外面 轆轤整形、底部回転糸切り。 内面 轆轤整形。	

H-2号住居跡

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 坏	口径 10.2 底径 一 器高 3.0		外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。	
2	土師器 坏	口径 10.5 底径 一 器高 3.2		外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。	
3	土師器 坏	口径 (10.8) 底径 一 器高 3.5	①普通 ②橙 ③角閃石・雲母 ④ 3/4	外面 口縁部横撫で、体部上位撫で、体部下位〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。	
4	土師器 坏	口径 (12.8) 底径 一 器高 4.3	①普通 ②橙 ③白色粒・角閃石・雲母 ④ 2/3	外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。	
5	土師器 坏	口径 (13.8) 底径 一 器高 4.4	①普通 ②橙 ③角閃石・雲母 ④ 3/5	外面 口縁部横撫で、体部上位撫で、体部下位〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。	
6	土師器 甕	口径 16.8 底径 一 器高 一	①普通 ②橙 ③白色粒・角閃石 ④口縁部~胴部上位残存	外面 口縁部横撫で、胴部上位箆削り。 内面 口縁部横撫で、胴部上位箆撫で。	
7	土師器 甕	口径 21.3 底径 一 器高 一	①普通 ②橙 ③白色粒・角閃石 ④口縁部~胴部上位 2/3	外面 口縁部横撫で、胴部上位箆削り。 内面 口縁部横撫で、胴部上位箆撫で。	
8	須恵器 甕	口径 - 底径 - 器高 -	①還元 ②灰 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部下位~胴部上位 1/8	外面 轆轤整形、胴部平行叩き。 内面 轆轤整形、青海波文。	

H-3号住居跡

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 坏	口径 (16.4) 底径 — 器高 —	①普通 ②にぶい橙 ③白色粒・角閃石 ④ 1/3	外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。	
2	須恵器 蓋	口径 16.7 摘み 1.0 器高 4.9	①還元 ②灰 ③白色粒・黒色粒 ④ 1/3	外面 轆轤整形、天井部右回転箆削り。 内面 轆轤整形。	
3	須恵器 坏	口径 8.9 底径 6.8 器高 3.2	①還元 ②灰 ③白色粒・礫 ④完形	外面 轆轤整形、底部回転箆切り後撫で。 内面 轆轤整形、底部箆撫で。	

H-5号住居跡①

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存			成・整形技法の特徴	備	考
1	須恵器	口径 8.1	①酸化 ②橙	外面	轆轤整形、	底部右回転糸切り。		
	坏	底径 4.6	③白色粒・黒色粒	内面	轆轤整形。			
		器高 2.4	④口縁部一部欠損					
2	須恵器	口径 10.5	①酸化 ②橙	外面	轆轤整形、	底部右回転糸切り。		
	坏	底径 5.2	③白色粒·黒色粒	内面	轆轤整形。			
		器高 2.9	④口縁部一部欠損					
3	須恵器	口径 9.7	①酸化気味 ②橙~灰黄褐	外面	轆轤整形、	底部右回転糸切り。		
	坏	底径 4.5	③白色粒·褐色粒	内面	轆轤整形。			
		器高 2.3	④口縁部一部欠損					
4	須恵器	口径 (11.4)	①還元 ②黒褐	外面	轆轤整形、	底部右回転糸切り。		
	坏	底径 5.8	③白色粒・黒色粒 ④ 1/3	内面	轆轤整形。			
		器高 3.8						
5	須恵器	口径 15.2	①酸化気味 ②にぶい褐~黒	外面	轆轤整形、	底部右回転糸切り。		
	坏	底径 7.0	褐 ③白色粒・黒色粒 ④口	内面	轆轤整形。			
		器高 4.7	縁部一部欠損					

H-5号住居跡②

番号	器 種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
6	須恵器 碗	口径 16.5 底径 (8.6) 器高 5.9	①酸化 ②明赤褐 ③白色粒・黒色粒 ④ 3/4	外面 轆轤整形、底部回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
7	灰釉陶器碗	口径 一 底径 (7.8) 器高 一	①還元 ②灰白 ③白色粒 ④体部下位~高台部 1/4	外面 轆轤整形、底部回転撫で。 内面 轆轤整形。 釉は漬掛け。	
8	須恵器 土釜	口径 (31.6) 底径 一 器高 一	①酸化気味 ②黒褐 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部~胴部上位 1/5	外面 器面荒れ調整不明瞭。 内面 口縁部~胴部箆撫で。	
9	須恵器 羽釜	口径 (30.0) 底径 - 器高 -	①酸化気味 ②黒褐 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部~胴部上位 1/5	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形、胴部箆撫で。	
10	須恵器 羽釜	口径 (18.0) 底径 - 器高 -	①酸化 ②黄褐 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部~胴部上位 1/5	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形。	
11	瓦 平瓦	厚さ 3.0	①還元 ②明褐 ③白色粒 ④広端部右側	凹面 糸切り痕、布目圧痕、箆撫で、側端部面取り。 凸面 格子目叩き、箆撫で。 側面 箆撫で。 狭端部 箆撫で。	

H-6号住居跡①

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存			成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 坏	口径 12.2 底径 6.0 器高 4.2	①酸化気味 ②にぶい黄橙 ③白色粒・角閃石・雲母 ④完形	内面	轆轤整形。	底部右回転糸切り。	
2	須恵器 坏	口径 12.1 底径 5.1 器高 4.6	①酸化気味 ②にぶい黄橙 ③白色粒・礫 ④完形	内面	轆轤整形。	底部右回転糸切り。	
3	須恵器 坏	口径 11.8 底径 5.8 器高 4.5	①還元 ②暗灰 ③白色粒・雲母 ④完形	内面	轆轤整形。	底部右回転糸切り。	
4	須恵器 坏	口径 11.5 底径 6.2 器高 4.0	①還元 ②灰〜灰黄 ③白色粒・角閃石・礫 ④ほぼ完形	内面	轆轤整形。	底部左回転糸切り。	
5	須恵器 坏	口径 10.9 底径 5.7 器高 4.2	①酸化気味 ②黄灰 ③白色粒・角閃石・礫 ④口縁部一部欠損	内面	轆轤整形。		
6	須恵器 坏	口径 12.0 底径 5.6 器高 4.1	①酸化気味 ②にぶい褐〜灰 黄褐 ③白色粒・褐色粒・雲母・ 礫 ④ 7/8	内面	轆轤整形。		
7	須恵器 坏	口径 11.5 底径 5.8 器高 3.6	①酸化気味 ②にぶい黄橙~ 褐灰 ③白色粒・角閃石・礫 ④ 3/4	内面	轆轤整形。		
8	須恵器 坏	口径 14.0 底径 5.6 器高 6.4	①酸化気味 ②黒褐 ③白色粒・礫 ④ 5/6	内面	轆轤整形。	底部右回転糸切り。	
9	須恵器 碗	口径 11.8 底径 5.3 器高 4.8	①酸化気味 ②にぶい黄橙~ 褐灰 ③白色粒・角閃石 ④完形		轆轤整形、 轆轤整形。	底部右回転糸切り。	
10	須恵器 碗	口径 11.1 底径 6.0 器高 4.3	①酸化気味 ②灰~灰黄 ③白色粒・角閃石・雲母・礫 ④完形	内面	轆轤整形。	底部右回転糸切り。	
11	須恵器 碗	口径 12.0 底径 6.2 器高 4.8	①酸化気味 ②にぶい黄橙〜 灰 ③白色粒 ④ほぼ完形		轆轤整形、 轆轤整形。	底部右回転糸切り。	
12	須恵器 碗	口径 11.6 底径 5.4 器高 4.9	①酸化気味 ②灰~にぶい黄橙 ③白色粒・雲母・礫 ④ほぼ完形		轆轤整形、 轆轤整形。	底部右回転糸切り。	
13	須恵器 碗	口径 12.0 底径 4.9 器高 4.8	①酸化気味 ②褐灰~にぶい 黄橙 ③白色粒・角閃石・礫 ④完形	内面	轆轤整形。		
14	須恵器 碗	口径 12.0 底径 5.2 器高 4.9	①酸化気味 ②にぶい黄橙~ 褐灰 ③白色粒・角閃石・礫 ④ほぼ完形		轆轤整形、 轆轤整形。	底部右回転糸切り。	
15	須恵器 碗	口径 12.1 底径 5.8 器高 5.2	①還元 ②灰 ③白色粒・雲母・礫 ④ 9/10			底部右回転糸切り。	
16	須恵器 碗	口径 12.5 底径 5.6 器高 5.0	①還元 ②灰 ③白色粒・石英・礫 ④ 3/4		轆轤整形、 轆轤整形。	底部右回転糸切り。	

Tab. 6 23 地点出土遺物観察表③

H-6号住居跡②

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存 成・整形技法の特徴	備考
17	須恵器 碗	口径 12.0 底径 6.0 器高 4.8	①酸化気味 ②にぶい黄橙~ 灰 ③白色粒・礫 ④ 7/8 外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
18	須恵器 碗	口径 11.7 底径 5.6 器高 4.3	①酸化気味 ②黄灰〜暗灰 ③白色粒・石英・礫 ④ 3/5 内面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
19	須恵器 碗	口径 (12.3) 底径 5.3 器高 4.6	①酸化気味 ②灰~にぶい橙 外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 ③白色粒・角閃石・礫 ④ 2/3 内面 轆轤整形。	
20	須恵器 碗	口径 (11.8) 底径 5.4 器高 5.0	①還元 ②黄灰〜暗灰 ③白色粒・角閃石・石英・礫 ④ 3/5	
21	須恵器 羽釜	口径 (18.8) 底径 一 器高 一	①還元 ②灰白~暗灰黄 外面 轆轤整形。 ③白色粒・角閃石 内面 轆轤整形。 ④口縁部~胴部中位 1/5 1/5	
22	瓦 平瓦	厚さ 1.4	①還元 ②褐 ③白色粒 凹面 布目圧痕。 凸面 斜縦位箆撫で。 側面 箆撫で。 ④狭端部右側 狭端部 箆撫で。	
23	瓦 平瓦	厚さ 1.7	①還元 ②褐 ③白色粒 凹面 布目圧痕。 凸面 斜縦位箆撫で。 側面 箆撫で。 ④狭端部左側 狭端部 箆撫で。	
番号	7	景 種	法量 (cm)、成・整形技法の特徴	備考
24	鉄製品	刀子	長さ21.4 刃部長17.5 幅2.15 厚さ0.5 茎部長さ3.9 幅1.0 厚さ0.4 重さ79.7 g	

H-7号住居跡

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備	考
1	土師器	口径 10.6	①普通 ②橙	外面 口縁部横撫で、体部上位撫で、体部~底部箆削り。底部中		
	坏	底径 -	③白色粒・角閃石・雲母	央に焼成前の円孔、径 1.4 cm。		
		器高 3.2	④完形	内面 口縁部~体部横撫で、底部撫で。		
2	須恵器	口径 6.0	①還元 ②灰白~灰	外面 轆轤整形、底部右回転箆切り後撫で。		
	小形壺	底径 3.9	③白色粒・黒色粒④ 4/5	内面 轆轤整形。		
		器高 3.9				

H-8号住居跡

亚. 口	00 46	江日 / \	0k4 0/4 0l/1 0x4+	上	/:H:	-17 .
番号	器 種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備	考
1	土師器	口径 11.8	①普通 ②橙	外面 口縁部横撫で、体部~底部箆削り。		
	坏	底径 -	③白色粒・雲母 ④ 7/8	内面 口縁部~体部横撫で、底部撫で。		
	·	器高 3.4				
2	土師器	口径 (10.8)	①普通 ②橙~明褐	外面 口縁部横撫で、体部~底部箆削り。		
	坏	底径 -	③白色粒・角閃石 ④ 1/2	内面 口縁部~体部横撫で、底部撫で。		
	·	器高 3.4	7,1,1,1	1 and		
3	土師器	口径 (18.0)	①普通 ②橙	外面 口縁部横撫で、体部~底部箆削り。		
	坏	底径 -	③白色粒・雲母 ④ 2/5	内面 口縁部横撫で、体部~底部箆撫で。		
	·	器高 一		Table Transfer Community of the Communit		
4	土師器	口径 一	①普通 ②にぶい黄橙~明黄	外面 頸部~胴部器面が荒れ調整不明瞭、胴部下位~底部箆削り。		
	壺	底径 7.8	褐 ③白色粒・雲母	内面 頸部〜底部箆撫で。		
		器高 一	①頸部~底部 7/8			
番号	岩	景種		法量 (cm)、成・整形技法の特徴	備	考
5	土玉		長さ4.2 幅4.7 厚さ3.0 重	[さ 67.6 g 赤色顔料の塊		

H-9号住居跡

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考	
1	須恵器 碗	口径 - 底径 7.9 器高 -	①還元 ②にぶい橙~にぶい 黄橙 ③角閃石・雲母 ④体部下位~高台部7/8	外面 		

H-10号住居跡①

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 坏	口径 10.8 底径 一 器高 3.2	①普通 ②橙〜明赤褐 ③角閃石・雲母 ④完形	外面 口縁部横撫で、体部上位撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。	
2	土師器 坏	口径 10.8 底径 一 器高 3.1	①普通 ②橙 ③白色粒・雲母 ④完形	外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。	

H-10号住居跡②

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備	考
3	土師器 坏	口径 10.2 底径 一 器高 3.5	①普通 ②橙 ③白色粒 ④完形	外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。		
4	土師器坏	口径 11.0 底径 一 器高 3.3	①普通 ②明褐 ③角閃石 ④完形	外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。		
5	土師器 坏	口径 10.9 底径 一 器高 3.2	①普通 ②にぶい橙 ③角閃石 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部上位撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。		
6	土師器 坏	口径 10.3 底径 一 器高 3.3	①普通 ②橙~明赤褐 ③角閃石 ④ 5/6	外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。		
7	土師器 坏	口径 11.2 底径 一 器高 3.4	①普通 ②橙 ③角閃石 ④ 4/5	外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。		
8	土師器 坏	口径 (18.6) 底径 一 器高 5.6	①普通 ②明赤褐 ③白色粒・礫 ④ 1/4	外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。		
9	須恵器 蓋	口径 10.2 摘み - 器高 3.2	①還元 ②灰黄 ③白色粒・黒色粒 ④ 2/3	外面 轆轤整形、天井部手持ち箆削り。 内面 轆轤整形。		
10	須恵器 坏	口径 9.4 底径 一 器高 3.4	①還元 ②灰 ③白色粒・黒色粒 ④ 5/6	外面 轆轤整形、底部右回転箆切り。 内面 轆轤整形。		
11	土師器 甕	口径 (17.8) 底径 一 器高 一		外面 口縁部横撫で、胴部箆削り。 内面 口縁部横撫で、胴部箆撫で。		
番号	-	器 種		法量 (cm)、成・整形技法の特徴	備	考
12	鉄製品	釘	残存長 4.6 幅 0.4 厚さ 0.3	重さ 3.8 g		

H-11号住居跡

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備	考
1	須恵器 坏	口径 11.5 底径 5.6 器高 4.0	①還元 ②黄灰~にぶい黄 ③白色粒・雲母 ④ほぼ完形	外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 内面 轆轤整形。		
2	須恵器 坏	口径 11.9 底径 4.4 器高 4.2	①還元 ②灰黄~にぶい黄 ③白色粒・角閃石 ④完形	外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 内面 轆轤整形。		
3	須恵器 坏	口径 (12.1) 底径 5.8 器高 3.8	①還元 ②灰~灰黄 ③白色粒・雲母 ④ 3/5	外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 内面 轆轤整形。		
4	須恵器 碗	口径 11.9 底径 5.2 器高 4.5	①還元 ②灰~灰黄 ③白色粒・雲母 ④完形	外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 内面 轆轤整形。		
5	須恵器 碗	口径 12.0 底径 5.6 器高 4.8	①酸化気味 ②にぶい橙~灰 ③白色粒・礫 ④ 4/5	外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 内面 轆轤整形。		
6	須恵器 碗	口径 (17.9) 底径 11.6 器高 11.6	①酸化気味 ②にぶい橙~灰 ③白色粒・礫 ④ 3/4	外面 轆轤整形、底部回転撫で。 内面 轆轤整形。		

H-12号住居跡

番号	器 種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 甕	口径 - 底径 -	①普通 ②橙 ③角閃石・礫 ④胴部中位~底部 3/5	外面 胴部~底部箆削り。 内面 胴部~底部箆撫で。	
		器高 一			

H-15号住居跡①

番号	器 種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 碗	口径 (12.6) 底径 一 器高 一	①酸化 ②にぶい黄橙~にぶ い黄褐 ③白色粒 ④口縁部~底部 1/2	外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
2	須恵器 碗	口径 (15.0) 底径 一 器高 一	①酸化 ②にぶい黄橙 ③褐色粒 ④口縁部~体部下位 1/4	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形。	

Tab. 8 23 地点出土遺物観察表⑤

H-15号住居跡②

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
3	須恵器 碗	底径 (6.0)	①酸化 ②にぶい橙~にぶい 黄褐 ③白色粒・角閃石	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形。	
		器高 4.4	4 1/8		
4	瓦 丸瓦	厚さ 1.6	①還元 ②黄褐 ③白色粒 ④側端部	凹面 布目圧痕。 凸面 横位箆撫で。線刻あり。 側面 箆撫で。	
5	瓦	厚さ 1.6	①環元 ②灰白	凹面 糸切り痕、布目圧痕、側端部篦撫で。	
٥	平瓦	子で 1.0	0 -2 - 0 - 11 -	四面	

H-16号住居跡

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器坏	口径 11.1 底径 一 器高 3.5	①普通 ②橙 ③白色粒・角閃石 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。	
2	土師器 坏	口径 11.0 底径 一 器高 3.9	①普通 ②橙 ③褐色粒・礫 ④ 2/3	外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。	
3	土師器 坏	口径 (11.0) 底径 一 器高 3.4	①普通 ②橙 ③白色粒・角閃石 ④ 2/5	外面 口縁部横撫で、体部上位撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。	
4	土師器坏	口径 21.6 底径 一 器高 8.1	①普通 ②橙 ③礫 ④ 3/4	外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部横撫で、体部箆撫で、底部撫で。	
5	土師器 坏	口径 (14.9) 底径 一 器高 5.0	①普通 ②橙 ③白色粒・角閃石・雲母・礫 ④ 2/5	外面 口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。	
6	須恵器 坏	口径 10.0 底径 4.0 器高 3.8	①還元 ②灰~黄灰 ③白色粒 ④ 3/4	外面 轆轤整形、底部右回転箆切り後右回転箆削り。 内面 轆轤整形。	
7	土師器 甕	口径 (20.7) 底径 - 器高 -	①普通 ②にぶい褐 ③白色粒・片岩・礫 ④口縁部~胴部上位 1/5	外面 口縁部横撫で、胴部箆削り。 内面 口縁部横撫で、胴部箆撫で。	
8	土師器 甕	口径 (14.0) 底径 — 器高 —	①普通 ②にぶい赤褐 ③白色粒 ④口縁部~胴部上位 1/8	外面 口縁部横撫で、胴部箆削り。 内面 口縁部横撫で、胴部箆撫で。	
9	須恵器 甕	口径 - 底径 - 器高 -	①還元 ②灰 ③白色粒・礫 ④胴部中位破片	外面 胴部平行叩き。 内面 青海波文。	

H-18号住居跡

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備	考
1	灰釉陶器	口径 (16.4)	①還元 ②灰白 ③白色粒	外面 轆轤整形。		
	碗	底径 -	④口縁部~体部破片	内面 轆轤整形。		
		器高 一		釉は漬掛け。		
2	須恵器	口径 一	①還元 ②にぶい黄	外面 轆轤整形。		
	碗	底径 (5.6)	③白色粒・雲母	内面 轆轤整形。		
		器高 一	④体部~高台部 1/4			
3	須恵器	口径 (20.4)	①酸化 ②明褐	外面 轆轤整形。		
	羽釜	底径 -	③白色粒·雲母	内面 轆轤整形。		
		器高 一	④口縁部~胴部上位 1/2			
4	瓦	厚さ 2.2	①還元 ②黒褐	凹面 布目圧痕。 凸面 縦位箆撫で。 側面 箆撫で。		
	丸瓦		③白色粒・礫 ④狭端部左側	狭端部 箆撫で。		

W-1号溝

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	碗		①還元 ②オリーブ灰 ④口縁部破片	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形。	D 1 類 14 世紀後半
番号	器	景 種		法量 (cm)、成・整形技法の特徴	備考
2	石製品	宝筐印塔	相輪部、宝珠部は欠損。残存長	31.8 重さ 3600 g	

Tab. 9 23 地点出土遺物観察表⑥

W-2号溝

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考	
1	土器 内耳鍋	口径 (30.0) 底径 一 器高 一	①普通 ②にぶい赤褐、黒褐 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部~胴部上位 1/12	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形。		
2	土器 鉢	口径 (28.0) 底径 一 器高 一	①普通 ②灰 ③白色粒・雲母 ④口縁部~胴部上位 1/12	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形。		

W-3号溝

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 碗	口径 12.5 底径 5.9		外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
	1,72	器高 5.1	(4) 4/5	A book Note from store / 15 ()	

遺構外出土遺物

番号	器 種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	土師器 坏	口径 13.7 底径 一 器高 4.0		外面 口縁部横撫で、体部〜底部篦削り。 内面 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。	
2	須恵器 蓋	口径 8.8 摘み 2.0 器高 2.9	①還元 ②灰 ③白色粒・礫 ④ 3/5	外面 轆轤整形、天井部右回転箆削り。 内面 轆轤整形。	
3	須恵器 蓋	口径 (10.3) 摘み - 器高 -	①還元 ②灰 ③白色粒 ④口縁部~天井部 1/4	外面 轆轤整形、天井部手持ち箆削り。 内面 轆轤整形。	
4	須恵器 坏	口径 (8.3) 底径 一 器高 3.5	①還元 ②にぶい黄橙 ③白色粒 ④ 1/2	外面 轆轤整形、底部手持ち箆削り。 内面 轆轤整形。	
5	須恵器 坏	口径 (9.6) 底径 一 器高 3.9	①還元 ②灰白 ③白色粒・角閃石 ④ 2/5	外面 轆轤整形、底部手持ち箆削り。 内面 轆轤整形。	
6	瓦 平瓦	厚さ 2.2	①還元 ②灰 ③白色粒 ④広端部右側	凹面 布目圧痕、側端部箆撫で。 凸面 縄目状圧痕、表面は荒れている。 側面 箆撫で。 広端部 箆撫で。	
7	白磁皿	口径 (14.0) 底径 一 器高 一	①還元 ②灰白 ④口縁部破片	轆轤整形。	B群
8	白磁碗	口径 (15.0) 底径 一 器高 一	①還元 ②灰白 ④口縁部破片	轆轤整形。	B群

VI 24 地点

1 24 地点概要 (Fig. 40、PL. 12·13)

24 地点の調査では、性格不明遺構 1 基・土坑 24 基・溝 7 条・ピット 76 基が検出されており、上野国府及び 蒼海城関連と想定される遺構を主とした地点である。性格不明遺構である S X-1 は 7 世紀代に帰属するものと 考えられる遺構で、埋没土の状態等から竪穴住居跡の掘り方が僅かに残存したものと想定されるものである。土 坑は調査を進めた結果、 $D-2\cdot7\cdot9\cdot14\cdot22$ 号土坑は井戸であることが判明している。なお、D-7 号土坑は、『元総社蒼海遺跡群(21)』 27 地点(以下、27 地点)における D-4 号土坑と同一遺構である。 D-2 号土坑は、掘削を途中であきらめている井戸でW-1 号溝が埋没した後に掘られている。本遺跡での井戸は、硬くしまる総社砂層が基盤層となっているためか、総社砂層部分は算盤球状に掘り込む傾向が見られる。 D-2 号土坑でも、算盤球状に掘り込もうとしてみたところ、W-1 号溝の埋没土に当たってしまったことから掘削を断念したものと考えられよう。また、D-2 号土坑を除く他の井戸では、埋没土上位に近世以降の陶磁器片が混入する状態が認められている。しかし、下位で該期の遺物は見られないことから、一概にも近世以降の遺構とはいえ



ないものと言えよう。その他、注目すべき土坑としてD-8号土坑が挙げられる。本土坑は、W-5号溝と重複し、調査段階でW-5号溝よりも新しい遺構として捉えていたが、出土遺物と埋没土層の状況を再確認したところ、同時期に存在していた可能性があり得るものと認識を改めている。なお、D-8号土坑は平面長方形状を呈する土坑であるが、コーナー部分に杭の打ち込み痕が確認されている。 $D-23\cdot25$ 号土坑は整理調査段階で欠番としている。溝は時期不明なものを除くと、大きく平安時代・15世紀後半・15世紀後半以降の 3 時期に分類することができる。平安時代に帰属するものはW-4号溝で、南北方向へ直線的に走行するものである。同溝も27 地点のW-1号溝と同一遺構で、長距離にわたり直線的に走行することから上野国府との関連性が指摘されるものである。15世紀後半に比定される溝はW-5号溝で同溝も27 地点W-2号溝からの継続である。同溝については蒼海城古段階の堀と認識しており、埋没土中から多量のカワラケ・貿易陶磁・在地陶器・古瀬戸等が出土するとともに、炭化材・焼けた土壁の混入が見られる。溝からの炭化材・焼けた土壁の出土は、郭内の建物が火災にあったことを示すもので、焼け落ちて不要となった建物の材や家財道具を土塁とともに堀に埋めた状況が捉えられている。15世紀後半以降の溝はW-1号溝とW-6号溝(27地点W-3号溝)で、蒼海城新段階の堀と考えられる。W-1号溝は現在の地形から描かれた縄張り図(山崎 1978)と一致する溝で、縄張り図では本丸と二の丸を区切る堀とされている。また、W -6 号溝は弧状に走行する溝で、丸馬出の可能性を有するものである。W -1 号溝との位置関係を見ると、交わることはなくW -1 号溝の手前 13 m程で立ち上がっている。

2 性格不明遺構

SX-1 (遺構: Fig. 41、PL. 13/遺物: Fig. 62、Tab. 15、PL. 18)

位置: X:200~202、Y:211・212 グリッド。主軸方位: 不明。重複: D-6号土坑・W-1・2号溝、ピット23 基と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から本住居跡は、D-6号土坑・W-1・2号溝より古い。ピットとの新旧関係は不明。形状: 不整長方形状を呈する。規模: 〈5.10〉m×4.78 m。残存深度: 0.14 m。面積: 〈24.38〉m³。床面の状態: 細かい凸凹が顕著に見られる。また、本遺構北端では「L」字状に曲がる上端幅 0.15~0.27 m、下端幅 0.03~0.15 m、残存深度 0.11 mを測る溝が見られ、さらに溝の中にピット(P-1~4)が等間隔に並ぶ状態が確認されている。この状況から、住居跡の重複も考えられる。遺構埋没状態:総社砂層ブロックを含む暗褐色を主体とした土による人為埋没と想定される。また、部分的にではあるが、焼土・炭化粒の混入も見られる。遺物出土状態: 埋没土中より土師器坏・甕、須恵器蓋の出土が見られる。時期: 7世紀前半の遺物を主とするが、7世紀後半に比定されるものと想定される遺物も混ざる。備考: 性格不明遺構としたが、竪穴住居跡の掘り方が部分的ないし重複した状態の可能性が考えられる。

3 十坑 (遺構: Tab. 10·11)

24 地点において土坑は 26 基確認されている。調査の結果、 $D-2\cdot7\cdot9\cdot14\cdot22$ 号土坑は井戸であることが判明している。また、D-8 号土坑など蒼海城との関連性を有する土坑も見られることから、数基については詳細な事実記載を行うこととした。それ以外の土坑に関しては、計測値等を Tab. 10 に示してある。

D-2号土坑(遺構:Fig. 42、Tab. 10、PL. 14 / 遺物:Fig. 70、Tab. 22、PL. 25)

位置: X:202・203、Y:211・212 グリッド。重複: W-1・2・4 号溝と重複する。出土遺物・埋没土層の 観察から、本土坑は重複する全ての遺構より新しい。平面形態: 円形状を呈する。規模: 確認面(1.71) m×1.35 m。 最大径(3.11) m×(3.07) m。断面形態: 上位円筒状、中~下位算盤球状。残存深度: 2.32 m。底面の状態: 緩やかに中央へ向けて傾斜し、凸凹は少ない。遺構埋没状態:焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロックを含む黒褐色ないし暗褐色を主体とした土による人為埋没と想定される。埋没土の中位よりやや下では薄い焼土層が見られる。遺物出土状態:埋没土中より白磁端反硫・馬骨等が出土している。時期:W-1号溝より新しい遺構であることから、15世紀後半以降と想定される。備考:掘削を途中であきらめた井戸跡。当時、総社砂層の硬い土質を想定して、断面算盤球状を呈する井戸を掘ったところ、井戸北側の堆積土はW-1号溝の埋没土であったことから、地耐力不足と判断し、掘削を断念したものと推測される。

D-7号土坑(遺構: Fig. 43、Tab. 11、PL. 16・17/遺物: Fig. 70、Tab. 22、PL. 25)

位置: X:214・215、Y:201・202 グリッド。重複: W-5・6号溝・『元総社蒼海遺跡 (21)』27 地点D-1号土坑と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本土坑はいずれの遺構よりも新しい。平面形態: 不整楕円形状を呈する。規模: 4.30 m×3.57 m。断面形態: ロート状を呈する。残存深度: 〈4.21〉m。底面の状態: 不明。遺構埋没状態: 埋没土の上位では近世以降の遺物出土が目立つが、中位以下には総社砂層ブロックが多量に含まれる。本遺構は井戸跡であるが、この埋没状況は地下式坑の埋没状況と類似していることから、D-2号土坑で見られるような断面算盤球状の掘り込みであったことが推測される。埋没土中に入る多量の総社砂層ブロックは、断面算盤球状のオーバーハングしている部分が崩落したものであろう。遺物出土状態: 埋没土上位では、近世以降の陶磁器が多量に出土している。これは井戸が崩落して窪地と姿を変えたため、遺構の性格もこれとともに変わりゴミ捨て場として機能したものと考えられる。総社砂層を多量に含む崩落土以下からは、常滑陶器大甕や木材等の出土が見られる。時期:15世紀後半以降と想定される。備考:土坑として調査を行ったが、調査の結果井戸跡であることが判明。『元総社蒼海遺跡群 (21)』27 地点D-4号土坑と同一遺構。

D-8号土坑(遺構: Fig. 44、Tab. 11、PL. 16・17 / 遺物: Fig. 70、Tab. 22・23、PL. 25)

位置: X:203・204、Y:213・214 グリッド。重複: W-4・5 号溝と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から本土坑はW-4 号溝より新しい。なお、現地調査の段階で、埋没土層の観察から本土坑はW-5 号溝よりも新しいものと判断したが、整理調査段階で出土遺物の詳細な観察や埋没土層の再解釈を行った結果、W-5 号溝と同一時期に機能していた(一連の遺構である)可能性が高いものと認識を変更するに至っている。平面形態:隅丸長方形状を呈する。規模:3.07 m×1.77 m。断面形態:箱状を呈する。残存深度:2.66 m。底面の状態:比較的平坦。遺構埋没状態:焼土・炭化物・総社砂層ブロック・黒色粘質土ブロックを含む黒褐色を主体とした土による人為埋没と想定される。埋没土層のほとんどは南側からの流入となっており、炭化材や焼土化した土壁が混入する。遺物出土状態:埋没土中より青磁・白磁・古瀬戸擂鉢・常滑大甕・カワラケ・獣骨等の出土が見られる。時期:出土したカワラケから15世紀後半と想定される。備考:土坑南壁の両コーナーに直径7㎝のピットが見られる。同ピットは掘り方が見られないなどの状況から杭の打ち込み痕と想定される。

D-16号土坑(遺構: Fig. 45・46、Tab. 11)

位置: X:206、Y:213 グリッド。重複: D-24 号土坑・W-6 号溝と重複する。埋没土層の観察から、本土坑はW-6 号溝より古い。D-24 号土坑との新旧関係は不明。平面形態: 楕円形状を呈するものと推測される。規模: 〈0.61〉 m×0.55 m。断面形態: 逆台形状を呈するものと想定される。残存深度: 0.53 m。底面の状態: 全体的に端部が6 cmほど壁周溝状に窪み、中央部は盛り上がる。壁周溝状の窪みは、桶等の設置痕か? 遺構埋没状態: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロックを含む黒褐色を主体とした土により埋没している。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: W-6 号溝構築以前。備考: 性格不明。

D-17号土坑(遺構: Fig. 45・46、Tab. 11)

位置: X:206、Y:213 グリッド。重複: D-20 号土坑・W-6 号溝と重複する。埋没土層の観察から、本土坑はD-20 号土坑より新しく、W-6 号溝より古い。平面形態: 楕円形状を呈するものと想定される。規模: 1.30 m× 1.12 m。断面形態: 皿状を呈する。残存深度: 0.41 m。底面の状態: 多少の凸凹は見られるが、比較的なだらかな状態である。北西側に幅狭で低いテラスを有する。遺構埋没状態:総社砂層ブロックを含む黒褐色を主体とした土により埋没している。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: W-6 号溝構築以前。備考: 性格不明。

D-20号土坑 (遺構: Fig. 45・46、Tab. 11)

位置: X:206、Y:213 グリッド。重複: D-17 号土坑と重複する。埋没土層の観察から、本土坑はD-17 号土坑より古い。平面形態: 円形状ないし楕円形状を呈するものと推測される。規模: $\langle 1.09 \rangle$ m× $\langle 1.01 \rangle$ m。断面形態: 不明。残存深度: 0.40 m。底面の状態: 多少の凸凹は見られるが、比較的平坦である。遺構埋没状態: 炭化粒・総社砂層ブロックを含む黒褐色を主体とした土により埋没している。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: W-6 号溝構築以前。備考: 性格不明。

D-24号土坑(遺構: Fig. 45、Tab. 11)

位置: X:206、 $Y:212\cdot213$ グリッド。重複: D-16 号土坑・W-6 号溝と重複する。埋没土層の観察から、本土坑はW-6 号溝より古い。D-16 号土坑との新旧関係は不明。平面形態: 円形状ないし楕円形状を呈するものと推測される。規模: $\langle 0.44 \rangle$ m× $\langle 0.37 \rangle$ m。断面形態: 逆台形状を呈する。残存深度: 0.47 m。底面の状態: 多少の凸凹は見られるが比較的平坦である。遺構埋没状態: 総社砂層ブロックを含む黒褐色を主体とした土により埋没している。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: W-6 号溝構築以前。備考: 性格不明。

D-26号土坑(遺構: Fig. 47、Tab. 11、PL. 16)

位置:X:206、Y:214 グリッド。重複:W-5 号溝と重複する。埋没土層の観察から、本土坑はW-5 号溝より新しい。平面形態:方形状ないし長方形状を呈するものと推測される。規模:1.65 m× $\langle 0.42 \rangle$ m。断面形態:逆台形状を呈するものと推測される。残存深度: $\langle 1.66 \rangle$ m。底面の状態:底面までの検出ができなかったため不明。遺構埋没状態:焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック・黒色粘質土ブロックを含む黒褐色ないし暗褐色を主体とした土による人為埋没と想定される。また、埋没土の流入は北側及び南側の両方から行われている。遺物出土状態:遺物の出土は見られない。時期:15 世紀後半以降。備考:性格不明。D-8 号土坑と形状等は近似するものの、W-5 号溝との明確な切り合い関係が確認できていることと、埋没土の流入状況に違いが見られる等から、本土坑はD-8 号土坑とは異なる性格と想定される。

Tab. 10 24 地点土坑一覧表①

遺構名	グリッド	規模	莫 (m)	深さ (m)	平面形態	遺物	備考
D-1号土坑	X:205 Y:211	0.67	× (0.60)	0.12	不整長方形	_	総社砂層ブロックを含む暗褐色土で埋没。
D-2号土坑	X:202 · 203	(1.71)	× 1.35	2.32	楕円形	白磁端反碗	掘りかけの井戸。人為埋没。W-1・2・4号溝と重複し、
	Y:211 · 212					・馬歯等	本土坑はいずれの遺構よりも新しい。15世紀後半以降。
D-3号土坑	X:202 · 203	0.89	× 0.60	0.47	楕円形	_	小礫・総社砂層ブロックを含む黒褐色土で埋没。
	Y:212 · 213						
D-4号土坑	X:202 · 203	0.93	× 0.61	0.42	不整形	_	砂粒・小礫・総社砂層ブロックを含む黒褐色土で埋没。
	Y:213						
D-5号土坑	X:202 Y:212	0.81	× 0.61	0.11	隅丸長方形	_	小礫・総社砂層ブロックを含む黒褐色土で埋没。
D-6号土坑	X:201 · 202	0.47	× 0.41	0.27	楕円形	_	SX-1と重複し、本土坑はSX-1より新しい。小礫・
	Y:212						総社砂層ブロックを含む黒褐色土で埋没。

Tab. 11 24 地点土坑一覧表②

遺構名	グリッド	規模(m)		深さ (m)	平面形態	遺物	備考
	X:201 • 202 Y:214 • 215		3.57	4.21以上		磁器・常滑 大甕・木材	上位が崩落した井戸。上位人為埋没、下位自然埋没。W-5・6号溝・『元総社蒼海遺跡群(21)』27 地点D-1号土坑と重複し、本土坑はいずれの遺構よりも新しい。15世紀後半以降。『元総社蒼海遺跡群(21)』27 地点D-4号土坑と同一遺構。
D-8号土坑	X:203 • 204 Y:213 • 214	3. 07 >	(1.77	2. 66	隅丸長方形	古瀬戸擂鉢 ・常滑大甕・ カワラケ・ 獣骨等	人為埋没。W-5号溝と同時期に機能し、同遺構と一連であると想定。W-4号溝と重複し、本土坑はW-4号溝より新しい。15世紀後半。
D-9号土坑	Y:211 • 212		1.35	1.74以上	楕円形		井戸。D-22号土坑・W-2号溝と重複し、本土坑はW-2号溝より新しい。D-22号土坑との新旧関係は不明。 崩落の危険性から上位の調査で終了。礫・総社砂層ブロックを含む黒褐色土で埋没。
D-10 号土坑	X :204 Y :211	1. 27	1.19	0.17	楕円形	_	W-2号溝と重複し、本土坑はW-2号溝より新しい。小礫・炭化粒・総社砂層ブロックを含む暗褐色土・黒褐色土で埋没。
D-11号土坑	X:204 Y:214	1.25 >	⟨ ⟨0.52⟩	0.76	楕円形?	_	W-5号溝と重複し、本土坑はW-5号溝より古い。総社砂層ブロックを含む暗褐色土で埋没。
D-12号土坑	X:204 Y:212	1.07 >	1.07	1. 20	円形	_	D-18・22 号土坑と重複するが、新旧関係は不明。小礫・総社砂層ブロックを含む灰白色土・黒褐色土で埋没。
	X:204 Y:212	1.09 >	0.37	0. 27	楕円形	_	砂粒・総社砂層ブロックを含む黒褐色土で埋没。
D-14号土坑	X:204 · 205 Y:211 · 212	1.81 >	1.25	1.88 以上	楕円形	近世以降 陶磁器	井戸跡と想定。W-3・7号溝と重複し、本土坑はいずれの遺構よりも新しい。崩落の危険性から上位の調査で終了。
D-15号土坑	X:205 Y:212	0.73 >	0.69	0.42	不整方形	_	小礫・総社砂層ブロックを含む黒褐色土で埋没。
,,	X :206 Y :213	, ,		0. 53	楕円形?	_	D-24 号土坑・W-6 号溝と重複し、本土坑はW-6 号溝より古い。D=24 号土坑との新旧関係は不明。底面端部は壁周溝状に窪む。桶等の設置痕か?
	X :206 Y :213			0.41	楕円形?	_	D-20 号土坑・W-6 号溝と重複し、本土坑はD-20 号土坑より新しく、W-6 号溝より古い。北西側に幅狭で低いテラス。
D- 18 号土坑	X:204 Y:212	0.95 >	0.73	0. 49	楕円形	_	D-12 号土坑と重複するが、新旧関係は不明。小礫・総 社砂層ブロックを含む黒褐色土・暗褐色土で埋没。
D-19 号土坑	X:206 Y:213 · 214	0.58 >	0.55	0. 55	隅丸方形	_	総社砂層ブロックを含む暗褐色土で埋没。
D-20 号土坑	X:206 Y:213	⟨1.09⟩ >	⟨ ⟨1.01⟩	0.40	円形?	_	D-17号土坑と重複し、本土坑はD-17号土坑より古い。
D-21 号土坑	X:202 · 203 Y:214 · 215	0.68 >	0.66	0.43	隅丸方形	_	焼土・小礫・炭化物・総社砂層ブロックを含む黒褐色土で 埋没。
	X :204 Y :212	1. 38	1.35	1.43 以上	楕円形	近世以降 陶磁器	井戸跡と想定。D-9・12 号土坑と重複するが、新旧関係は不明。崩落の危険性から上位の調査で終了。焼土粒・小礫・炭化粒・総社砂層ブロックを含む黒褐色土で埋没。
D-23 号土坑	欠 番						
D-24 号土坑	X:206 Y:212 • 213	⟨0.44⟩ >	⟨ ⟨0.37⟩	0.47	円形?	_	D-16 号土坑・W-6 号溝と重複し、本土坑はW-6 号溝より古い。D-16 号土坑との新旧関係は不明。
D-25 号土坑						欠 番	
D-26 号土坑	X :206 Y :214	1.65 >	(0.42)	1.66以上	方形?	_	W-5号溝と重複し、本土坑はW-5号溝より新しい。15世紀後半以降。

詳細記述を行っている土坑

4 溝

W-1号溝(遺構: Fig. 48・49、PL. 14)

位置: $X:200\sim204$ 、Y:211 グリッド。主軸方位: $N-82^\circ-E$ 。重複: $SX-1\cdot D-2$ 号土坑・W-4 号 溝と重複する。埋没土層の観察から、本溝は $SX-1\cdot W-4$ 号溝より新しく、D-2 号土坑より古い。規模: 上端幅 $\langle 3.25\rangle$ m。本堀は蒼海城縄張り図(Fig.4)で示されている新段階の蒼海城本丸と二の丸間を東西方向に走行する堀と想定されるもので、縄張り図を基に計測すると上端幅は 10 m程あるものと推測される。断面形態: 堀底までの検出に至らなかったため不明。壁面は堀底へ向けて約 40° の斜度で直線的に落ち込んでいく。残存深度: $\langle 2.71\rangle$ m。底面の状態: 検出が及んでいないため不明。遺構埋没状態: 総社砂層ブロック・黒色粘質土ブロック・As-YP を含む暗褐色ないし灰黄褐色の土による人為埋没と想定される。総社砂層ブロックに風化現象が見られないことや、検出した壁面(総社砂層)よりさらに下で見られる黒色粘質土やAs-YP が埋没土中に混入することから土塁の土を埋め戻したものと推測される。また、検出部分東端で確認した埋没土には

総社砂層ブロックの混入が多く見られることから、掘り残しの土橋が付近に存在する可能性も指摘される。遺物 出土状態:遺物の出土は見られないが、同一遺構である 25・26 地点のW-1 号溝の底から木器の椀が出土して いる。時期:15 世紀後半~17 世紀前半と想定される。備考:蒼海城新段階の堀と想定される。25・26 地点W-1 号溝と同一遺構。

W-2号溝(遺構: Fig. 50、PL. 14)

位置: $X:201\sim204$ 、Y:211 グリッド。主軸方位: $N-88^\circ$ - E。重複: $SX-1\cdot D-2\cdot 9\cdot 10$ 号土坑・W-4 号溝と重複する。埋没土層の観察から、本溝は $SX-1\cdot W-4$ 号溝より新しく、 $D-2\cdot 9\cdot 10$ 号土坑より古い。規模: 上端幅 $0.43\sim 1.42$ m。下端幅 $0.18\sim 1.18$ m。断面形態: 西側では皿状を呈するが、東側では箱状を呈する。残存深度: 0.49 m。底面の状態: 比較的凸凹は少なく、検出部分の東及び西端の標高が高い。中央に向かうにつれ標高を減ずる。遺構埋没状態: 小礫・総社砂層ブロックを含む暗褐色ないし黒褐色の土により埋没している。流水等の痕跡は見られない。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: 不明。

W-3号溝(遺構: Fig. 40)

位置: X:205、Y:211 グリッド。主軸方位: $N-1^\circ$ - W。重複: D-14 号土坑・W-7 号溝と重複する。埋没土層の観察から、本溝はD-14 号土坑より古い。W-7 号溝との新旧関係は不明。規模: 上端幅 $0.40\sim0.58$ m、下端幅 $0.16\sim0.32$ m。断面形態: 皿状を呈する。残存深度: 0.29 m。底面の状態: 南から北へ向けて標高を減ずる。表面はやや凸凹する。遺構埋没状態: 総社砂層ブロック暗褐色の土により埋没している。流水等の痕跡は見られない。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: 不明。

W-4号溝(遺構: Fig. 51、PL. 13/遺物: Fig. 62、Tab. 15、PL. 18)

位置: X:203、 $Y:211\sim214$ グリッド。主軸方位: N-8° - W。重複: $D-2\cdot8$ 号土坑・ $W-1\cdot2\cdot5$ 号溝と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本溝は重複する全ての遺構より古い。規模:上端幅 $2.35\sim1.85\,m$ 、下端幅 $0.55\sim0.30\,m$ 。 断面形態:皿状を呈し、東半に低いテラス面を有する。残存深度: $0.42\,m$ 。底面の状態:凸凹は少ない。鉄分の沈着が見られる。遺構埋没状態:埋没土の状態から本溝は 2 時期に分類することができ、 $W-4\,a$ 溝、 $W-4\,b$ 溝と名称を付してあり、断面形状で見られるテラス以下を $W-4\,b$ 溝、テラス以上を $W-4\,a$ 溝としている。 $W-4\,b$ 溝の下位は砂粒・小礫・鉄分を多く含む暗褐色を主体とした土により埋没している。この状況は、比較的強い水流によって埋没したことを示すものである。 $W-4\,b$ 溝は総社砂層ブロック・小礫を含む黒褐色土により埋没している。遺物出土状態: $W-1\,b$ 溝からは $10\,b$ 世紀~ $11\,b$ 世紀代の須恵器坏・碗、灰釉陶器皿、古代の丸瓦が出土している。 $W-4\,a$ 溝からは火打ち金が出土している。時期: $W-4\,a$ 溝は $11\,b$ 世紀以降、 $W-4\,b$ 溝が $10\sim11\,b$ 世紀代と想定される。備考:出土遺物の時期や長距離にわたり直線的に走行することなどから、上野国府に関連する遺構である可能性が高いものである。『元総社蒼海遺跡群(21)』 $27\,b$ 地点 $W-1\,b$ 清遣と同一遺構。

W-5号溝(遺構: Fig. 52 \sim 55、PL. $14 \sim 16$ /遺物: Fig. 62 \sim 69、Tab. $15 \sim 22$ 、PL. $18 \sim 24$) 位置: X: 200 \sim 206、Y: 213・214 グリッド。主軸方位: 東西方向N-89° - W、南北方向N-64° - W。重複: D-7・8・11・26 号土坑・W-4・6 号溝と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本溝はD-11 号土坑・W-4号溝より新しく、D-7・26 号土坑・W-6号溝より古い。なお、D-8号土坑との新旧関係については、現地調査の段階で、埋没土層の観察から本溝はD-8号土坑より古いものと判断したが、整理調査段階で出土遺物の詳細な観察や埋没土層の再解釈を行った結果、D-8号土坑と同一時期に機能していた(一連の遺構である)

可能性が高いものと認識を改めるに至っている。規模:上端幅 2.45 ~ 3.30 m、下端幅 1.46 ~ 2.25 m。断面形態: 南及び西壁は底面に向けて直線的に落ち込むが、北壁は底面に向けてオーバーハングする傾向にある。残存深度: 1.80 m。底面の状態: 調査区内における東西端の標高が高く、中央やや西寄りが窪む。また、掘削時の作業単位を表すものと推測される低い段差が確認されている。遺構埋没状態: 最下位は総社砂層の風化による白灰色の自然埋没で、それ以上はAs-B・焼土・小礫・炭化物・総社砂層ブロック・黒色粘質土ブロックを含む暗褐色・黒褐色・黄褐色の土による人為埋没と想定される。なお、埋没土の流入は南側から行われており、総社砂層ブロックに風化現象が見られないことから、土塁の土を埋め戻したものと推測される。遺物出土状態: 埋没土中より貿易陶磁(青磁・白磁・染付・褐釉陶器・天目茶碗)・古瀬戸(鉢・茶壺)・常滑(大甕)・在地土器(火鉢・擂鉢)・カワラケ・石製品(鉢・茶臼・石臼・板碑)・銅製品(古銭等)が出土しており、ほとんどの遺物に二次焼成痕が見られる。時期:カワラケの時期から15世紀後半と想定される。備考: 蒼海城古段階の堀と想定される。『元総社蒼海遺跡群 (21)』 27 地点W — 2 号溝と同一遺構。

W-6号溝(遺構: Fig. 56・57、PL. 13・17/遺物: Fig. 70、Tab. 22、PL. 25)

位置: X:200・201・205・206、Y:212~214 グリッド。主軸方位: 平面形態が半円状(弧状)を呈するため不明。重複: D-7・16・17・24 号土坑・W-5 号溝と重複する。出土遺物・埋没土層の観察から、本溝はD-16・17・24 号土坑より新しく、D-7号土坑より古い。規模: 上端幅1.00~1.38 m、下端幅0.36~0.74 m。断面形態: 逆台形状を呈する。残存深度: 1.15 m。底面の状態: 北から南に向けて標高を現ずる。掘削時の作業単位を表すものと推測される低い段差が確認されている。また、壁面には掘削時の工具痕が残存している。遺構埋没状態: 基本的に総社砂層ブロックを含む黒褐色・暗褐色を主体とした土により埋没している。W-5号溝と重複する部分に限り、埋没土中には焼土・炭化物・黒色粘質土ブロックが混ざる。総社砂層ブロックに風化現象が見られないことから土塁の土を埋め戻したものと推測される。遺物出土状態: 埋没土中より常滑大甕が出土している。時期: 15 世紀後半~17 世紀前半と想定される。備考: 蒼海城新段階の堀と想定され、半円形状(弧状)の平面形態やW-1号溝との位置関係から丸馬出の可能性を有するものである。『元総社蒼海遺跡群(21)』27 地点W-3号溝と同一遺構。

W-7号溝(遺構: Fig. 58)

位置: $X:204\sim206$ 、Y:211 グリッド。主軸方位: $N-86^\circ-E$ 。重複: D-14 号土坑・W-3 号溝と重複する。埋没土層の観察から、本溝はD-14 号土坑より古い。W-3 号溝との新旧関係は不明。規模: 上端幅 $0.31\sim0.84$ m、下端幅 $0.20\sim0.68$ m。断面形態: 「U」字状を呈する。残存深度: 0.33 m。底面の状態: 多少の段差が見られる。遺構埋没状態: 小礫を含む黒褐色を主体とした土により埋没している。遺物出土状態: 遺物の出土は見られない。時期: 不明。

5 ピット (遺構: Fig. 59~61、Tab. 12・13・14)

24 地点においてピットは 76 基確認されているが、掘立柱建物跡等の配列は捉えられていない。各ピットの計 測値等は Tab. に示してある。

Tab. 12 24 地点ピット一覧表①

遺構名	グリット	規模(m)	深さ(m)	平面形態	遺物	備 考
P - 1	X:200 Y:211	0.24×0.16	0.15	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P-2	X:201 Y:211	0.27×0.21	0.13	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。

Tab. 13 24 地点ピット一覧表②

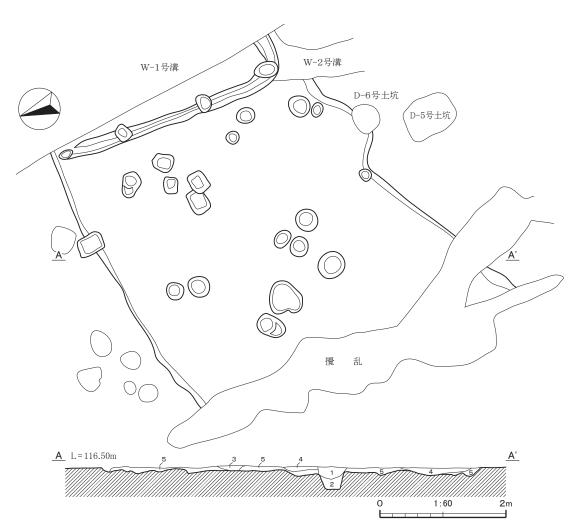
	# II I		沈 ナ ()	立工心能	电栅	備考
	グリット X:201 Y:211	規模 (m) 0.30 × 0.22	深さ(m) 0.10	平面形態 精円形	遺物	備 考 黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 201 Y : 211	0.30×0.22 0.39×0.24	0. 10	楕円形		黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 5	X : 201 Y : 211	0.29×0.25	0. 53	楕円形	_	暗褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 6	X : 201 Y : 212	0.20×0.20	0. 31	円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:201 Y:211 • 212		0. 38	隅丸長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
P - 8	X:201 Y:212	0.42×0.32	0. 33	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 9	X:201 Y:212	0.25×0.23	0. 22	長方形	_	暗褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 10	X:201 Y:212	0.33×0.28	0. 21	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
P - 11	X:201 Y:212	0.41×0.30	0. 19	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
P - 12	X:201 Y:211 • 212	0.36×0.33	0. 24	楕円形	_	暗褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:201 Y:212	0.24×0.17	0. 22	楕円形		暗褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:200 Y:212	0.41×0.39	0. 42	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 200 Y : 212	0.41×0.31	0. 23	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
_	X : 200 Y : 212	0.27×0.19	-	不整方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 200 Y : 212	0. 33 × 0. 29	0. 01	精円形 		黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:200 Y:212	0.21×0.15	- 0.02	楕円形 楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:201 Y:212 X:201 Y:212	0.21×0.18	0. 03 0. 44	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。 黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 201 Y : 212	0.39×0.34 0.31×0.23	0. 44	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 201 Y : 212	0.31×0.23 0.31×0.28	0. 30	円形		黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 201 Y : 212	0.31×0.28 0.43×0.40	0. 12	円形		黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
-	X : 201 Y : 212	0.43×0.40 0.27×0.27	0. 27	円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 201 Y : 212	0.34×0.32	0. 31	円形	_	暗褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 200 Y : 212	0.43×0.31	-	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 200 Y : 212	0.41×0.37	_	不整形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
	X:200 Y:212	0.33×0.29	0.42	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 29	X:200 Y:212	0.20×0.18	0.03	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 30	X:200 Y:212	0.31×0.27	0. 29	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
P - 31	X:200 Y:212	0.69×0.47	-	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 32	X:201 Y:212	0.58×0.51	0.01	不整形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:201 Y:212	0.47×0.32	0. 18	楕円形		黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・焼土粒・小礫混入。
	X:202 Y:213	0.41×0.39	0. 42	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・焼土粒混入。
	X : 202 Y : 213	0.25×0.20	0. 39	楕円形		黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 200 Y : 213	0.27×0.25	0. 11	円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 200 Y : 213 • 214		0. 30	楕円形		黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 200 Y : 213	0.33×0.25	0. 19	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。 黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・炭化粒混入。
	X:201 Y:213 X:201 Y:213	0.36×0.35 0.27×0.25	0. 34	隅丸方形 円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・灰化粒底へ。
	X : 201 Y : 213	0.27×0.23 0.45×0.39	0. 24	カル 精円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 203 Y : 214	0.43×0.39 0.39×0.32	0. 20	長方形		黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
	X : 203 Y : 211	0.33×0.32 0.22×0.21	0. 18	方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 204 Y : 211	0.20×0.19	0. 14	方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 204 Y : 211	0.32×0.28	0. 21	不整方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:204 Y:211 · 212			長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:203 · 204 Y:212		0. 10	長方形	_	暗褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
	X : 203 Y : 212	0. 21 × 0. 19	0. 13	方形	_	暗褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:204 Y:211	0.28×0.15	0. 32	楕円形?	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 50	X:204 Y:211	0.11×0.09	0.44	不整長方形?	_	暗褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 51	X:205 Y:211	0.17×0.15	0.08	円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 52	X:205 Y:211	0.29×0.25	0.03	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:205 Y:211 • 212	0.62×0.32	0.09	隅丸三角形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:205 Y:211 • 212	0.95×0.58	0.04	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・炭化粒混入。
	X : 205 Y : 212	0.45×0.39	0. 12	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
-	X : 206 Y : 211	0. 35 × 0. 25	0. 42	精円形 E + W		黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
	X : 205 Y : 212	0. 17 × 0. 10	0. 12	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・軽石(As-B?)混入。
-	X:205 Y:212	0.16×0.10	0. 33	長方形		黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・軽石(As-B?)混入。
	X: 206 Y: 212	0.30×0.29	0. 22	方形 - 上下形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
	X: 205 · 206 Y: 212 X: 205 Y: 212	0.47×0.33 0.73×0.31	0. 51 0. 26	長方形 楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。 黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫・炭化粒混入。
	X: 205 Y: 212 X: 205 Y: 212	0.73×0.31 0.47×0.41	0. 26	長方形		黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小燥・灰化粒底へ。
	X : 205 Y : 212	0.47×0.41 0.79×0.63	0. 18	不整形		黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 205 Y : 212 • 213	0.45×0.45	0. 30	円形		黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 205 Y : 212	0.43×0.43 0.19×0.17	0. 16	方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
	X: 205 • 206 Y: 213		0. 10	方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
	X : 205 Y : 213	0.51×0.39	0. 25	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X : 205 Y : 213	0.69×0.43	0.40	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X: 205 Y: 213	0.28×0.19	0. 14	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
	X:204 · 205 Y:213		0. 61	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。

Tab. 14 24 地点ピット一覧表③

遺構名	グリット	規模(m)	深さ(m)	平面形態	遺物	備 考
P - 71	X:205 Y:213	0.37×0.28	0.18	長方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 72	X:205 Y:213	0.31×0.25	0.23	楕円形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 73	X:205 Y:213	0.38×0.35	0.33	方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。
P - 74	X:205 Y:213	0.23×0.23	0.24	方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
P - 75	X:205 Y:213	0.28×0.27	0.19	方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック・小礫混入。
P - 76	X:205 Y:214	0.23×0.22	0.56	方形	_	黒褐色の埋没土に総社砂層ブロック混入。

遺構外出土遺物(遺物: Fig. 70、Tab. 23、PL. 25)

遺構外出土遺物として、1点の遺物を提示した。同遺物は青磁の皿で、内面に蓮弁文が施される舶来品である。 このような舶来品の磁器はD-8号土坑・W-5号溝から多数出土しており、蒼海城を改修するにあたり投棄さ れたものと推測される。



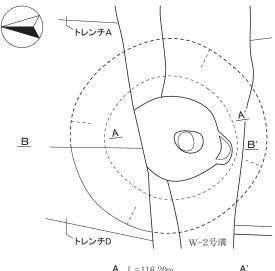
SX-1土層説明

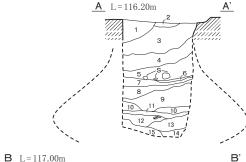
- 1. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。ピット埋没土。
- 2. 黒褐色土: 小礫 ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm少量含む。
 - しまりあり。粘性ややあり。ピット埋没土。
- 3. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。
 - 粘性ややあり。
- 4. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm多量含む。しまりあり。
 - 粘性ややあり。

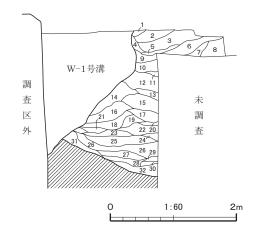
- 5. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm少量含む。しまり弱。粘
 - 性ややあり。
- 6. 黒褐色土: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm少量含
 - む。しまりあり。粘性ややあり。
- 7. 黒褐色土: 炭化粒・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量含む。しま
 - りあり。粘性ややあり。
- 8. にぶい黄褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 3.0 cm 多量含む。 しまり

あり。粘性やや弱。

Fig. 41 S X - 1







13. 黒褐色土 : 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白)

 ϕ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

14. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 10.0 cm 中量、炭化粒少

量含む。しまりあり。粘性ややあり。

15. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm中量、炭化粒少量・総 社砂層ブロック(黄)φ0.5 cm含む。しまりあり。粘性ややあり。

16. 黒褐色土: 炭化物・総社砂層ブロック (黄) ø 0.5 ~ 2.0 cm・総社砂層ブロッ ク (白) φ 0.5 \sim 10.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

17. 黒褐色土 : 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5

cm少量、焼土粒・炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。 18. 黒褐色土: 炭化粒・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロッ

ク(白)φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

19. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量、炭化粒・総社砂層 ブロック (黄) φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや

20. 褐 色 土: 上位に炭化層、下位に焼土層が堆積する。しまりあり。粘性ややあり。

21. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 5.0 cm中量、炭化粒少量

含む。しまりあり。粘性ややあり。 22. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

D-2号土坑土層説明(A-A')

1. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白)

φ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

2. 黒褐色土:総社砂層ブロック(黄)中量、小礫少量含む。しまりやや あり。粘性ややあり。

3. 黒褐色十: 総社砂層ブロック (白) a 0.5 cm少量含む。しまりあり。 粘性ややあり.

4. 黒褐色土: 炭化粒・総社砂層ブロック (自) φ 0.5 cm少量含む。しま りあり。粘性ややあり。

5. 黒褐色土: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm微量含 む。しまりあり。粘性ややあり。

6. 褐色土:焼土・炭化物多量含む。しまりややあり。粘性ややあり。 7. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白)

φ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。 8. 黒褐色土: 総社砂層ブロック(白) φ 0.5~1.0 cm中量、炭化物・総

社砂層ブロック (黄) o 0.5~2.0 cm少量含む。しまりあ

り。粘性ややあり。

9. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量、焼土粒・炭化粒微量含む。しまりあり。粘 性ややあり

10. 黒褐色土: 炭化粒・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロッ

ク (白) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。 11. 黒褐色土: 焼土・炭化物中量含む。しまりあり。粘性ややあり。

12. 黒褐色土: 炭化粒・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロッ ク (白) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

13. 黒褐色土: 小礫・総社砂層ブロック (黄) 多量含む。しまりややあり。 粘性ややあり。

14. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (白) 中量含む。しまりややあり。粘性

ややあり

15. 暗褐色土: 炭化粒・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロッ ク(自) φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。 16. 灰白色土: 総社砂層ブロック(白)多量、黒色粘質土ブロック少量含

む。しまりあり。粘性なし。

D-2号土坑土層説明(B-B')

1. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白)φ0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

2. 黒褐色土: 白色軽石 ϕ 0.2 cm・褐色粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。 3. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

4. 黒褐色土: 炭化粒・総社砂層ブロック(自) φ 0.5 cm少量含む。しま りあり、粘性ややあり。

5. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm 多量含む。 しまり

あり。粘性ややあり。 6. 黒褐色土: 小礫 φ 0.5 cm・総社砂層ブロック(白) φ 0.5 cm少量、総社砂 層ブロック(黄)φ0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

7. 黒褐色土: 小礫 φ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 cm微量 含む。しまりあり。粘性ややあり。

8. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

9. 黒褐色土: 総社砂層ブロック(白) o 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。 炭化粒・総社砂層ブロック(白) φ 0.5 cm微量含む。しま

10. 黒褐色土: りあり。粘性ややあり。

11. 暗褐色土: 焼土ブロック ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・炭化物中量含む。 しまりあ

り。粘性ややあり

12. 黒褐色土: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm微量含

む。しまりあり。粘性ややあり。

23. 黒褐色土: 炭化物・総社砂層ブロック(白) φ 0.5~1.0 cm少量含む。

しまりあり。粘性ややあり。

24. 黒褐色土: 炭化物・総社砂層ブロック(白) φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。

しまりあり。粘性ややあり。

炭化物・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロッ 25. 黒褐色土: ク (白) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

26. 暗褐色土: 炭化物・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロッ ク (白) φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

27. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm多量含む。 しまり あり。粘性ややあり。

28. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm中量含む。しまり あり。粘性ややあり。

29. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 3.0 cm中量、炭化物少量 含む。しまりあり。粘性ややあり。

30. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm多量含む。しまり あり。粘性ややあり。

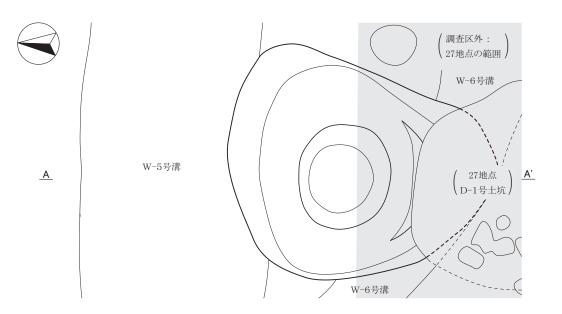
31. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 30.0 cm 多量含む。しま

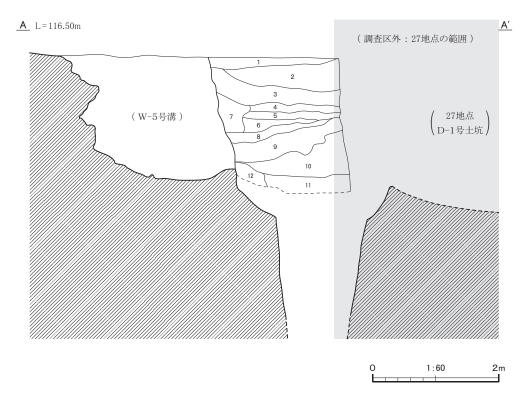
りあり、粘性ややあり、

32. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白)

φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

Fig. 42 D-2号土坑





D-7号土坑土層説明

没十。

- 1. 黒褐色土: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。 D-7号土坑埋没土。
- 2. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。D-7 号土坑埋
- 3. 黒褐色土 : 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm中量、炭化物・礫
 - φ 0.5 ~ 10.0 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまり弱。粘性ややあり。D 7 号土坑埋没土。
- 4. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm多量、炭化粒微量 含む。しまりややあり。粘性ややあり。D-7 号土坑埋没土。
- 5. 黒褐色土: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量含む。しまり
- あり。粘性ややあり。 D-7 号土坑埋没土。 6. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 10.0 cm多量含む。しまり弱。 粘性弱。 D-7 号土坑埋没土。

- 7. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 30.0 cm多量含む。しまり弱。 粘性弱。 D 7 号土坑埋没土。
- 8. 黒褐色士: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量、総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。 D-7 号土坑埋没土。
- 9. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 10.0 cm 中量、総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm・礫 φ 0.5 ~ 5.0 cm少量含む。し
- まり弱。粘性ややあり。 D 7 号土坑埋没土。 10. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 20.0 cm多量、総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm少量含む。 しまり弱。粘性
- ややあり。D-7号土坑埋没土。 11. にが黄絶土: 総社砂層ブロック(黄)多量含む。しまり弱。粘性弱。大 規模な壁面の崩落。D-7号土坑埋没土。
- 12. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 3.0 cm中量含む。しまりあり。粘性ややあり。D 7 号土坑埋没土。

Fig. 43 D - 7 号土坑

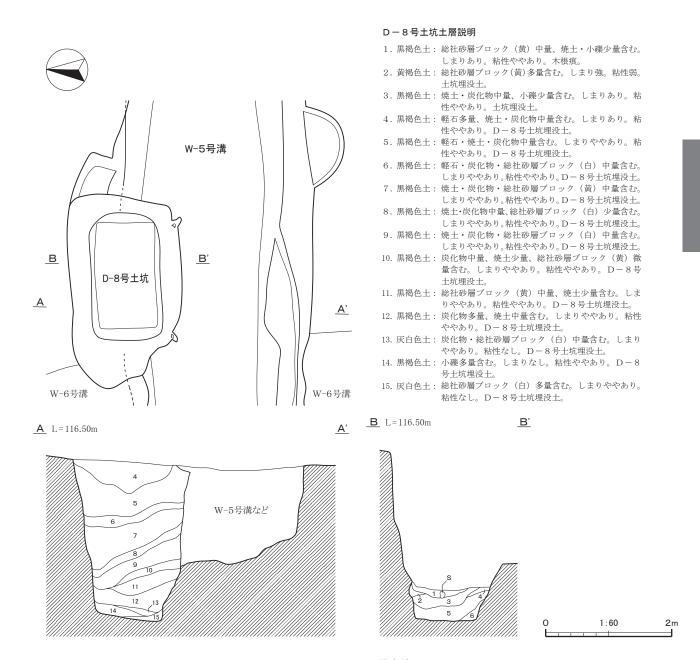


Fig. 44 D-8号土坑

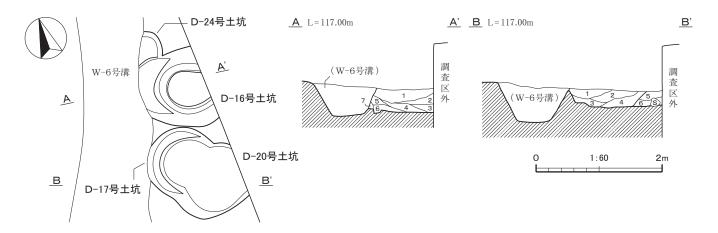


Fig. 45 D-16·17·20·24 号土坑

D-16号土坑土層説明 (A-A')

1. 黒褐色土: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) 微量含む。しまりあり。粘性ややあり。 D - 16 号土坑埋没土。

2. 黒褐色土: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) 微量含む。しまりあり。粘性ややあり。D-16 号土坑埋没土。

3. 黒褐色土: 焼土・総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりあり。粘 性ややあり。D-16 号土坑埋没土。

4. 黒褐色土:焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック(黄)微量含む。しま

りあり。粘性なし。D - 16 号土坑埋没土。 5. 黒褐色土:総社砂層ブロック (黄) 微量含む。しまりあり。粘性ややあり。D - 16 号土坑埋没土。

6. 黒褐色土: 焼土・総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりややあり。 粘性ややあり。D-16 号土坑埋没土。

7. 黒褐色土: 焼土粒・炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。D

- 16 号土坑埋没土。

D-17·20号土坑土層説明(B-B')

1. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりややあり。粘性 ややあり。D-17号土坑埋没土。

2. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量含む。しまりあり。粘性ややあり。D-17 号土坑埋没土。

3. 黒褐色土: 砂粒・総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりやや弱。 粘性やや弱。D-17 号土坑埋没土。

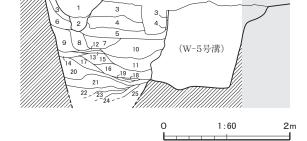
4. 黒褐色土:総社砂層ブロック(黄)多量含む。しまり強。粘性ややあり。 D - 17 号土坑埋没土。

5. 黒褐色土: 炭化粒・総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。D-20号土坑埋没土。

6. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 微量含む。しまりややあり。粘性 ややあり。D-20号土坑埋没土。

Fig. 46 D-16·17·20号土坑(土層説明)

A 調査区外 A' W-5号溝 W-5号溝 (調査区外: 27地点の範囲) A L=117.00m



D-26号土坑土層説明

1. にが 黄褐色士: 磯・総社砂層ブロック (黄) 多量含む。しまり強。 粘性なし。土坑埋没土。 2. にが 黄褐色士:総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりあり。粘性なし。土坑埋没土。 3. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量、炭化物少量、焼土微量含む。

しまりあり。粘性なし。D-26号土坑埋没土。

4. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 多量、焼土・炭化物微量含む。 しまりあり。粘性ややあり。D-26 号土坑埋没土。

5. 黒褐色土: 炭化物・総社砂層ブロック (黄) 多量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。 D-26 号土坑埋没土。

6. 黒褐色土: 総社砂層プロック (黄) 中量含む。しまりあり。粘性や やあり。D-26 号土坑埋没土。

7. 黒褐色土: 炭化物・総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりややあり。 h性ややあり。 D-26 号土坑埋没土。

8. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 多量含む。しまりややあり。粘性ややあり。D-26号土坑埋没土。

9. 黒褐色土:総社砂層ブロック(黄)中量、焼土少量含む。しまりあり。 粘性ややあり。D-26号土坑埋没土。

10. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 少量、黒色粘質土ブロック微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。D-26 号土坑埋没土。

11. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量、黒色粘質土ブロック微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。D-26号土坑埋没土。

12. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量、焼土微量含む。 しまりなし。 粘性ややあり。 D - 26 号土坑埋没土。

13. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 微量含む。しまりなし。粘性や やあり。D-26号土坑埋没土。

14. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 微量含む。しまりややあり。粘 性あり。D - 26 号土坑埋没土。

15. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量含む。しまりややあり。粘 性ややあり。D-26号土坑埋没土。

16. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量、炭化物微量含む。しまり ややあり。粘性ややあり。D - 26 号土坑埋没土。

17. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量含む。しまりややあり。粘 性ややあり。D-26号土坑埋没土。

18. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 微量含む。しまりなし。粘性や やあり。D - 26 号土坑埋没土。

19. 黒褐色土: 軽石微量含む。しまりなし。粘性ややあり。D-26号土坑埋没土。20. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量、小礫微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。D-26号土坑埋没土。

21. 黒褐色土: 小礫・総社砂層ブロック (黄) 微量含む。 しまりややあり。 粘性ややあり。 D - 26 号土坑埋没土。

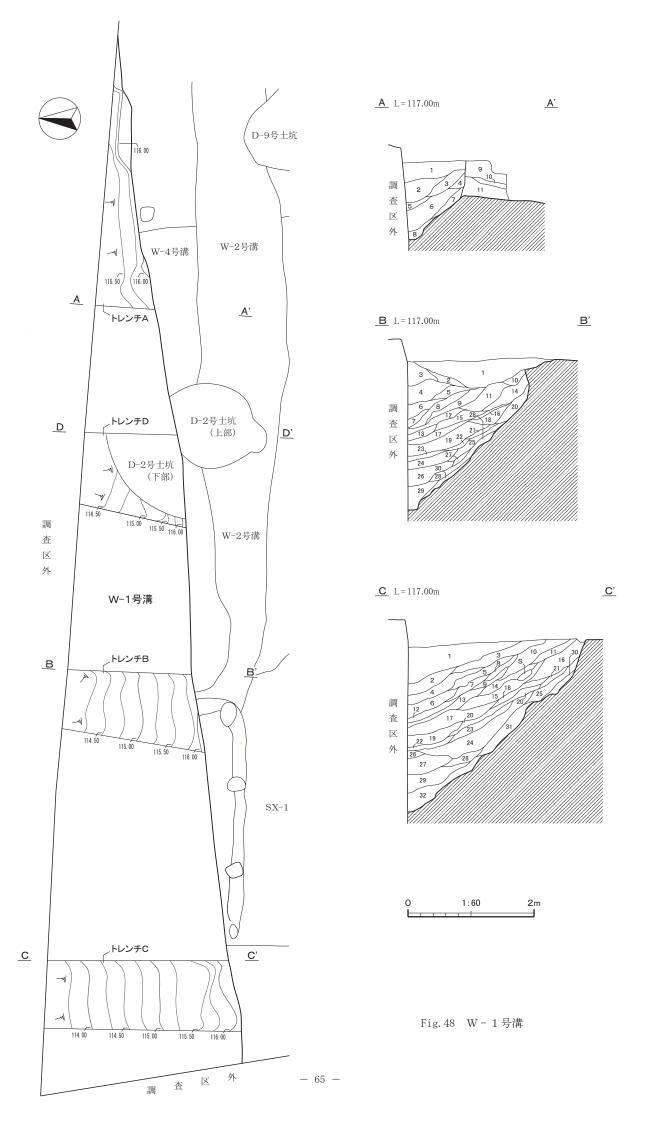
22. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。D-26号土坑埋没土。

23. 黒褐色土: 焼土微量含む。しまりややあり。粘性ややあり。D-26号土坑埋没土。 24. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 微量含む。しまりややあり。粘

・ 無物巴工: 総任砂暦プロック (東) 俶重さむ。 しまりややあり。 性ややあり。 D - 26 号土坑埋没土。

25. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) 多量、焼土・小礫・炭化物・総社砂層ブロック (黄) 微量含む。しまりややあり。粘性なし。D-26 号土坑埋没土。

Fig. 47 D-26 号十坑



W-1号溝土層説明(Aトレンチ)

1. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性弱。W-1号溝埋没土。

2. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 2.0 cm少量 含む。 しまりあり。 粘性弱。 W-1 号溝埋没土。

3. 灰白色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm少量含む。 しまりあり。 粘性弱。 W-1 号溝埋没土。

4. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm多量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm・量含む。 しまりあり。粘性弱。W-1 号溝埋没土。

5. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白)

 ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-1 号構埋没土。 6. 灰白色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。W-1 号構埋没土。

7. 暗褐色土: 小礫 6 0.5 cm・総社砂層ブロック (黄) 6 0.5 cm少量含む。 しまりあり。粘性ややあり。W-1号溝埋没土。

8. にい 黄褐色: 小礫 ϕ $0.5 \sim 1.0$ cm・総社砂層ブロック(黄) ϕ $0.5 \sim 1.0$ cm多量含む。 しまりあり。 粘性なし。 W-1 号溝埋没土。

9. 暗褐色土: 白色軽石 ϕ 0.2 cm・褐色粒少量含む。 しまりあり。 粘性や やあり。 W-2 号溝埋没土。

10. 暗褐色土: 白色軽石 6 0.2 cm少量含む。しまり強。粘性あり。W-2号溝埋没土。
 11. 暗褐色土: 小礫 6 0.5 cm・総社砂層ブロック (黄) 6 0.5 cm少量含む。
 しまりあり。粘性ややあり。W-4号溝埋没土。

W-1号溝土層説明(Bトレンチ)

1. 暗褐色土: 小礫 ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量、炭化粒微量含む。 しまりあり。 粘性やや弱。

2. 暗褐色土 : 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

3. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。 4. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm・

黒色粘質土ブロック ø $0.5\sim1.0$ cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。5. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) ø0.5 cm中量、総社砂層ブロック (黄)

 ϕ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性やや弱。 6. 灰黄褐色土:総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm中量、総社砂層ブロック(黄)

 ϕ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性弱。7.灰黄褐色土:総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm多量、総社砂層ブロック(黄)

 ϕ 0.5㎝少量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5㎝微量含む。しまりあり。粘性弱。 8.灰黄褐色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5~2.0㎝中量、総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5

 ${\rm cm}$ 少量、黒色粘質土プロック ϕ 0.5 ${\rm cm}$ 微量含む。しまりあり。粘性やや弱。 9. 暗褐色土 : 総社砂層プロック(白) ϕ 0.5 \sim 2.0 ${\rm cm}$ 中量、総社砂層プロック(黄) ϕ 0.5

 \sim 1.0㎝少量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5㎝微量含む。しまりあり。粘性やや弱。10. 黒褐色土: 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5㎝・総社砂層ブロック(白)

m・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。 12. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 2.0 cm中量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

13. 灰黄褐色土:総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量、総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm少量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。

14. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) φ.0.5~1.0 cm 総社砂層ブロック(白) φ.0.5~1.0 cm 総社砂層ブロック(白) φ.0.5~1.0 cm 総社の層ブロック(由) φ.0.5~1.0 cm 総社の層ブロック(由) φ.0.5 cm 微量含む。しまりあり。粘性やや弱。

15. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック(白) φ 0.5 ~ 2.0 cm多量、総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 ~ 3.0 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

16. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
17. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm中量、総社砂層ブロック (黄)

17. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) φ 0.5 ~ 1.0 cm中量、総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

18. 灰黄褐色土:総社砂層ブロック(白) φ 0.5 ~ 1.0 cm中量、総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
 19. 灰黄褐色土:総社砂層ブロック(白) φ 0.5 ~ 3.0 cm中量、総社砂層ブロック(黄) φ 0.5

 ~ 1.0 cm・黒色粘質土ブロック 0.5 cm 少量含む。 しまりあり。粘性やや弱。 20. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) ø 0.5 cm・黒色粘質土ブロック ø 0.5 cm・量、

総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 2.0 ㎝少量含む。しまりあり。粘性弱。21. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 ㎝ 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 ㎝ 総社砂層ブロック(白)

22. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm ・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm 少量、 黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm微量含む。 しまりあり。粘性やや弱。

23. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm・ 黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm少量含む。 しまりあり。粘性やや弱。 24. 灰白色土: 黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm少量含む。 しまりあり。粘性弱。

25. 灰白色土: 黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm 微量含む。しまりあり。粘性弱。
26. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm *総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm *総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm * 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm * 能社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm * 以上の・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm * 以上の・上の・上の・上の・上の・上の・

27. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 2.0 cm多量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm・黒色粘質土ブロックφ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性弱。

28. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 40.5 cm. 総社砂層ブロック (白) 40.5 cm. 総社砂層ブロック (カ) 5 cm. 総社砂層ブロック (白) 5 cm. 総社砂層ブロック (力) 5 cm. が 1 cm. か 1

29. 灰黄褐色土:総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm・量、総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。

30. 灰白色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm多量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性弱。

W-1号溝土層説明(Cトレンチ)

1. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) φ 0.5~1.0 cm・総社砂層ブロック(白) φ 0.5~1.0

cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

2. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm中量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

3. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) φ 0.5 ~ 1.0 cm中量、総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 ~ 2.0 cm・量合む。 しまりあり。 粘性やや弱。

4. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

5. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 2.0 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

6. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) φ 0.5 ~ 3.0 cm多量、総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) φ0.5~1.0 cm多量、総社砂層ブロック(黄)
 φ0.5 cm・黒色粘質土ブロックφ0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。

 ϕ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm 0 最合む。しまりあり。粘性やや弱。 8. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm少量、

総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。 9.灰黄褐色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm多量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 1.0 \sim

四少量、総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm衡量含む。しまりあり。粘性やや弱。 10. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 1.0

 $m \cdot$ 黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 m少量含む。しまりあり。粘性やや弱。 11. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量、総社砂層ブロック

(黄) ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。 12. 灰黄褐色土:総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm多量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 2.0

□少量、総社の層ブロック (黄) φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。 粘性やや弱。

13. 灰黄褐色士: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量、総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm ϕ 量合む。 しまりあり。 粘性やや弱。

14. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm・ 黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm・ 量含む。 しまりあり。 粘性弱。

15. 暗褐色土 : 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。

16. 暗褐色土 : 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm ・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 1.0 cm 少量、総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm 微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

17. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 皿中量、総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 皿/量合む。しまりあり。粘性弱。

18. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 $\rm cm$ ・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 $\rm cm$ ・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 $\rm cm$ 少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

19. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) 6 0.5~4.0 四中量、総社砂層ブロック (黄) 6 0.5 ~1.0 回・黒色粘質土ブロック 6.5 回少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

20. 暗褐色土 : 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm少量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。

21. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm多量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
22. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm 中量、黒色粘質土ブロック

22. 暗物巴工: 総任砂槽ノロック (日) 6 0.5 cm 平重、無巴格負エノロック 6 0.5 cm 少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

23. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量含む。しまりあり。粘性弱。

24. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm・ 黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm少量含む。 しまりあり。 粘性やや弱。 25. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm多量、総社砂層ブロック

25. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (日) φ 0.5 ~ 2.0 (四多重、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
26. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm・

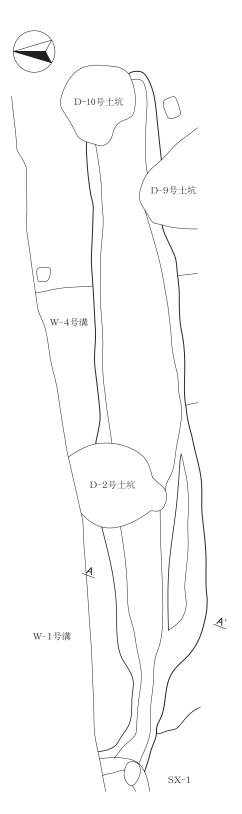
黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。 27. 暗褐色土:総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm・量

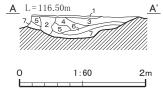
| 黒色粘質土ブロック 0.5~1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
| 28. 暗褐色土:総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm・

黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 2.0 cm中量含む。しまりあり。粘性やや弱。29. 暗褐色土: 総社砂層 ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層 ブロック (白)

30. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ $0.5 \sim 2.0$ cm多量含む。しまりあり。粘性弱。 31. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ $0.5 \sim 2.0$ cm多量、総社砂層ブロック(黄) ϕ $0.5 \sim 1.0$ cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性弱。

32. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) φ 0.5 ~ 5.0 cm中量、総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm・黒色粘質土ブロックφ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。

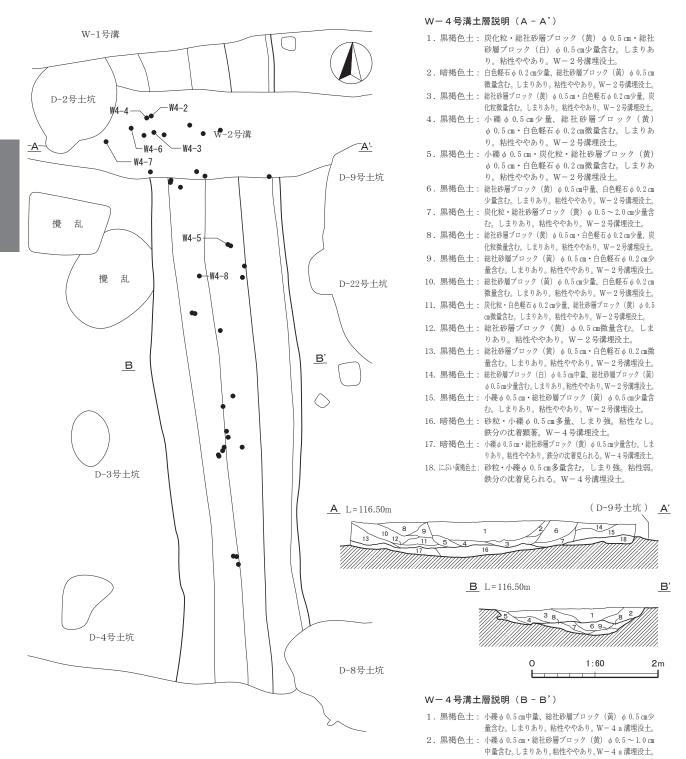




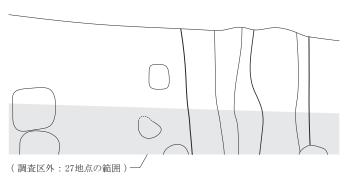
W-2号土坑土層説明

- 1. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm多量、黒色粘質土ブロッ
- クφ0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性弱。 2. 黒褐色土: 小礫φ0.5 cm・総社砂層ブロック(黄)φ0.5 cm少量含む。 しまりあり。粘性ややあり。
- しまりあり。粘性ややあり。
 3. 黒褐色土: 小礫 φ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量 含む。しまりあり。粘性ややあり。
 4. 黒褐色土: 小礫 φ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm微量 含む。しまりあり。粘性ややあり。
 5. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・白色軽石φ 0.2 cm少量 含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 6. 黒褐色土: 小礫 ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量、
 - 白色軽石 φ 0.2 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 1. 黒褐色土: 小碟 6 0.5 cm・総社砂層ブロック(黄) 6 0.5 cm・白色軽石 6 0.2 cm少量含む。しまり強。粘性ややあり。

Fig. 50 W-2号溝



W-5号溝



3. 黒褐色土: 小礫 ϕ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm少量、総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-4a 溝埋没土。

4. 黒褐色土: 小礫 φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm中量含む。しまりあり。粘性ややあり。W - 4 a 溝埋没土。
5. 黒褐色土: 小礫 φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量含

む。しまりあり。粘性ややあり。W-4 a 溝埋没土。 6 . 黒褐色土: 小礫 ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm少量含

7. 黒褐色土:砂粒中量、小礫φ0.5 cm少量、総社砂層ブロック(黄)φ0.5 cm炎量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-4 b溝埋没土。
 8. 黒褐色土:砂粒・小礫φ0.5 cm少量、総社砂層ブロック(黄)φ0.5

□微量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-4b溝埋没土。 9.暗褐色土: 小礫φ0.5~1.0 cm多量、砂粒中量含む。しまり強。

Fig. 51 W-4号溝

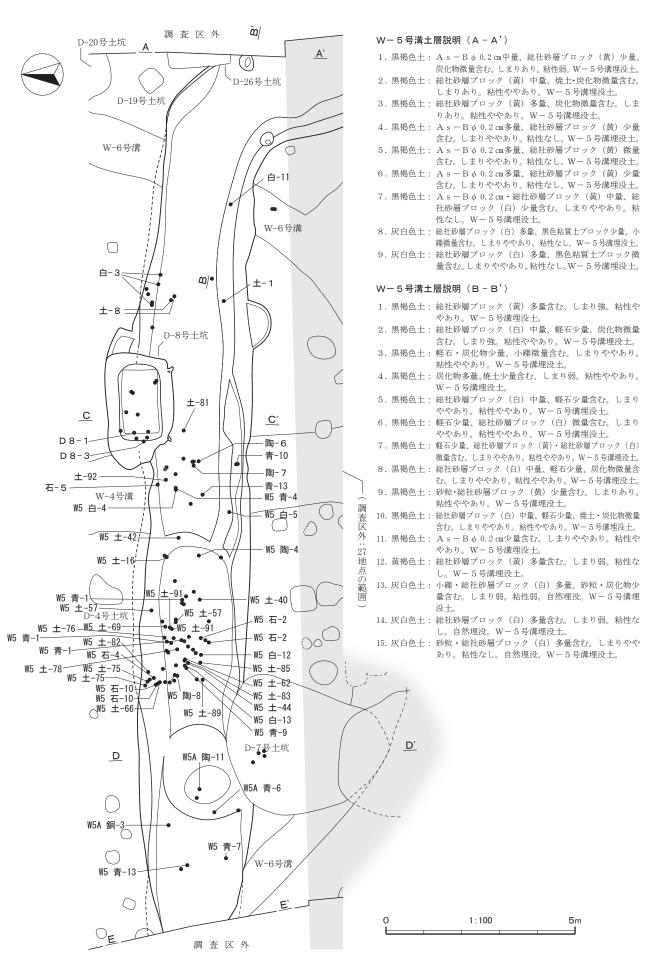


Fig. 52 W-5号溝①

W-5号溝土層説明 (C-C')

1. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量、焼土・小礫少量含む。しまりあり。粘性ややあり。木根痕。

りめり。私性ややめり。不恨限。
2. 黄褐色土:総社砂層ブロック(黄)多量含む。しまり強。粘性弱。土

坑埋没土。 3. 黒褐色土: 焼土・炭化物中量、小礫少量含む。しまりあり。粘性やや

あり。土坑埋没土。

A L=117.00m

4. 黒褐色土: 軽石・炭化物中量、焼土少量、総社砂層ブロック(黄)微量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。

量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。 5. 黒褐色土: 焼土・軽石・炭化物中量、小礫少量含む。しまりややあり。

粘性ややあり。W-5 号溝埋没土。 6. 黒褐色土:焼土・小礫・炭化物中量含む。しまりややあり。粘性やや

- ユ・ルエ 7 M 人 に 4 / 重 L あり。W − 5 号溝埋没土。

7. 黒褐色土: 焼土・炭化物・総社砂層ブロック (黄) 中量含む。しまり

(調査区外:27地点の範囲)-

Ι

(D-26号土坑)

2,

4

5

6

量含む。しまりややあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。

ク(白)少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。W-

まりややあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。 14. 黒褐色土: 焼土・炭化物中量含む。しまりややあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。

ややあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。

8. 黒褐色土: 焼土・炭化物中量含む。しまり強。粘性ややあり。W-5

9. 黒褐色土: 焼土・炭化物中量含む。しまりややあり。粘性ややあり。

10. 黒褐色土: 焼土・炭化物多量、小礫中量、総社砂層ブロック (黄) 少

11. 黒褐色土: 焼土・炭化物中量、総社砂層ブロック (黄) 微量含む。し

12. 黒褐色土: 焼土・炭化物中量、総社砂層ブロック (黄)・総社砂層ブロッ

13. 暗褐色土: 焼土・炭化物多量、総社砂層ブロック(自)中量含む。し

まりややあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。

号溝埋没土。

W-5号溝埋没十。

5号溝埋没土。

15. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) 中量、総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。W-5号

少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。W-5号 溝埋没土。 16. 暗褐色土: 焼土・総社砂層ブロック(白)中量、炭化物少量含む。

10. 暗褐色上: 焼上・総社砂層ブロック (日) 平重、灰化物少量さむ。 しまりややあり。粘性ややあり。W - 5 号溝埋没土。 17. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) 中量、小礫・炭化物中量含む。

しまりややあり。粘性ややあり。W - 5 号溝埋設土。 18. 黒褐色土: 炭化物中量、焼土・総社砂層ブロック (黄)・総社砂

18. 黒褐色土: 灰化物甲童、焼土・総住砂増ブロック (黄)・総住砂 層ブロック (白) 少量含む。しまりややあり。粘性や やあり。W-5号溝埋没土。

19. 暗褐色土: 小礫・炭化物少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。

20. 黄褐色土: 小礫・総社砂層ブロック (黄) 多量含む。しまりなし。 粘性なし。W-5号溝埋没土。

21. 暗褐色土: 小礫・炭化物・総社砂層ブロック (白) 少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。

22. 灰白色土:総社砂層ブロック(白)多量含む。しまりややあり。粘

B L=117.00m

4 5 6 7 13 12 8 10 11 区 外

<u>B'</u> 性ややあり。W-5号溝埋没土。 23. 灰白色土:総社砂層ブロック(白)多量、

(ロ) シ重
 (ロ) シ重
 (サ・総社砂層ブロック(黄)
 少量含む。しまりややあり。粘
 性ややあり。W-5号
 世をやあり。

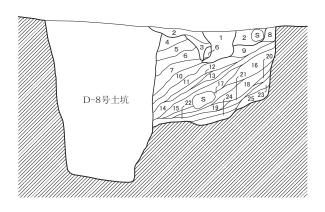
性ややあり。W-5号溝埋没土。 24. 灰白色土: 総社砂層ブロック(白)多量、 小礫・炭化物少量含む。しまり ややあり。粘性ややあり。W-

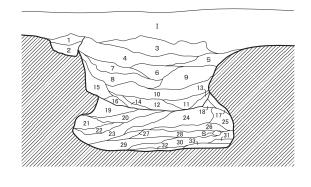
5 号溝埋没土。

25. 灰白色土: 総社砂層ブロック (白) 多量、 炭化物少量含む。しまりややあ

り。粘性なし。

<u>C'</u> L=117.00m <u>E'</u> <u>E</u> L=117.00m





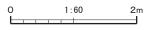
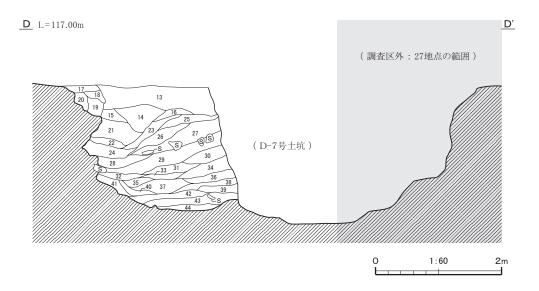


Fig. 53 W-5号溝②



W-5号溝土層説明 (D-D')

- 1. 黒褐色土: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm少量含む。 し
- まりあり。粘性ややあり。D-7号土坑埋没土。
- 2. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 3.0 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm少量、黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。D − 7 号土坑埋没土。
- 3. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 2.0 cm中量、炭化物・礫φ 0.5 ~ 10.0 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。 しまり弱。粘性ややあり。 D − 7 号土坑埋没土。
- 黒褐色土:総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 ~ 3.0 cm多量、炭化粒微量含む。 しまりややあり。粘性ややあり。D-7号土坑埋没土。
- 5. 黒褐色土: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社 砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性 ややあり。D 7 号土坑埋没土。
- 6. 暗褐色土:総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 ~ 10.0 cm多量含む。しまり弱。 粘性弱。D-7号土坑埋没土。
- 7. 黒褐色土 : 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 30.0 cm 多量含む。しまり弱。 粘性弱。D 7 号土坑埋没土。
- 8. 黒褐色士: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm中量、総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。 D ~ 7 号士坑埋没土。
- 9. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 10.0 cm中量、礫φ 0.5 ~ 5.0 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量含む。しまり弱。粘性ややあり。D-7号土坑埋没土。
- 10. 暗褐色土 : 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 20.0 cm多量、総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm少量含む。しまり弱。粘性ややあり。D
- 7 号土坑埋没土。 11. にぶい黄褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 多量含む。しまり弱。粘性弱。大規模な 壁面の崩落。D- 7 号土坑埋没土。
- 12. 黒褐色土 : 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm中量含む。しまりあり。 粘性ややあり。D 7 号土坑埋没土。
- 13. 暗褐色土: 焼土粒・小礫 φ 0.5 cm・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm・ 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性や やあり。
- 14. 黒褐色土: 焼土ブロック ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・炭化粒中量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm少量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。
- 15. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 4.0 cm中量、焼土粒・炭化粒少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 16. 暗褐色土: 焼土ブロック φ 0.5~2.0 cm 中量、総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm・炭化物少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 17. 黒褐色土: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) ø 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 18. 黒褐色土: 焼土粒中量、炭化粒・総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm少量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。
- 19. 黒褐色土 : 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm中量、焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 5.0 cm 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 20. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) � 0.5~1.0 cm・総社砂層ブロック (白) � 0.5~2.0 cm 中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 21. 暗褐色土: 焼土ブロック ϕ 0.5 cm・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

- 22. 黒褐色土: 焼土ブロック φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社 砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 24. 黒褐色土: 焼土粒・炭化物・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 5.0 cm少量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。
- 25. 暗褐色土: 焼土ブロック φ 0.5 cm 中量、炭化物・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 ~ 3.0 cm少量含む。しまり あり、粘性ややあり、
- 26. 暗褐色土: 焼土ブロック ϕ 0.5 \sim 1.0 cm多量、炭化物中量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm少量 含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 27. 黒褐色土: 炭化物多量、焼土ブロック ϕ 0.5 \sim 1.0 cm 中量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。 礎石と想定される礫の投棄が見られる。
- 28. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) φ 0.5 ~ 10.0 cm多量、総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 ~ 3.0 cm中量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 29. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm中量、焼土ブロック φ 0.5 cm・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm・黒 色粘質土ブロックφ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 30. 暗褐色土:総社砂層ブロック(白) φ 0.5 cm中量、焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック(白) φ 0.5 ~ 3.0 cm少量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。
- 31. 暗褐色土 : 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5~4.0 cm・炭化物中量、総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5~1.0 cm少量、焼土粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 32. 暗褐色土 : 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 5.0 cm多量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 33. 暗褐色土 : 総社砂層プロック (白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm中量、総社砂層プロック (黄) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm少量、焼土粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 34. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5~4.0 cm多量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5~3.0 cm少量、焼土粒・炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 35. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm・炭化物少量含む。しまりあり。粘性あり。
- 36. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 3.0 cm多量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。 しまりあり。粘性ややあり。
- 37. 暗褐色土 : 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm中量、炭化物・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 38. 黒褐色土: 炭化物・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・黒色粘質土フロック ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性やや弱。
- 39. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 10.0 cm多量、焼土粒微量含む。 しまりあり。粘性ややあり。
- 40. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
 41. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 2.0 cm多量、総社砂層ブロック
- 41. 暗褐色土: 総社砂僧ブロック (日) φ 0.5 ~ 2.0 cm 夕重、総社砂僧ブロック (黄) φ 0.5 cm 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
 42. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白)
- ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。 43. 黒褐色土: 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック(白)
- 43. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 30.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- 44. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) φ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

W-5号溝土層説明(E-E')

- 1. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白)
 - φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。ピット埋没土。
- 2. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。ピッ ト埋没十。
- 3. 暗褐色十: 総社砂層ブロック (黄) a 0.5~4.0 cm・総社砂層ブロッ ク (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm少量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。W - 6 号溝埋没土。
- 4. 暗褐色土:総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロッ ク (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm少 量、炭化粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-6 号溝埋没土。
- 5. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) φ 0.5~5.0 cm中量、総社砂層ブロッ ク(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm少 量含む。しまり強。粘性あり。W-6号溝埋没土。
- 6. 暗褐色土 : 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm 中量、炭化粒・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm 微量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-6号溝埋没土。
- 7. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm 中量、総社砂層ブ ロック (白) φ 0.5 cm少量、黒色粘質土ブロックφ 0.5 cm 微量含む。しまり強。粘性ややあり。W-6号溝埋没土。
- 8. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm中量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm少量、黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm 微量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-6号溝埋没土。
- 9. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) φ 0.5~3.0 cm多量、総社砂層ブロッ ク (白) ϕ 0.5 ~ 1.0 cm中量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 $\sim 1.0 \text{ cm}$ 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-6 号 溝埋没土。
- 10. 暗褐色土: 焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 2.0 cm・ 総社砂層ブロック(自) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm・黒色粘質土ブロッ otag
 otag
- 11. 黒褐色土: 砂粒・炭化粒・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂 層ブロック (白) ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性や や弱。W-6号溝埋没土。
- 12. 黒褐色土: 焼土ブロック ϕ 0.2 \sim 1.0 cm・炭化物中量、総社砂層ブロッ ク (黄) φ 0.5 ~ 5.0 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。※下位に灰白 色の総社砂層の土が堆積(厚さ0.5 cm) する。W-6号溝 埋没十。
- 13. 黒褐色土 : 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロッ ク (白) ϕ 0.5 ~ 1.0 cm少量、焼土粒微量含む。しまりあ り。粘性ややあり。W-6号溝埋没土。
- 14. 暗褐色土:砂粒少量、焼土粒・炭化粒・総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性やや弱。
- 15. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm・総社砂層ブロッ ク (白) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロックφ 0.5 cm少量含む。 しまりあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。
- 16. 黒褐色土: 総社砂層ブロック(白) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm・ A s - B φ 0.2 cm少量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm微 量含む。しまりあり。粘性やや弱。W-5号溝埋没土。
- 17. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-5号 溝埋没十.
- 18. 黒褐色土: 炭化物・総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm少量、焼土 粒微量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-5 号溝埋没土。
- 19. 黒褐色土: 炭化粒・総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロッ ク (自) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロックφ 0.5 cm少量含む。 しまりあり。粘性ややあり。総社砂層最上位層の崩落土が 入り込む。W-5号溝埋没土。
- 20. 黒褐色土: 炭化物・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂 層ブロック(白)φ0.5 cm少量、灰微量含む。しまりあり。 粘性ややあり。W-5号溝埋没土。
- 21. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm 中量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm・炭化粒 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。
- 22. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロッ ク (白) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。 W-5号溝埋没土。
- 23. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5~ 15.0 cm・総社砂層ブロッ ク (白) φ 0.5 ~ 3.0 cm多量、黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。W-5号溝埋没土。

- 24. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 10.0 cm・総社砂層ブロッ ク (自) φ 0.5 ~ 2.0 cm多量、砂粒・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。W - 5 号溝埋没土。
- 25. 暗褐色十: 総社砂層ブロック (黄) a 0.5 ~ 15.0 cm・総社砂層ブロッ ク (白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm中量含む。しまりあり。粘性やや あり。W-5号溝埋没土。
- 26. 暗褐色土 : 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 5.0 cm多量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm少量含 む。しまりあり。粘性ややあり。下位に炭化層が薄く(厚 さ 1.0 cm) 堆積する。W-5号溝埋没土。
- 27. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量含む。 しまりあり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。
- 28. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) ø 0.5 ~ 4.0 cm・総社砂層ブロッ ク(白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm多量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 ~3.0 cm中量含む。しまりあり。粘性ややあり。下位に炭 化層が薄く(厚さ 1.0 cm)堆積する。W-5号溝埋没土。
- 29. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 10.0 cm 多量、総社砂層 ブロック (黄) φ 0.5 ~ 5.0 cm中量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 2.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。W - 5 号溝埋没土。
- 30. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm中量、焼土粒・総社砂層ブ ロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。W-5 号溝埋没土。
- 31. 灰白色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 5.0 cm多量、黒色粘質土 ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。 W-5号溝埋没土。
- 32. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm多量含む。 しまり あり。粘性ややあり。W-5号溝埋没土。
- 33. 灰黄褐色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm中量・黒色粘質土ブ ロック ϕ 0.5~1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

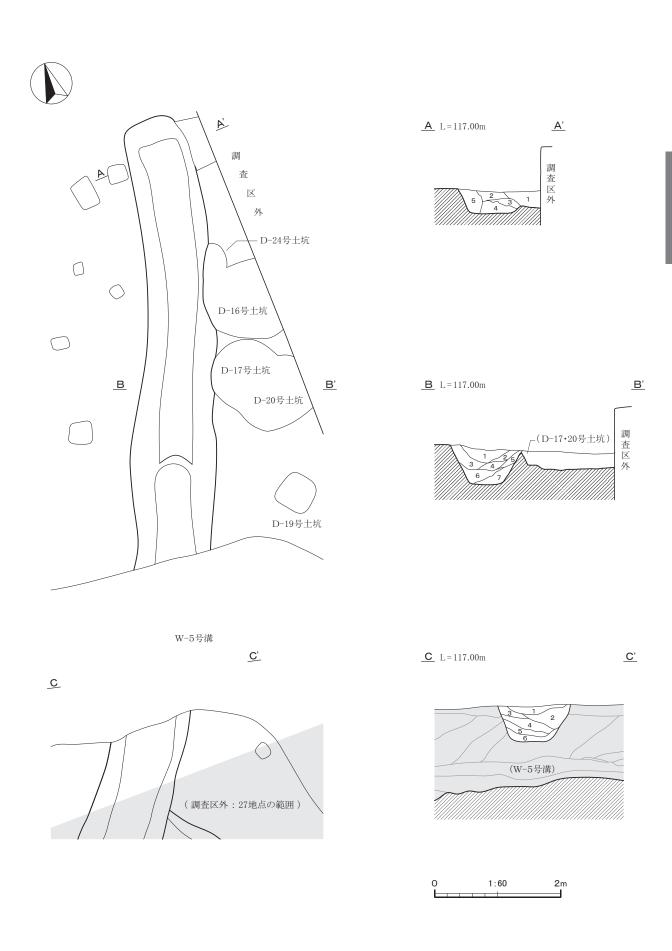


Fig. 56 W-6号溝

W-6号土坑土層説明(A-A')

- 1. 黒褐色土: 攪乱。総社砂層ブロック(黄) 多量含む。しまりややあり。 粘性ややあり。
- 2. 黒褐色土: 総社砂層ブロック(黄)多量含む。しまりややあり。粘性ややあり。 3. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりややあり。粘性なし。
- 4. 黒褐色土: 小礫・総社砂層ブロック(黄)少量含む。しまりややあり。粘性なし。 5. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりあり。粘性なし。

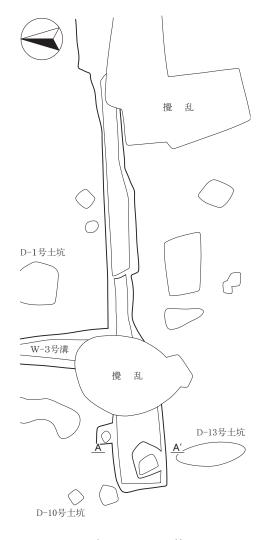
W-6号土坑土層説明(B-B')

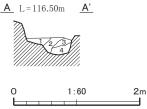
- 1. 黒褐色土: 小礫・総社砂層ブロック (黄) 少量含む。しまりあり。粘 性ややあり。W-6号溝埋没土。 2. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 多量含む。しまりあり。粘性やや
- あり。W-6号溝埋没土。
- 3. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量、軽石少量含む。しまりあり。 粘性ややあり。W-6号溝埋没土。
- 4. 黒褐色土: 総社砂層ブロック(白)多量、焼土粒・軽石・炭化粒・総 社砂層ブロック(黄)少量含む。しまり強。粘性ややあり。
- W-6号溝埋没土。 5. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量含む。しまりあり。粘性やや あり。W-6号溝埋没土。
- 6. 黒褐色土: 総社砂層ブロック (黄) 中量含む。しまりあり。粘性やや あり。W-6号溝埋没土。
- 7. 黒褐色土: 焼土粒・小礫・炭化粒少量、総社砂層ブロック (黄) 微量 含む。しまりあり。粘性ややあり。W-6号溝埋没土。

W-6号土坑土層説明 (C-C')

- 1. 黒褐色土:総社砂層ブロック(白)・軽石少量含む。しまりあり。粘 性ややあり。W-6号溝埋没土。
- 2. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (自)・軽石中量、炭化物少量含む。し まりあり。粘性弱。W-6号溝埋没土。
- 3. 暗褐色土:軽石・砂粒中量、小礫・炭化物少量含む。しまりややあり。 粘性ややあり。W-6号溝埋没土。
- 4. 暗褐色土:総社砂層ブロック(白)中量、炭化物少量含む。しまりあ り。粘性ややあり。W-6 号溝埋没土。
- 5. 暗褐色土:総社砂層ブロック(白)多量含む。しまり強。粘性ややあ り。W-6号溝埋没土。
- 6. 暗褐色土: 焼土少量含む。しまりややあり。粘性ややあり。W-6号 溝埋没土。

Fig. 57 W-6号溝(土層説明)





W-7号溝土層説明

- 1. 黒褐色土:小礫少量含む。しまりなし。粘性ややあり。
- 2. 黒褐色土:小礫中量含む。しまりなし。粘性なし。ピット埋没土。 3. 黄褐色土: 小礫・総社砂層ブロック (黄) 多量含む。しまりあり。粘 性なし。ピット埋没土。
- 4. 黒褐色土:小礫多量含む。しまりあり。粘性なし。ピット埋没土。

Fig. 58 W-7号溝

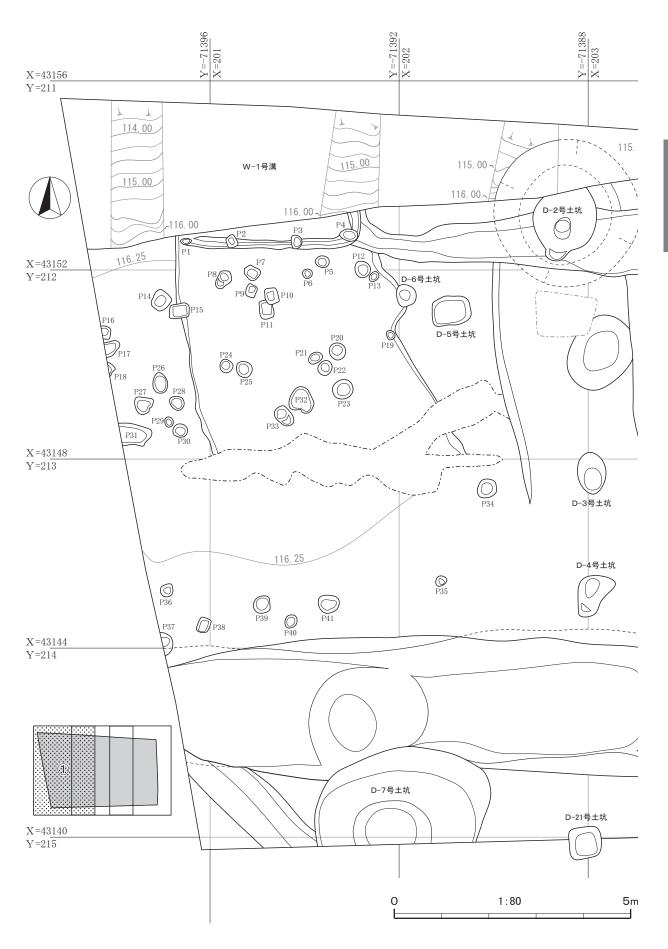
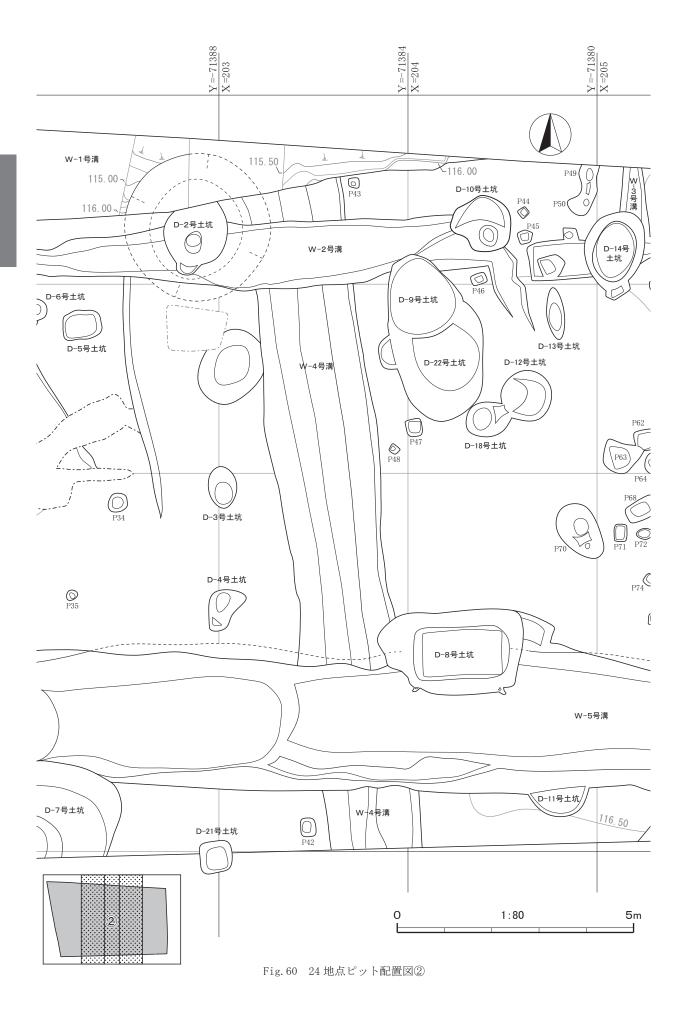


Fig. 59 24 地点ピット配置図①



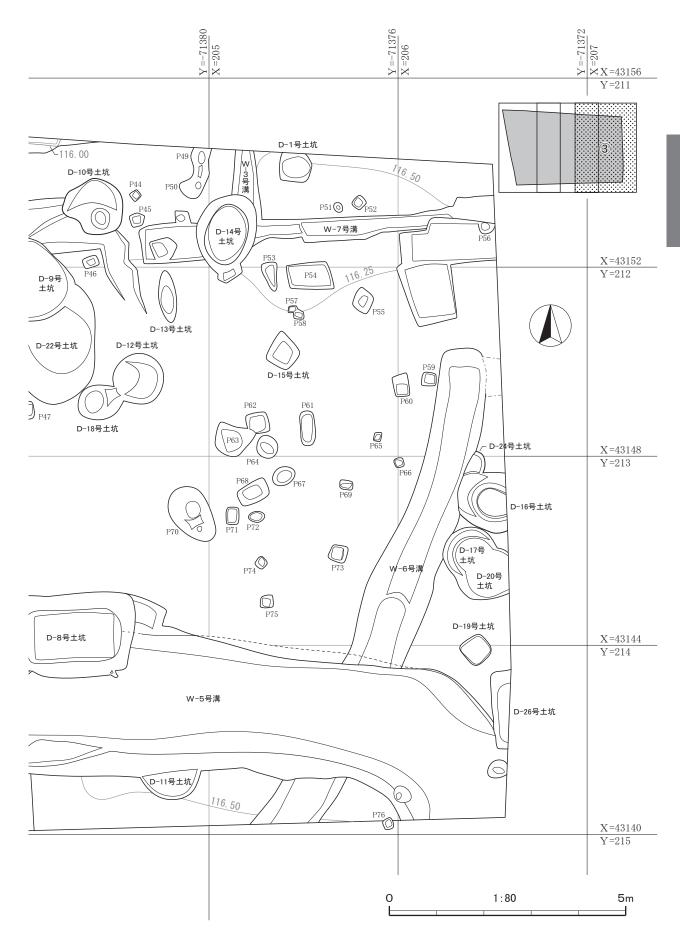


Fig. 61 24 地点ピット配置図③

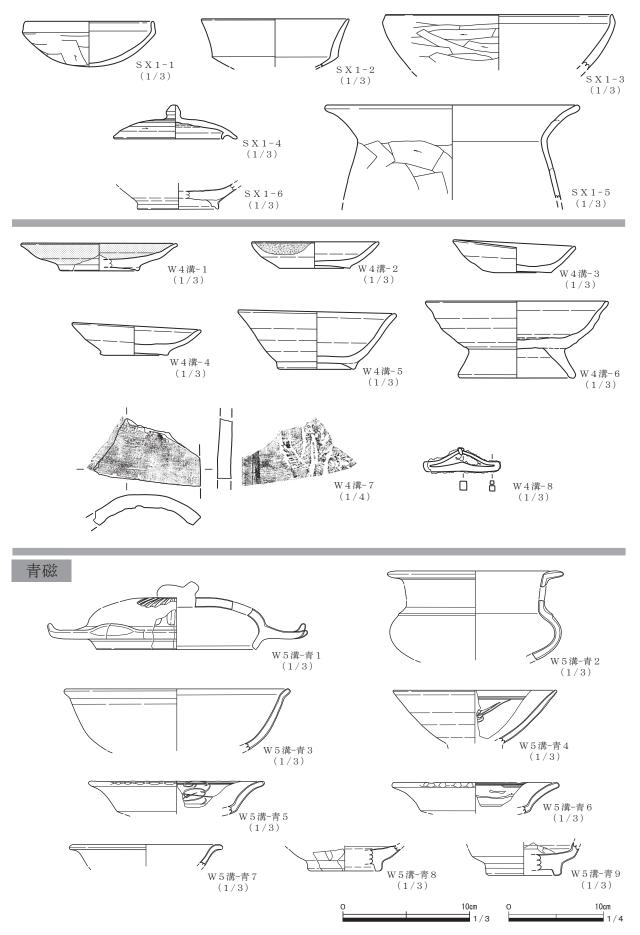
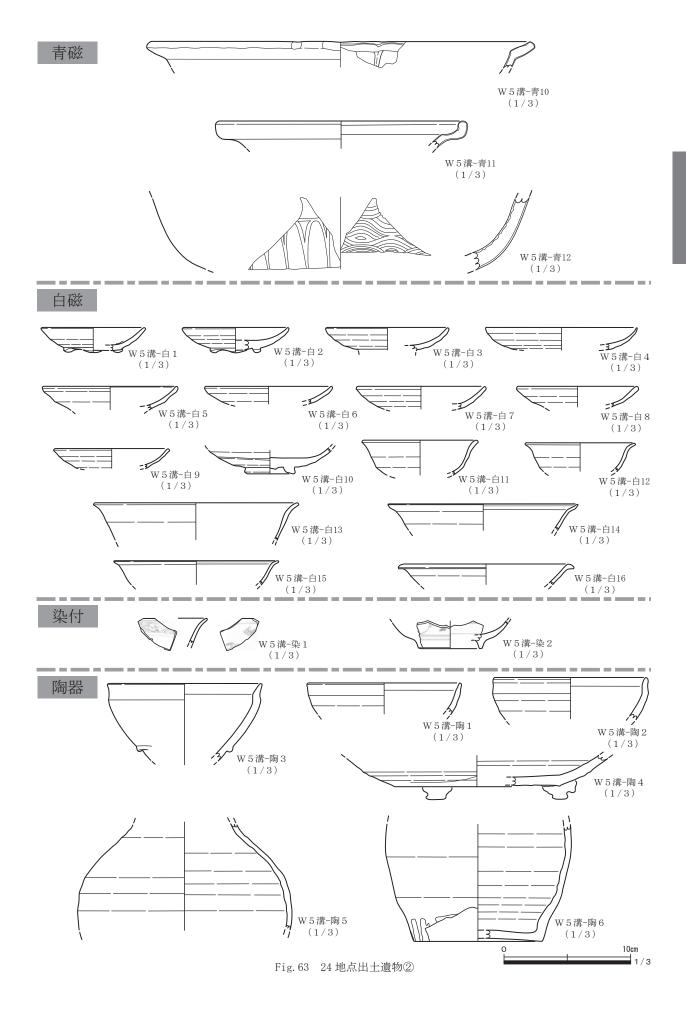
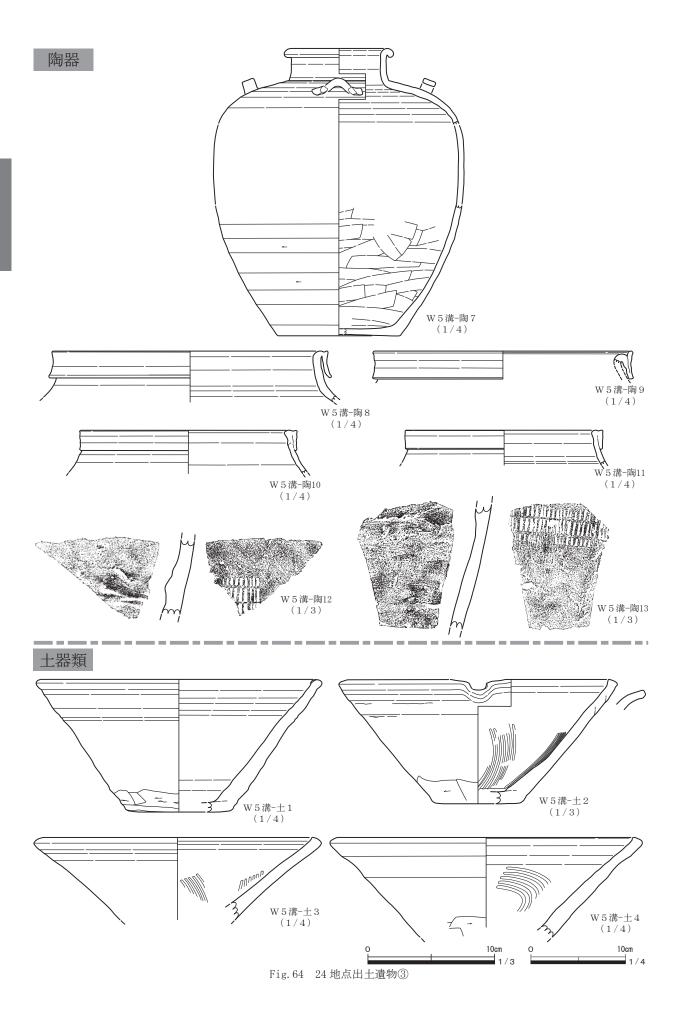
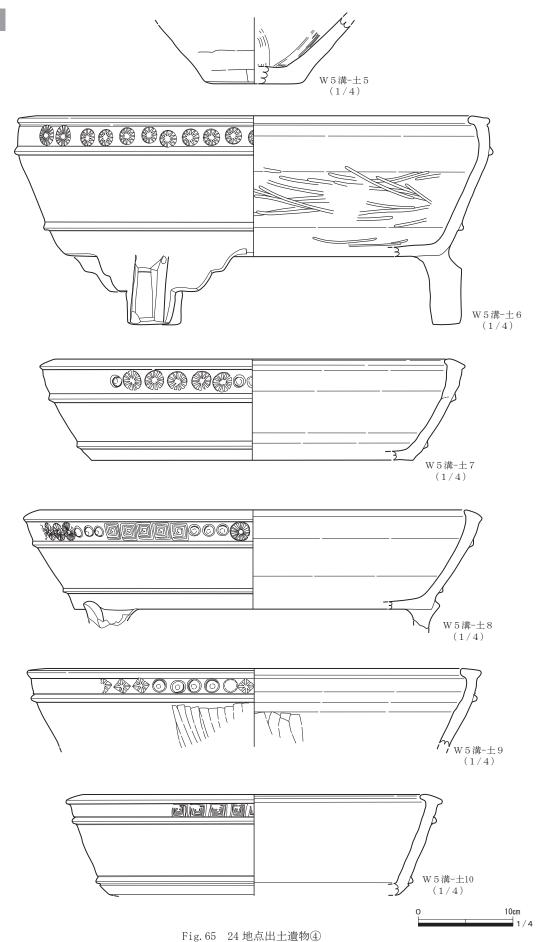


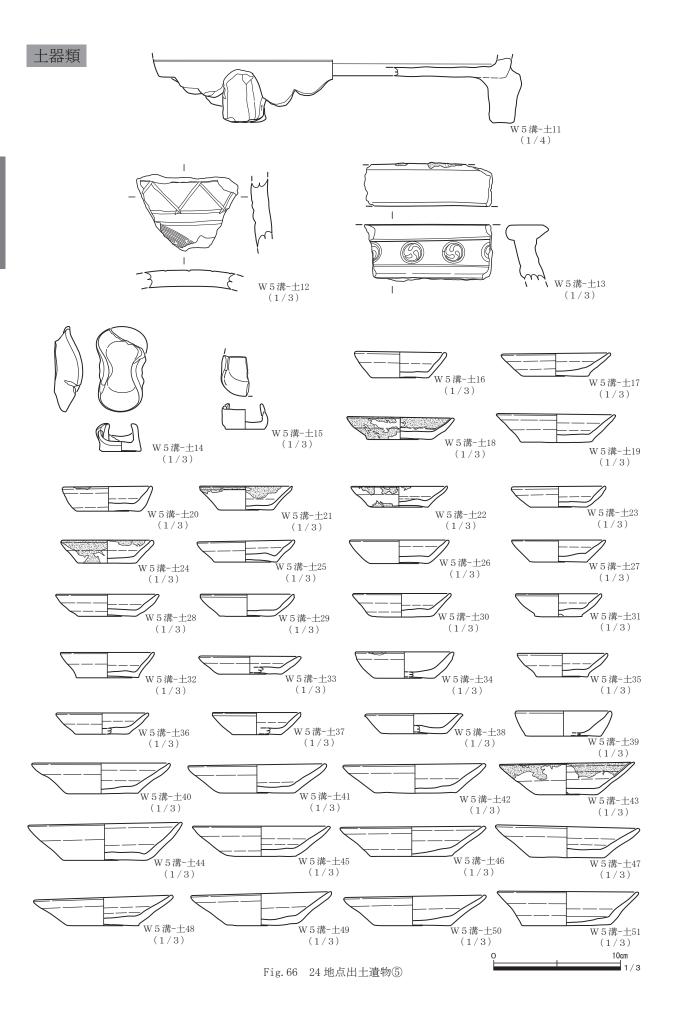
Fig. 62 24 地点出土遺物①



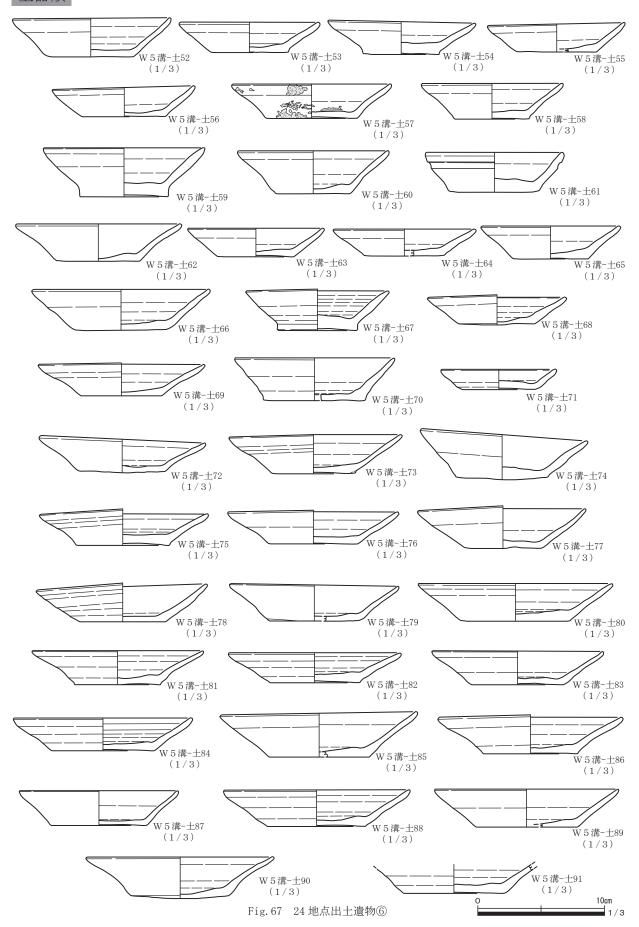


土器類





土器類



土器類

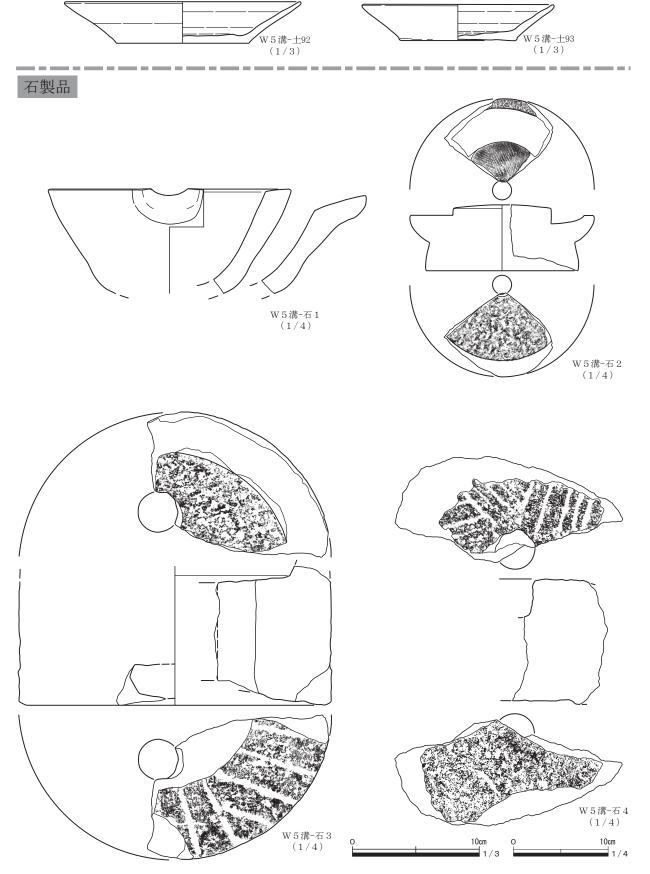


Fig. 68 24 地点出土遺物⑦

10cm

石製品 W 5 溝-石 6 (1/4) W 5 溝-石 7 (1/4) W5溝-石5 (1/4) W 5 溝-石 9 (1/4) W5溝-石10 (1/4) W5溝-石8 (1/4) 銅製品 W5溝-古銭1 (1/1) W 5 溝-古銭 2 (1/1) W 5 溝-古銭 3 (1/1)

Fig. 69 24 地点出土遺物⑧

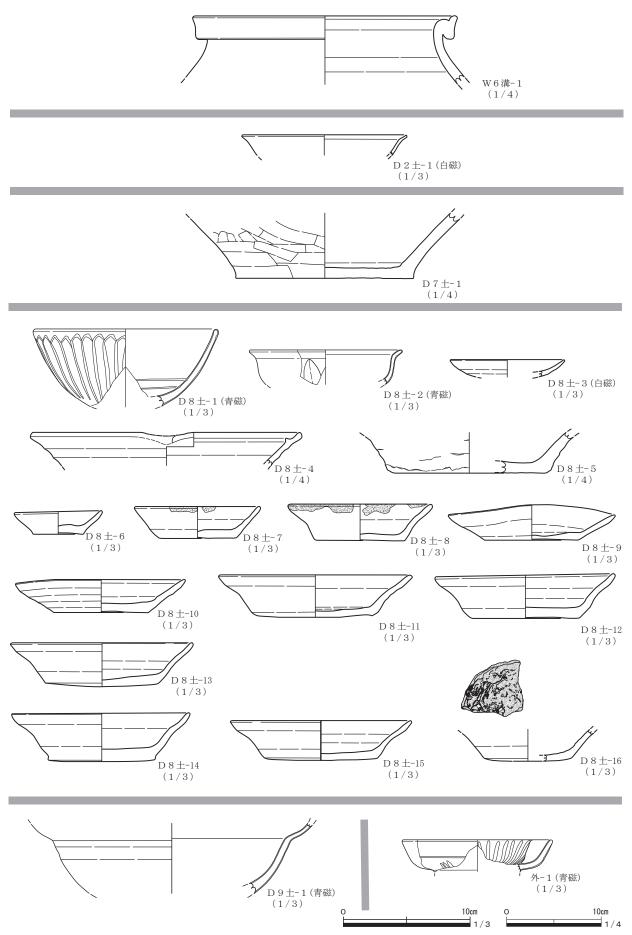


Fig. 70 24 地点出土遺物⑨

Tab. 15 24 地点出土遺物観察表①

S X - 1

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存		成・整形技法の特徴	備	考
1	土師器 坏	口径 (10.2) 底径 一 器高 3.7	①普通 ②橙 ③白色粒・角閃石 ④ 1/4	外面内面	口縁部横撫で、体部〜底部箆削り。 口縁部〜体部横撫で、底部撫で。		
2	土師器 坏	口径 (11.6) 底径 一 器高 一	①普通 ②橙 ③黒色粒・褐色粒 ④口縁部~体部 1/5	外面 内面	口縁部横撫で、体部箆削り。 口縁部〜体部横撫で。		
3	土師器 坏	口径 (17.9) 底径 一 器高 一	①普通 ②橙 ③白色粒・角閃石 ④口縁部~体部 1/5	外面内面	口縁部横撫で、体部箆削り。 口縁部〜体部横撫で。		
4	須恵器 蓋	口径 (9.6) 摘み 1.1 器高 2.7	①還元 ②黄灰 ③白色粒・黒色粒 ④ 1/3	外面 内面	轆轤整形、天井部右回転箆削り。 轆轤整形。		
5	土師器 甕	口径 (19.8) 底径 - 器高 -	①普通 ②にぶい橙色 ③白色粒・褐色粒・角閃石 ④口縁部~胴部上位 1/4	外面 内面	口縁部横撫で、胴部箆削り。 口縁部横撫で、胴部箆撫で。		

W-4号溝

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備	考
1	灰釉陶器 皿	口径 (12.2) 底径 6.0 器高 2.2	①還元 ②灰白 ③白色粒・黒色粒 ④ 1/4	外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 内面 轆轤整形。 釉は漬掛け。		
2	須恵器 坏	口径 10.0 底径 5.6 器高 2.1	③黒色粒・角閃石 ④完形	外面 轆轤整形、底部静止糸切り。 内面 轆轤整形。 煤付着。		
3	須恵器 坏	口径 9.5 底径 5.5 器高 2.6	①酸化気味 ②灰白~にぶい黄橙色 ③褐色粒・角閃石 ④ 7/8	外面 轆轤整形、底部静止糸切り。 内面 轆轤整形。		
4	須恵器 坏	口径 10.0 底径 5.4 器高 2.6	①酸化気味 ②灰白~にぶい黄橙 ③褐色粒・角閃石 ④ 4/5	外面 轆轤整形、底部静止糸切り。 内面 轆轤整形。		
5	須恵器 椀	口径 12.3 底径 5.8 器高 4.7	①酸化気味 ②にぶい黄橙 ③白色粒・黒色粒 ④3/4	外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 内面 轆轤整形。		
6	須恵器 椀	口径 (14.3) 底径 9.0 器高 6.1	①酸化気味 ②にぶい橙 ③白色粒・黒色粒・石英 ④ 2/3	外面 轆轤整形、底部右回転糸切り。 内面 轆轤整形。		
7	瓦 丸瓦	厚さ 1.4	①還元 ②灰白 ③白色粒・黒色粒 ④側端部	凹面 布目圧痕。 凸面 横位箆撫で。 側面 箆撫で。		
番号	岩	景 種		法量 (cm)、成・整形技法の特徴	備	考
8	鉄製品	火打金	残存長 5.8 幅 0.7 厚さ 0.5	重さ 10.9 g		

W-5号溝(青磁)①

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存		成・整形技法の特徴	備考
1	青磁 酒会壺蓋	口径 (12.6) 底径 一 器高 一	②緑灰 ④口縁部・天井部破片	外面	蓮弁文。	13 ~ 14 世紀 良品
2	青磁 袴腰香炉	口径 (12.8) 底径 - 器高 -	②緑灰 ④口縁部・胴部破片	無文、	火を受けている。	13~14世紀 良品
3	青磁 端反碗	口径 (17.6) 底径 一 器高 一	②オリーブ灰 ④口縁部~体部破片			D 2 類
4	青磁碗	口径 (12.9) 底径 - 器高 -	②オリーブ灰 ④口縁部~体部破片	内面	箆描きの梅月文。	14 世紀後半 ~ 15 世紀 良品
5	青磁 稜花皿	口径 (13.6) 底径 一 器高 一	②オリーブ灰 ④口縁部~体部破片	内面	口縁部下に2条の凹線、片切彫による文様。	15 世紀後半
6	青磁 稜花皿	口径 (13.0) 底径 - 器高 -	②オリーブ灰 ④口縁部~体部破片	内面	口縁部下に2条の凹線、片切彫による文様。	15 世紀後半
7	青磁 小皿	口径 (11.5) 底径 - 器高 -	②オリーブ灰 ④口縁部破片			15 世紀前半~ 中頃

W-5号溝(青磁)②

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存		成・整形技法の特徴	備考
8	青磁碗	口径 一 底径 (5.4) 器高 一	②オリーブ灰 ④底部~高台部破片	外面	蓮弁文か。	B 3 類
9	青磁 稜花皿	口径 一 底径 (5.6) 器高 一	②オリーブ灰 ④底部~高台部破片	内面	文様あり。	15世紀中頃~ 後半
10	青磁盤	口径 (30.0) 底径 一 器高 一	②オリーブ灰 ④口縁部破片	内面	進弁文 。	14 世紀
11	青磁盤	口径 (19.4) 底径 一 器高 一	②オリーブ灰 ④口縁部破片	無文。		14 世紀
12	青磁盤	口径 - 底径 - 器高 -		外面 内面	蓮弁文。 青海波文。	14 世紀

W-5号溝(白磁)

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	白磁皿	口径 (8.1) 底径 (4.0) 器高 2.0	②灰白 ④ 1/8	轆轤整形、抉高台。	B群
2	白磁皿	口径 (8.3) 底径 (3.4) 器高 2.0	②灰白 ④ 1/4	轆轤整形。	B群
3	白磁皿	口径 (9.6) 底径 - 器高 -	②灰白 ④口縁部~体部 1/4	轆轤整形。	B群
4	白磁皿	口径 (12.0) 底径 — 器高 —	②灰白 ④口縁部~体部 1/8	轆轤整形。	B群
5	白磁皿	口径 (10.6) 底径 — 器高 —	②灰白 ④口縁部~体部 1/8	轆轤整形。	B群
6	白磁皿	口径 (10.0) 底径 — 器高 —	②灰白 ④口縁部~体部 1/8	轆轤整形。	B群
7	白磁皿	口径 (10.0) 底径 - 器高 -	②灰白 ④口縁部~体部破片	轆轤整形。	B群
8	白磁皿	口径 (9.4) 底径 — 器高 —	②灰白 ④口縁部~体部 1/6	轆轤整形。	B群
9	白磁皿	口径 (9.0) 底径 - 器高 -	②灰白 ④口縁部~体部破片	轆轤整形。	B群
10	白磁 皿	口径 - 底径 3.6 器高 -	②灰白 ④体部~高台部 2/5	轆轤整形。	B群
11	白磁 端反小坏	口径 (9.0) 底径 一 器高 一	②灰白 ④口縁部~体部 1/8	轆轤整形。	B群
12	白磁 端反小坏	口径 (8.6) 底径 - 器高 -	②灰白 ④口縁部~体部破片	轆轤整形。	B群
13	白磁碗	口径 (16.0) 底径 — 器高 —	②灰白 ④口縁部~体部 1/8	轆轤整形。	15 世紀
14	白磁碗	口径 (15.0) 底径 — 器高 —	②灰白 ④口縁部~体部破片	轆轤整形、口錆。	15世紀中頃
15	白磁碗	口径 (13.0) 底径 — 器高 —	②灰白 ④口縁部~体部破片	轆轤整形、口錆。	15世紀中頃
16	白磁碗	口径 (13.0) 底径 — 器高 —	②明オリーブ灰 ④口縁部~体部破片	轆轤整形。	12 世紀

W-5号溝(染付)

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備	考
1	染付 碗	口径 - 底径 - 器高 -	口縁部破片	轆轤整形。	B群	
2	染付 皿	口径 - 底径 (4.6) 器高 -	体部~高台部 1/7	轆轤整形。	B群	

W-5号溝(陶器)

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	陶器 天目茶碗	口径 (12.0) 底径 一 器高 一	③黒色粒 ④口縁部破片	内面 轆轤整形。	中国
2	陶器 天目茶碗	口径 (12.0) 底径 — 器高 —	①普通 ②素 - にぶい黄褐、 釉 - 黒褐 ③白色粒 ④口縁部破片	内面 轆轤整形。	中国
3	土器 天目茶碗	口径 (12.0) 底径 - 器高 -	①普通 ②素 - 暗灰黄、 釉 - 黒褐 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部破片	土器に漆を塗った天目茶碗。外面体部下位に釉溜まりを表現した 段を作る。	
4	陶器 鉢	口径 一 底径 (13.0) 器高 一	①普通 ②灰黄 ③白色粒・黒色粒 ④体部~底部 1/5	外面 轆轤整形、底部右回転箆削り。 内面 轆轤整形。	古瀬戸
5	陶器 褐釉壺	口径 (20.8) 底径 一 器高 一	①普通 ②灰褐 ③白色礫 ④頸部~胴部中位 1/4	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形。 火を受けている。	中国
6	陶器 褐釉壺	口径 - 底径 - 器高 -	①普通 ②灰赤、釉 - 黒褐 ③白色礫 ④胴部中位~底部 1/3	外面 轆轤整形、底部無調整。 內面 轆轤整形。	中国
7	陶器 茶壺	口径 (11.6) 底径 13.0 器高 一		内面 轆轤整形、胴部下位箆撫で。	古瀬戸
8	陶器 大甕	口径 (58.0) 底径 一 器高 一	①普通 ②褐 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部〜頸部 1/5	外面 轆轤整形。 內面 轆轤整形。	常滑
9	陶器 大甕	口径 (54.4) 底径 — 器高 —	①普通 ②にぶい赤褐 ③白色粒 ④口縁部 1/8	外面 轆轤整形。 內面 轆轤整形。	常滑
10	陶器 大甕	口径 (45.6) 底径 一 器高 一	①普通 ②褐灰 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部破片	外面 轆轤整形。 內面 轆轤整形。	常滑
11	陶器 大甕	口径 (41.6) 底径 - 器高 -	①普通 ②暗赤褐 ③白色粒 ④口縁部~頸部 1/4		常滑
12	陶器 大甕	口径 - 底径 - 器高 -	①普通 ②褐灰 ③白色粒・黒色粒 ④胴部破片	内面 轆轤整形。	常滑
13	陶器 大甕	口径 - 底径 - 器高 -	①普通 ②暗灰黄 ③白色粒・黒色粒 ④胴部破片	外面 轆轤整形、格子状の押印。 内面 轆轤整形。	常滑

W-5号溝(土器類)①

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備	考
1	土器 擂鉢	口径 (29.2) 底径 (10.8)	①普通 ②にぶい赤褐~にぶい褐	外面 轆轤整形、体部撫で、単位不明瞭、下位箆削り、底部回転 糸切り。		
		器高 14.1	③白色粒・黒色粒・礫 ④ 1/3	内面 轆轤整形、体部箆撫で。		
2	土器 擂鉢	口径 (27.6) 底径 (9.0)	①普通 ②にぶい褐〜黒褐 ③白色粒・黒色粒・褐色粒	外面 轆轤整形、体部撫で、単位不明瞭、下位箆削り、底部器面 荒れ調整不明瞭。		
- 0	1. 8.0	器高 13.1	4 1/4	内面 轆轤整形、体部箆撫で、7本1単位の擂り目。		
3	土器 擂鉢	口径 (28.4) 底径 - 器高 -	①普通 ②灰黄褐 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部~体部 1/4	外面 轆轤整形、体部撫で、単位不明瞭。 内面 轆轤整形、体部箆撫で、6 本 1 単位の擂り目。		
4	土器 擂鉢	口径 (31.4) 底径 - 器高 -	①普通 ②褐灰 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部~体部 1/6	外面 轆轤整形、体部撫で、単位不明瞭。 内面 轆轤整形、体部箆撫で、5 本 1 単位の擂り目。		
5	土器 擂鉢	口径 - 底径 (10.4) 器高 -	①普通 ②褐灰 ③白色粒・黒色粒 ④体部~底部 1/3	外面 体部撫で、単位不明瞭、下位箆削り、底部回転糸切り。 内面 体部箆撫で。		

W-5号溝(土器類)②

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
6	土器 火鉢	口径 (46.0) 底径 (40.0)	①普通 ②灰黄褐~褐灰 ③白色粒 ④ 1/6	外面 轆轤整形、口縁部菊花文、体部粗い箆磨き、底部チヂレ目、 三脚。	
	1 00	器高 22.1	0 # 17 0 - W Im	内面 轆轤整形、口縁部~底部粗い箆磨き。	
7	土器 火鉢	口径 (41.6) 底径 (34.0) 器高 -	世帯通 ②にあい憶~にあい 黄褐 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部~底部 1/10	外面 轆轤整形、口縁端部箆磨き、口縁部菊花文・珠文、体部粗 い箆磨き、底部箆撫で、脚が付くと推定される。 内面 轆轤整形。	
8	土器 火鉢	口径 (45.0) 底径 (37.6)	①普通 ②にぶい黄褐〜黒褐 ③白色粒・黒色粒	外面 	
9	土器	器高 - 口径 (44.0)	④口縁部〜脚部上位 1/5 ①普通 ②灰褐〜褐灰	内面 轆轤整形。 外面 轆轤整形、口縁部花菱文・珠文、体部箆撫で。	
9	火鉢	底径 (44.0) 底径 — 器高 —	③白色粒・黒色粒・褐色粒 ④口縁部~体部 1/6	内面 轆轤整形、体部篦撫で。	
10	土器 火鉢	口径 (36.2) 底径 (30.6) 器高 -	①普通 ②褐灰 ③白色粒・黒色粒・褐色粒 ④口縁部~体部 1/8	外面 ・ 	
11	土器 火鉢	口径 - 底径 (36.6) 器高 -	①普通 ②灰 ③白色粒・黒色粒 ④底部~脚部破片	外面 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 	
12	土器 火鉢	口径 - 底径 - 器高 -	①普通 ②灰 ③白色粒・黒色粒 ④体部破片	外面 轆轤整形、線刻による連続三角文、刷毛による文様が一部 あり。 内面 器面荒れ調整不明瞭。	
13	土器	口径 一	①普通 ②灰黄褐	外面 箆撫で、巴文、口縁部内側一部に煤付着。形状は角形。	
10	火鉢	底径 — 器高 —	③白色粒・黒色粒・雲母 ④口縁部破片	内面 箆撫で。	
14	土器耳皿	口径 (6.8) 底径 4.0 器高 2.2	①普通 ②橙 ③白色粒・黒色粒 ④ 4/5	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
15	土器耳皿	口径 - 底径 - 器高 -	①普通 ②にぶい黄橙 ③黒色粒 ④ 1/4	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形。	
16	土器 カワラケ	口径 6.9 底径 4.4 器高 2.1	①普通 ②橙 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部一部欠損	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
17	土器 カワラケ	口径 8.4 底径 5.2 器高 1.8	①普通 ②橙 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部一部欠損	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
18	土器 カワラケ	口径 8.3 底径 5.2 器高 1.8	①普通 ②黒~にぶい黄橙 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部一部欠損	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。 煤付着。	
19	土器 カワラケ	口径 9.2 底径 5.6 器高 2.3	①普通 ②橙 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部一部欠損	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
20	土器 カワラケ	口径 6.9 底径 5.1 器高 2.0	①普通 ②にぶい橙~橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 3/4	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。 煤付着。	
21	土器 カワラケ	口径 7.2 底径 4.4 器高 1.9	①普通 ②灰黄~黒 ③白色粒・褐色粒 ④ 6/7	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。 煤付着。	
22	土器 カワラケ	口径 7.4 底径 4.6 器高 1.7	①普通 ②灰黄褐~黒褐 ③褐色粒 ④ 5/6	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。 煤付着。	
23	土器 カワラケ	口径 7.2 底径 4.5 器高 1.7	①普通 ②にぶい黄褐~褐灰 ③白色粒・褐色粒 ④ 7/8	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
24	土器 カワラケ	口径 7.0 底径 4.6 器高 1.9	①普通 ②にぶい橙〜黒褐 ③褐色粒 ④ 4/5	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。 煤付着。	
25	土器 カワラケ	口径 7.5 底径 5.0 器高 1.7	①普通 ②橙 ③褐色粒 ④ 4/5	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
26	土器 カワラケ	口径 (7.6) 底径 4.6 器高 1.9	①普通 ②橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 3/5	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
27	土器 カワラケ	口径 (7.3) 底径 4.6 器高 1.8	①普通 ②橙~にぶい橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 2/3	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
28	土器 カワラケ	口径 (7.9) 底径 4.6 器高 1.8	①普通 ②橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 1/2	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
			•		

W-5号溝(土器類)③

番号	器 種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存			成・整形技法の	D特徴	備考
29	土器 カワラケ	口径 (7.2) 底径 4.4 器高 1.8	①普通 ②灰褐 ③白色粒・褐色粒 ④ 3/4		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
30	土器 カワラケ	口径 (7.6) 底径 5.1 器高 1.9	①普通 ②橙 ③白色粒・褐色粒・雲母 ④ 3/5		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
31	土器 カワラケ	口径 (6.6) 底径 3.7 器高 1.8	①普通 ②にぶい黄橙~にぶい赤褐 ③褐色粒 ④ 2/3	外面 内面		底部左回転糸切り。		
32	土器 カワラケ	口径 (7.2) 底径 4.9 器高 2.0	①普通 ②にぶい橙 ③褐色粒 ④ 2/3	外面 内面		底部左回転糸切り。		
33	土器 カワラケ	口径 (7.7) 底径 5.0 器高 1.4	①普通 ②橙~にぶい橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 2/5		轆轤整形、 轆轤整形。	底部回転糸切り。		
34	土器 カワラケ	口径 (7.6) 底径 4.9 器高 2.1	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 2/5		轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
35	土器 カワラケ	口径 (7.0) 底径 4.0 器高 1.9	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 1/3		轆轤整形、 轆轤整形。	底部回転糸切り。		
36	土器 カワラケ	口径 (7.1) 底径 4.2 器高 1.7	①普通 ②にぶい黄橙 ③褐色粒 ④ 2/5	外面 内面		底部左回転糸切り。		
37	土器 カワラケ	口径 (6.8) 底径 3.8 器高 1.8	①普通 ②橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 1/3		轆轤整形、 轆轤整形。	底部回転糸切り。		
38	土器 カワラケ	口径 (7.4) 底径 5.2 器高 1.6	①普通 ②にぶい橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 1/5		轆轤整形、 轆轤整形。	底部回転糸切り。		
39	土器 カワラケ	口径 (7.3) 底径 6.0 器高 2.0	①普通 ②浅黄橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 1/8	外面 内面		底部回転糸切り。		
40	土器 カワラケ	口径 10.7 底径 5.7 器高 2.5	①普通 ②橙 ③白色粒・褐色粒 ④ほぼ完形	外面 内面		底部左回転糸切り。		
41	土器 カワラケ	口径 10.6 底径 6.0 器高 2.3	①普通 ②にぶい黄橙〜褐灰 ③白色粒・褐色粒 ④ほぼ完形	外面 内面	轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
42	土器 カワラケ	口径 10.9 底径 6.5 器高 2.3	①普通 ②にぶい橙~橙 ③白色粒・褐色粒 ④ほぼ完形		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
43	土器 カワラケ	口径 10.5 底径 5.0 器高 2.6	①普通 ②にぶい橙〜黒 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部一部欠損		轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
44	土器 カワラケ	口径 11.9 底径 6.5 器高 3.0	①普通 ②浅黄橙~橙 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部一部欠損		轆轤整形、 轆轤整形、	底部左回転糸切り、 底部撫で。	板状圧痕。	
45	土器 カワラケ	口径 10.5 底径 5.5 器高 2.4	①普通 ②にぶい橙〜褐灰 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部一部欠損	外面 内面	轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
46	土器 カワラケ	口径 11.0 底径 6.4 器高 2.4	①普通 ②浅黄橙~灰褐 ③白色粒・褐色粒 ④ 7/8	外面 内面	轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
47	土器 カワラケ	口径 11.0 底径 5.9 器高 2.6	①普通 ②浅黄橙~褐灰 ③白色粒・褐色粒 ④ 6/7	外面 内面	轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
48	土器 カワラケ	口径 10.7 底径 5.6 器高 2.4	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 7/8	外面 内面	轆轤整形、			
49	土器 カワラケ	口径 10.8 底径 5.5 器高 2.7	①普通 ②鈍い黄橙〜黒褐色 ③白色粒・褐色粒 ④ 6/7	外面 内面	轆轤整形、 轆轤整形、	底部左回転糸切り。 底部撫で。		
50	土器 カワラケ	口径 10.9 底径 6.0 器高 2.4	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白 色粒・褐色粒・雲母 ④3/4	外面 内面	轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。		
51	土器 カワラケ	口径 10.9 底径 7.0 器高 2.7	①普通 ②鈍い橙色 ③白色 粒・褐色粒 ④ 6/7	外面 内面	轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。		

W-5号溝(土器類)④

番号	器 種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存			成・整形技法の特徴	備考
52	土器 カワラケ	口径 12.2 底径 6.8 器高 3.1	①普通 ②浅黄橙色 ③白色 粒・褐色粒 ④ 3/4	外面	轆轤整形、 轆轤整形。		51.0
53	土器 カワラケ	口径 10.7 底径 6.2 器高 2.4	①普通 ②鈍い橙色 ③白色 粒・褐色粒 ④3/5		轆轤整形、 轆轤整形、		
54	土器 カワラケ	口径 11.4 底径 6.0 器高 2.7	①普通 ②鈍い橙〜鈍い黄橙 色 ③白色粒・褐色粒 ④3/4			底部左回転糸切り。	
55	土器 カワラケ	口径 10.5 底径 6.3 器高 2.3	①普通 ②鈍い橙〜鈍い褐色 ③白色粒・褐色粒 ④ 3/5		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。	
56	土器 カワラケ	口径 10.9 底径 6.6 器高 2.4	①普通 ②橙〜鈍い褐色 ③ 白色粒・褐色粒 ④ 3/5			底部左回転糸切り。 底部全面撫で。	
57	土器 カワラケ	口径 (12.3) 底径 7.2 器高 2.7	①普通 ②鈍い橙色 ③白色 粒・褐色粒 ④ 2/5		轆轤整形。	底部左回転糸切り。	
58	土器 カワラケ	口径 (10.9) 底径 5.8 器高 2.8	①普通 ②橙色 ③白色粒・ 褐色粒 ④ 1/2		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。	
59	土器 カワラケ	口径 12.5 底径 6.8 器高 3.9	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白 色粒・褐色粒 ④ 2/5		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。	
60	土器 カワラケ	口径 (11.7) 底径 5.8 器高 3.4	①普通 ②橙〜鈍い黄橙色 ③白色粒・褐色粒 ④3/5		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。	
61	土器 カワラケ	口径 (10.5) 底径 7.1 器高 3.2	①普通 ②灰白色 ③白色粒・ 褐色粒 ④ 1/2		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。	
62	土器 カワラケ	口径 (12.8) 底径 6.5 器高 3.0	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白 色粒・褐色粒 ④ 1/2		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。	
63	土器 カワラケ	口径 (10.5) 底径 6.0 器高 2.3	①普通 ②鈍い黄橙〜褐灰色 ③白色粒・褐色粒 ④1/2		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。	
64	土器 カワラケ	口径 (11.0) 底径 6.4 器高 2.2	①普通 ②橙~黒色 ③白色 粒・褐色粒 ④ 1/2		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。	
65	土器 カワラケ	口径 (10.6) 底径 5.9 器高 2.6	①普通 ②鈍い黄橙〜浅黄橙 色 ③白色粒・褐色粒 ④ 4/7				
66	土器 カワラケ	口径 (13.8) 底径 (7.2) 器高 3.3	①普通 ②鈍い橙色 ③褐色 粒・黒色粒 ④ 1/3		轆轤整形、 轆轤整形、		
67	土器 カワラケ	口径 (11.2) 底径 6.2 器高 2.3	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白 色粒 ④ 3/5		轆轤整形、 轆轤整形。	底部左回転糸切り。	
68	土器 カワラケ	口径 (10.8) 底径 6.0 器高 2.4	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白 色粒・黒色粒 ④3/5		轆轤整形、 轆轤整形、		
69	土器 カワラケ	口径 (13.0) 底径 6.4 器高 2.6	①普通 ②鈍い橙色 ③黒色 粒・褐色粒 ④ 2/5			底部回転糸切り。 底部全面撫で。	
70	土器 カワラケ	口径 (12.6) 底径 (8.0) 器高 3.4	①普通 ②鈍い褐色 ③白色 粒・黒色粒 ④ 1/4	内面	轆轤整形。	底部回転糸切り。 nの焼成前穿孔。	
71	土器 カワラケ	口径 (9.0) 底径 5.8 器高 1.6	①普通 ②鈍い黄橙色 ③白 色粒・褐色粒・雲母 ④1/2	外面		底部回転糸切り。	
72	土器 カワラケ	口径 13.0 底径 6.9 器高 2.9	①普通 ②にぶい黄橙 ③黒色粒・褐色粒 ④ 7/8		轆轤整形、 轆轤整形、	底部回転糸切り、板状圧痕。 底部撫で。	
73	土器 カワラケ	口径 13.5 底径 6.6 器高 3.1	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 9/10		轆轤整形、 轆轤整形、	底部左回転糸切り。 底部撫で。	
74	土器 カワラケ	口径 13.0 底径 7.2 器高 4.1	①普通 ②にぶい黄橙 ③黒色粒 ④ 3/4	外面 内面		底部左回転糸切り。 底部全面撫で。	
			•				

W-5号溝(土器類)⑤

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存			成・整形技法の特徴	備考
75	土器	口径 13.2	①普通 ②にぶい黄橙	外面	轆轤整形、	底部左回転糸切り。	
	カワラケ	底径 7.4 器高 2.9	③白色粒・褐色粒 ④ 4/5		轆轤整形、		
76	土器 カワラケ	口径 13.4 底径 7.0	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒 ④ 4/5		轆轤整形、 轆轤整形、	底部左回転糸切り。 底部撫で。	
		器高 2.7			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,	
77	土器	口径 13.1	①普通 ②橙	外面	轆轤整形、	底部左回転糸切り。	
	カワラケ	底径 6.0 器高 3.4	③白色粒・黒色粒 ④ 3/4	内面	轆轤整形。		
78	土器	口径 13.4	①普通 ②にぶい橙	外面		底部左回転糸切り。	
	カワラケ	底径 6.8 器高 3.1	③白色粒 ④ 3/5	内面	轆轤整形。		
79	土器	口径 13.2	①普通 ②にぶい橙	外面	轆轤敷形	底部左回転糸切り。	
"	カワラケ	底径 7.0	③黒色粒・褐色粒 ④ 2/3			底部全面撫で。	
		器高 3.0					
80	土器	口径 (15.3)	①普通 ②にぶい黄橙~褐灰			底部左回転糸切り。	
	カワラケ	底径 8.7	③白色粒 ④ 1/2	内面	轆轤整形、	底部全面撫で。	
0.4		器高 3.0	0.4477	41	And the track and	rts-ter 1- 17 to 12 17 10	
81	土器 カワラケ	口径 (13.4) 底径 (6.8)	①普通 ②にぶい橙 ③黒色粒・褐色粒 ④ 1/3		轆轤整形、 轆轤整形、	底部左回転糸切り。	
	20 2 2 2 2	器高 2.7	○無色性・褐色性 ④ 1/3	L 1 IIII	ヤ比ヤ温 ゴミ バク、	及りの無く。	
82	土器	口径 (13.5)	①普通 ②にぶい橙	外面	轆轤整形、	底部左回転糸切り。	
	カワラケ	底径 7.2	③褐色粒 ④ 3/5	内面		74 Pro-	
		器高 2.4					
83	土器	口径 (13.4)	①普通 ②橙			底部左回転糸切り。	
	カワラケ	底径 7.3 器高 2.7	③白色粒·黒色粒·褐色粒	内面	轆轤整形。		
84	土器	石径 (14.1)	④ 2/3 ①普通 ②にぶい橙	从而	曲曲 曲虚 東文 平夕	底部左回転糸切り。	
04	カワラケ	底径 8.1	③褐色粒 ④ 4/5		轆轤整形、	7-111 -1 1111 21 1 0	
		器高 2.6		. 4 1223		7.24 P. 3.11 T. 0	
85	土器	口径 15.4	①普通 ②にぶい黄橙			底部左回転糸切り。	
	カワラケ	底径 8.0 器高 3.6	③黒色粒・褐色粒 ④ 2/3	内面	轆轤整形、	底部撫で。	
86	土器	口径 (14.4)	①普通 ②にぶい黄橙	外面	轆轤整形、	底部左回転糸切り。	
	カワラケ	底径 7.5	③白色粒 ④ 3/5	内面	轆轤整形、	底部撫で。	
0.7	1 00	器高 3.1	○ ** ** *	H 7	date date date m/	retart Cataly (a)	
87	土器 カワラケ	口径 (12.5) 底径 7.4	①普通 ②にぶい褐 ③黒色粒 ④3/5			底部左回転糸切り。	
	NYYY	器高 2.7	□無昌極 ④ 3/3	L 1 IIII	特定特温立正パク。		
88	土器	口径 (14.6)	①普通 ②にぶい黄橙	外面	轆轤整形、	底部左回転糸切り。	
	カワラケ	底径 7.8	③褐色粒・雲母 ④ 2/3		轆轤整形、		
		器高 2.9					
89	土器	口径 (14.5)	①普通 ②にぶい黄橙			底部左回転糸切り。	
	カワラケ	底径 (8.0) 器高 3.0	③白色粒・黒色粒 ④ 1/4	内面	轆轤整形、	底的無で。	
90	土器	石径 (14.6)	①普通 ②にぶい黄橙	从而	曲輪敷形	 底部左回転糸切り。	
30	上台 カワラケ	底径 7.8	③白色粒・黒色粒 ④ 1/2	内面	轆轤整形、	底部撫で。	
		器高 3.3					
91	土器	口径 一	①普通 ②にぶい橙			底部左回転糸切り。	
	カワラケ	底径 8.0	③黒色粒・褐色粒	内面	轆轤整形、	底部撫で。	
00	[.00	器高 -	④体部下位~底部残存	h	加加油をするコン	호했는데# 선택 6	
92	土器 カワラケ	口径 (18.6) 底径 10.5	①普通 ②にぶい橙 ③白色粒・黒色粒・褐色粒	外面内面	轆轤整形、 轆轤整形、	底部左回転糸切り。	
	~ / / /	器高 3.3	④ 1/2	L 1 IEII	市比中国立ビバン、	\(\times\) \(\times\) \(\times\) \(\times\) \(\times\)	
93	土器	口径 (15.0)	①普通 ②褐灰~にぶい黄橙	外面	轆轤整形、	底部左回転糸切り、板状圧痕。	
	カワラケ	底径 (9.0)	③白色粒・黒色粒 ④ 1/3	内面	轆轤整形、		
		器高 2.9					

W-5号溝(石製品)①

		,		
番号	器	種	法量(cm)、成・整形技法の特徴	備考
1	石製品	鉢	口径 (25.2) 重さ 420 g	
2	石製品	茶臼	直径 (39.0) 孔径 (4.0) 高さ 13.9 重さ 4,600g	
3	石製品	石臼	直径 (33.0) 孔径 (4.2) 重さ 4,540g 上臼破片	
4	石製品	石臼	孔径 (4.2) 高さ 13.3 重さ 3,830g 下臼破片	
5	石製品	石臼	重さ648.8g 上臼破片	
6	石製品	茶臼	重さ 256.8 g 下臼破片	
7	石製品	板碑	残存長 24.4 残存幅 19.4 厚さ 3.1 重さ 1,840g 蓮座部分残存。	
8	石製品	板碑	残存長 22.1 残存幅 13.1 厚さ 2.3 重さ 1,115.7g 種子の一部残存。	

W-5号溝(石製品)②

番号	器	計 種	法量 (cm)、成・整形技法の特徴	備考
9	石製品	板碑	残存長 14.3 残存幅 6.5 厚さ 1.0 重さ 161.6g 種子の一部残存。	
10	石製品	不明	直径 10.4 厚さ 5.1 重さ 561.1 g	

W-5号溝(銅製品)

番号	器	種	法量(cm)、成・整形技法の特徴	備	考
1	銅製品	古銭	開元通寶		
2	銅製品	古銭	開元通寶		
3	銅製品	古銭	聖宋元寶		

W-6号溝

番号	器 種	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	陶器	口径 (55.0)	①普通 ②にぶい赤褐	外面 轆轤整形。	常滑
	大甕	底径 -	③白色粒·黒色粒	内面 轆轤整形。	
		器高 -	④口縁部破片		

D-2号土坑

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	白磁	口径 (13.0)	②灰白 ④口縁部~体部破片	轆轤整形。	15 世紀
	端反皿	底径 一			
		器高 一			

D-7号土坑

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	陶器	口径 一		外面 箆撫で、砂底。	常滑
	大甕	底径 18.8 器高 -	④胴部下位~底部 1/4	内面 箆撫で。	

D-8号土坑①

	nn	VI B / \		b +tempt 11.51 = dd, dd	fills also
番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存		備考
1	青磁碗	口径 (14.4) 底径 — 器高 —	②オリーブ灰 ④口縁部~体部破片	外面 連弁文。 内面 体部下位に凹線2条。	B 3類
2	青磁 蓮弁文 折縁皿	口径 (12.0) 底径 一 器高 一	②明緑灰 ④口縁部~体部破片	外面 蓮弁文。	B 2 類
3	白磁 皿	口径 (9.0) 底径 一 器高 一	②灰白 ④口縁部~体部 1/6	轆轤整形、火を受けている。	B群
4	陶器 擂鉢	口径 (28.2) 底径 一 器高 一	①普通 ②浅黄橙 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部~体部 1/5	外面 轆轤整形。 内面 轆轤整形。	古瀬戸
5	陶器 大甕	口径 - 底径 (16.5) 器高 -	①普通 ②にぶい褐 ③白色粒・黒色粒 ④胴部下位~底部 1/3	外面 箆撫で、砂底。 内面 箆撫で。	常滑
6	土器 カワラケ	口径 6.9 底径 4.0 器高 1.9	①普通 ②にぶい橙 ③白色粒・褐色粒 ④3/4	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。	
7	土器 カワラケ	口径 9.9 底径 6.2 器高 2.5	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 3/5	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形。 煤付着。	
8	土器 カワラケ	口径 (11.2) 底径 (7.0) 器高 2.9	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・褐色粒 ④ 2/5	外面 轆轤整形、底部回転糸切り。 内面 轆轤整形。 煤付着。	
9	土器 カワラケ	口径 13.1 底径 7.4 器高 2.8	①普通 ②橙 ③白色粒・黒色粒 ④ほぼ完形	外面 ・ 	
10	土器 カワラケ	口径 13.3 底径 7.5 器高 2.6	①普通 ②にぶい橙 ③白色粒・黒色粒 ④ 4/5	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り、板状圧痕。 内面 轆轤整形、底部全面撫で。	

D-8号土坑②

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備	考
11	土器	口径 15.0	①普通 ②にぶい橙	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。		
	カワラケ	底径 9.0 器高 3.4	③白色粒・黒色粒 ④ほぼ完形	内面 轆轤整形、底部撫で。		
12	土器 カワラケ	口径 14.1 底径 8.5 器高 3.6	①普通 ②にぶい黄橙 ③褐色粒・礫 ④ 3/4	外面 		
13	土器 カワラケ	口径 14.2 底径 9.0 器高 3.5	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・黒色粒 ④ 3/4	外面 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 		
14	土器 カワラケ	口径 14.0 底径 8.4 器高 3.9	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・黒色粒 ④ 4/5	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形、底部撫で。		
15	土器 カワラケ	口径 14.1 底径 9.0 器高 3.2	①普通 ②にぶい黄橙 ③白色粒・黒色粒・褐色粒 ④ 2/3	外面 轆轤整形、底部左回転糸切り。 内面 轆轤整形、底部撫で。		
16	土器 カワラケ	口径 - 底径 (7.0) 器高 -	①普通 ②褐灰~灰黄褐 ③白色粒 ④体部~底部 1/6	外面 轆轤整形、底部回転糸切り。 内面 轆轤整形、全面に融着物、坩堝に転用。		

D-9号土坑

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調	③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備	考
1	青磁 盤	口径 - 底径 -	②オリーブ灰	④体部破片	無文。		
		器高 -					

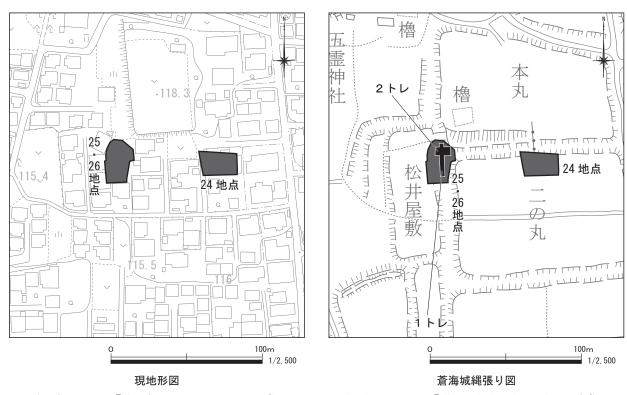
遺構外出土遺物

番号	器 種	法量 (cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	青磁皿	口径 (11.7) 底径 - 器高 -	②緑灰 ④口縁部~体部破片	轆轤整形、内面蓮弁文。	

VII 25·26 地点

1 25·26 地点概要 (Fig. 71·72、PL. 26)

25・26 地点の調査は、民家に囲われ残土搬出等に制限が伴うことから、トレンチ調査で対応している。トレンチは 2 本設け、1号トレンチ・2号トレンチと名称を付してある。調査の進行は、南北方向に設定した 1号トレンチを調査した後、同トレンチを埋め戻し、東西方向に設定した 2号トレンチに着手している。なお、両トレンチの設定は、蒼海城新段階の堀を捉えることを主眼に置いたが、いずれのトレンチでも堀の立ち上がりは確認できず、堀底の検出のみに留まっている。確認された堀底は、蒼海城の縄張り図(Fig. 71 参照)から 1号トレンチが、本丸と二の丸の西側を南北に走行する堀、2号トレンチが本丸と二の丸間を東西に走行する堀と想定され、いずれの堀もW-1号溝と名称を付してある。なお、2号トレンチで確認された堀底は 24 地点W-1号溝からの続きと想定されるものである。堀の深さは、最深で現地表面から 3.96 mを測り、As-YPの一次堆積層よりも深く掘り込んでいる状況が捉えられており、埋没土の下位では人為的に埋められた痕跡が 1号トレンチ内で確認されている。出土遺物は埋没土の上位から板碑片、下位から漆塗りの木器椀が出土しているものの、明確な時期を決定付けるような遺物は出土していない。このため、本地点で確認された堀の時期は、明確には提示できず、24 地点W-5号溝(蒼海城古段階の堀)が埋められたと想定される 15 世紀後半から蒼海城が廃城となったとされる 17 世紀前半と幅を持たせた捉え方に留まろう。



(前橋市役所発行『前橋市現形図 52-1 · 52-3 』)

(山崎 一 1978『群馬県古城塁址の研究 上巻』)

Fig. 71 現地形図と縄張り図における調査地点

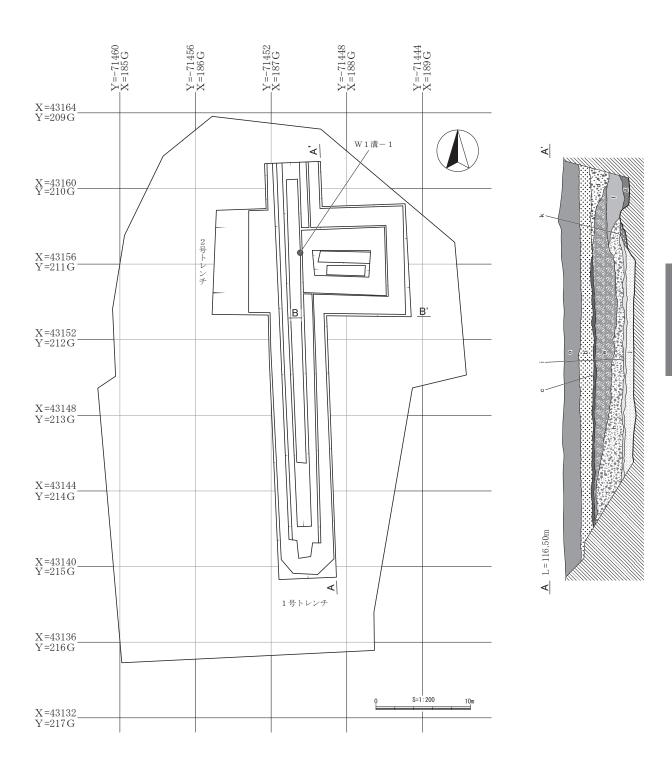
2 トレンチ

1号トレンチ(遺構: Fig. 72、PL. 26・27/遺物: Fig. 74、Tab. 24、PL. 27)

位置: $X:186\cdot187$ 、 $Y:209\sim215$ グリッド。トレンチ概要:幅3.00 m、長さ22.00 mのトレンチを南北方向に設定。遺構底面までの深さが3 m以上になったため、安全帯を2 段設けて掘り下げを行った。このため、底面の検出範囲は、幅0.60 m、長さ15.00 mとなっている。確認遺構:蒼海城新段階における本丸と二の丸の西を南北方向に走行する堀底を確認し、W-1 号溝と名称を付した。縄張り図によると本堀の西側には『松井屋敷』と呼称される郭が存在するものと想定される。断面の状態:W-1 号溝の堀底まで検出し、現地表面からの深さは3.88 mを測る。断面で確認された土層は全てW-1 号溝の埋没土と考えられる。トレンチ北側の堀底では瘤状に底面が上がる部分が見られるが詳細は不明である。出土遺物:埋没土中位から板碑の破片、下位から漆塗りの木器椀が出土している。このほか、板状の木片が出土しているが、自然木であるか材として使用されたものかは不明である。検出遺構の時期:15 世紀後半~17 世紀前半と想定される。

2号トレンチ(遺構: Fig. 72・73、PL. 27)

位置: $X:186\sim188$ 、 $Y:210\cdot211$ グリッド。トレンチ概要: 幅 $6.00\,\mathrm{m}$ 、長さ $10.00\,\mathrm{m}$ のトレンチを東西方向に設定。遺構底面までの深さが $3\,\mathrm{m}$ 以上になったため、安全帯を $3\,\mathrm{R}$ 設けて掘り下げを行った。このため、底面の検出範囲は、幅 $0.50\,\mathrm{m}$ 、長さ $2.00\,\mathrm{m}$ となっている。確認遺構:蒼海城新段階における本丸と二の丸の間を東西方向に走行する堀底を確認し、W-1 号溝と名称を付した。なお、本溝は $24\,\mathrm{m}$ 点W-1 号溝と同一の堀と考えられる。断面の状態:W-1 号溝の堀底まで検出し、現地表面からの深さは $3.96\,\mathrm{m}$ を測る。断面で確認された土層は全てW-1 号溝の埋没土と考えられる。出土遺物:遺物の出土は見られない。検出遺構の時期: $15\,\mathrm{m}$ 世紀後半~ $17\,\mathrm{m}$ 17 世紀前半と想定される。



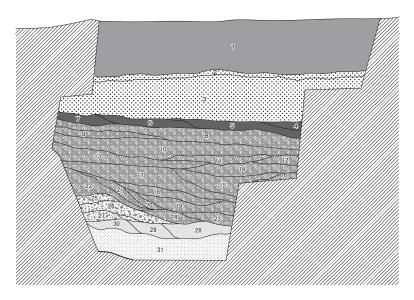
1号トレンチ土層説明

- a. 暗褐色土:表土層。中位より上は近年埋められた土。しまりあり。粘
- 性ややあり。
- b. 灰 色 土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロッ ク(白) ϕ 0.5~1.0cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- c. 灰 色 土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロッ
- ρ (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。 d. 灰 色 土:総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm・総社砂層ブロッ ク (白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm中量、炭化粒微量含む。しまりあ り。粘性ややあり。
- e. 灰 色 土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロッ ク(白) ϕ 0.5~1.0cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- f . 暗褐色土 : 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 100.0 cm・総社砂層ブロッ ク (白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm中量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5

- $\sim 2.0 \, \mathrm{cm}$ 少量含む。しまりあり。粘性ややあり。
- g. 青灰色土: $As-YP\phi$ 0.2 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。ノロ状の土。
- h. 暗褐色土:総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 30.0 cm・総社砂層ブロッ ク (白) ϕ 0.5 \sim 30.0 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim
- 30.0 cm中量含む。しまりあり。粘性ややあり。人為的埋没。 i. 暗褐色土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 3.0 cm・総社砂層ブロッ ク (白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 3.0
- m少量含む。しまりあり。粘性強。ノロ状の土。 j. 青灰色土:総社砂層ブロック (白) φ 0.5~1.0 cm、植物遺体少量含 む。しまりあり。粘性強。ノロ状の土。
- k. 暗褐色土: A s Y P ϕ 0.2 cm中量、総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 $\sim 2.0 \, \mathrm{cm}$ 少量含む。しまりあり。粘性あり。

Fig. 72 25・26 地点全体図、1号トレンチ断面図

<u>B</u> L=116.50m <u>B'</u>





トーンの土層は1号トレンチ A-A'との整合性を示すものである。

2号トレンチ土層説明

1. 暗褐色土:表土層。

2. 灰色 土:鉄分・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。

3. 灰 色 土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

4. 灰 色 土:総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。

5. 灰 色 土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm多量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量 含む。しまりあり。粘性ややあり。

6. 灰 色 土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 5.0 cm多量、総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。

7. 灰 色 土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。
8. 灰 色 土: 炭化粒・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm少量、総社砂層

8. 灰 色 土: 炭化粒・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm少量、総社砂層 ブロック (黄) φ 0.5 cm・黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm微量含む。 しまりあり。粘性ややあり。

9. 灰 色 土: 総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック(白) φ 0.5 cm少量、 黒色粘質土ブロック φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

10. 灰 色 土: 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm少量、総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm・ 黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm後量含む。 しまりあり。 粘性ややあり。

11. 灰 色 土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 1.0 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

12. 灰 色 土: 炭化粒・総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性やああり。

13. 灰 色 土 : 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量、炭化粒・総社砂層 ブロック (白) ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

14. 灰 色 土: 総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 \sim 2.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

15. 灰 色 土:総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性あり。

16. 灰 色 土:総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 cm・炭化粒・黒色粘質土ブロック

0 1:60 2m

φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性強。

17. 灰 色 土:総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm・総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

18. 灰 色 土:総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 3.0 cm中量含む。しまりあり。粘性あり。

19. 灰 色 土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 ~ 5.0 cm中量、総社砂層ブロック (白) φ 0.5 ~ 1.0 cm少量含む。しまりあり。粘性ややあり。

20. 灰 色 土: 総社砂層ブロック(黄) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。 21. 灰 色 土: 総社砂層ブロック (黄) φ 0.5 cm・総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性あり。

22. 灰 色 土: 総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm少量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性あり。

23. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm中量含む。しまりあり。粘性あり。

24. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm中量、黒色粘質土ブロック ϕ 0.5 cm少量含む。 しまりあり。粘性あり。

25. 暗褐色土: 炭化粒総社砂層ブロック (白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm少量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性ややあり。

26. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm・総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm少量含む。 しまりあり。 粘性あり。

27. 暗褐色土: 総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 \sim 2.0 cm少量、総社砂層ブロック (黄) ϕ 0.5 \sim 1.0 cm微量含む。しまりあり。粘性あり。

28. 青灰色土 : 砂粒中量、総社砂層ブロック(白) ϕ 0.5 cm少量含む。 しまりあり。 粘性強。 ノロ状の土。

29. 青灰色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm微量含む。しまりあり。粘性強。 ノロ状の土。

30. 青灰色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm少量含む。しまりあり。粘性強。 ノロ状の土。

31. 青灰色土: 総社砂層ブロック (白) φ 0.5 cm・植物遺体少量含む。しまりあり。粘性強。ノロ状の土。

Fig. 73 2号トレンチ断面図

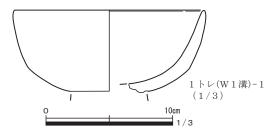


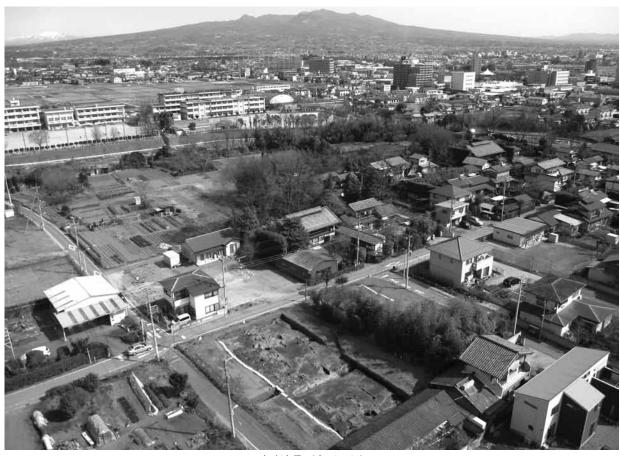
Fig. 74 25 · 26 地点出土遺物

Tab. 24 25·26 地点出土遺物観察表

1号トレンチ (W-1号溝)

番号	器 種	法 量 (cm)	残存
1	木製品 椀	口径 (15.0) 底径 - 器高 -	口縁部~体部 1/4
		成・整形技法の特徴	備考
内・ク	外面に漆塗付		

写 真 図 版



遺跡遠景 (南西から)



遺跡全景 (上が西)



H-1号住居跡全景 (西から)



H-2号住居跡全景 (南西から)



H-3号住居跡全景 (西から)



H-5号住居跡カマド全景 (北西から)



H-1号住居跡新・旧カマド全景 (北西から)



H-2号住居跡カマド全景 (南西から)



H-5・6号住居跡全景 (西から)



H-6号住居跡カマド全景 (北西から)



H-7号住居跡全景 (南から)



H-8号住居跡全景 (南東から)



H-9号住居跡全景 (西から)



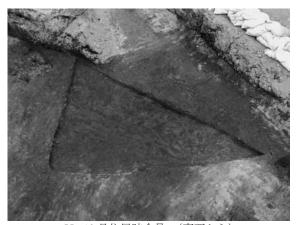
H-10 号住居跡全景 (西から)



H-7号住居跡遺物出土状態近景 (西から)



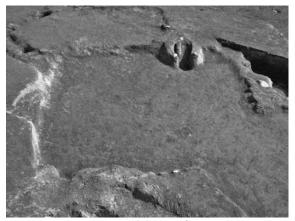
H-8号住居跡遺物出土状態近景 (西から)



H-13号住居跡全景 (南西から)



H-10号住居跡カマド全景 (西から)



H-12号住居跡全景 (南西から)



H-14 号住居跡全景 (北西から)



H-15 号住居跡全景 (北西から)



H-16号住居跡全景 (南西から)



H-12号住居跡カマド全景 (南西から)



H-17 号住居跡全景 (西から)

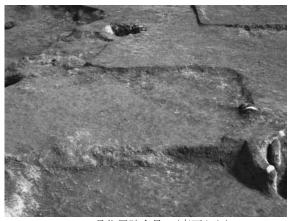


H-15号住居跡カマド全景 (北西から)



H-16号住居跡カマド全景 (南西から)

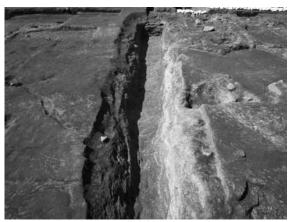




H-20 号住居跡全景 (南西から)



W-1号溝遺物出土状態 (南西から)



W-2号溝全景 (東から)



H-19 号住居跡全景 (南東から)



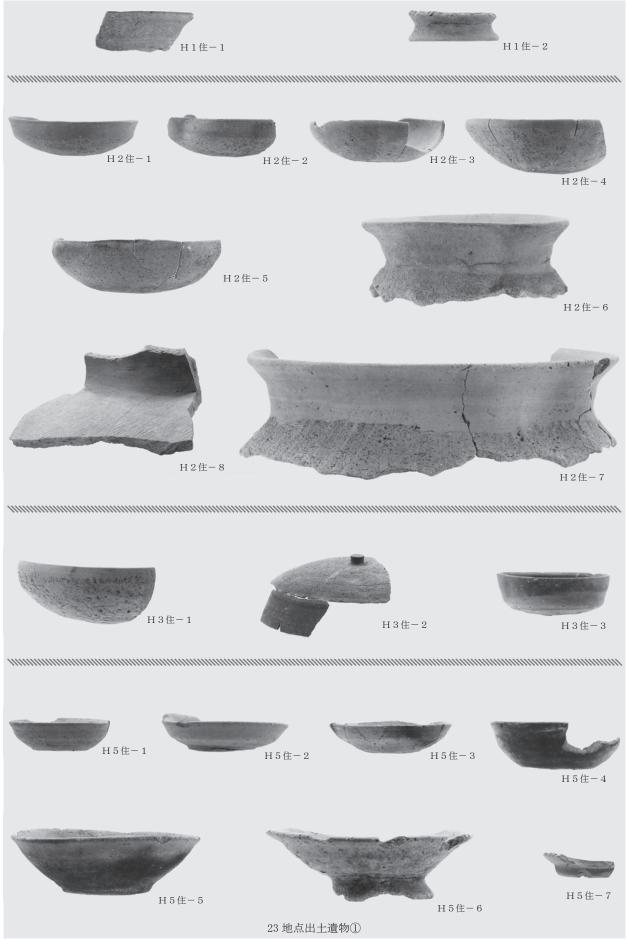
W-1号溝土層断面 (南西から)

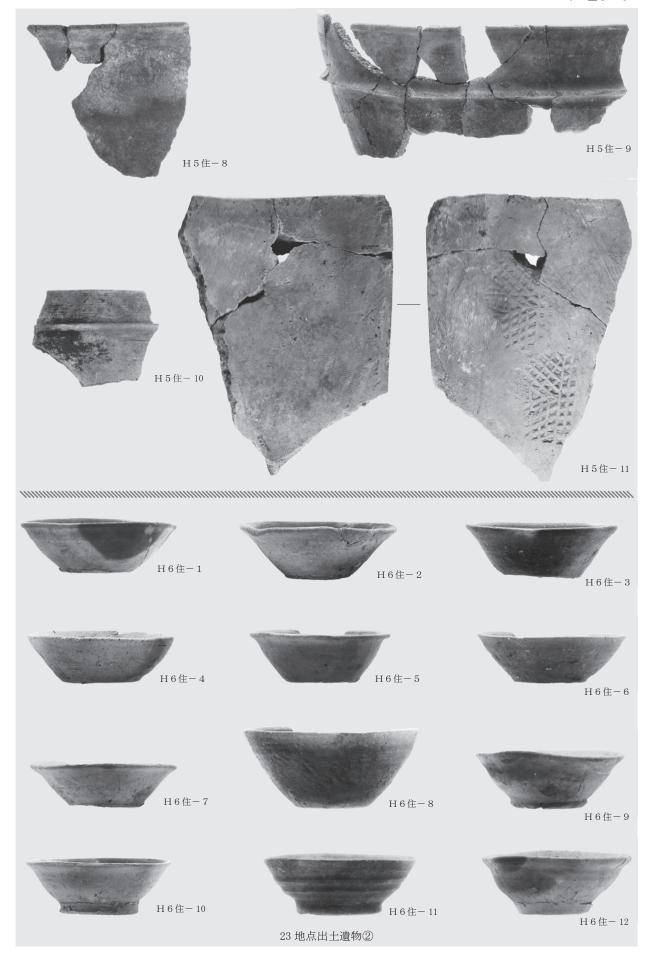


W-2号溝土層断面 (東から)

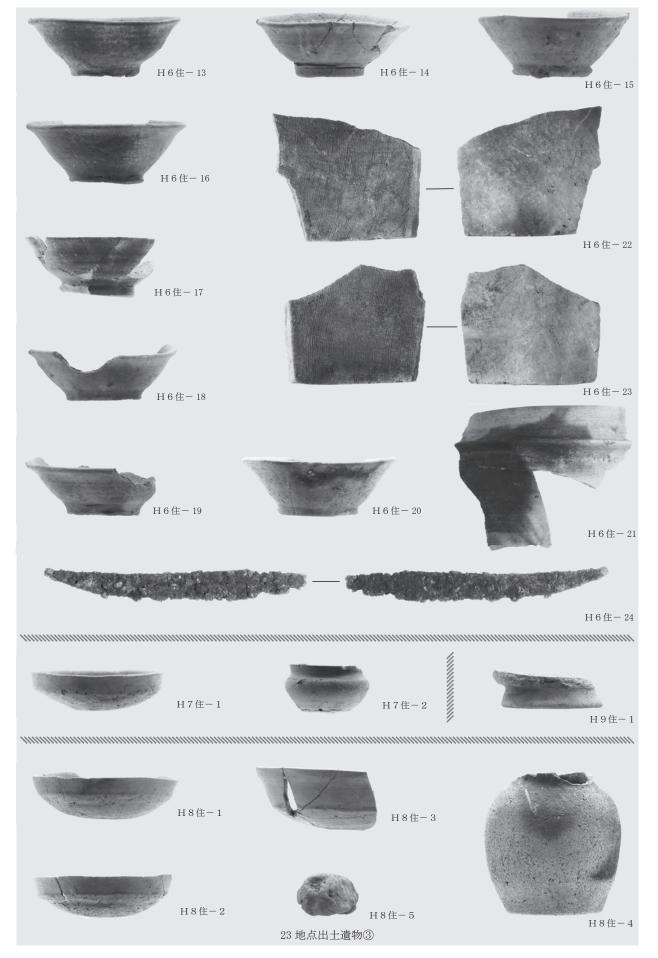


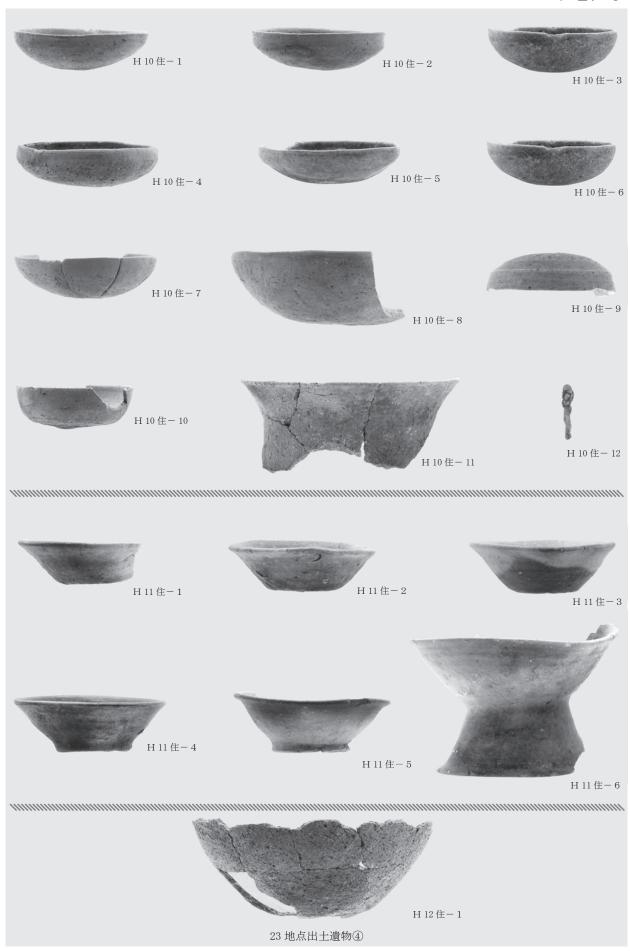
W - 2号溝 検出状態 (西から)

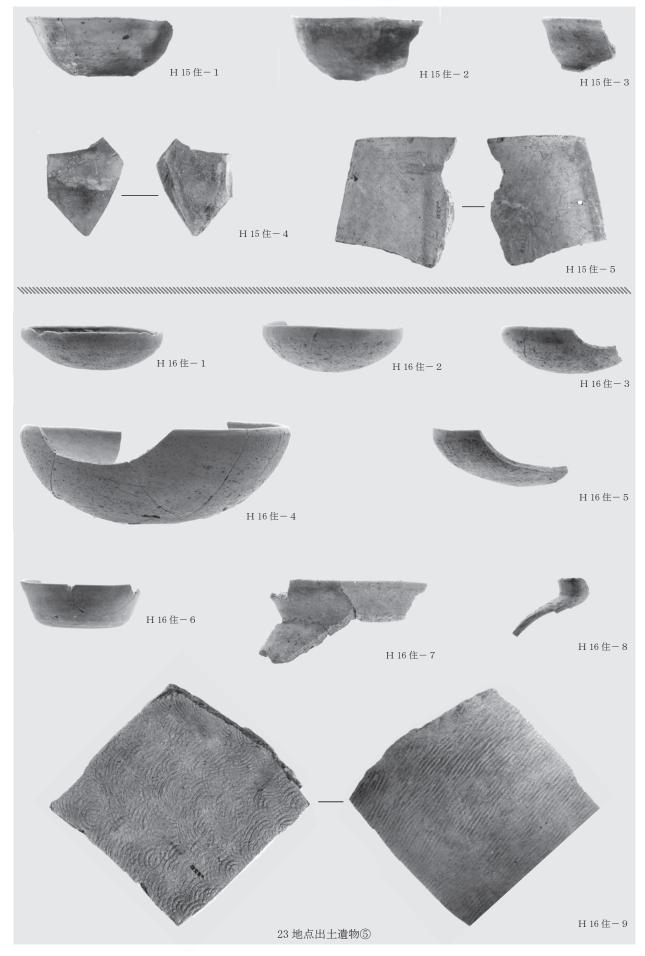


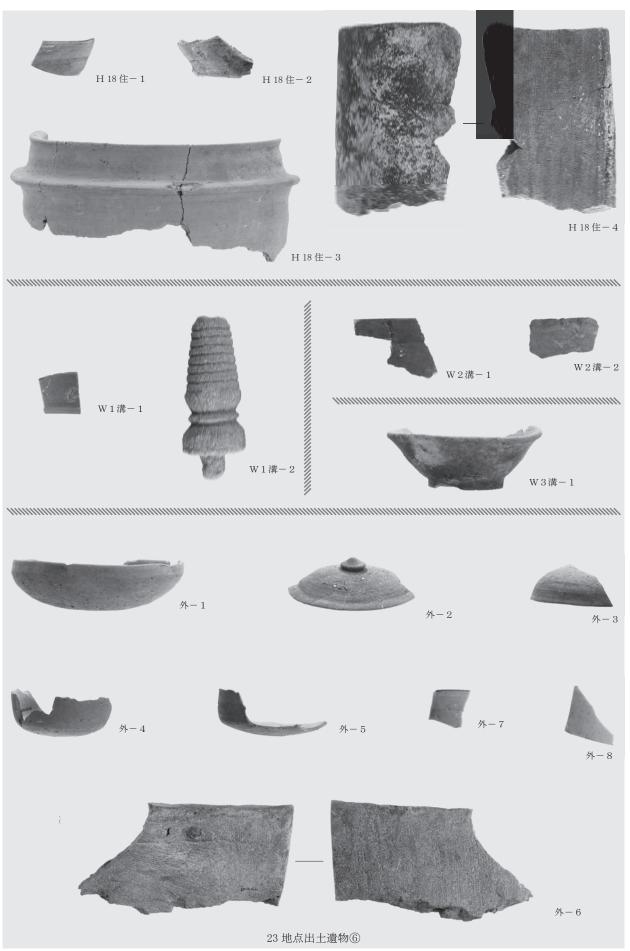


PL. 8











遺跡遠景 (南西から)



遺跡全景 (上が北)



遺跡全景 (南東から)



SX-1号性格不明遺構全景 (南東から)



W-4・6号溝全景 (南から)



SX-1号性格不明遺構緑釉陶器出土状態近景(東から)



W-4号溝遺物出土状態 (西から)



W-1・2号溝土層断面 (東から)



₩-1号溝土層断面 (西から)



W-1号溝・D-2号土坑土層断面 (北西から)



₩-1号溝土層断面 (西から)



W-5号溝全景 (東から)



W-5号溝全景 (東から)



W-5号溝遺物出土状態 (南東から)



W-5号溝遺物出土状態 (南東から)



W-5号溝遺物出土状態 (南東から)



W-5号溝検出状態 (東から)



W-5号溝遺物出土状態 (南東から)



W-5号溝遺物出土状態 (南東から)



W-5号溝土壁片 (焼土化) 出土状態近景 (東から)



W-5号溝古瀬戸茶壺出土状態近景 (東から)



W-5号溝青磁出土状態近景(北から)



W-5号溝擂鉢出土状態近景 (北西から)



W-5号溝・D-8号土坑土層断面 (南西から)



W-5号溝白磁出土状態近景 (北から)



W-5号溝白磁出土状態近景 (南から)



W-5号溝・D-7号土坑土層断面 (西から)



W-5号溝・D-26号土坑土層断面 (南西から)



W-6号溝全景 (南から)



W-6号溝土層断面 (南から)



D-7号土坑全景 (南西から)



D-8号土坑全景 (北から)



W-6号溝工具痕確認状態 (西から)



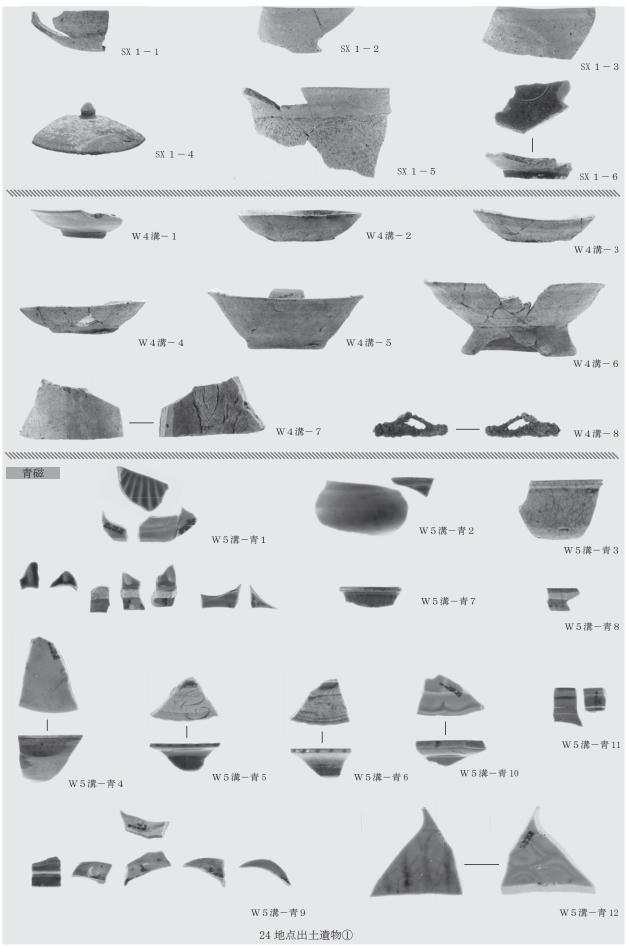
W-6号溝土層断面 (北から)

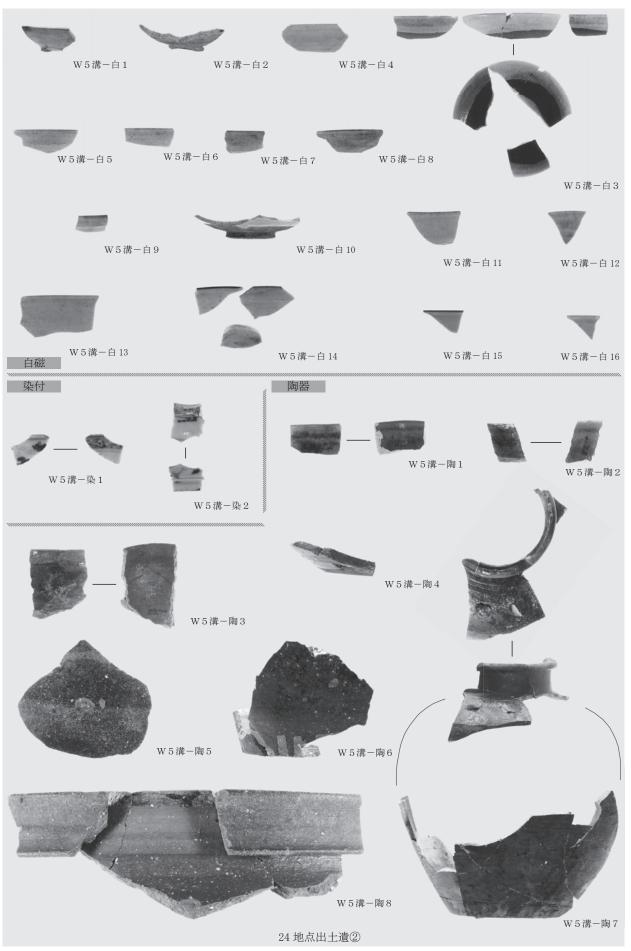


D-8号土坑全景 (東から)

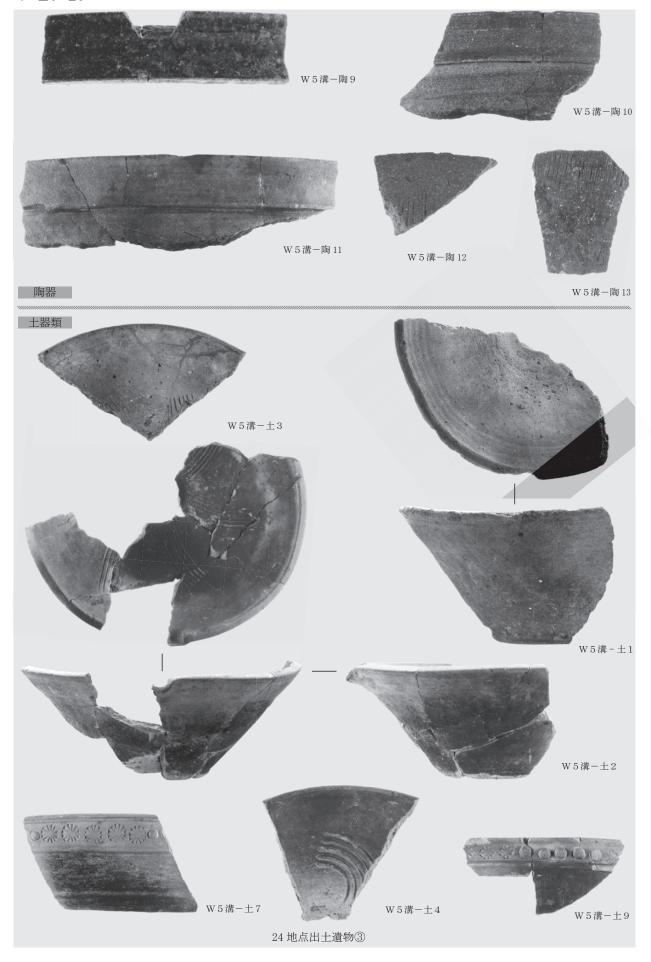


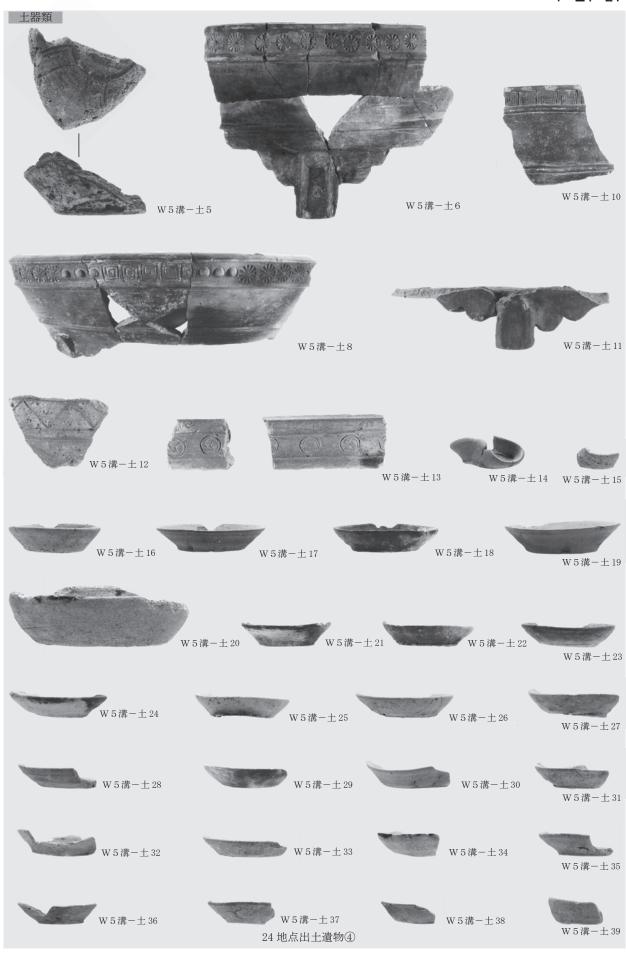
D-8号土坑下位土層断面 (東から)



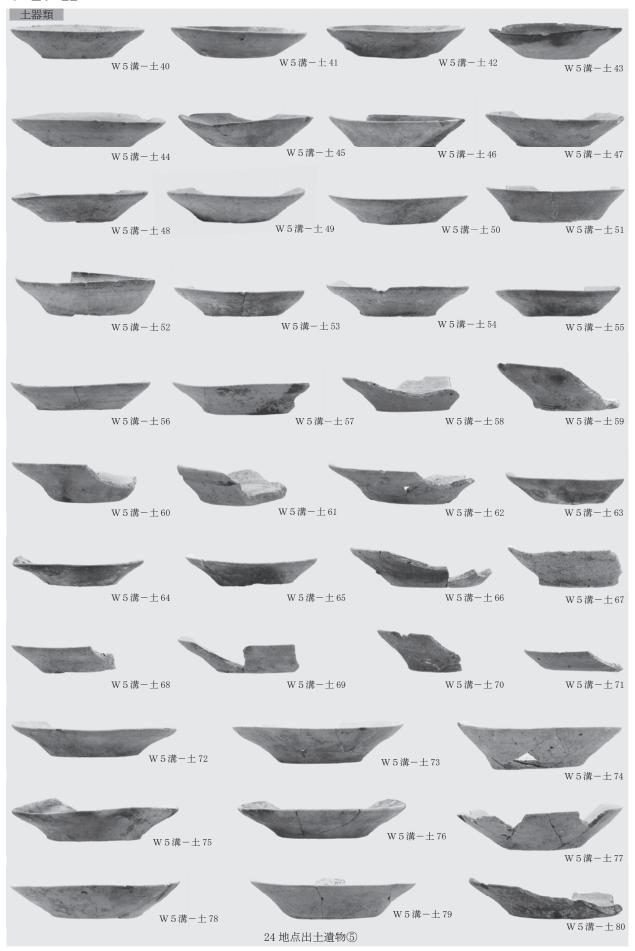


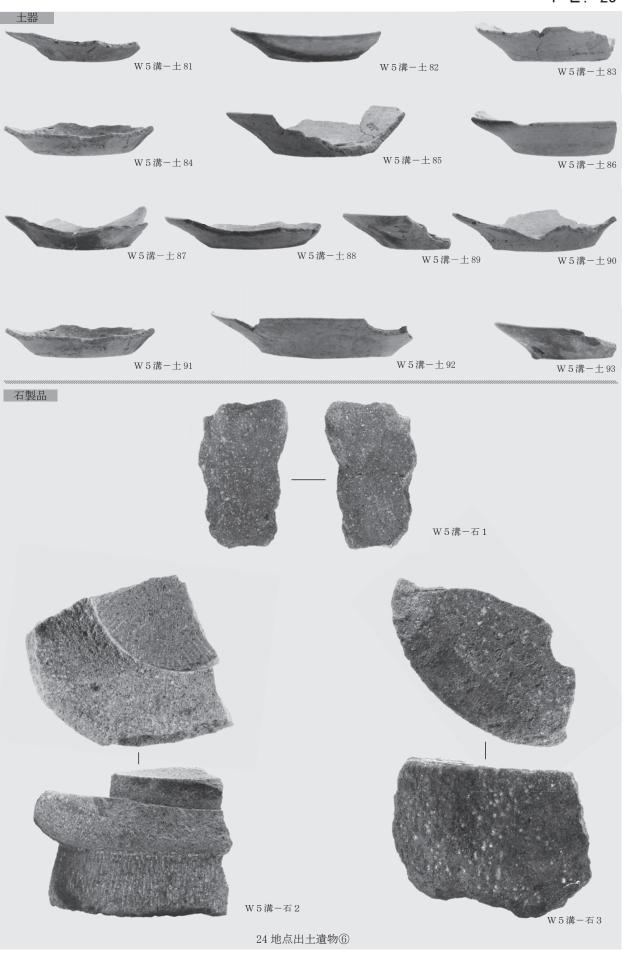
PL. 20

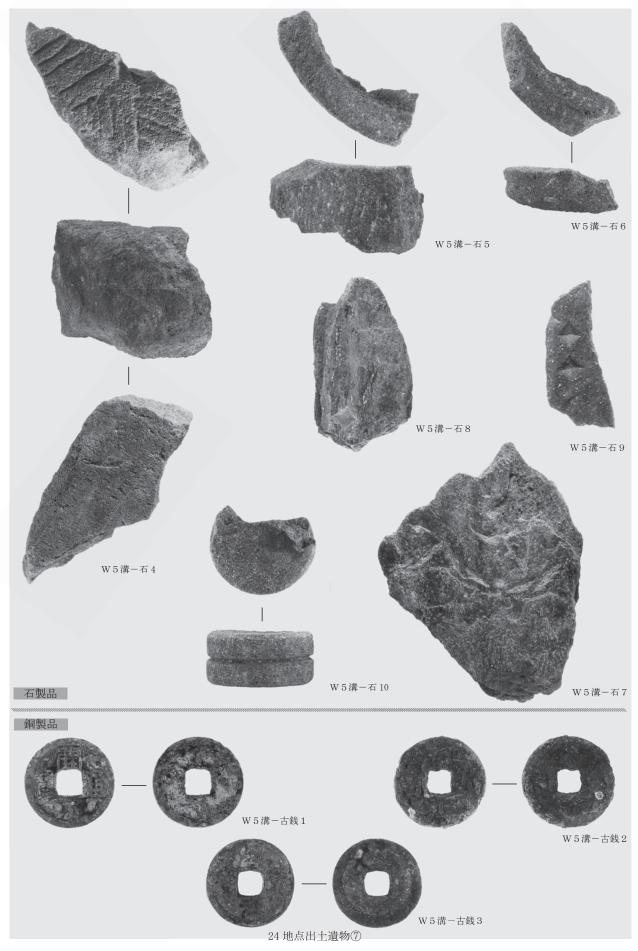


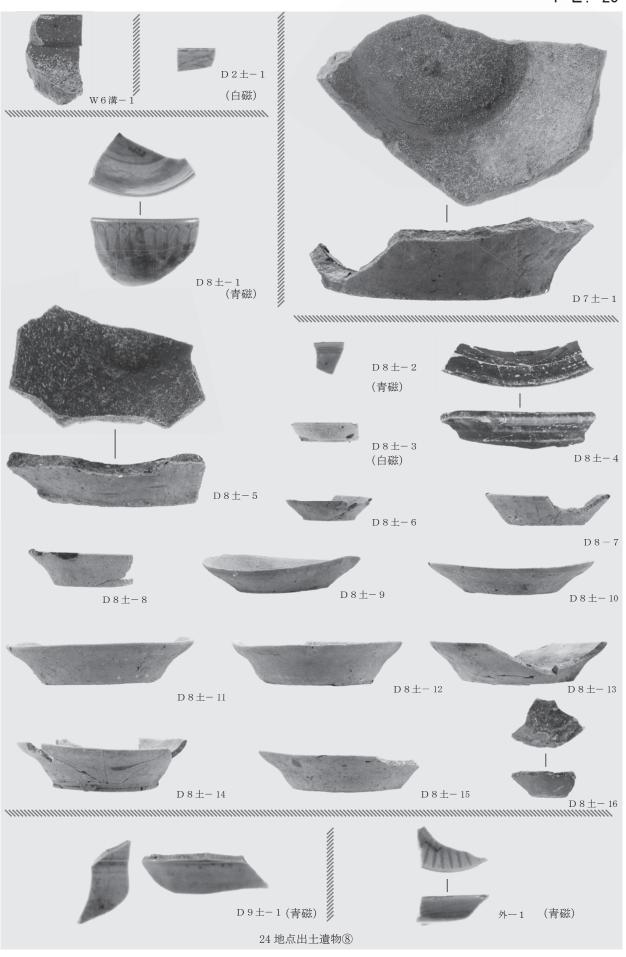


PL. 22











遺跡遠景 (上が北)





1号トレンチ遺物(木器)出土状態 (南から)



1号トレンチ (W-1号溝) 土層断面 (南西から)



1号トレンチ遺物(木器)出土状態近景 (南から)



1号トレンチ遺物(木材)出土状態 (南から)



1号トレンチ (W-1号溝) 全景 (南から)



2号トレンチ (W-1号溝) 土層断面 (北から)



調査風景 (北から)



1号トレンチ遺物(木材)出土状態近景 (南から)



2号トレンチ (W-1号溝) 全景 (西から)



2号トレンチ (W-1号溝) 土層断面 (北西から)



1号トレンチ (W-1号溝) 出土遺物

抄 録

フ	リ	ガ	ナ	モトソウジャオウミイセキグン 23		
書			名	元総社蒼海遺跡群(23)		
副	割 書 名 前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書					
巻			次			
シ	リ -	- ズ	名			
編	著	者	名	山下歳信・和久拓照・日沖剛史		
編	集機関前橋市埋蔵文化財発掘調査団					
発	行	機	関	前橋市埋蔵文化財発掘調査団		
発行機関所在地 〒 371-0018				〒 371-0018 群馬県前橋市三俣町二丁目 10- 2 🔟 027-231-9531		
発	行生	<u> </u>	日	西暦 2009 年 3 月 12 日		

ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	(日本)	則地系)		m²	
もとそうじゃおう み 元総社蒼海	ぐんまけんまえばし しもとそう 群馬県前橋市元総	10201	20 A 130-23	36°	139°	20081104	1, 313	前橋都市計画元
い tt e c c h 遺跡群 (23)	でやまち ばん ごう 社町 1833番1号、			23'	02'	~		総社蒼海地区区
XXX/74T (20)	1922 番ほか4 筆			21"	12"	20090120		画整理事業

所収遺跡名	種別	主な遺構		主な遺物	特記事項	
元総社蒼海遺跡	集落跡	古墳	竪穴住居跡	20 軒	土師器	蒼海城の改修
群 (23)	上野国府関連遺構	奈良	性格不明遺構	1 基	須恵器	前後の堀を確
	蒼海城跡	平安	土坑 35		灰釉陶器	認
		中世	(内、井戸7基・倒木	(1基)	瓦	
			溝	14条	鉄製品	
			ピット	101 基	銅製品	
					陶磁器	
					カワラケ	

元総社蒼海遺跡群 (23)

前橋都市計画事業元総社蒼海土地区画整理事業に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書

> 平成21年3月6日印刷 平成21年3月12日発行

編 集/前橋市埋蔵文化財発掘調査団 発 行/前橋市埋蔵文化財発掘調査団 前橋市三俣町二丁目 10-2

Tel 027-231-9531

印 刷/朝日印刷工業株式会社